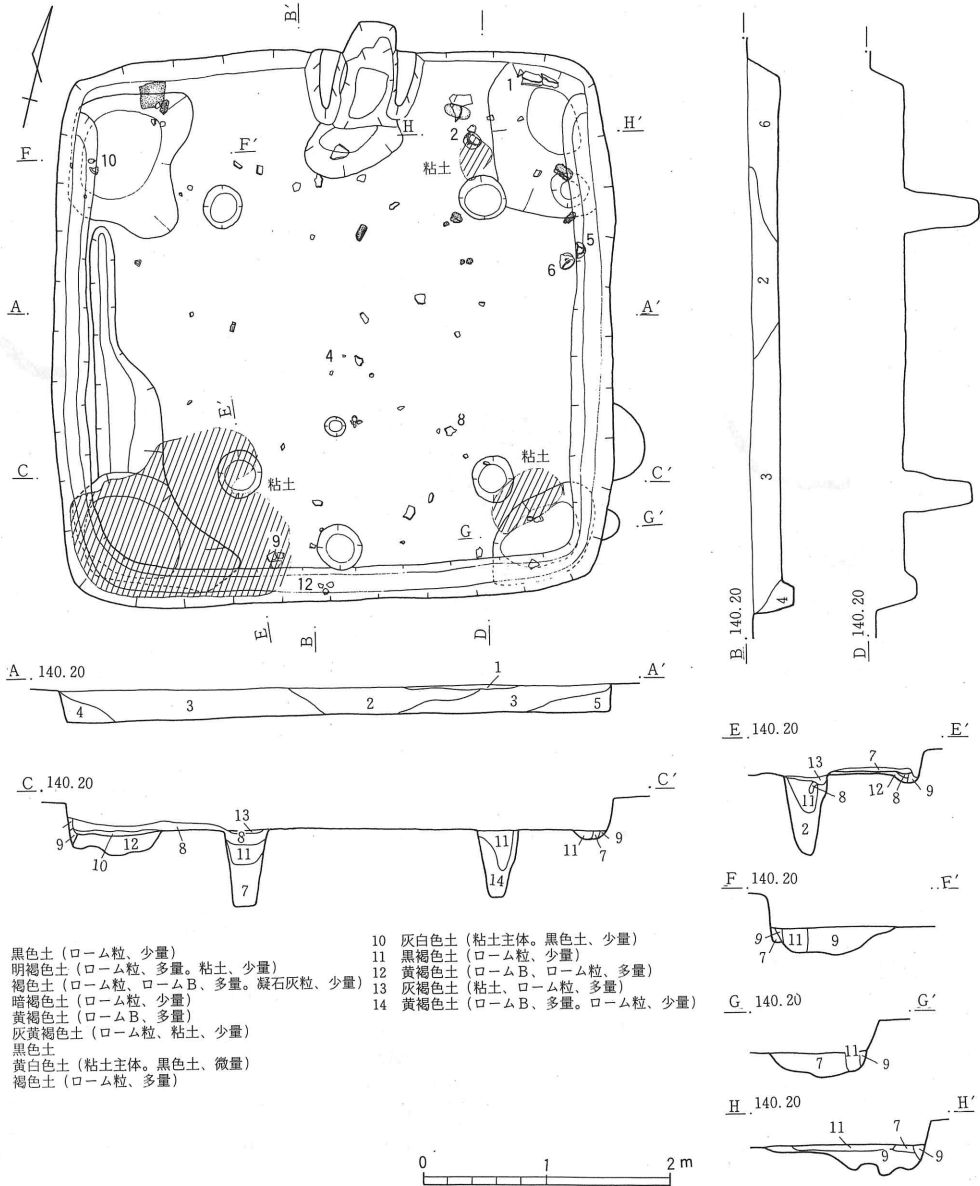
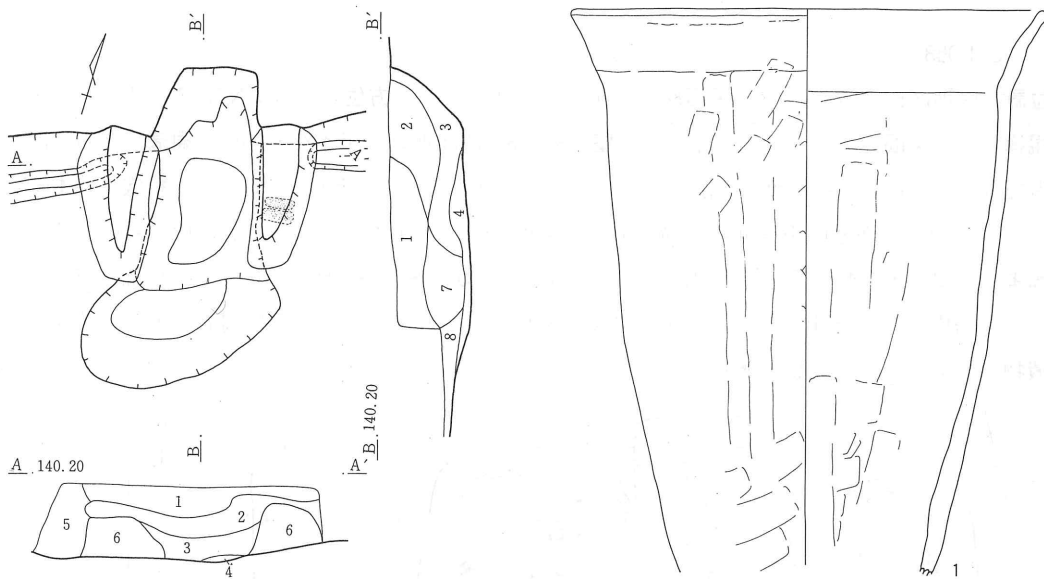


S I 058

位置 南地区B-12グリッド 平面形 4.5m四方の正方形。 方位 住居：N13°W カマド：N
 規模 大 床面 ローム地山で堅い。 壁 80~89°ほぼ垂直。深さ25~30cm 周溝 全周し四
 隅掘り込みに接続する。カマド掘り込みは接続せず両そでの下に若干入り込む。 柱穴 4本ス
 クエアに配す。南壁中央床面の周溝を隔てた箇所にピット1本（出入口施設に伴うものか？）
 備考 四隅の床下掘り込みは大規模なものである。 カマド 煙道部のみのコの字形掘り方。ソ
 デが住居内に長く突出する。右ソデ内に凝灰岩切石が2枚ある。ソデ下に周溝が入るタイプ。
 遺物 土師器坏8・埴2・甕1，須恵器坏2，砥石1



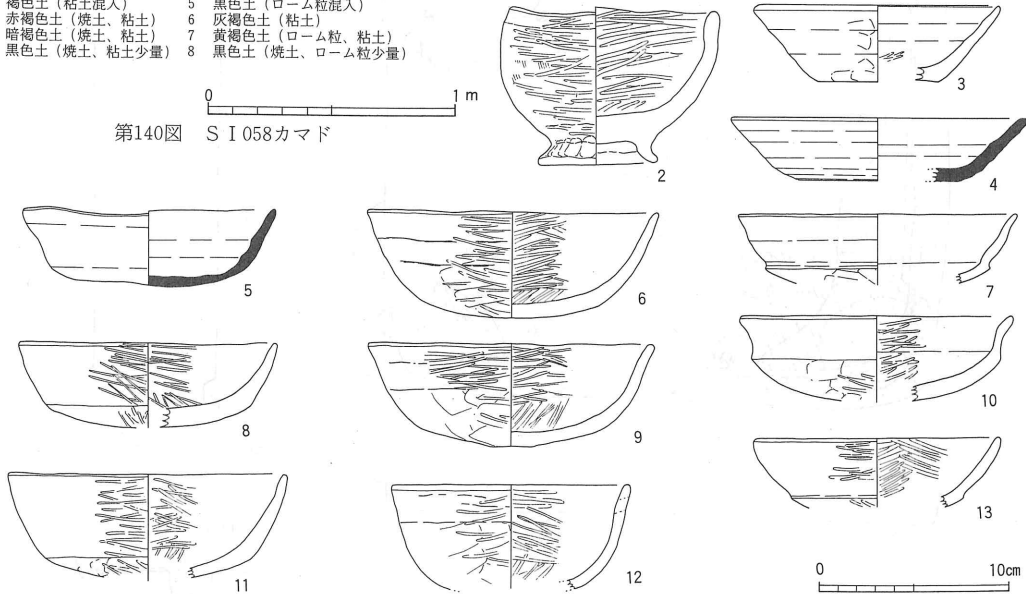
第139図 S I 058



- 1 褐色土 (粘土混入)
- 2 赤褐色土 (焼土、粘土)
- 3 暗褐色土 (焼土、粘土)
- 4 黒色土 (焼土、粘土少量)
- 5 黒色土 (ローム粒混入)
- 6 灰褐色土 (粘土)
- 7 黄褐色土 (ローム粒、粘土)
- 8 黒色土 (焼土、ローム粒少量)

0 1 m

第140図 S I 058カマド



第141図 S I 058出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成形・整形手法	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	25.2	—	—	E(1)	a	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/2	外面煤, 粘土附着
2	埴(H)	11.2	8.6	6.4		b	輝石, 砂粒やや多	不良	暗褐色	床面	完形	歪んで楕円形
3	坏(H)	13.1	4.1	6.4	J(3)	n	緻密	良好	褐色	覆土	1/8	
4	坏(S)	13.0	3.35	6.1	D	d	緻密	良好	青灰色	覆土	1/4	
5	坏(S)	13.6	4.1	—	A	a	石英, 砂粒, 小石	良好	灰色	覆土	2/3	
6	坏(H)	15.6	5.7	—	G	a	石英, 小砂粒	良好	橙褐色	覆土	2/3	

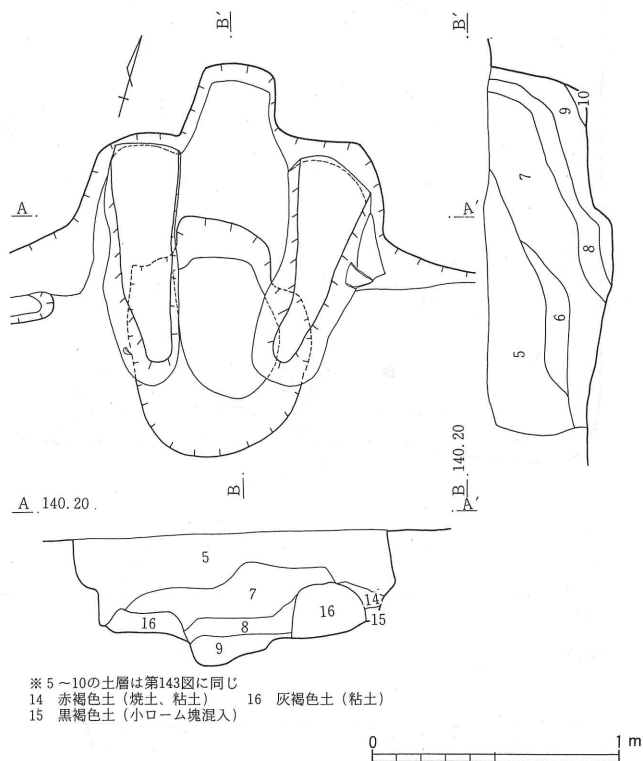
第59表 S I 058土器観察表 (1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
7	坏(H)	14.8	—	—	F(2)	h	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/6	内黒
8	坏(H)	13.9	4.5	—	H	a	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/6	内黒
9	坏(H)	15.4	5.5	—	H	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	
10	坏(H)	14.5	4.6	—	H	c	石英, 小砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/4	
11	坏(H)	15.0	5.6	—	H	a	輝石, 雲母, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/3	内黒
12	壺(H)	12.8	—	—	B	c	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/3	
13	坏(H)	13.0	—	—	F(2)	a	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	

第60表 S I 058土器観察表 (2)

S I 059

位置 南地区F-12グリッド 平面
 形 5.0×5.5mの南北に長い方形
 方位 住居：N 20°W カマド：N
 規模 大 床面 ローム地山だが、
 東側は貼床 壁 71～77°深さ40～
 50cm 周溝 全周するがカマドを除く。
 南両床下掘り込みとは接続するが、
 北東の床下掘り込みとは接続せず、
 外側を廻る。 柱穴 4本スクエアに配する。
 規模のわりには浅い印象を受ける。
 南壁中央床面にピット1本(出入口施設に伴うものか?)
 備考 人為埋没と思われる。 カマド
 凸形の規模の大きな掘り方をもつ。
 遺物 土師器坏2・壺1・甕1, 須恵器鉢1・甕1・壺1

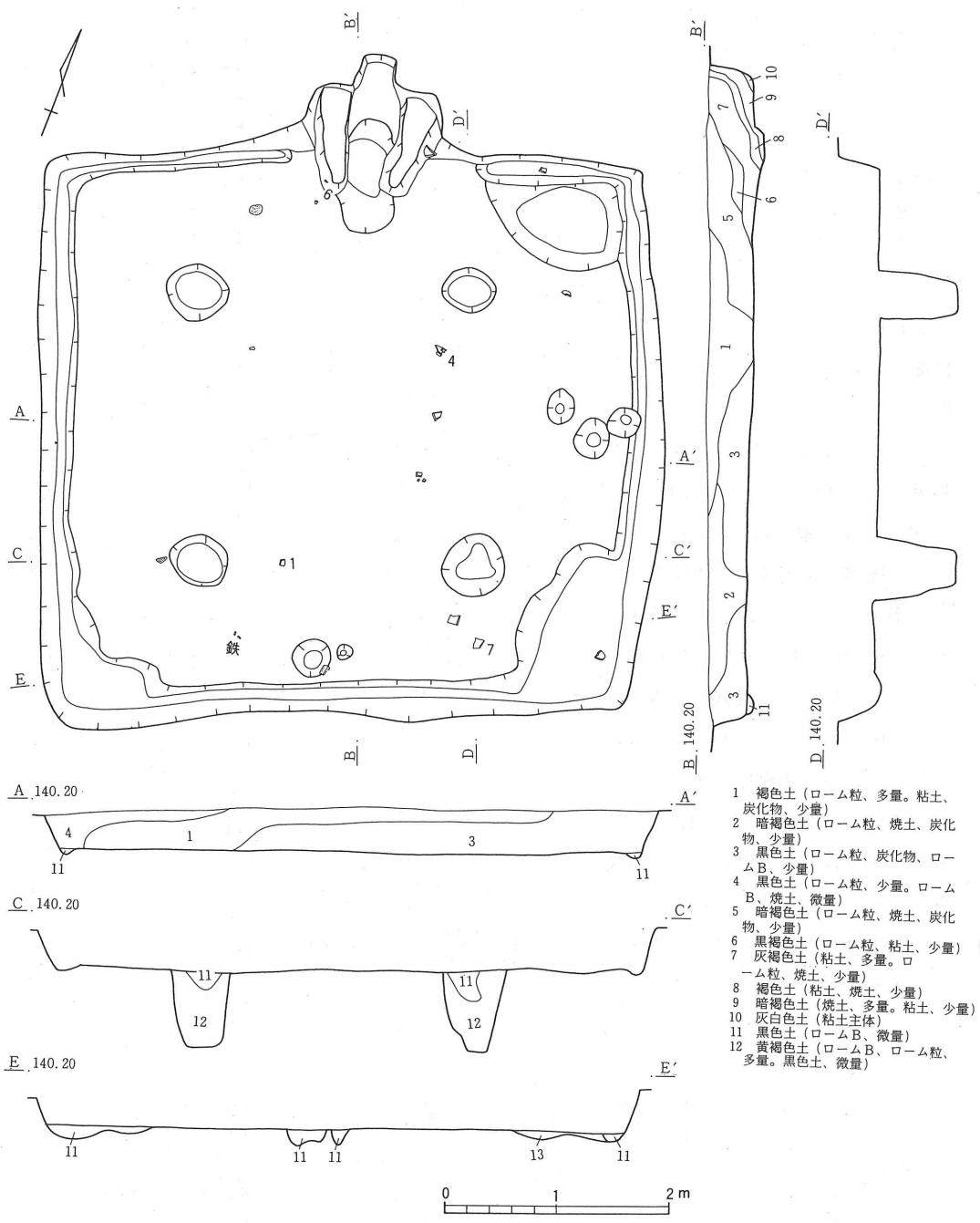


※5～10の土層は第143図に同じ
 14 赤褐色土(焼土、粘土) 16 灰褐色土(粘土)
 15 黒褐色土(小ローム塊混入)

第142図 S I 059カマド

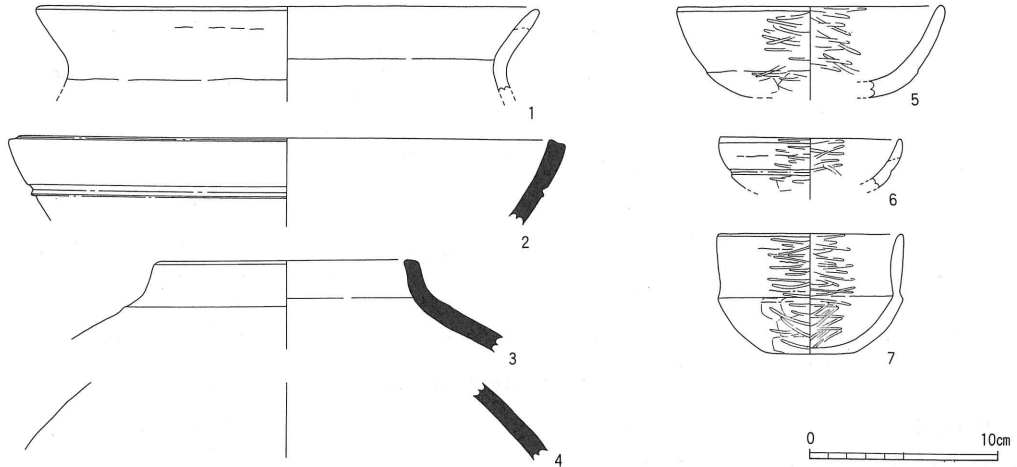
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	25.5	—	—			小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/32	
2	鉢(S)	30.0	—	—	A		白色砂粒やや多	良好	暗青灰色	覆土	1/12	沈線(1)波状文
3	壺(S)	14.0	—	—	C	c	石英, 白色砂粒	良好	灰色	覆土	1/12	
4	甕(S)	—	—	—		i	石英, 雲母	良好	乳白色	覆土	破片	
5	坏(H)	14.2	4.9	—	F(2)	b	石英, 砂粒やや多	良好	暗赤褐色	覆土	1/4	
6	坏(H)	9.8	—	—	F(2)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
7	壺(H)	10.0	6.4	4.5	E	b	石英, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	2/3	内黒

第61表 S I 059土器観察表



- 1 褐色土 (ローム粒、多量。粘土、炭化物、少量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒、焼土、炭化物、少量)
- 3 黒色土 (ローム粒、炭化物、ロームB、少量)
- 4 黒色土 (ローム粒、少量。ロームB、焼土、微量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒、焼土、炭化物、少量)
- 6 黒褐色土 (ローム粒、粘土、少量)
- 7 灰褐色土 (粘土、多量。ローム粒、焼土、少量)
- 8 褐色土 (粘土、焼土、少量)
- 9 暗褐色土 (焼土、多量。粘土、少量)
- 10 灰白色土 (粘土主体)
- 11 黒色土 (ロームB、微量)
- 12 黄褐色土 (ロームB、ローム粒、多量。黒色土、微量)

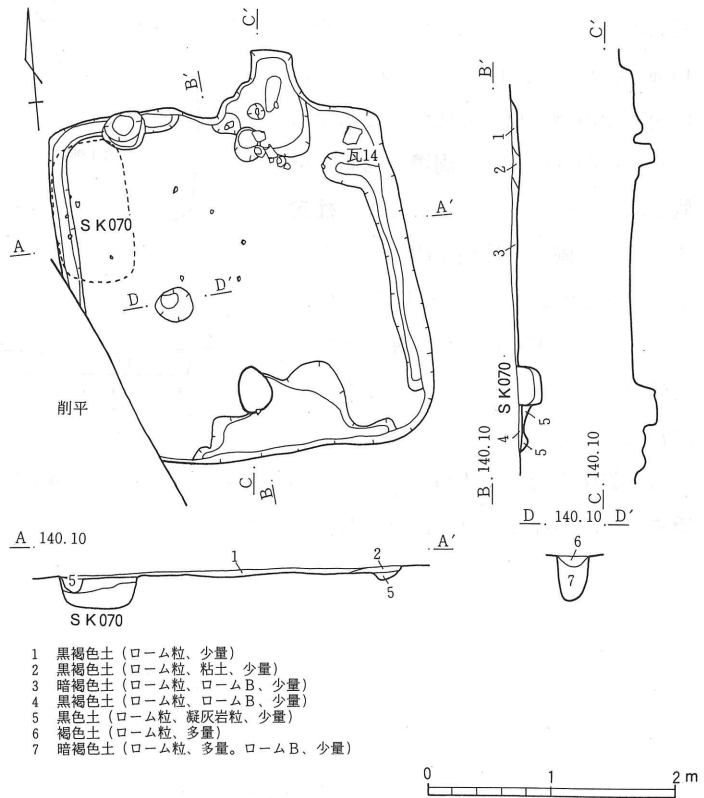
第143図 S I 059



第144図 S I 059出土土器

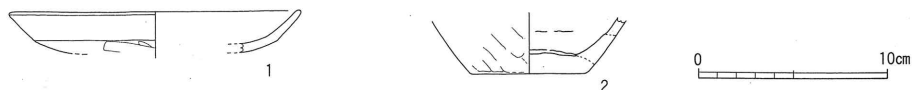
S I 060

位置 南地区F-12グリッド
 平面形 2.8m四方の正方形
 ただし北西部が少々張り出す。
 方位 住居：N 04°W
 カマド：N 規模 小 床面
 ローム地山 壁 全体的に浅
 い5cm内外。西側はローム面
 と同レベルになり壁の検出不
 能 周溝 東側のみに認めら
 れる。柱穴 認めず。備
 考 南側に周溝が拡大したよ
 うな土坑あり。S K 070を切
 る。遺物 土師器甕1・皿
 1



- 1 黒褐色土（ローム粒、少量）
- 2 黒褐色土（ローム粒、粘土、少量）
- 3 暗褐色土（ローム粒、ロームB、少量）
- 4 黒褐色土（ローム粒、ロームB、少量）
- 5 黒色土（ローム粒、凝灰岩粒、少量）
- 6 褐色土（ローム粒、多量）
- 7 暗褐色土（ローム粒、多量。ロームB、少量）

第145図 S I 060



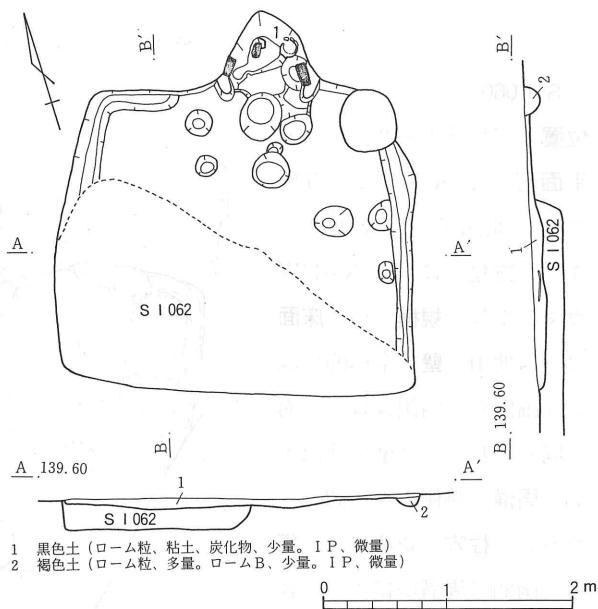
第146図 S I 060出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	皿(H)	15.8	2.2	—	A(1)	砂粒多	不良	黒褐色	覆土	1/8		
2	甕(H)	—	—	6.2		雲母, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/24	木葉痕	

第62表 S I 060土器観察表

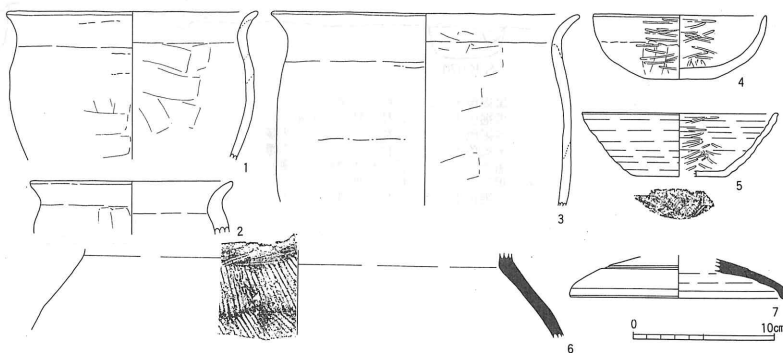
S I 061

位置 南地区G-13グリッド 平面形 2.6×2.8m若干横長の方形 方位 住居：N 15° E カマド：N 規模小 床面 一部が貼床である。壁 壁角度測定不能 深さ5cm (ローム床側) 10cm (貼床側) 貼床面がやや深いのは、住居機能当時の重みで沈むことに起因すると推測される。周溝 西側と東側では浅いながら認められる。柱穴 認めず。備考 性格不明のピットが7本。S I 062を切る。S I 150に切られる。カマド U字形の掘り方で小規模のソデである。ソデ部に2本の凝灰岩切石が壁に沿って立つ。煙道下部にも凝灰岩切石が認められる。



第147図 S I 061

遺物 土師器坏2・甕3, 須恵器甕1・蓋1



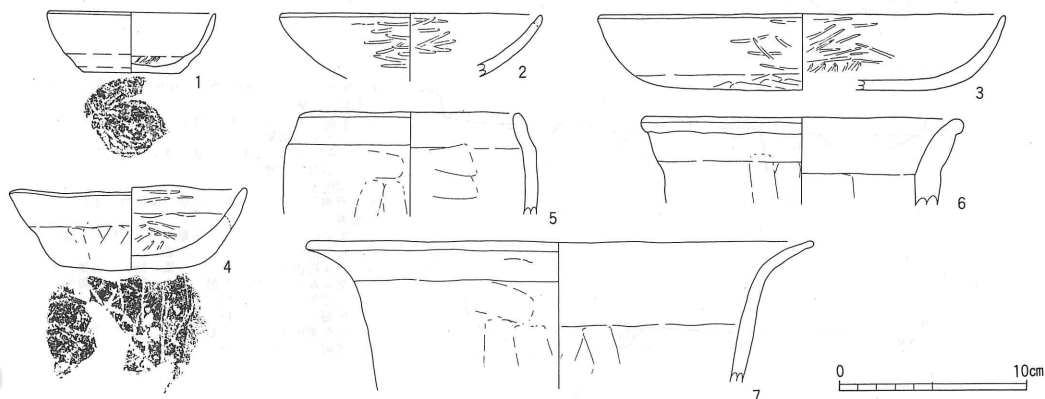
第148図 S I 061出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	18.2	—	—	I	p	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	カマド	1/4	
2	甕(H)	14.4	—	—			雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	暗褐色	カマド	1/16	
3	甕(H)	21.8	—	—	I	p	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	外面煤附着
4	坏(H)	12.4	4.6	5.0	I	a	石英, 黒色粒やや多	良好	褐色	覆土	1/2	外面煤附着
5	坏(H)	14.0	4.5	6.8	J(3)		石英, 砂粒やや多	良好	外褐色, 内黒色	カマド	1/2	内黒
6	甕(S)	—	—	—		e	石英, 砂粒	良好	灰白色	覆土	1/24	
7	蓋(S)	15.3	—	—		a	白色砂粒やや多	良好	青灰色	覆土	1/8	2本の沈線

第63表 S I 061土器観察表

S I 062

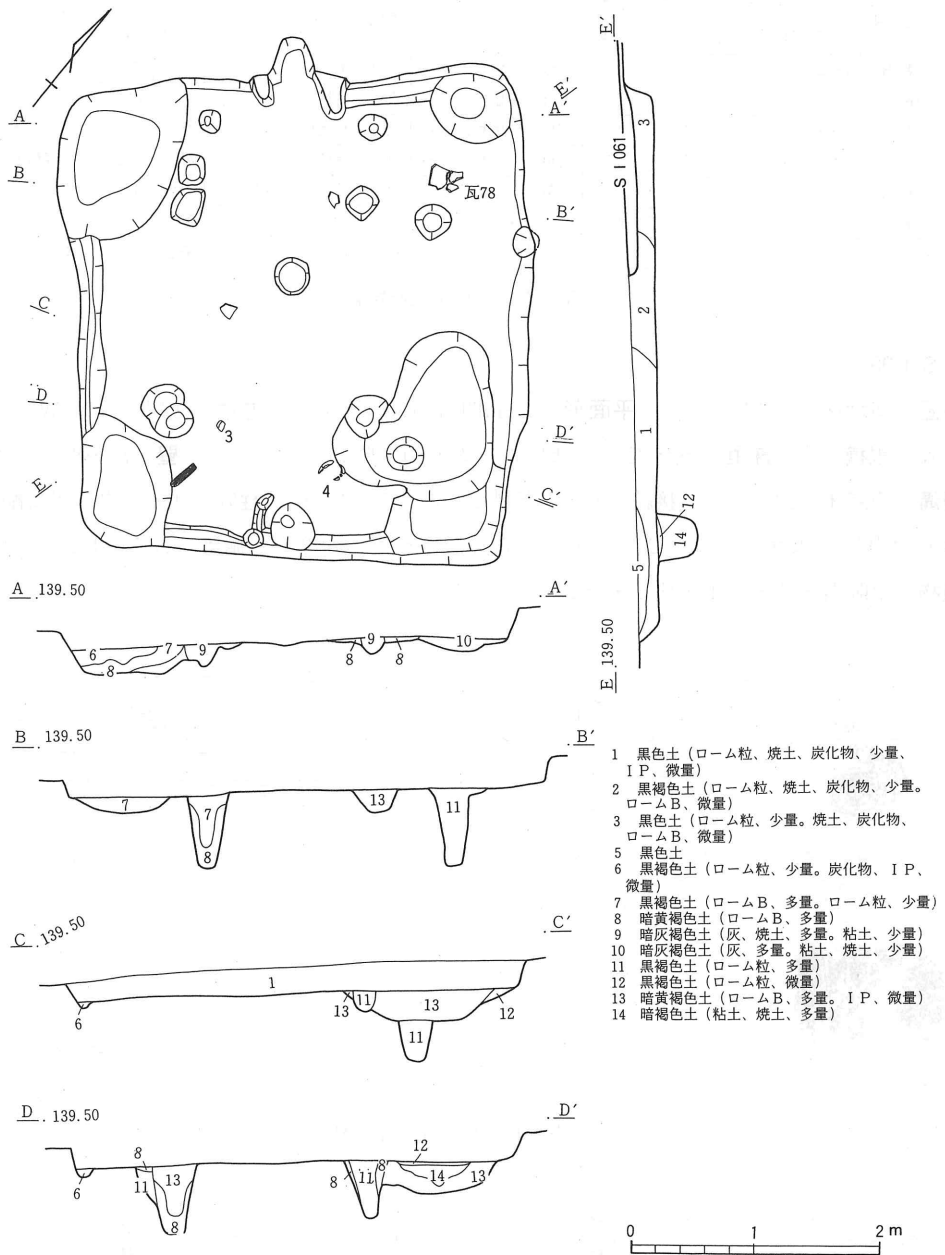
位置 南地区G-13グリッド 平面形 3.8m四方のほぼ正方形 方位 住居：N36°W カマド：N 規模 中 床面 貼床だが一部にローム地山の堅い面がある。壁 78～89° 深さ20cm 周溝 四隅床下掘り込みに接続するが、東側には認められない。柱穴 4本スクエアに配する。南壁中央付近床面にピット2本（出入口施設に伴うものか？） 備考 S I 061に切られる。遺物 土師器坏3・埴1・皿1・甕2



第149図 S I 062出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	9.2	3.2	5.2	J(2)	o	石英, 小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	内黒
2	坏(H)	14.2	—	—	G	a	石英, 小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/8	内黒
3	皿(H)	22.0	4.0	14.0	B	a	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/3	
4	坏(H)	12.9	4.5	7.7	I	d	石英, 小砂粒	良好	褐色	床面	4/5	木葉痕
5	鉢(H)	11.4	—	—	B(2)	g	石英, 小砂粒	良好	暗赤褐色	覆土	1/12	
6	甕(H)	17.0	—	—	E(2)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
7	甕(H)	27.6	—	—	E(1)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	

第64表 S I 062土器観察表

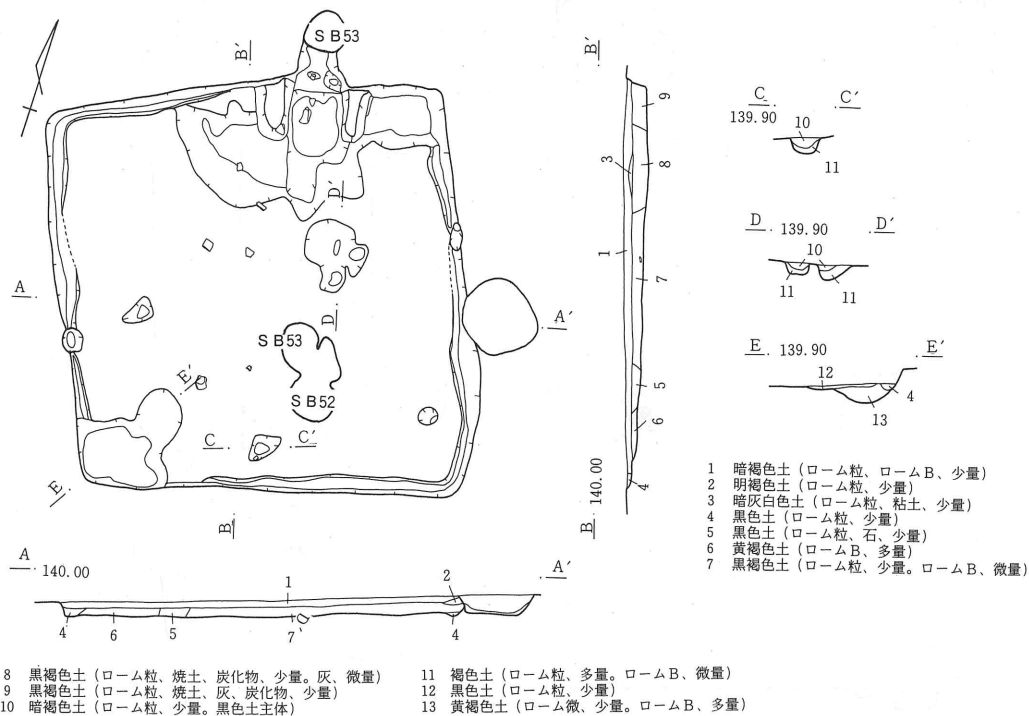


第150図 S I 062

S I 063

位置 北地区H-12グリッド 平面形 3.3m四方のほぼ正方形 方位 住居：N26°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山 平坦であるが北側のレベルが低い。壁 70° 北壁20cm、南壁5cm、東西壁15~20cm 周溝 全周するがカマド掘り方に接続しない。浅いので床面とほぼ

同レベルの箇所あり。 柱穴 認めず。南壁中央付近床面にピット2本（出入口施設に伴うものか？） 備考 S B52、S B53の柱穴と切り合うが前後関係不明。東壁をピットに切られる。
遺物 須恵器坏1・甕1



第151図 S I 063



第152図 S I 063出土土器

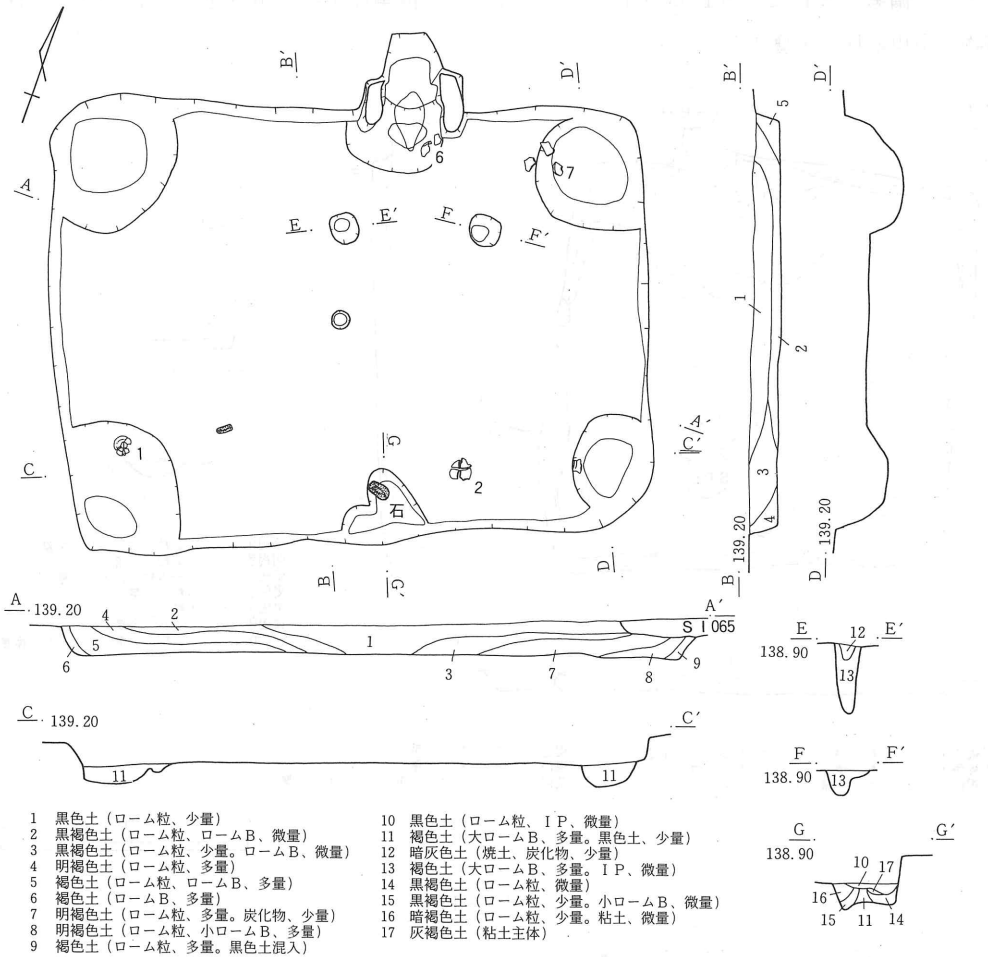
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(S)	14.6	4.0	8.2	C	e	緻密	良好	青灰色	床面	1/3	
2	甕(S)	-	-	-		c	緻密	良好	褐色	覆土	破片	

第65表 S I 063土器観察表

S I 064

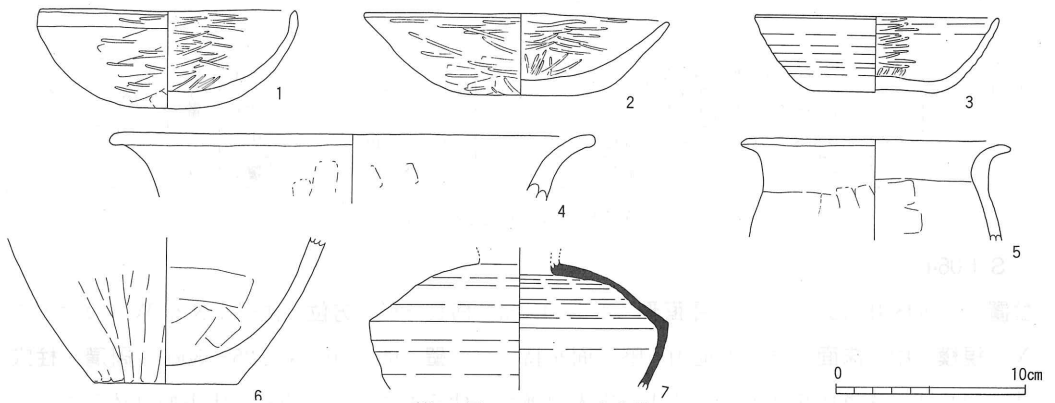
位置 南地区H-12グリッド 平面形 3.5×4.8mの横長方形 方位 住居：N22°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山 堅い面を持つ。壁 60～70° 深さ25～30cm 周溝・柱穴 共に認めず。南壁中央床面に土坑1（出入口施設に伴うものか？）四隅に床下掘り込みあり。

備考 東壁の上部をS I 065に切られる。 遺物 土師器坏3・甕3, 須恵器壺1



- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 黒色土(ローム粒、少量) | 10 黒色土(ローム粒、I P、微量) |
| 2 黒褐色土(ローム粒、ロームB、微量) | 11 褐色土(大ロームB、多量。黒色土、少量) |
| 3 黒褐色土(ローム粒、少量。ロームB、微量) | 12 暗灰色土(焼土、炭化物、少量) |
| 4 明褐色土(ローム粒、多量) | 13 褐色土(大ロームB、多量。I P、微量) |
| 5 褐色土(ローム粒、ロームB、多量) | 14 黒褐色土(ローム粒、微量) |
| 6 褐色土(ロームB、多量) | 15 黒褐色土(ローム粒、少量。小ロームB、微量) |
| 7 明褐色土(ローム粒、多量。炭化物、少量) | 16 暗褐色土(ローム粒、少量。粘土、微量) |
| 8 明褐色土(ローム粒、小ロームB、多量) | 17 灰褐色土(粘土主体) |
| 9 褐色土(ローム粒、多量。黒色土混入) | |

第153図 S I 064



第154図 S I 064出土土器

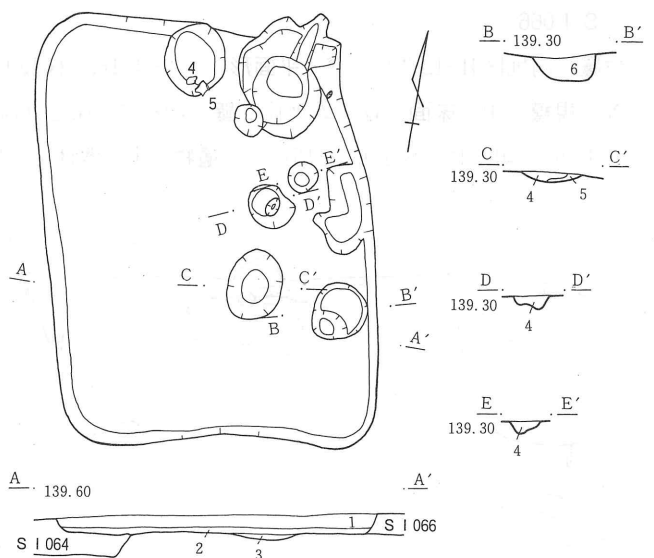
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.0	5.2	—	G	a	小砂粒	良好	褐色	覆土	4/5	
2	坏(H)	16.4	4.3	5.8	I	a	石英, 雲母, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	完形	
3	坏(H)	12.8	3.9	6.6	J(2)	n	白色砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/4	内黒
4	甕(H)	25.4	—	—	E		石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
5	甕(H)	14.2	—	—	D(2)	a	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/24	
6	甕(H)	—	—	7.6		a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/12	
7	壺(S)	—	—	—	A		緻密	良好	青灰色	覆土	1/4	胴上半自然釉付着

第66表 S I 064土器観察表

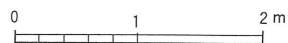
S I 065

位置 南地区H-12グリッド 平面形 3.4×2.4mの縦長方形 方位 住居：N19°W カマド：N E 規模 中 床面 S I 064を浅く切っている部分のみ貼床。壁 66~69° 深さ20cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 住居内に性格不明の土坑多数。S I 064 S I 066を切る。カマド 東北コーナーにあり、小規模な凸形である。粘土等による遺構は認められない。

遺物 土師器坏1・甕4, 砥石1.



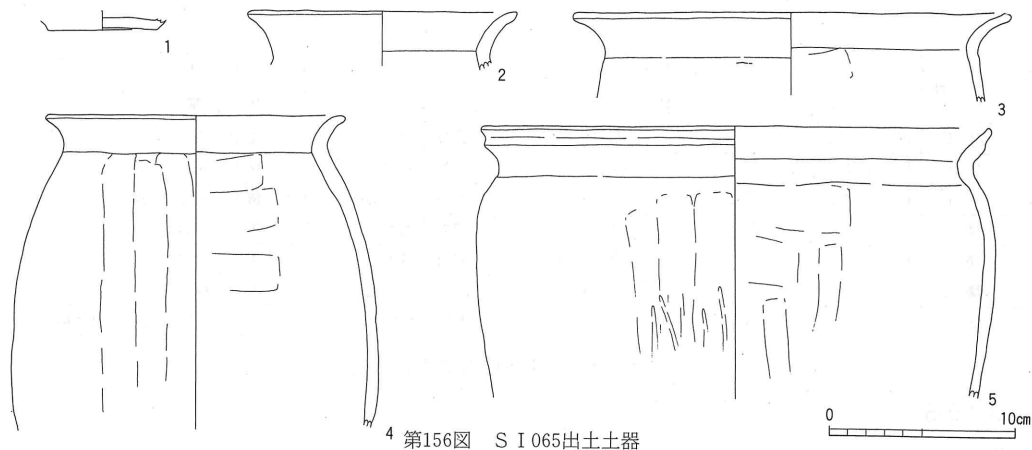
- 1 褐色土 (ローム粒、少量)
- 2 褐色土 (ローム粒、ロームB、少量)
- 3 明褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、多量)
- 4 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、少量。I P、微量)
- 5 黒褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、多量。I P、微量)
- 6 黒色土 (ローム粒、少量。I P、微量)



第155図 S I 065

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	—	—	5.8	J	n	小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/5	内黒
2	甕(H)	14.4	—	—	H(2)		小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/24	外面煤付着
3	甕(H)	11.8	—	—	F		緻密	良好	淡褐色	覆土	1/24	
4	甕(H)	16.0	—	—	C	j	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/2	外面煤付着
5	甕(H)	25.2	—	—	G(2)	o	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/4	

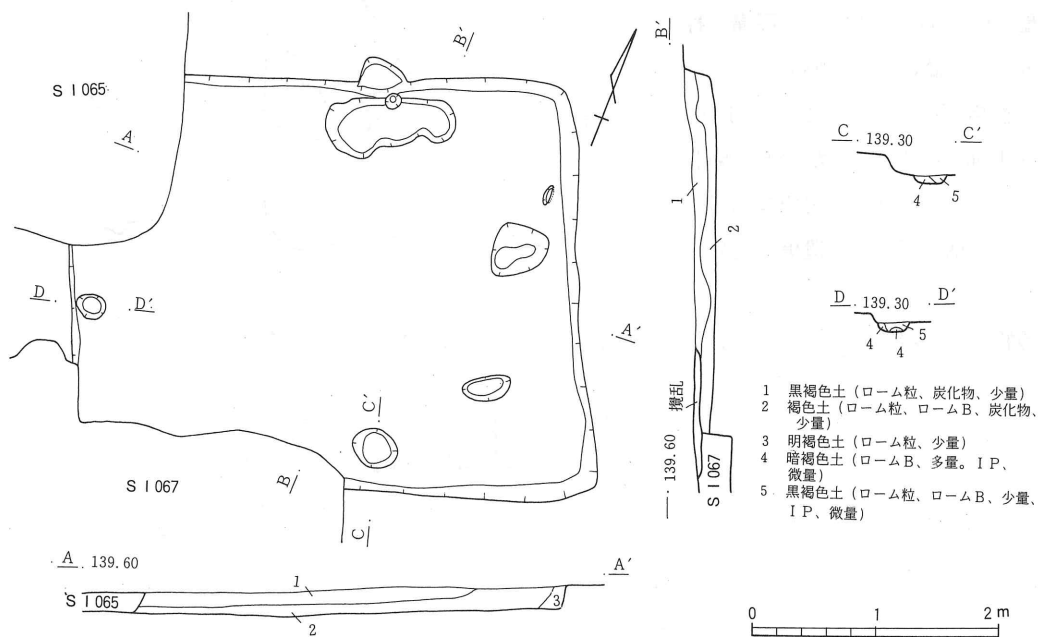
第67表 S I 065土器観察表



4 第156図 S I 065出土土器

S I 066

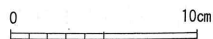
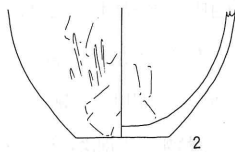
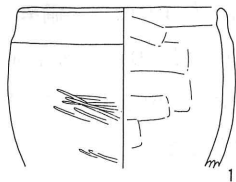
位置 南地区H-12グリッド 平面形 3.3×4.1mの横長方形 方位 住居：N24°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山 壁 70~75° 深さ20cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 S I 065に切られ、S I 067を切る。遺物 土師器鉢1・甕1



第157図 S I 066

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	鉢(H)	11.0	-	-	B(1)	e	緻密	良好	暗赤褐色	覆土	1/5	
2	甕(H)	-	-	5.0		b	小砂粒	良好	暗赤褐色	覆土	1/18	外面煤付着

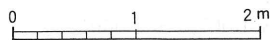
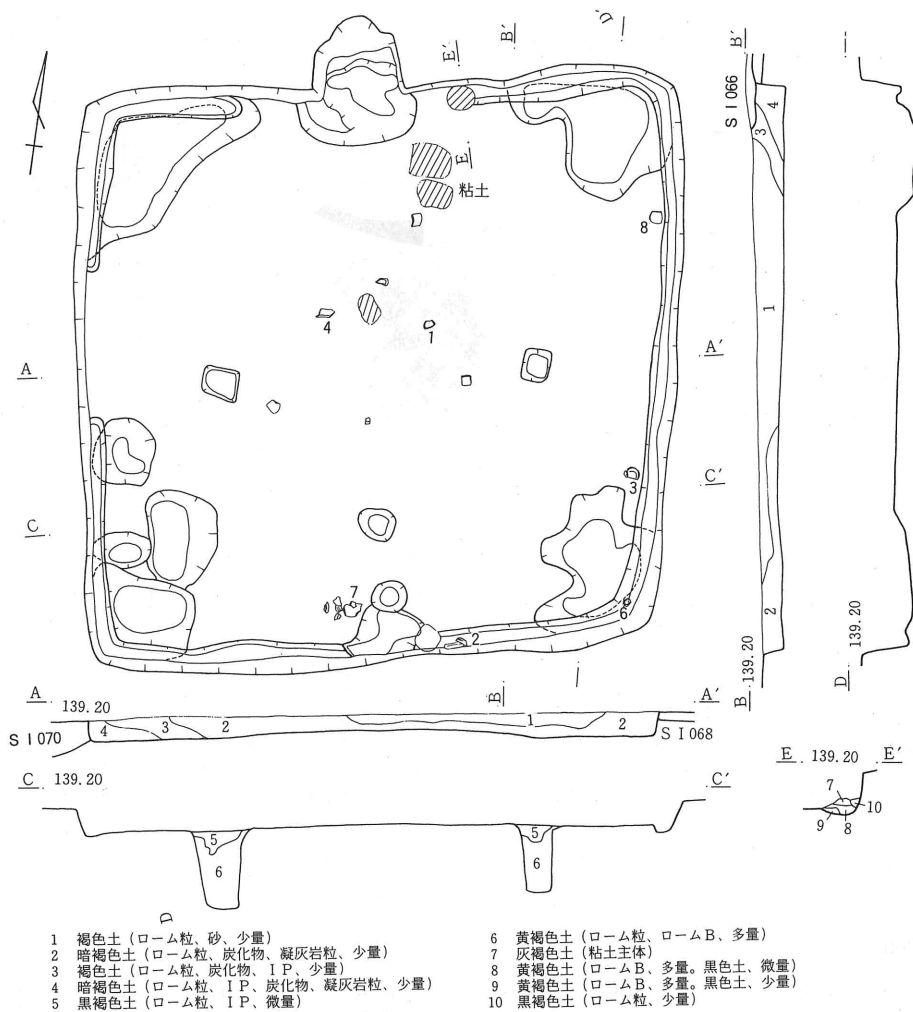
第68表 S I 066土器観察表



第158図 S I 066出土土器

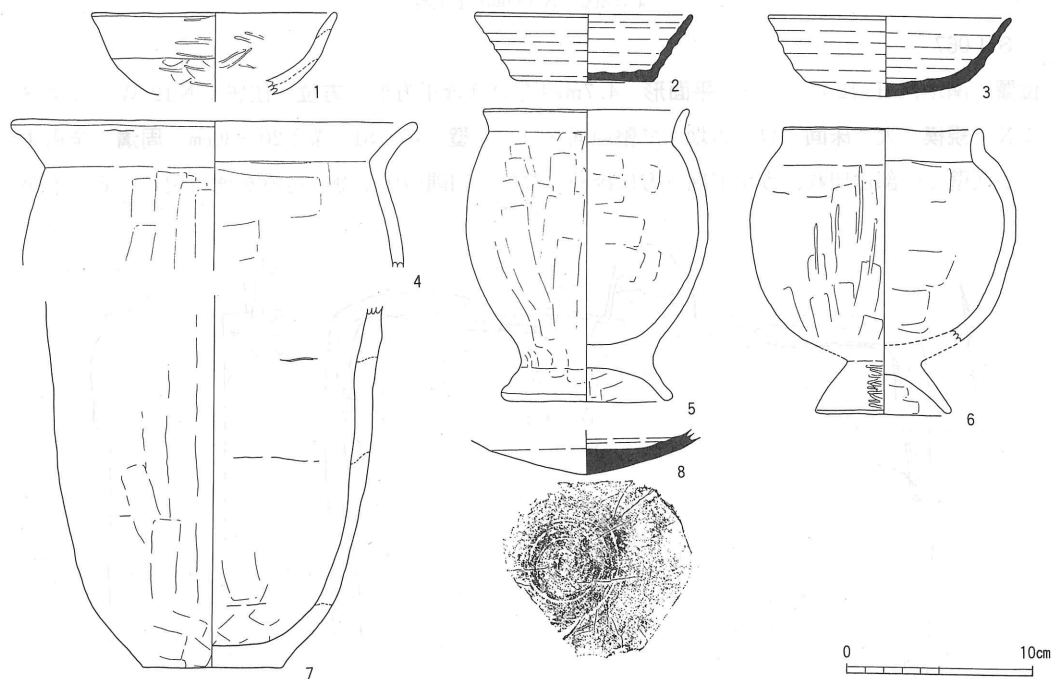
S I 067

位置 南地区H-12グリッド 平面形 4.7m四方のほぼ正方形 方位 住居：N12°W カマド
：N 規模 大 床面 ローム地山で堅い面あり。壁 79~81° 深さ20~30cm 周溝 全周するが西壁で一部途切れ、カマド掘り方に接続しない。四隅の床下掘り込みを埋め戻し、その上か



第159図 S I 067

ら周溝を切っている。柱穴 東西中心軸線上に2本。棟持柱。掘り方は方形。備考 南壁中央床面に土坑1（出入口施設に伴うものか？）周溝を切る。S I 066に切られる。S I 068, S I 070を切る。カマド 凸形とU字形の中間的な掘り方で燃焼部は壁外へ出るタイプ。焚口部中央に凝灰岩切石が1本みられる。遺物 土師器坏1・甕4, 須恵器坏2



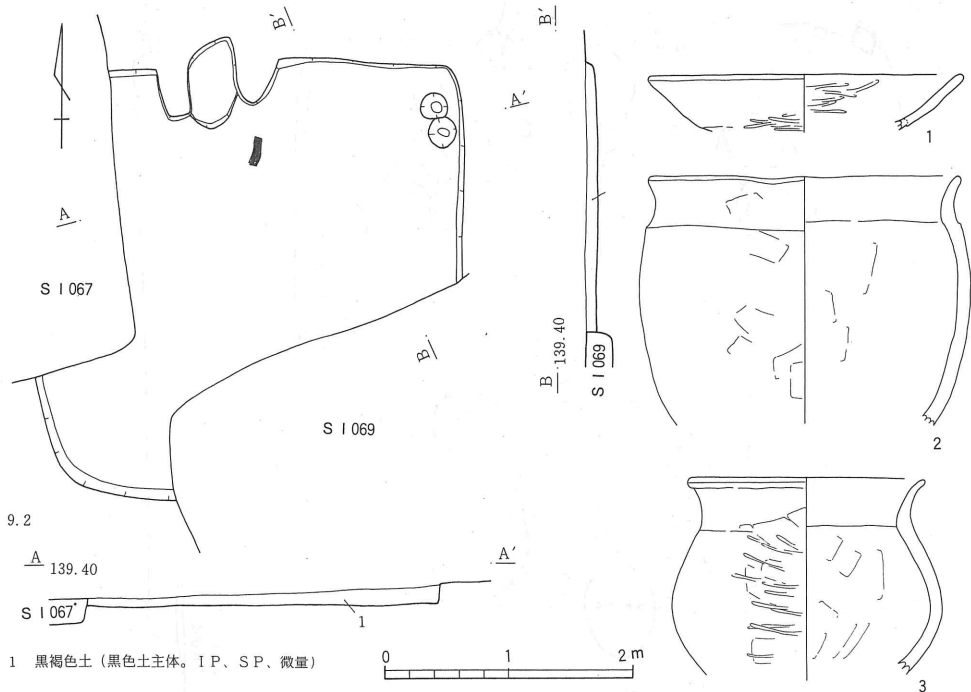
第160図 S I 067出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.2	—	—	H	a	小砂粒	良好	淡褐色	床面	1/4	
2	坏(S)	11.7	3.7	7.5	B	a	白雲母	良好	灰白色	覆土	4/5	
3	坏(S)	11.1	4.3	8.7	B	e	白色砂粒やや多	良好	青灰色	床面	完形	
4	甕(H)	21.2	—	—	D(1)	a	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/12	
5	甕(H)	11.0	15.5	9.2	F	a	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	2/3	脚部粘土付着
6	甕(H)	10.7	15.2	7.3	F	a	石英, 小砂粒	良好	暗赤褐色	カマド	2/3	2次焼成
7	甕(H)	—	—	13.3	D(1)	a	砂粒, 小石やや多	良好	淡褐色	カマド	1/16	外面煤付着
8	(S)	—	—	—		a	白色砂粒, 小石	良好	青灰色	床面		

第69表 S I 067土器観察表

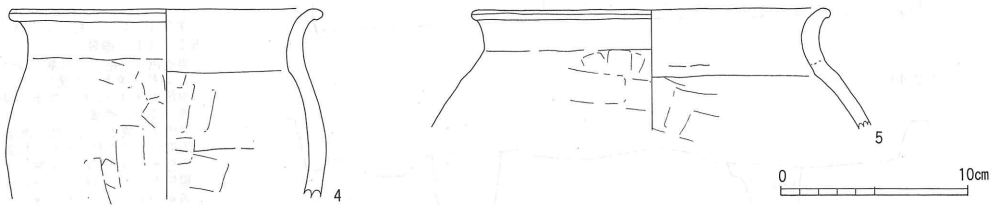
S I 068

位置 南地区G-12グリッド 平面形 3.5m四方のほぼ正方形と推定される。方位 住居：N 0° カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 88° 深さ10cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 S I 067, S I 069に切られる。遺物 土師器高坏1・甕4



1 黒褐色土（黒色土主体。IP、SP、微量）

第161図 S I 068



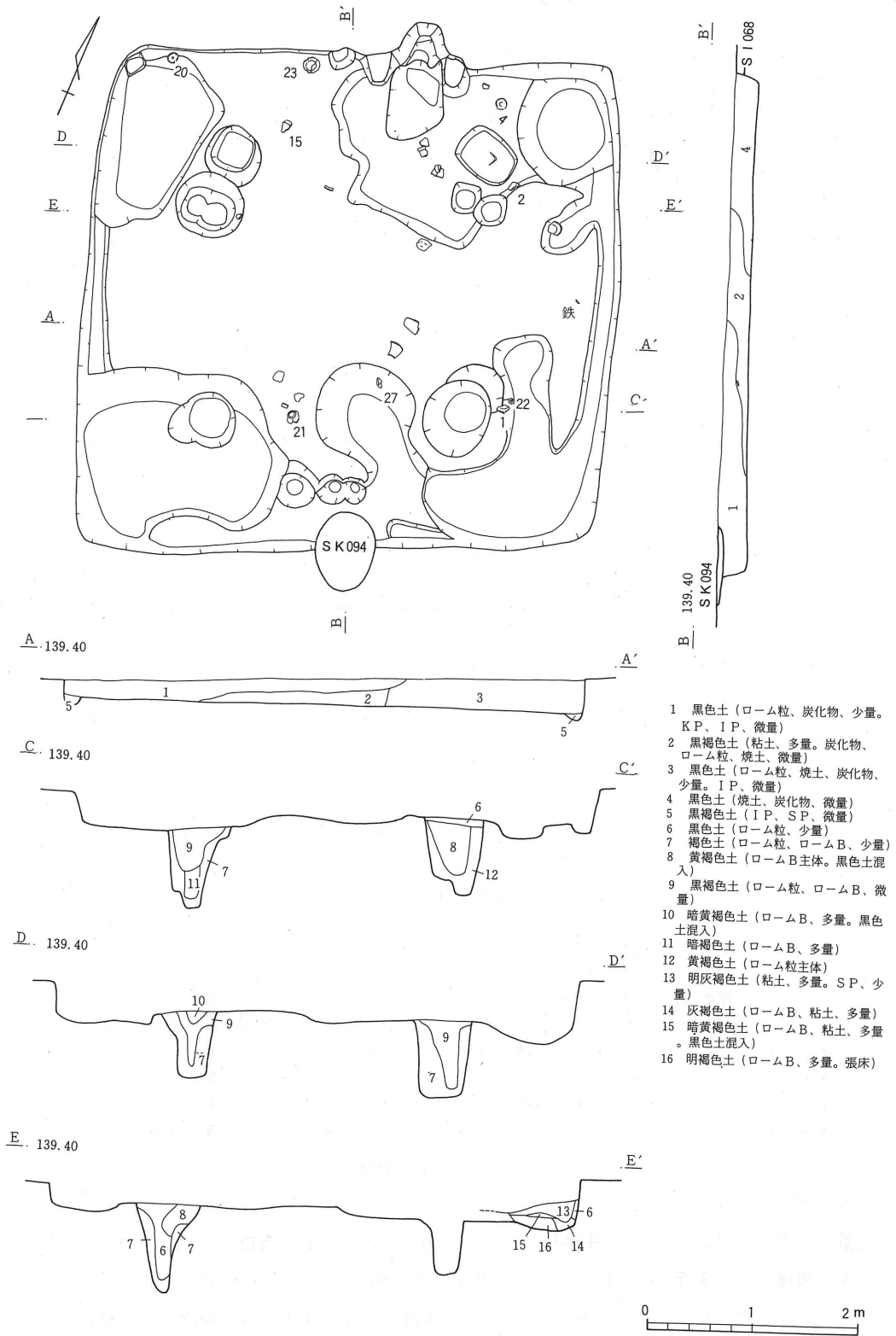
第162図 S I 068出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態 分類	成・整形 手法 分類	胎土	焼成	色調	出土 状態	残存 量	備考
		口径	器高	底径								
1	高坏(H)	16.8	—	—	A		石英, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/8	内黒
2	甕(H)	16.8	—	—	D	i	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/4	
3	甕(H)	12.6	—	—	A	b	石英, 雲母, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/3	
4	甕(H)	16.8	—	—	C	b	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/16	
5	甕(H)	19.4	—	—	A	b	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/18	

第70表 S I 068土器観察表

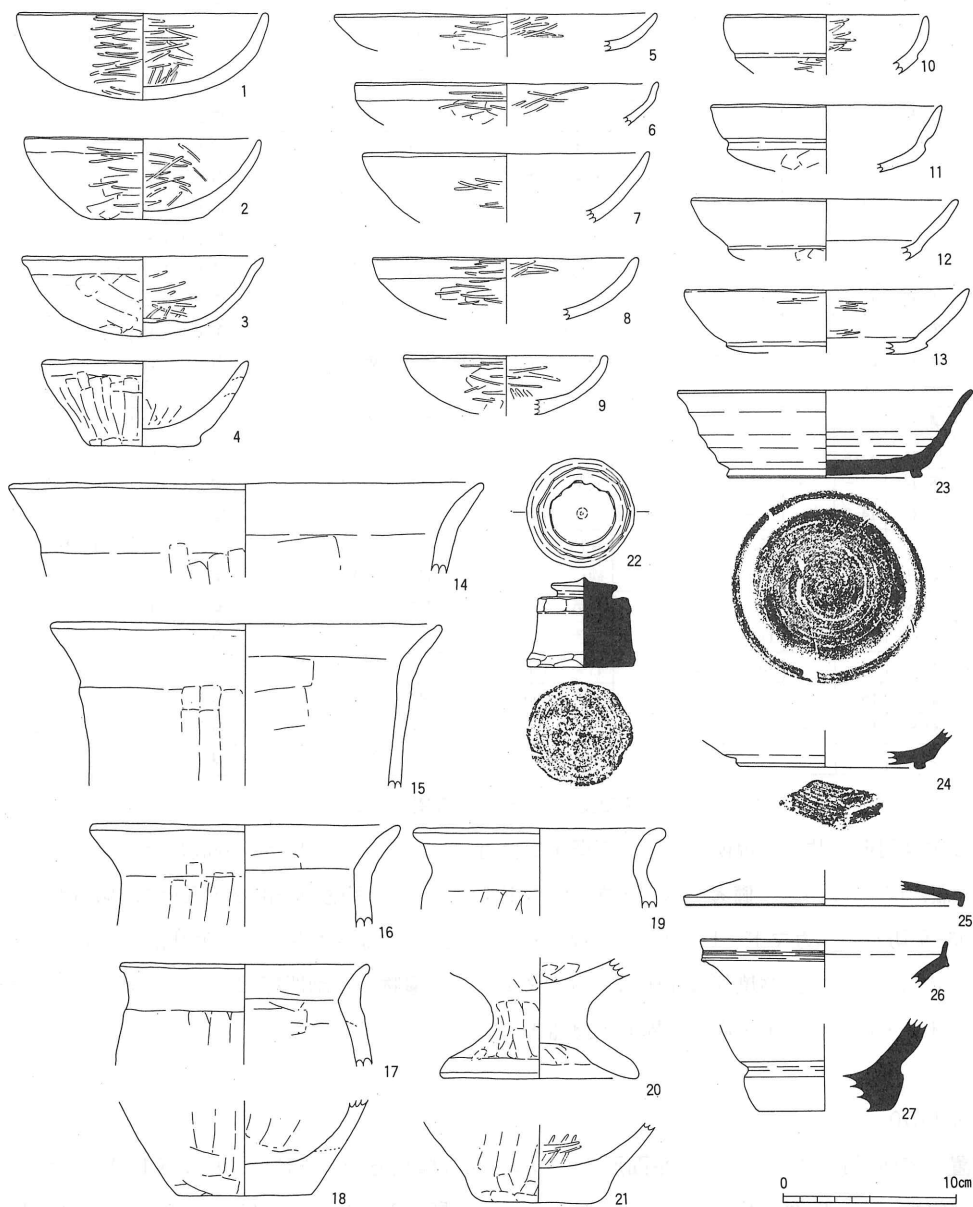
S I 069

位置 南地区G-13グリッド 平面形 5.0×4.8mのほぼ正方形 方位 住居：N20°E カマド：N 規模 大 床面 中央付近がローム地山で堅い面がある。四隅床下掘り込み上は黒色土混じりの貼床が施されている。壁 74~89°ほぼ垂直で明瞭。深さ30cm 周溝 東西壁際に明瞭。四隅床下掘り込みに接続する。柱穴 4本スクエアに配する。北側2本の掘り方は、方形、南



- 1 黒色土 (ローム粒、炭化物、少量。KP、IP、微量)
- 2 黒褐色土 (粘土、多量。炭化物、ローム粒、焼土、微量)
- 3 黒色土 (ローム粒、焼土、炭化物、少量。IP、微量)
- 4 黒色土 (焼土、炭化物、微量)
- 5 黒褐色土 (IP、SP、微量)
- 6 黒色土 (ローム粒、少量)
- 7 褐色土 (ローム粒、ロームB、少量)
- 8 黄褐色土 (ロームB主体。黒色土混入)
- 9 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、微量)
- 10 暗黄褐色土 (ロームB、多量。黒色土混入)
- 11 暗褐色土 (ロームB、多量)
- 12 黄褐色土 (ローム粒主体)
- 13 明灰褐色土 (粘土、多量。SP、少量)
- 14 灰褐色土 (ロームB、粘土、多量)
- 15 暗黄褐色土 (ロームB、粘土、多量。黒色土混入)
- 16 明褐色土 (ロームB、多量。張床)

第163図 S I 069



第164図 S I 069出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.3	5.0	—	G	a	白色砂粒やや多	良好	黒褐色	覆土	1/2	
2	坏(H)	13.6	4.7	6.2	I	a	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/2	
3	坏(H)	13.8	4.6	—	H	d	石英, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/2	内黒
4	坏(H)	11.8	4.9	5.9	I	h	石英, 砂粒多	良好	褐色	覆土	完形	

第71表 S I 069土器観察表(1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
5	皿(H)	19.6	2.2	—	A(2)	a	小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/8	
6	坏(H)	17.6	—	—	C	a	小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/8	
7	坏(H)	16.6	—	—	G	a	石英, 小砂粒やや多	不良	褐色	覆土	1/5	
8	坏(H)	15.4	3.7	—	E	a	石英, 砂粒やや多	良好	暗赤褐色	覆土	1/3	
9	坏(H)	11.8	3.5	—	E	a	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/4	
10	坏(H)	11.8	—	—	F(1)	c	緻密	良好	外黒褐色, 内黒色	覆土	1/8	内黒
11	坏(H)	13.4	4.1	—	F(1)	h	緻密	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/5	
12	坏(H)	15.4	—	—	F(2)	a	砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/4	内黒
13	坏(H)	16.4	3.7	—	F(2)	h	黒色粒	良好	乳白色	覆土	1/6	内黒?
14	甕(H)	27.4	—	—	E(1)	a	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
15	甕(H)	22.6	—	—	E(1)	a	石英, 砂粒やや多	良好	黒褐色	覆土	1/18	2次焼成
16	甕(H)	17.8	—	—	D(2)	a	砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/18	
17	甕(H)	14.2	—	—	D(2)	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	
18	甕(H)	—	—	7.8		a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	外面煤付着
19	甕(H)	14.2	—	—	D(2)	a	小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/18	
20	甕(H)	—	—	5.8	F	a	砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	台部に粘土付着
21	甕(H)	—	—	6.2		a	砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/18	
22	(S)	23.0	35.6	6.5			石英, 砂粒やや多	良好	青灰色	覆土	完形	
23	高台(S)	16.9	5.0	11.3	A(2)	c	白色砂粒, 小石	良好	青灰色	覆土	4/5	
24	高台(S)	—	—	10.8	A(2)	c	石英, 小砂粒やや多	良好	灰白色	覆土	1/6	
25	蓋(S)	16.0	—	—			石英, 小砂粒やや多	良好	灰白色	覆土	1/6	
26	壺(S)	14.4	—	—	A		小砂粒	良好	青灰色	覆土	1/24	口縁部に2条沈線
27	鉢(S)	—	—	7.6			白色砂粒やや多	良好	青灰色	覆土	1/4	

第72表 S I 069土器観察表(2)

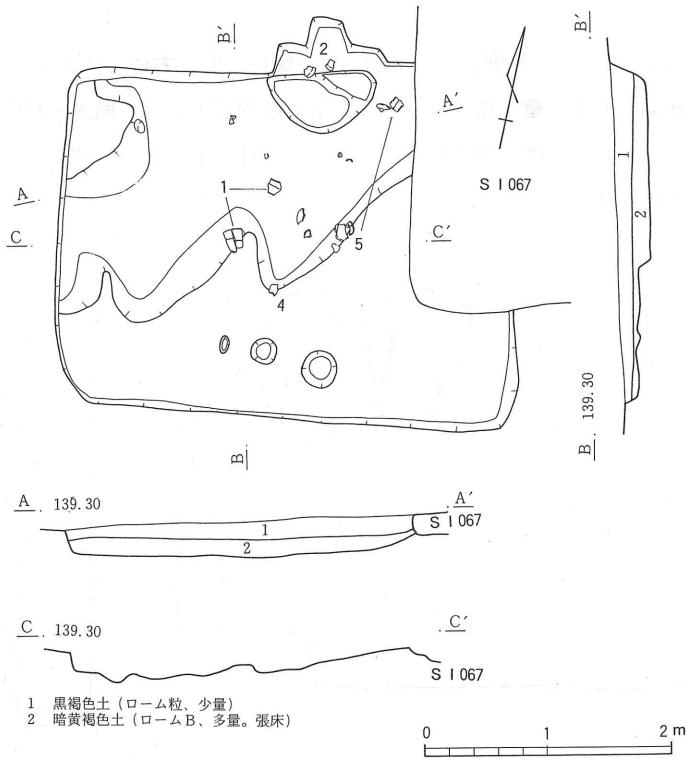
側2本は円形。共に大規模である。南壁中央付近にピット3本(出入口施設に伴うものか?)他には認められない。備考 床下の掘り方は複雑である。南壁の一部がS K 094に切られる。S I 068を切る。カマド U字形であるが右ソデ基部には掘り込み、左ソデ基部にはローム地山の造り出しをもち、燃焼部は住居内にあるタイプ。遺物 土師器坏12・皿1・甕8・須恵器高台付坏2・鉢1・蓋1・壺1・異形須恵器1

S I 070

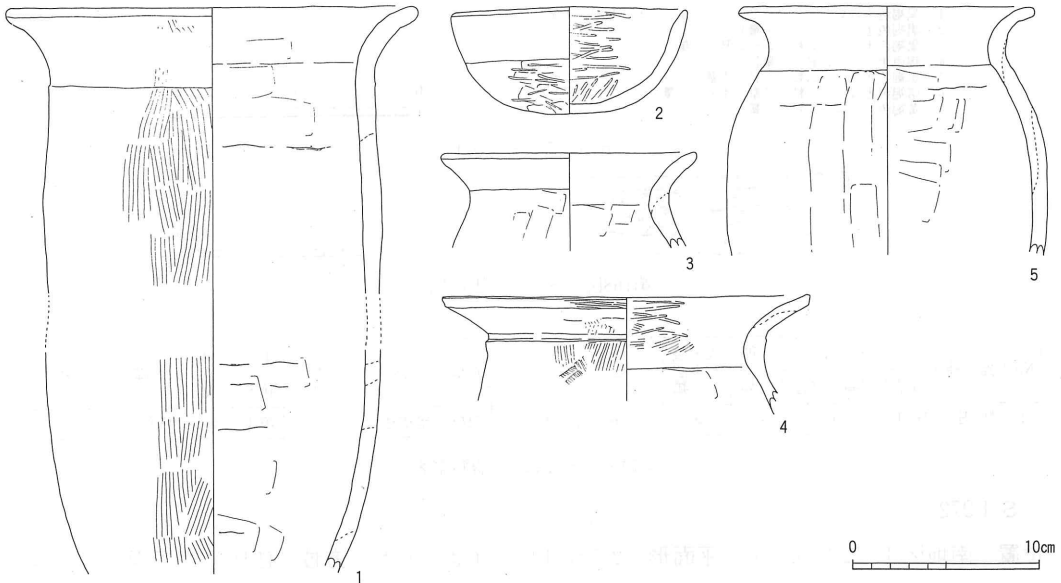
位置 南地区H-13グリッド 平面形 2.7×3.5mの横長方形 方位 住居: N13°W カマド: N 規模 中 床面 貼床 特に北半分が深い。壁 63~69° 深さ15cm 浅いわりには明瞭である。周溝・柱穴 共に認めず。南側にピット3本(出入口施設に伴うものか?) 備考 床下の掘り込みは複雑である。S I 067に切られる。遺物 土師器坏1・甕4

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	22.0	—	—	E(1)	e	雲母, 黒色粒	良好	褐色	カマド	1/3	外煤, 粘土付着
2	坏(H)	12.6	5.7	—	G	c	石英, 小砂粒	良好	外黒褐色, 内黒色	カマド	1/2	内黒
3	甕(H)	13.4	—	—	C	a	雲母, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	外煤付着
4	甕(H)	19.6	—	—	D	e	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/18	
5	甕(H)	16.0	—	—	C	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	床面	1/8	

第73表 S I 070土器観察表



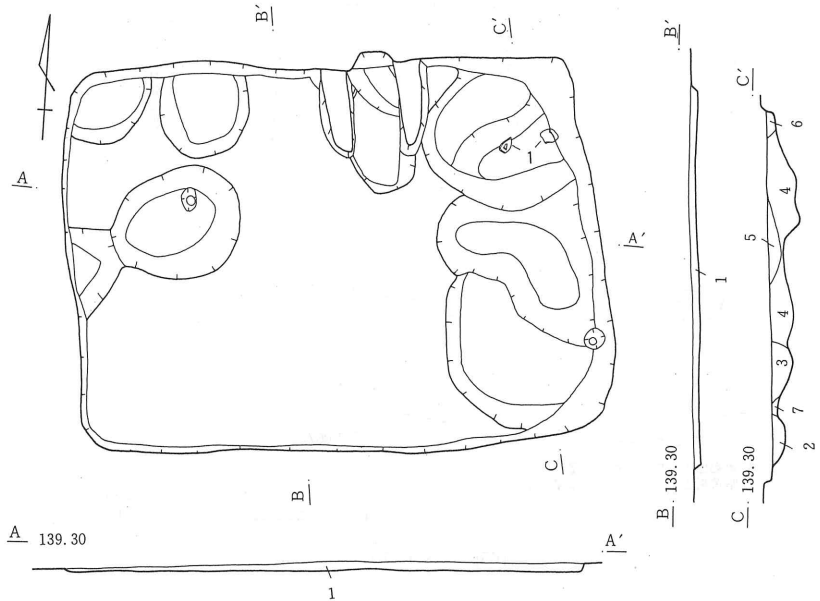
第165図 S I 070



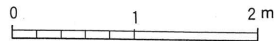
第166図 S I 070出土土器

S I 071

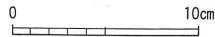
位置 南地区H-12グリッド 平面形 3.1×4.3mの横長方形 方位 住居：N10°W カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 深さ8cmと浅く壁角度測定不能。周溝・柱穴 共に認めず。
備考 南西コーナーを除き各隅に床下掘り込みがあり、特に東側は二つ続いて一つの掘り込みとなる。遺物 土師器坏1



- 1 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。IP、KP、少量)
- 2 黒褐色土 (ロームB、少量)
- 3 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、少量)
- 4 褐色土 (ロームB、少量)
- 5 黒色土 (ローム粒、IP、少量)
- 6 暗褐色土 (ローム粒、多量。IP、少量)
- 7 黄褐色土 (ローム粒、少量)



第167図 S I 071



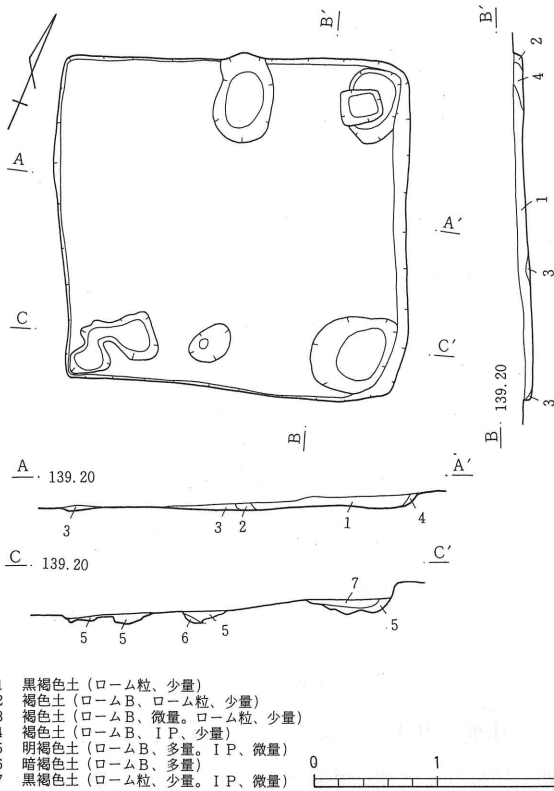
第168図 S I 071出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	16.1	4.2	-	G	a	黒色粒, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	4/5	煤付着

第74表 S I 071土器観察表

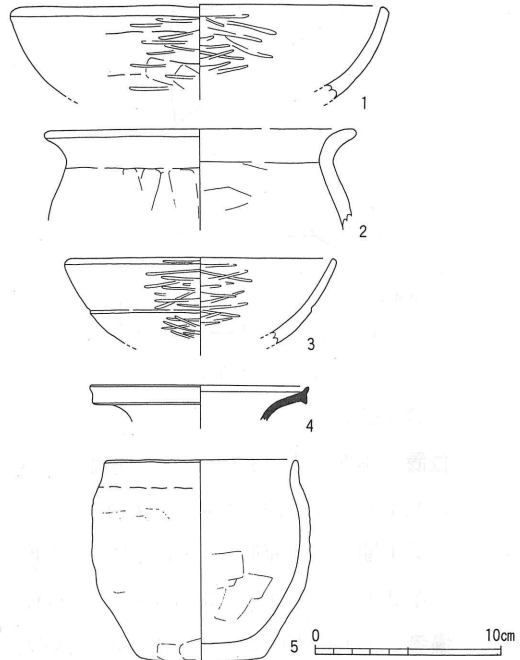
S I 072

位置 南地区I-12グリッド 平面形 2.7m四方のほぼ正方形 方位 住居：N25°W カマド：N 規模 小 床面 貼床 壁 深さ10cm。特に西側は2cmと浅く壁角度測定不能。周溝・柱穴 共に認めず。備考 北西を除き各隅と中央部に床下掘り込みがあるがいずれも10cm前後



第169図 S I 072

と浅い。南壁中央部にピット（出入口施設に伴うものか？） 遺物 土師器坏
2・鉢1・甕1，須恵器壺1



第170図 S I 072出土土器

- 1 黒褐色土（ローム粒、少量）
- 2 褐色土（ロームB、ローム粒、少量）
- 3 褐色土（ロームB、微量、ローム粒、少量）
- 4 褐色土（ロームB、I P、少量）
- 5 明褐色土（ロームB、多量、I P、微量）
- 6 暗褐色土（ロームB、多量）
- 7 黒褐色土（ローム粒、少量、I P、微量）

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	20.4	-	-	G	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/4	
2	甕(H)	16.8	-	-		a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	
3	坏(H)	14.6	-	-	F(1)	a	雲母	良好	褐色	覆土	1/4	
4	壺(S)	12.0	-	-	A		緻密	良好	外緑色, 内青灰色	覆土	1/24	外自然釉付着
5	鉢(H)	10.5	10.8	6.8	B(2)	g	小石, 砂粒多	不良	赤褐色	覆土	1/2	2次焼成

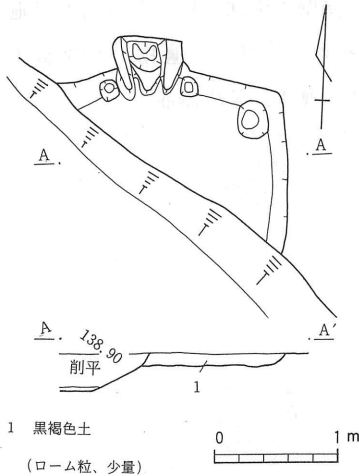
第75表 S I 072土器観察表

S I 073

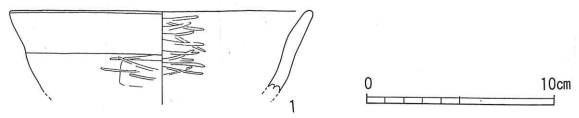
位置 南地区 I-13グリッド 平面形 北東部コーナー以外は削平されており不明。 方位 住居：N 0° カマド：N 規模 小？ 床面 ローム地山 壁 68° 深さ20cm。 周溝・柱穴 残存している遺構には認められない。 備考 北東コーナー部にピット。住居跡の大部分を後世に水田造成のための削平によって破壊されている。 遺物 土師器坏1

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	16.2	-	-	H	c	石英, 小砂粒	良好	橙褐色	覆土	1/6	

第76表 S I 073土器観察表



1 黒褐色土
(ローム粒、少量)
第171図 S I 073



第172図 S I 073出土土器

S I 074

位置 南地区J-13グリッド 方位 住居：N05°E カマド：N

最低1回の建て替えがあり、拡張されている。

第1期 平面形 3.8m四方 規模 中 床面 貼床 周溝 有 柱穴 2本

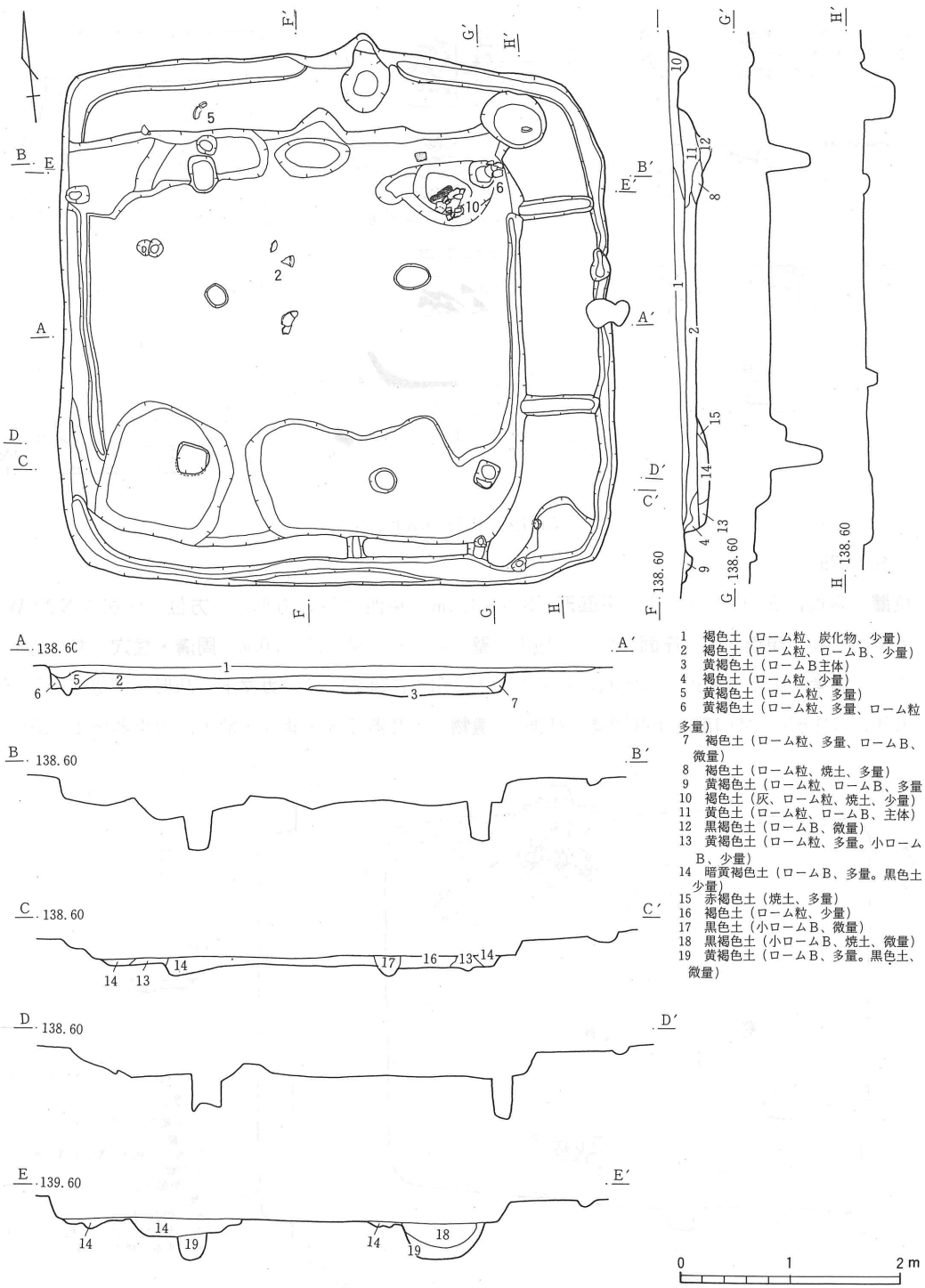
第2期 平面形 3.9m四方 規模 大 床面 貼床 周溝 有 柱穴 4本

備考 拡張は南西コーナーを中心に西壁、南壁を共有して北側、東側へ行われている。第1期の住居は四隅に床下掘り込みを持ち、掘り方は不規則である。第2期については拡張した北東、南東コーナーにあるが浅く粗雑な印象を受ける。東に拡張した床面に間仕切り状の溝が切られる。

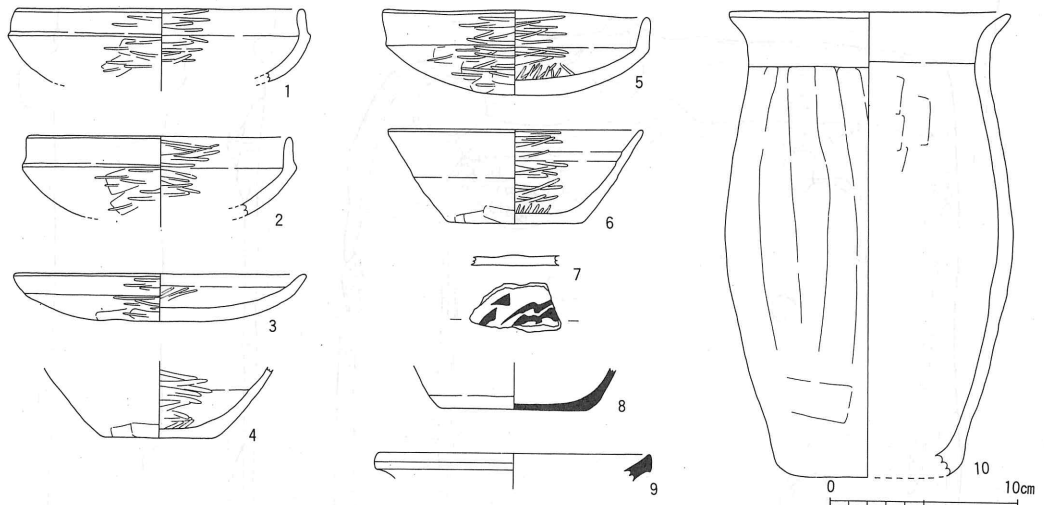
遺物 土師器坏7・甕1，須恵器坏1・壺1

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	15.4	—	—	C	a	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	漆附着?
2	坏(H)	14.2	—	—	C	c	石英, 小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/4	内黒?
3	皿(H)	15.7	2.5	—	A	a	小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/6	内黒
4	坏(H)	—	—	6.0	J	n	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	内黒
5	坏(H)	14.5	4.5	—	C	a	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	4/5	漆附着
6	坏(H)	13.6	5.0	7.0	J(2)	n	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	内黒?
7	坏(H)	—	—	—	J	n	緻密	良好	外褐色, 内黒色	覆土	破片	墨書, 内黒色処理
8	坏(S)	—	—	8.0		b	緻密	良好	外灰色, 内赤色	覆土	1/6	内側赤色顔料附着
9	壺(S)	14.8	—	—	A		緻密	良好	暗灰色	覆土	1/32	
10	甕(H)	15.0	24.9	8.0	D(2)	j	石英, 小砂粒	良好	橙褐色	覆土	2/3	2次焼成

第77表 S I 074土器観察表



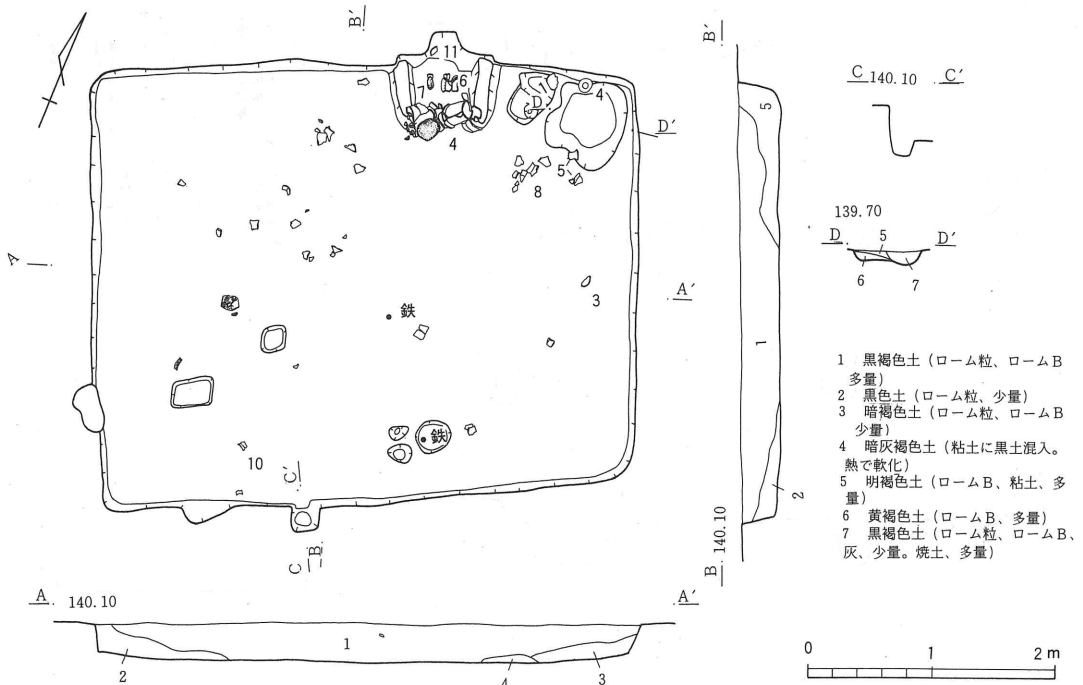
第173图 S I 074



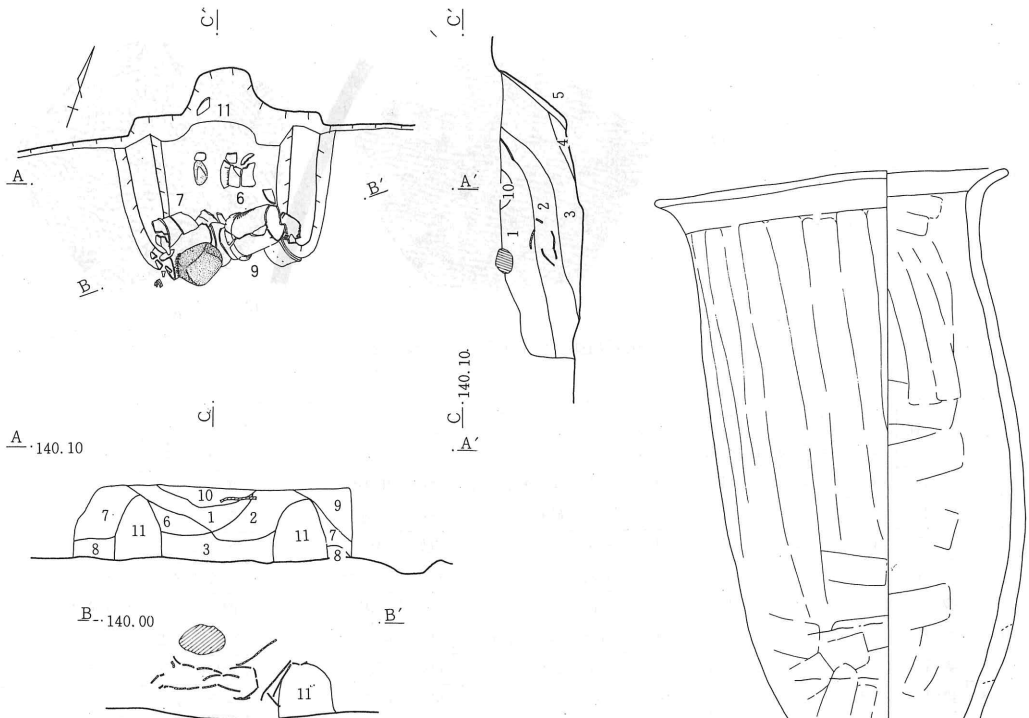
第174図 S I 074出土土器

S I 075

位置 南地区E-13グリッド 平面形 3.6×4.4mの東西に長い方形。 方位 住居：N23°W
 カマド：N 規模 中 床面 ローム地山 壁 65~85° 深さ25~30cm 周溝・柱穴 共に認めず。
 備考 南側の壁近くの床面にピット3本（出入口施設か？）カマド 凸形で煙道部以外の
 大部分は住居内。焚口を土師器甕の補強。 遺物 土師器坏3・甕6・甑1，須恵器坏1・甕1



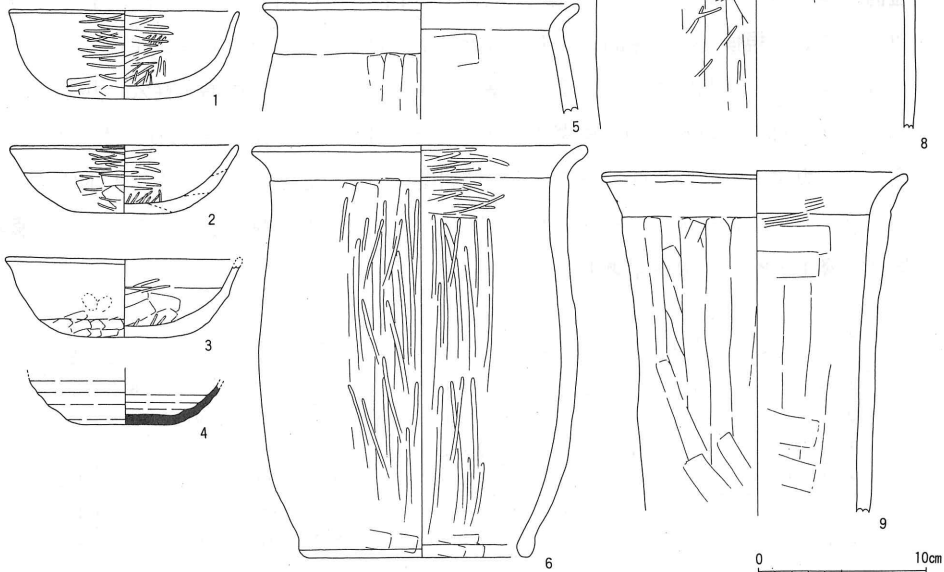
第175図 S I 075



- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 褐色土 (ローム粒、粘土、炭化物) | 6 赤褐色土 (焼土) |
| 2 暗褐色土 (ローム粒、炭化物) | 7 褐色土 (粘土、焼土少量) |
| 3 褐色土 (焼土混入) | 8 黄褐色土 (炭化物混入) |
| 4 赤褐色土 (焼土、炭化物) | 9 黒褐色土 (ローム粒、) |
| 5 灰褐色土 (粘土) | 10 褐色土 (粘土多量) |

0 1 m

第176図 S I 075カマド



第177図 S I 075出土土器 (1)



第178図 S I 075出土土器 (2)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.6	5.3	—	H	a	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/2	
2	坏(H)	13.6	4.0	—	H	a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/3	
3	坏(H)	14.0	4.6	—	H	d	石英, 砂粒	良好	褐色	カマド	4/5	
4	坏(S)	—	—	5.5			緻密	良好	灰白色	床面	2/3	
5	甕(H)	18.8	—	—	D	a	砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/24	2次焼成
6	甕(H)	20.0	24.5	14.0		d	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	カマド	1/2	
7	甕(H)	21.2	35.9	7.2	D(1)	j	石英, 砂粒	良好	褐色	カマド	完形	2次焼成
8	甕(H)	21.6	—	—	D	b	石英, 砂粒多	良好	褐色	覆土	1/6	
9	甕(H)	13.2	—	—	D(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	カマド	2/3	2次焼成
10	甕(H)	13.2	—	—	D	b	砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/18	
11	甕(H)	17.6	—	—	D	a	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	カマド	1/18	
12	甕(S)	—	—	—		d	白色砂粒	良好	暗灰色	覆土	破片	

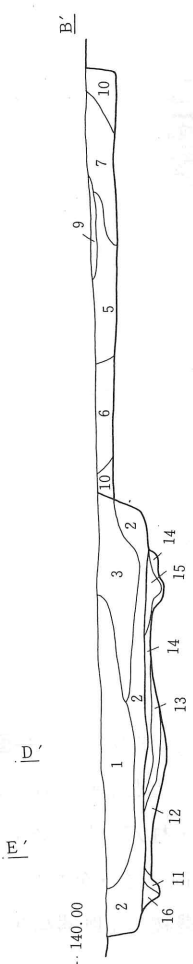
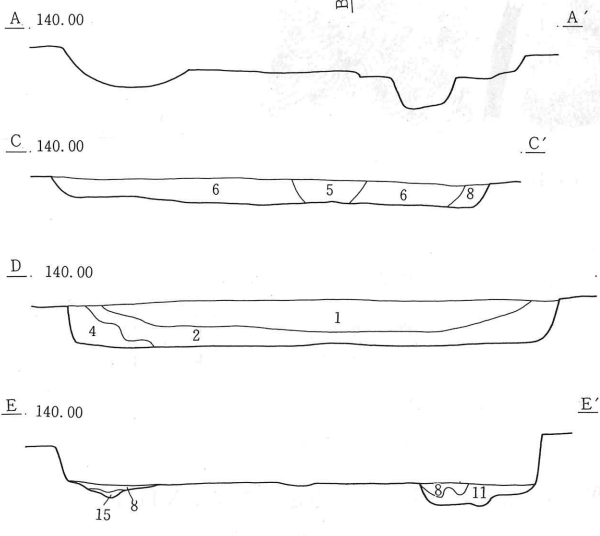
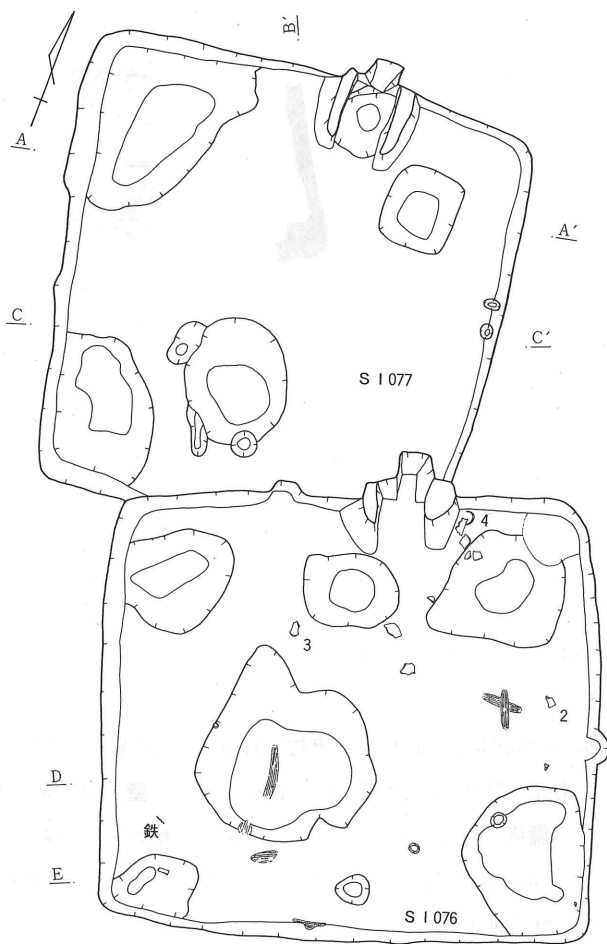
第78表 S I 075土器観察表

S I 076

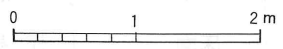
位置 南地区E-14グリッド 平面形 3.6×4.1mの若干東西に長い方形 方位 住居：N20°W
 カマド：N 規模 中 床面 中央部付近に堅いローム床あり。周囲は黒色土とロームブロック
 の混成土によって貼床されている。壁 74~85° 深さ50cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考
 四隅に床下掘り込みをもつ。南壁中央床にピット1本(出入口施設に伴うものか?) S I 077を
 切る。カマド 凸形の掘り方であるが住居壁への掘り込みは浅く、カマド本体は住居内に張り
 出すタイプ。当住居跡に先行するS I 077の埋土やロームに掘り込まれている。遺物 土師器
 坏3・甕1・甑1, 須恵器甕1, 鉄鏃2

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(S)	—	—	—			石英, 小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/4	
2	甕(H)	19.8	—	—	A(1)	b	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	内黒
3	坏(H)	11.6	4.0	—	F(1)	a	石英, 砂粒	良好	褐色	カマド	4/5	
4	坏(H)	12.5	4.5	—	G	a	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/2	
5	坏(H)	15.0	3.5	—	G	a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/3	
6	甕(H)	—	—	12.6	A(1)	b	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	

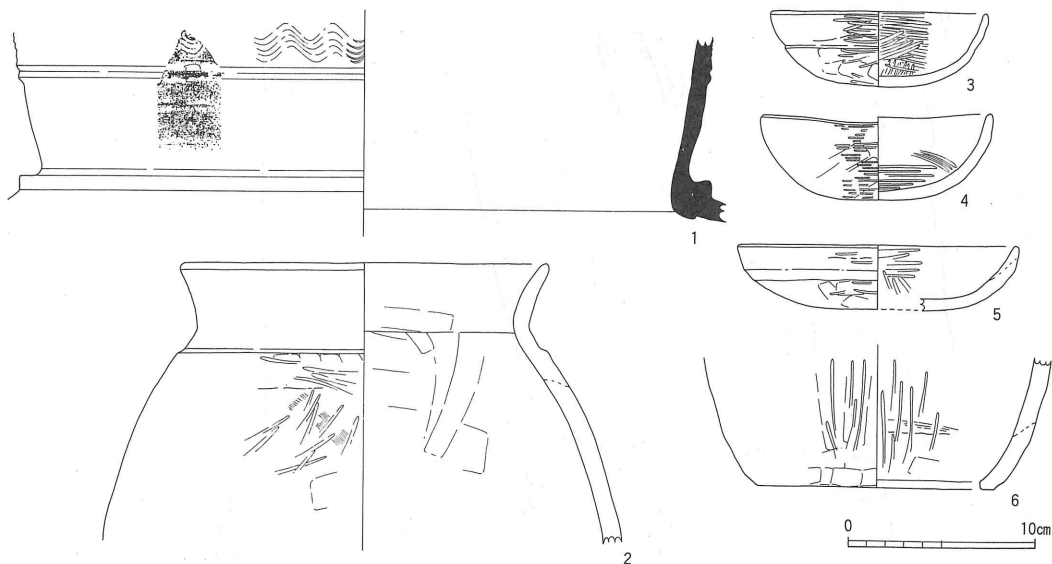
第79表 S I 076土器観察表



- 1 黑色土 (ローム粒、多量。I P、K P、炭化物、焼土、少量)
- 2 黑色土 (炭化物、多量。I P、K P、ローム粒、少量)
- 3 暗灰褐色土 (粘土、ローム粒、多量。ロームB、炭化物、少量)
- 4 黒褐色土 (ローム粒、多量。炭化物、少量。焼土、I P、微量)
- 5 黄褐色土 (ローム粒、炭化物、少量。ロームB、I P、微量)
- 6 黒褐色土 (炭化物、多量。ロームB、少量)
- 7 黒褐色土 (ローム粒、多量。灰、少量。焼土、I P、微量)
- 8 褐色土 (ローム粒、少量。I P、微量)
- 9 黑色土 (耕作土)
- 10 黒褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、微量)
- 11 黄褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。黑色土、微量)
- 12 黄色土 (ロームB主体)
- 13 黄褐色土 (ローム粒、多量。小ロームB、少量)
- 14 明灰褐色土 (粘土、ローム粒主体。焼土、炭化物、少量)
- 15 褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。焼土、炭化物、少量)
- 16 黒褐色土 (ローム粒、多量。炭化物、I P、K P、少量)



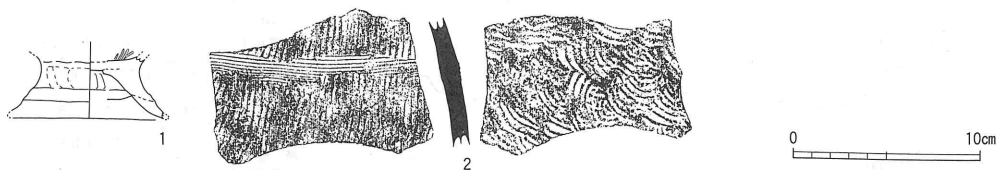
第179図 S I 076・077



第180図 S I 076出土土器

S I 077

位置 南地区E-13グリッド 平面形 3.6m四方の正方形 方位 住居：N12°W カマド：N
 規模 中 床面 殆どが堅いローム地山面。貼床は南西部に見られるのみ。 壁 58~85° 深さ
 14~24cm 周溝・柱穴 共に認めず。 備考 S I 076に切られている。 カマド 凸形の変形
 で右ソデ基部の掘り込みをもたない。下面の深い掘り込みをロームブロックを含む黒褐色土で
 張っている。 遺物 土師器高坏1，須恵器甕1



第181図 S I 077出土土器

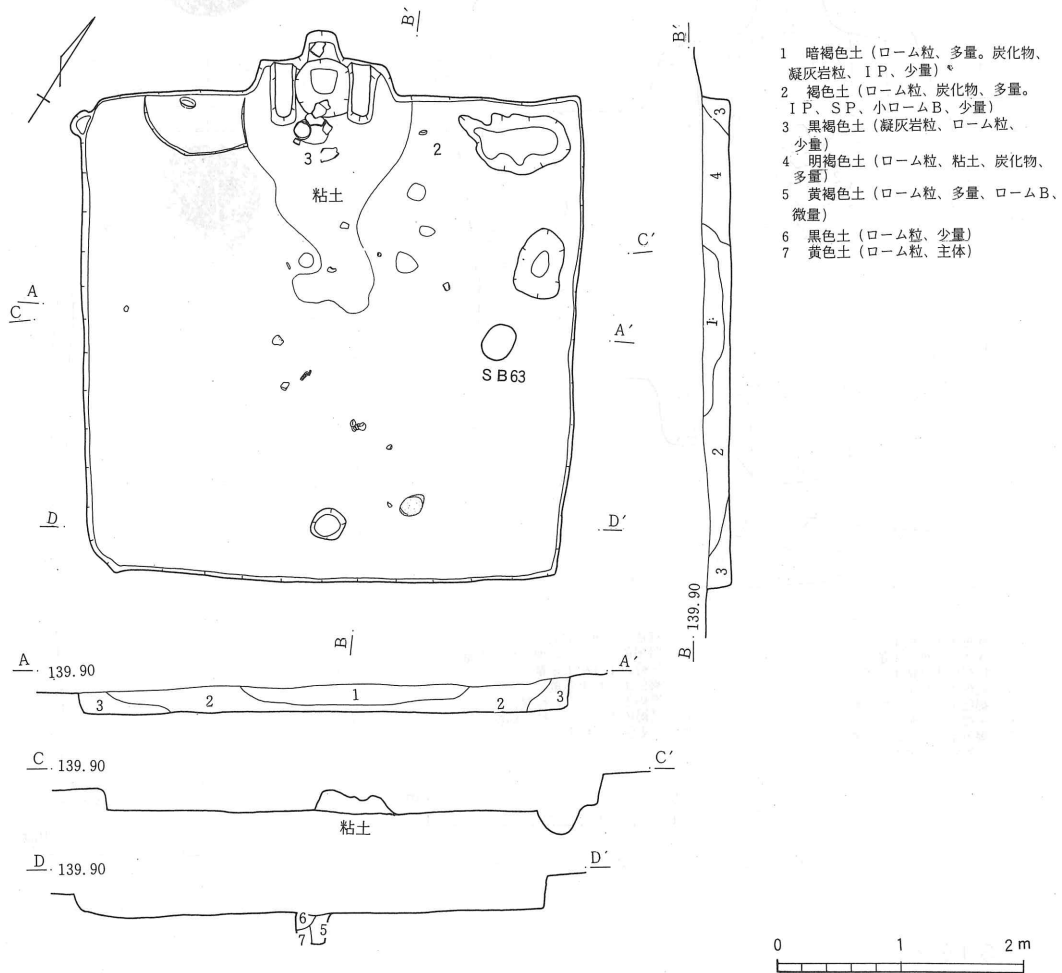
No.	器種	寸法 (cm)			形態 分類	成・整 形手法 分類	胎土	焼成	色調	出土 状態	残存 量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	-	-	8.4	F		砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	
2	甕(S)	-	-	-			小砂粒	良好	青灰色	覆土	1/16	

第80表 S I 077土器観察表

S I 078

位置 南地区F-13グリッド 平面形 4.0m四方の正方形 方位 住居：N11°E カマド：N
 規模 中 床面 ローム地山 壁 78~82° 深さ20~24cm 周溝・柱穴 共に認めず。南壁中央
 床面にピット（出入口施設か？） 備考 カマド両脇に床下掘り込みがあるが深くない。S B63

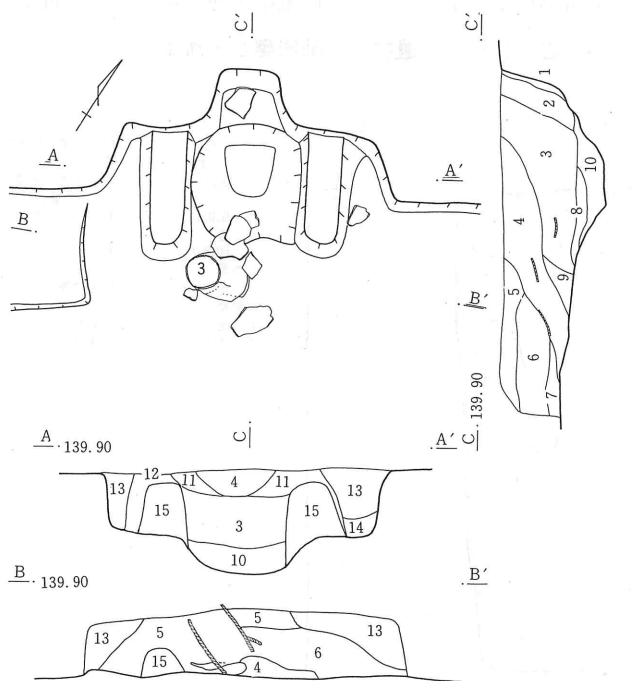
に切られる。カマド 凸形の掘り方で多量の粘土を用いている。燃烧部床面の掘り込みは埋められておらず、使用当ても窪んでいたものと思われる。遺物 土師器甕2・甑1



第182図 S I 078

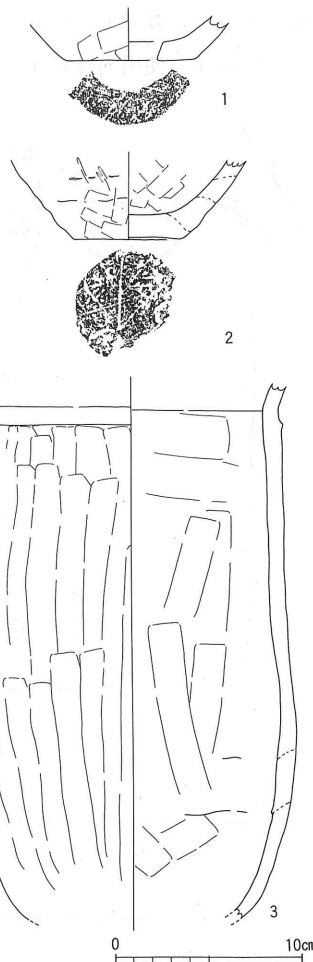
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甑(H)	-	-	7.0	B(2)	e	石英、砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/12	
2	甕(H)	-	-	6.0		a	石英、小砂粒	良好	褐色	覆土	1/16	木葉痕
3	甕(H)	-	-	-	D(1)	j	石英、砂粒、小石多	良好	褐色	カマド	2/3	

第81表 S I 078土器観察表



- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 灰褐色土 (粘土) | 9 褐色土 (焼土混入) |
| 2 褐色土 (焼土少量) | 10 暗褐色土 (ローム塊、焼土少量) |
| 3 灰褐色土 (粘土、焼土) | 11 灰褐色土 (粘土多量) |
| 4 褐色土 (粘土、ローム粒) | 12 褐色土 (粘土多量) |
| 5 褐色土 (ローム粒、粘土) | 13 黒褐色土 (ローム粒混入) |
| 6 灰褐色土 (粘土) | 14 黒褐色土 (ローム粒、粘質) |
| 7 褐色土 (ローム粒少量) | 15 灰褐色土 (粘土) |
| 8 赤褐色土 (焼土) | |

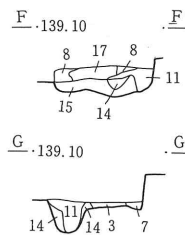
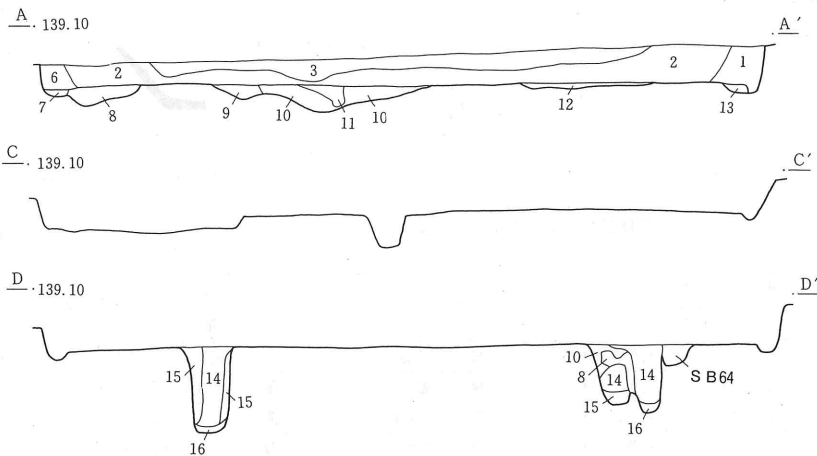
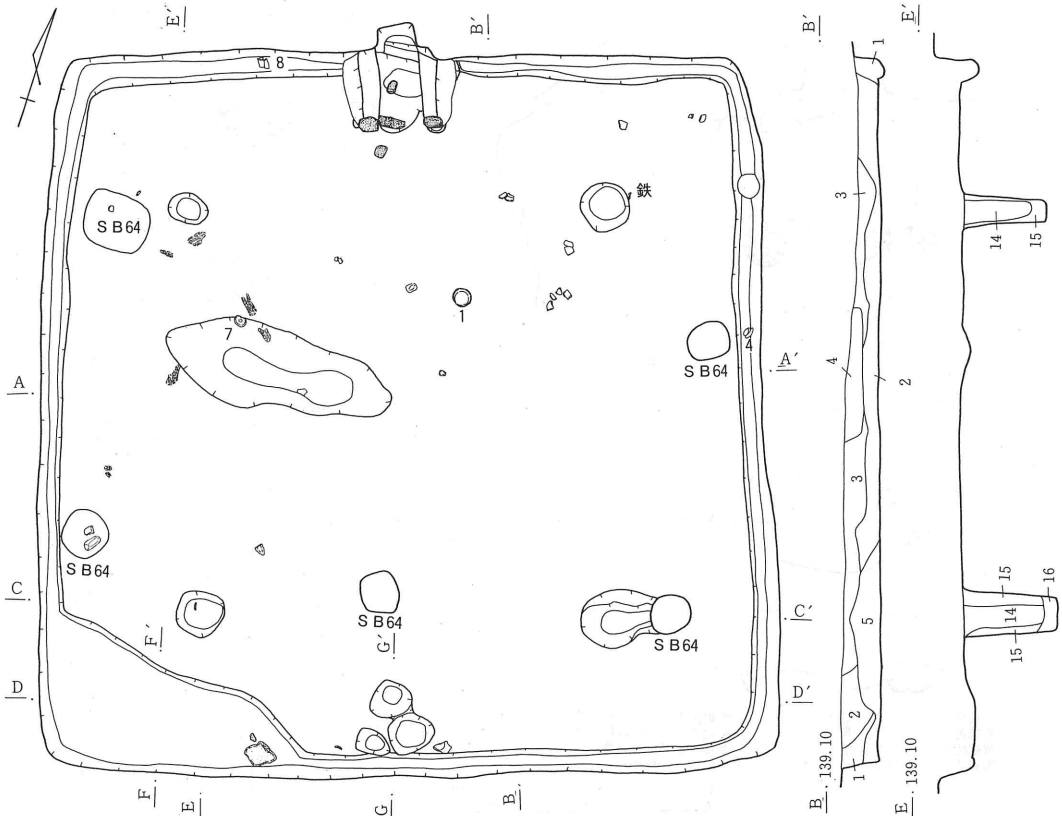
第183図 S I 078カマド



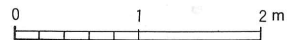
第184図 S I 078出土土器

S I 079

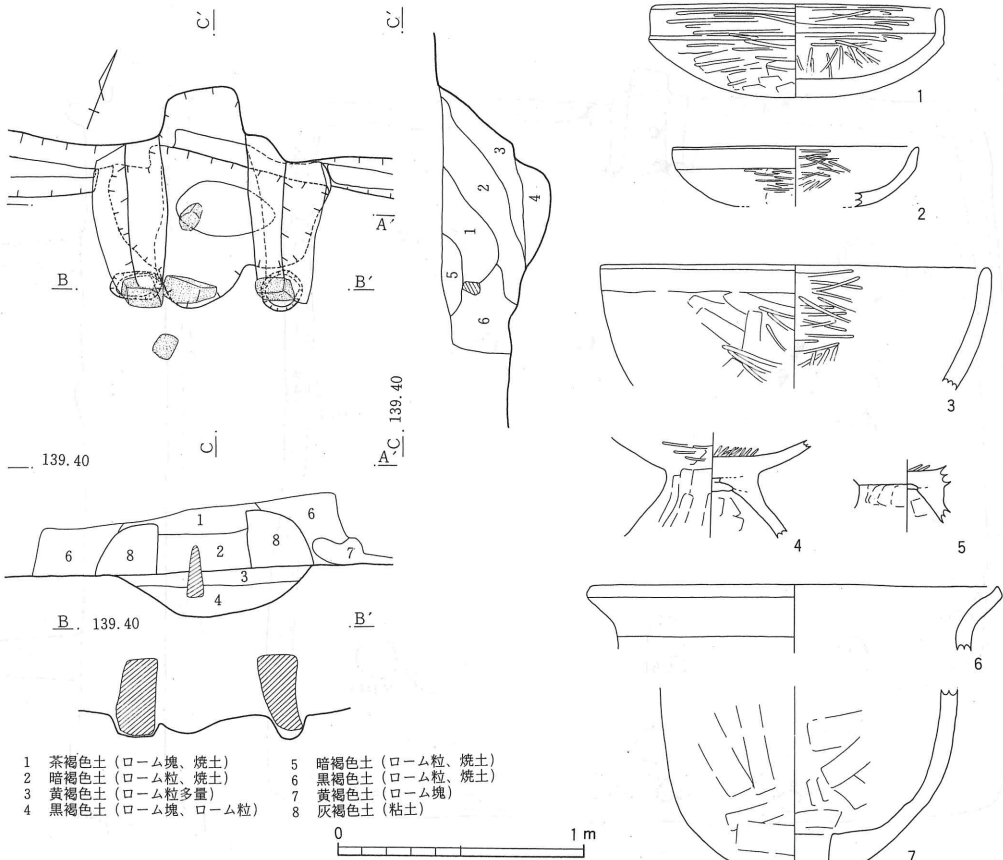
位置 南地区G-14グリッド 平面形 5.8m四方の正方形 方位 住居：N11°E カマド：N
 規模 大 床面 ローム地山 壁 80~83° 深さ20~32cm 周溝 全周するがカマドの掘り方に
 接続しない。南西コーナー部は拡幅し床下掘り込み状になる。 柱穴 4本スクエアに配する。
 南壁中央床面にピット3本 (出入口施設に伴うものか?) 備考 S B 64に切られる。 カマド
 凸形の掘り方で燃烧部は住居内に入るタイプ。ソデ前端に凝灰岩が貼り付き、焚口部を補強した
 ものと思われる。燃烧部中央に凝灰岩による支脚が立っている。これはピットに入らず、床下掘
 り込みに埋められて立っている。 遺物 土師器埴2・高埴2・鉢1・甕3・甑1, 須恵器埴1,
 鉄釘1



- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 黑色土 | 10 明褐色土 (ローム粒、ロームB、多量) |
| 2 黒褐色土 (ローム粒、少量) | 11 褐色土 (ローム粒、多量。小ロームB、少量) |
| 3 黒色土 (ローム粒、微量) | 12 褐色土 (ローム粒、多量。小ロームB、微量) |
| 4 黒褐色土 (攪乱層) | 13 褐色土 (ローム粒、小ロームB、少量) |
| 5 褐色土 (ローム粒、焼粘土、少量) | 14 黒褐色土 (小ロームB、少量) |
| 6 黄褐色土 (ローム粒、IP、焼土、多量) | 15 暗黄褐色土 (ロームB、多量) |
| 7 褐色土 (ローム粒、多量) | 16 黄色土 (ローム粒主体) |
| 8 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、少量) | 17 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、少量。粘土、多量) |
| 9 褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、微量) | |

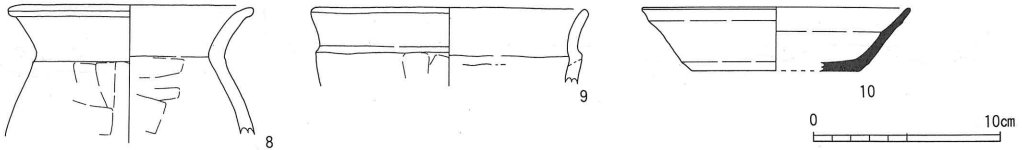


第185図 S I 079



- 1 茶褐色土 (ローム塊、焼土) 5 暗褐色土 (ローム粒、焼土)
 2 暗褐色土 (ローム粒、焼土) 6 黒褐色土 (ローム粒、焼土)
 3 黄褐色土 (ローム粒多量) 7 黄褐色土 (ローム塊)
 4 黒褐色土 (ローム塊、ローム粒) 8 灰褐色土 (粘土)

第186図 S I 079カマド



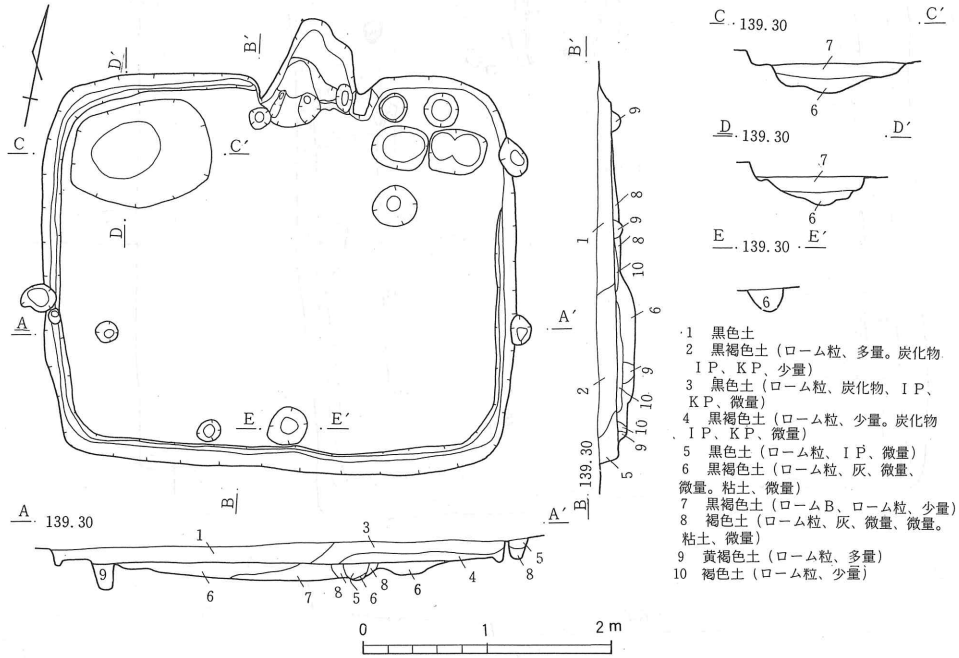
第187図 S I 079出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	15.6	5.0	—	C	a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	完形	内面漆付着
2	坏(H)	13.2	3.3	—	E	c	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/3	内面漆付着
3	鉢(H)	21.0	—	—	D	b	石英, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/8	
4	高坏(H)	—	—	—		a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	坏部内黒
5	高坏(H)	—	—	—		a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	
6	甕(H)	22.2	—	—			石英, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/32	
7	甕(H)	—	—	5.3	B(1)	e	石英, 雲母, 砂粒多	良好	外褐色, 内暗褐色	覆土	1/8	
8	甕(H)	13.8	—	—	C	a	黒色粒, 赤色粒多	良好	赤褐色	覆土	1/8	2次焼成
9	甕(H)	14.8	—	—	D(3)		砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/12	煤付着
10	坏(S)	14.6	3.5	9.0	B	c	白色砂粒(緻密)	良好	青灰色	覆土	1/6	

第82表 S I 079土器観察表

S I 080

位置 南地区H-14グリッド 平面形 3.2×3.9mのやや東西に長い方形 方位 住居：N04°E
 カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 68~79° 深さ10~15cm 周溝 カマドに接続しない。
 北壁と北東コーナー以外に認められる。柱穴 壁柱穴と思われるものが3本。南壁中央床にピット1本（出入口施設に伴うものか？）備考 北東コーナー付近にピットが集中するが性格不明。
 遺物 須恵器蓋1



第188図 S I 080

第189図 S I 080出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態 分類	成・整形 手法 分類	胎土	焼成	色調	出土 状態	残存 量	備考
		口径	器高	底径								
1	蓋(S)	15.6	-	-			砂粒	良好	青灰色	覆土	1/6	

第83表 S I 080土器観察表

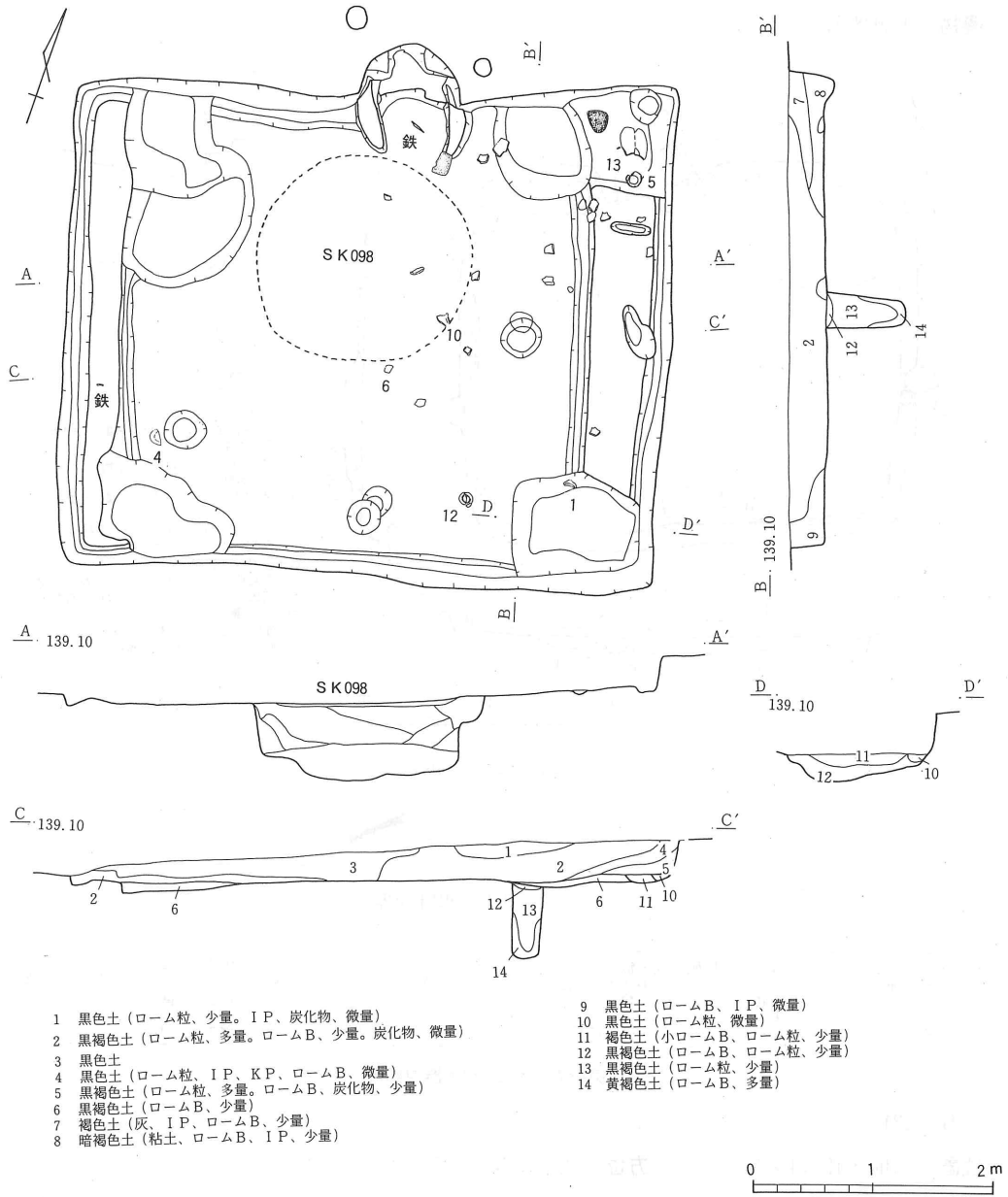
S I 081

位置 南地区H-14グリッド 方位 住居：N15°W カマド：N
 最低1回の建て替えが行われており、拡張されている。

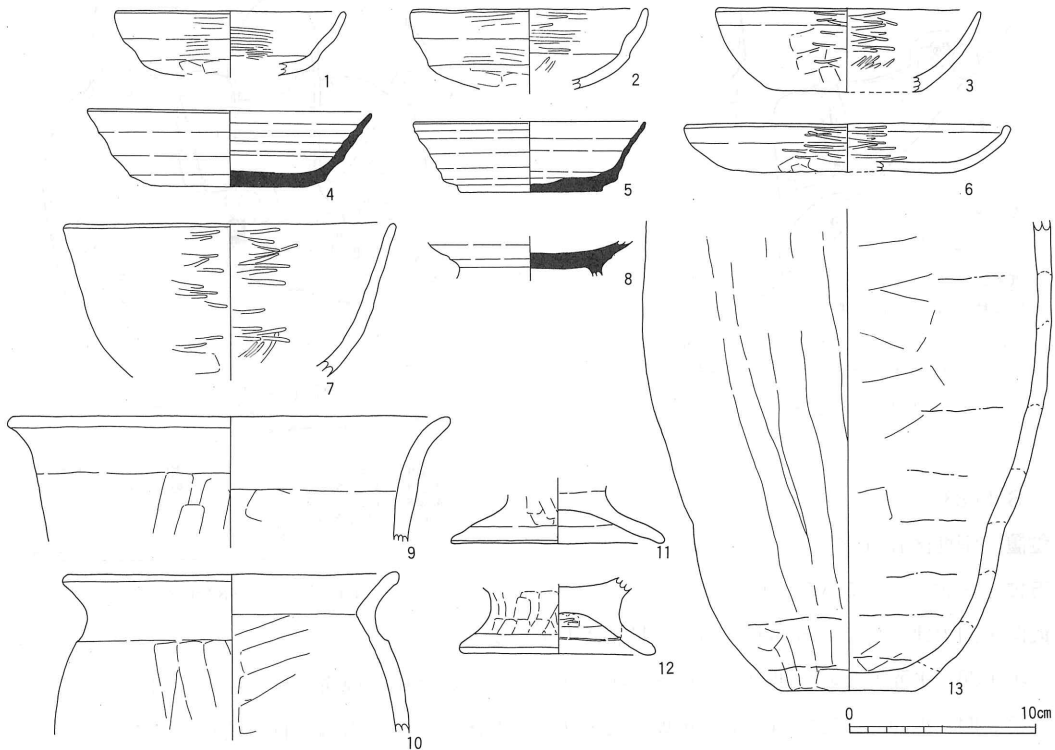
第1期 平面形 4.0×3.9m 規模 中 床面 貼床 周溝 有 柱穴 無

第2期 平面形 4.0×5.1m 規模 大 床面 貼床 周溝 有 柱穴 無

備考 北壁、南壁は拡張せず西壁、東壁をそれぞれ0.5m、0.8m広げている。西半分は後世の水田造成のため壁を30cm削平されている。中央部のSK098を切る。第1期は四隅に床下掘込みがあり、第2期は東側のみ床下掘り込みがある。南壁中央床に土坑（出入口施設に伴うものか？）
遺物 土師器坏3・鉢1・皿1・甕5，須恵器坏2・高台付坏1，刀子2



第190図 S I 081



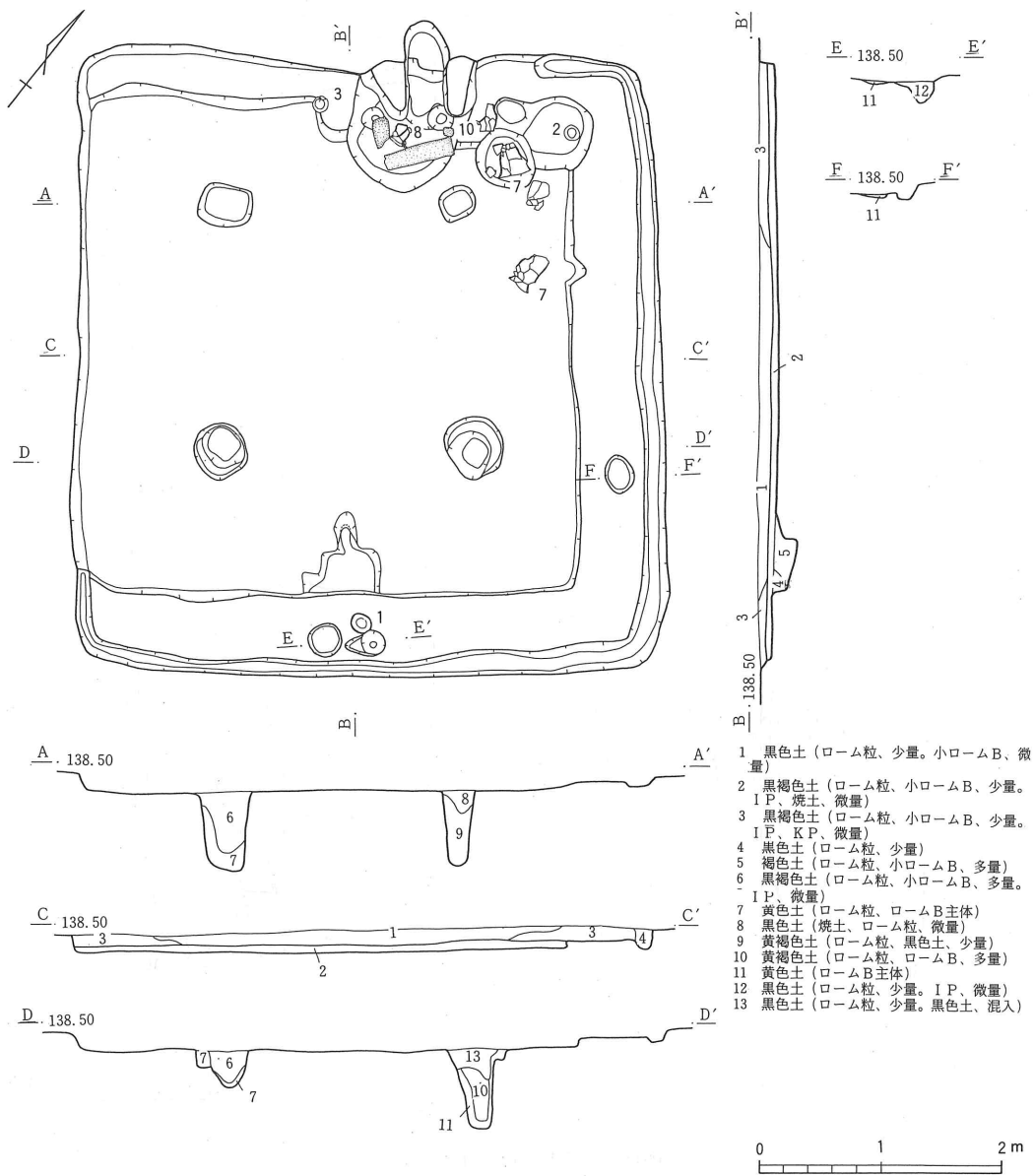
第191図 S I 081出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	12.2	3.4	—	F(2)	h	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/4	煤附着
2	坏(H)	12.8	4.4	—	F(2)	h	小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/5	内黒
3	坏(H)	14.6	4.4	7.8	I	a	石英	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
4	坏(S)	14.0	4.0	7.6	C	c	白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/2	
5	坏(S)	12.6	3.7	7.7	B	e	緻密	良好	暗灰色	覆土		完形
6	皿(H)	17.4	2.5	11.0	B	a	赤色粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	
7	鉢(H)	17.8	—	—	D	a	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/5	
8	高台(S)	—	—	—	A(1)	d	砂粒やや多	不良	灰白色	覆土	1/6	
9	甕(H)	23.6	—	—	E(1)	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	カマド	1/24	
10	甕(H)	17.8	—	—	C	a	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/16	
11	甕(H)	—	—	10.5	F	a	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/16	
12	甕(H)	—	—	10.3	F	a	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	台部粘土附着
13	甕(H)	—	—	7.6	D(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	カマド	1/4	2次焼成

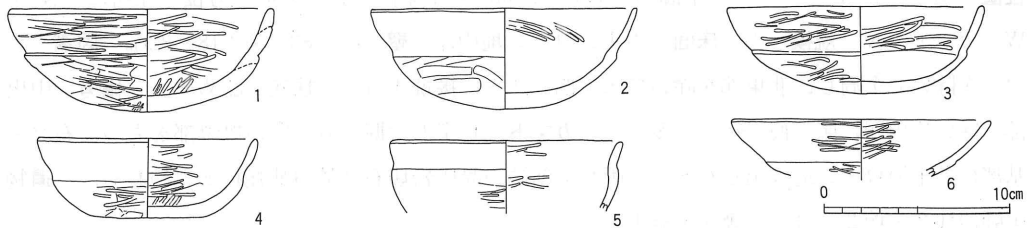
第84表 S I 081土器観察表

S I 082

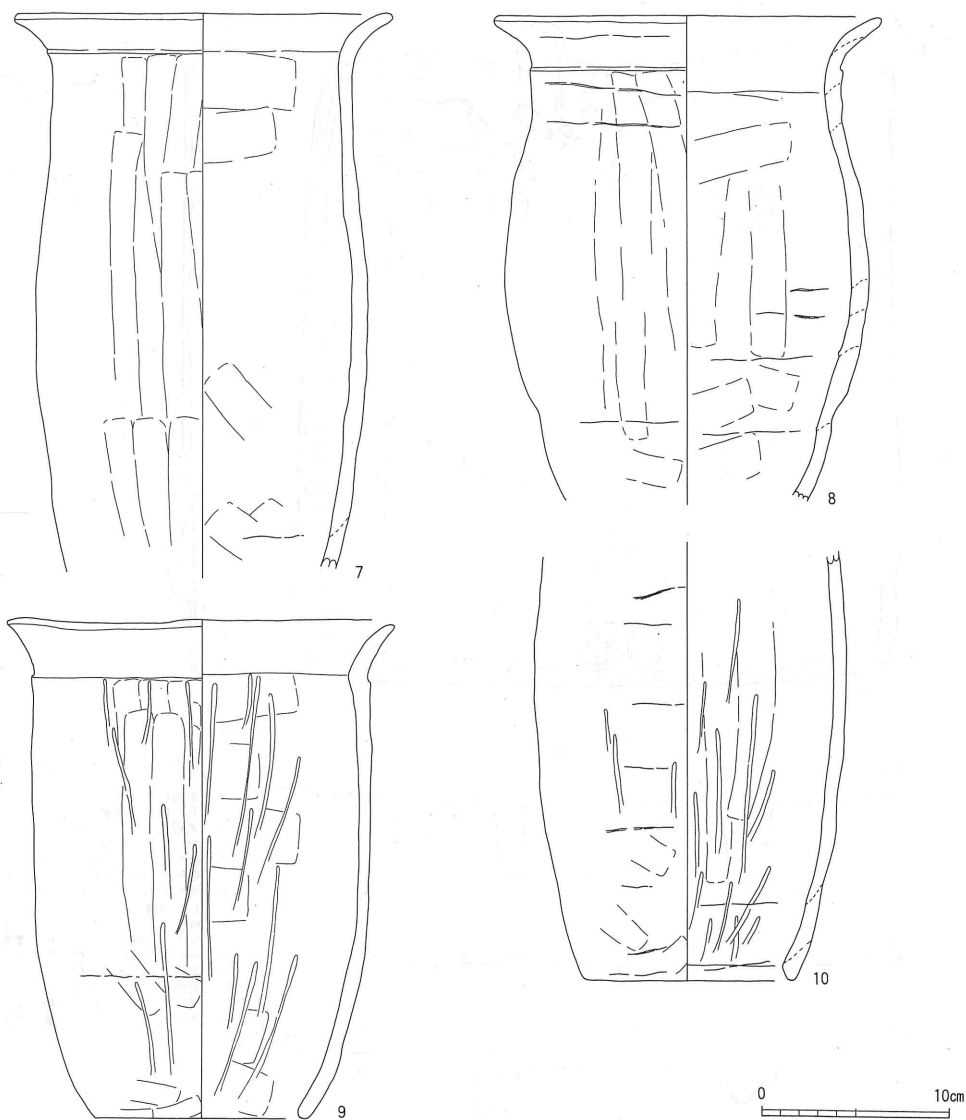
位置 南地区H-14グリッド 平面形 北東部コーナー以外は削平されており不明。 住居：N 06°E カマド：N 規模 小？ 床面 ローム地山 壁 深さ5cm内外で壁角度測定不能。 周溝・柱穴 共に残存している遺構には認められない。 備考 住居跡の大部分は後世の水田造成のため削平されている。



第194図 S I 083



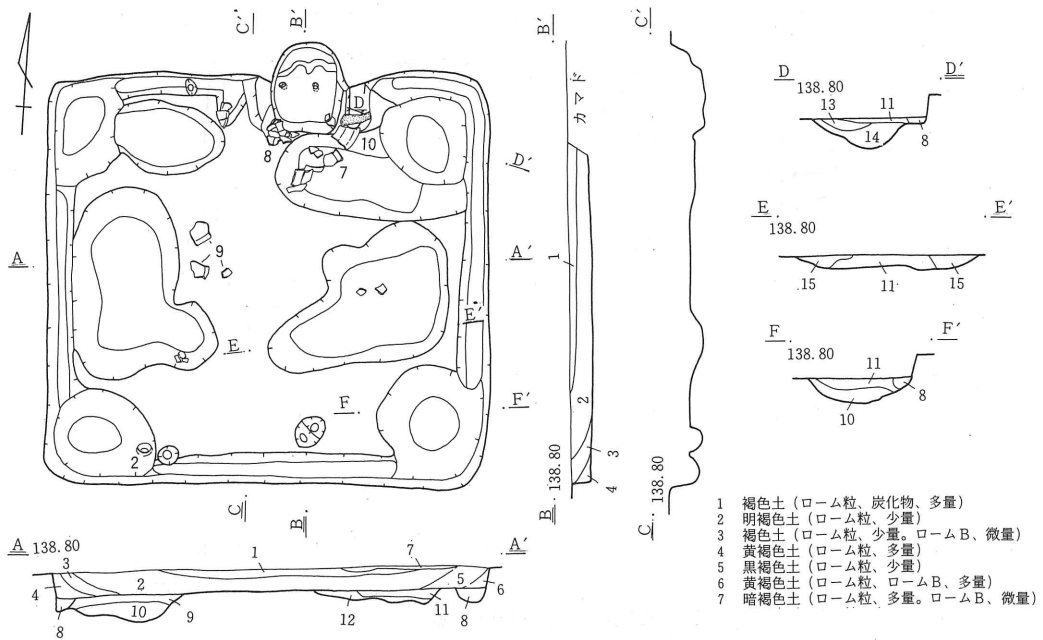
第195図 S I 083出土土器 (1)



第196図 S I 083出土土器 (2)

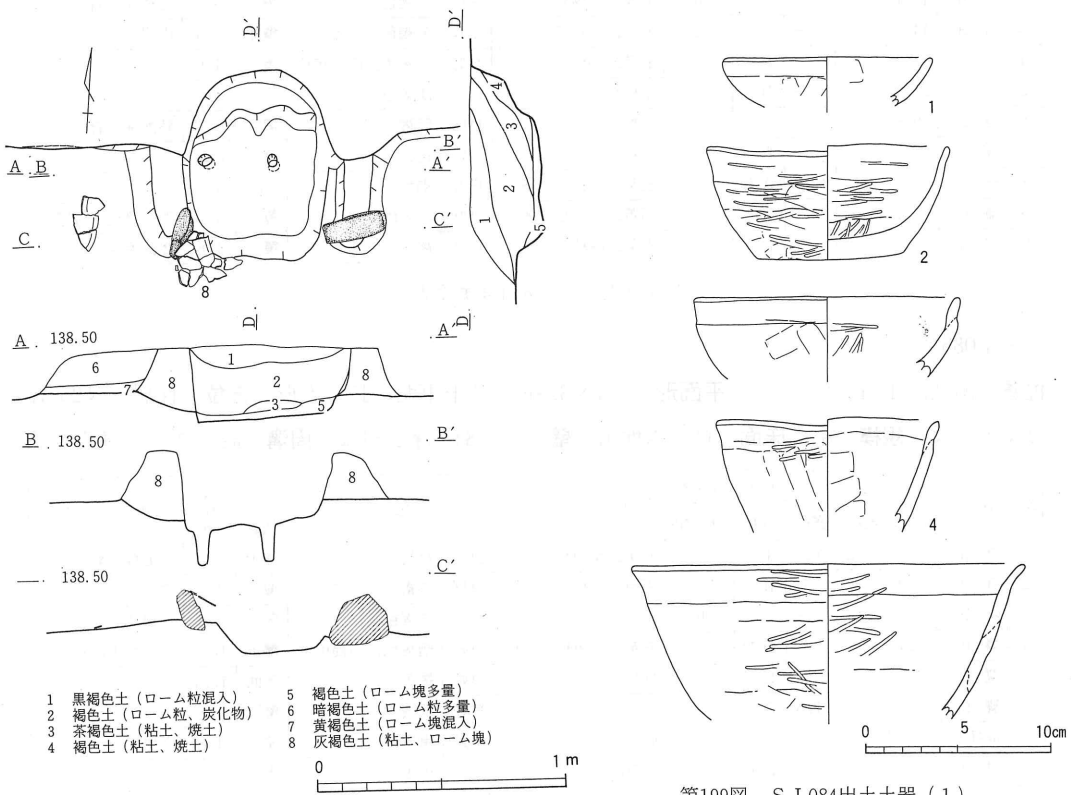
S I 084

位置 南地区H-14グリッド 平面形 3.3×3.6mの若干東西に長い方形 方位 住居に：N 03°
 W カマド：N 規模 中 床面 中央はローム地山床 壁 80~83° 深さ18~22cm 周溝 カ
 マドを除いて全周し、北東部を除いて床下掘り込みに接続する。 柱穴 認めず。 備考 中央
 部を除いて周囲に床下掘り込みが多い。 カマド U字形の掘り方で広い燃焼部をもつ。右ソデ
 基部に若干のローム造り出しがあり、両ソデ前端的凝灰岩切石は焚口補強材と思われる。 遺物
 土師器坏2・埴2・鉢1・甕4・甑1



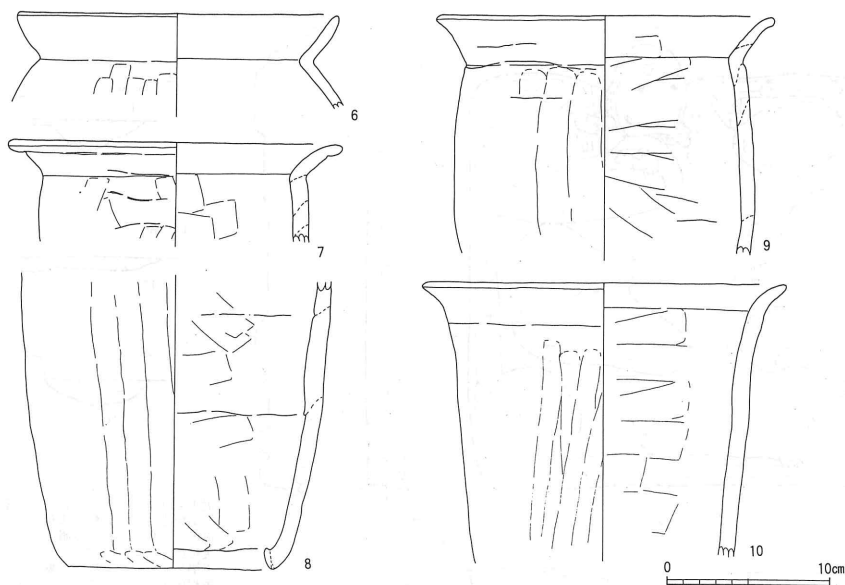
- 11 褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、微量) 12 黒褐色土 (黒色土主体。ローム粒、少量) 13 明褐色土 (ローム粒、粘土、灰、少量)
 14 黒褐色土 (ロームB、粘土、少量) 15 黄褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。黒色土微量混入)

第197図 S I 084



第199図 S I 084出土土器 (1)

第198図 S I 084カマド



第200図 S I 084出土土器 (2)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	11.2	—	—	G	h	小砂粒	不良	暗褐色	覆土	1/5	
2	埴(H)	13.1	6.0	7.9	D	b	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	完形	外面煤付着
3	坏(H)	14.2	—	—	H	d	石英, 砂粒多	不良	外褐色, 内黒色	覆土	1/5	内黒
4	埴(H)	12.2	—	—	D	f	石英, 小砂粒	良好	外褐色, 内暗褐色	覆土	1/6	
5	鉢(H)	21.2	—	—	D	a	小砂粒	良好	淡褐色	カマド	1/6	
6	甕(H)	19.8	—	—	—	a	砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/24	外面煤付着
7	甕(H)	24.8	—	—	E	a	砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
8	甗(H)	—	—	12.8	A(1)	e	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	カマド	1/8	
9	甕(H)	21.2	—	—	D	j	石英, 砂粒やや多	良好	淡褐色	覆土	1/4	外面焼粘土付着
10	甕(H)	22.6	—	—	E	j	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	2次焼成

第86表 S I 084土器観察表

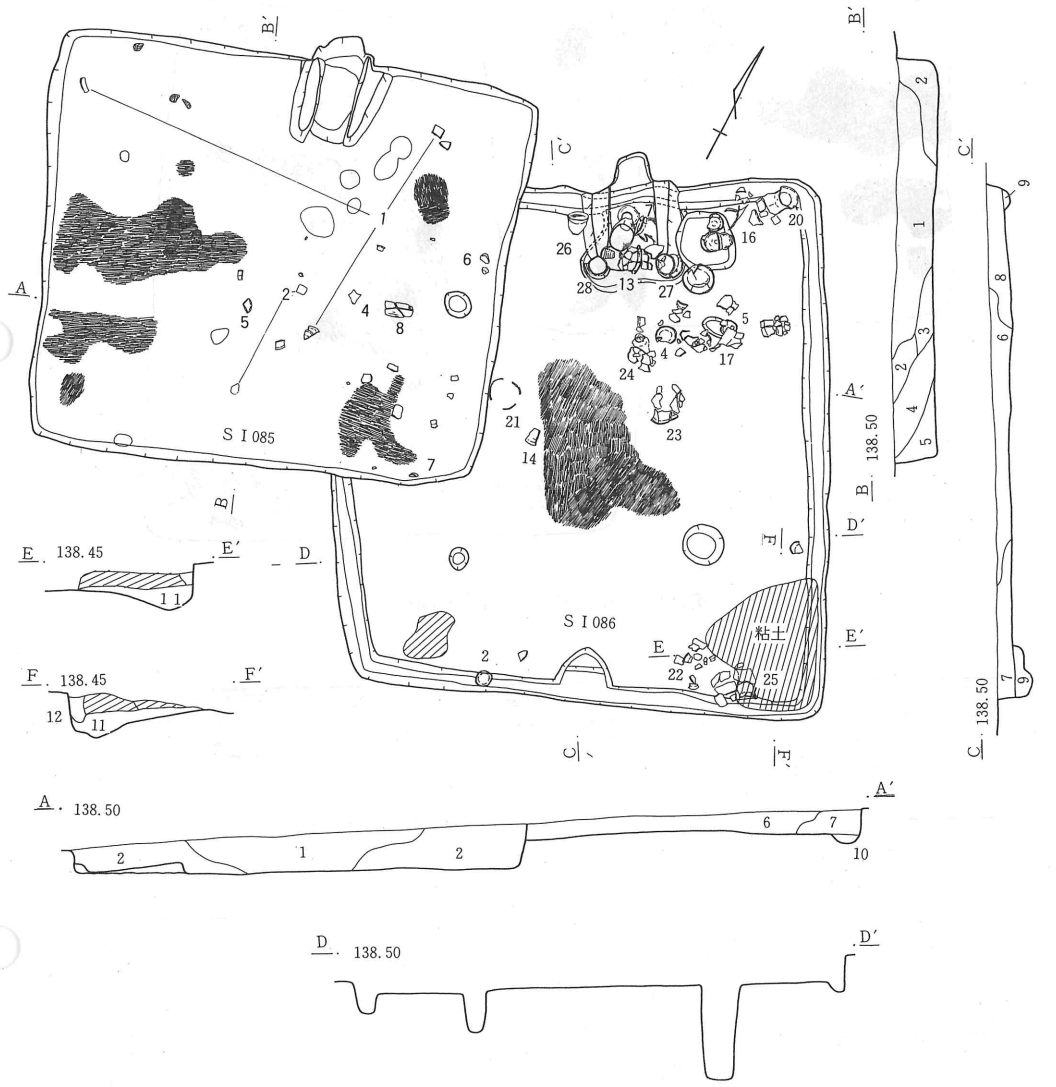
S I 085

位置 南地区 I-14グリッド 平面形 3.4×3.8mの若干東西に長い方形 方位 住居: N25°W
カマド: N 規模 中 床面 ローム地山 壁 80~84° 深さ34cm 周溝 認めず。 柱穴 低

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	17.9	5.2	6.0	I	b	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	橙褐色	覆土	1/2	外面煤付着
2	坏(H)	17.3	5.6	—	H	e	石英, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/2	内黒
3	坏(H)	15.8	—	—	F(2)	b	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/6	内黒?
4	甕(H)	23.4	—	—	D(1)	a	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	暗褐色, 内褐色	覆土	1/18	外面粘土付着
5	甕(H)	21.4	—	—	E(1)	a	砂粒	良好	褐色	床面	1/24	
6	甕(H)	—	—	7.3	A	a	砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	
7	高坏(H)	—	—	—	—	—	砂粒	不良	黒褐色	覆土	1/8	内黒
8	甕(H)	25.2	—	—	E(1)	—	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	床面	1/4	

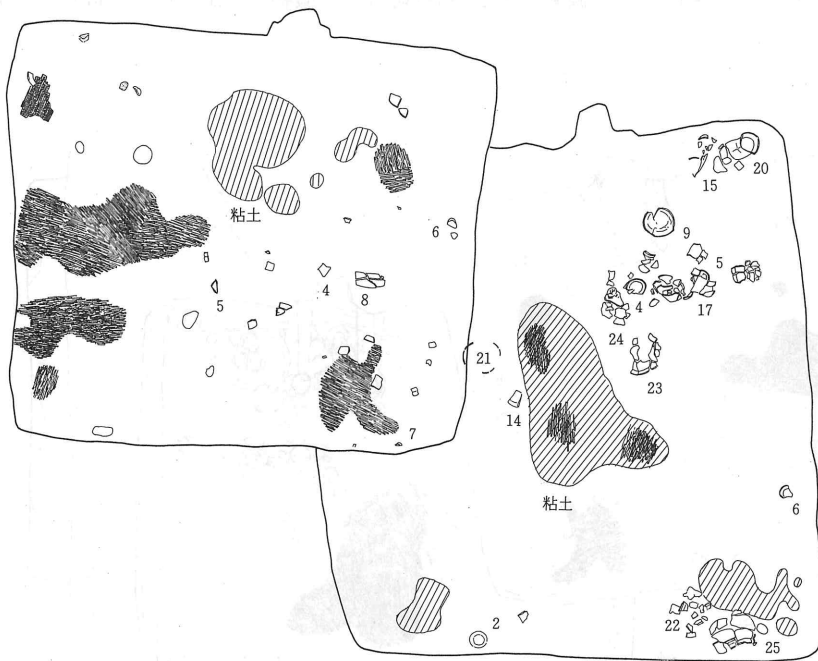
第87表 S I 085土器観察表

地にあり水没のため未確認。 備考 S I 086を切る。 遺物 土師器杯3・高坏1・甕4



- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。炭化物、少量。IP、微量) | 8 暗灰色土 (炭化物、焼土、灰、粘土、少量) |
| 2 明褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。炭化物、少量) | 9 暗黄褐色土 (ローム粒、多量。炭化物、少量) |
| 3 褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。焼土、少量) | 10 黒褐色土 (ローム粒、少量) |
| 4 明褐色土 (ロームB、粘土、多量。焼土、少量) | 11 黄褐色土 (ロームB、主体) |
| 5 黒褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、少量。焼土、微量) | 12 黒色土 (ローム粒、微量) |
| 6 暗褐色土 (炭化物、焼土、多量。IP、微量) | |
| 7 黒褐色土 (炭化物、多量。ローム粒、少量。焼土、IP、微量) | |

第201図 S I 085・086実測図



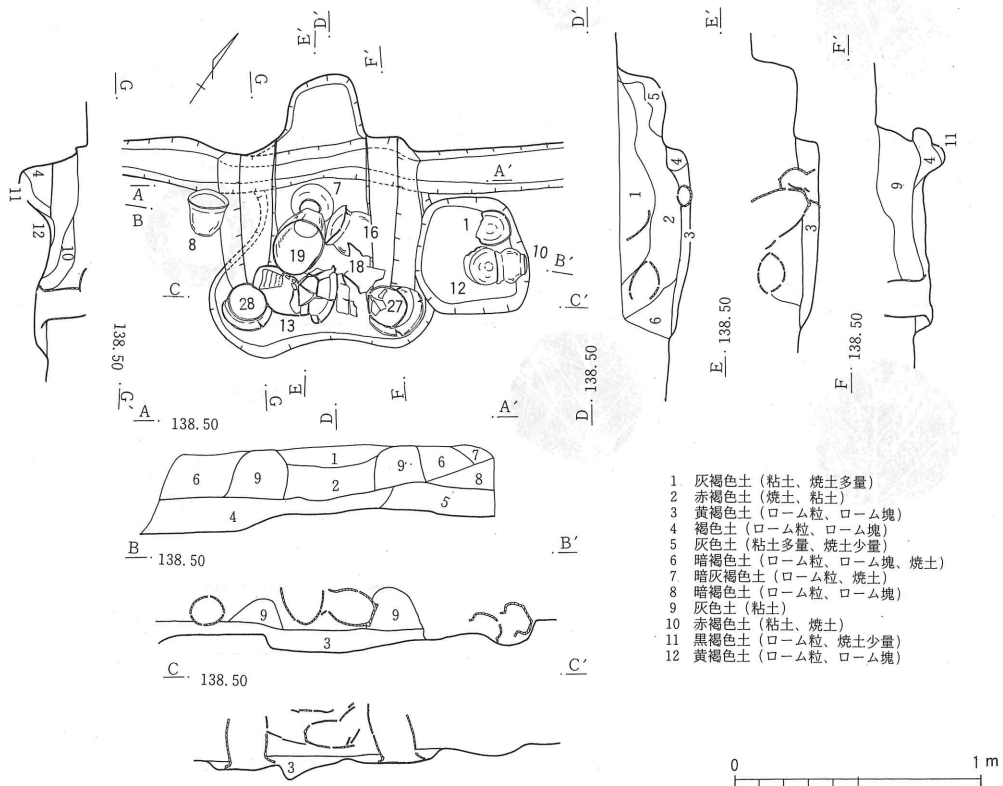
第202图 S I 085 · 086遺物平面图



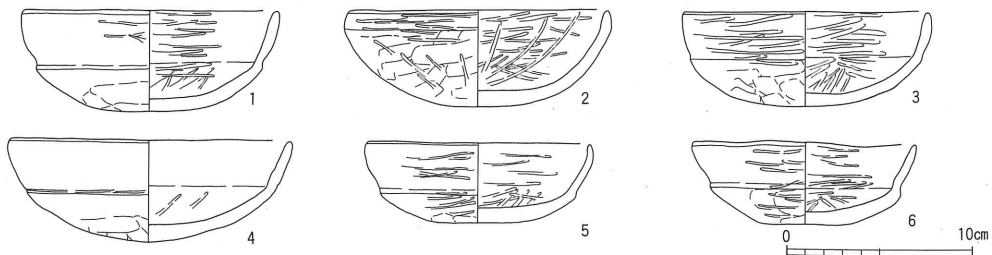
第203图 S I 085出土土器

S I 086

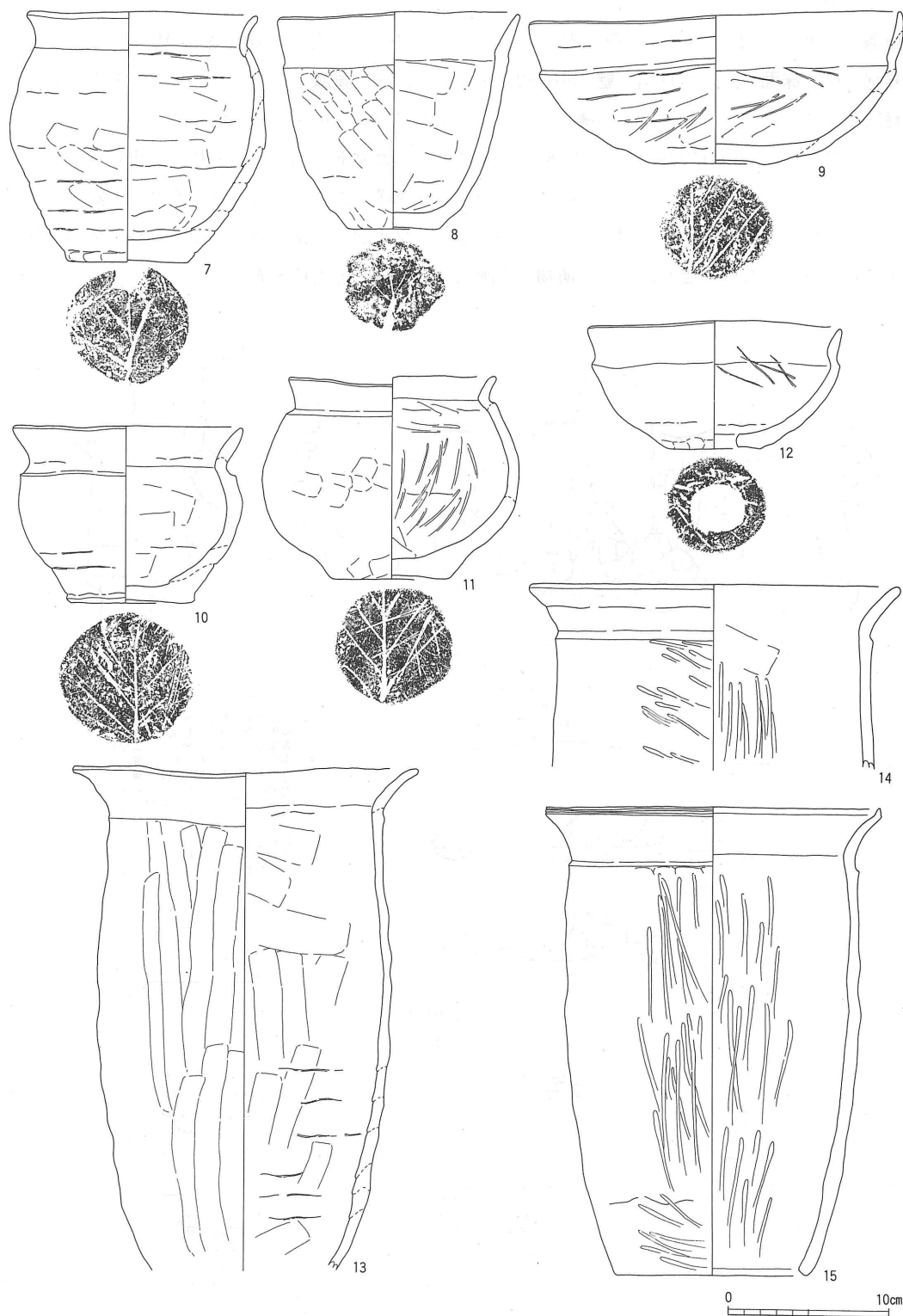
位置 南地区 I-14グリッド 平面形 4.1m四方の正方形 方位 住居：N27°W カマド：N
 規模 中 床面 ローム地山 壁 80~82° 深さ15~22cm 周溝 カマドの下を通り全周する。
 柱穴 4本スクエアに配する。備考 南壁中央床面に周溝と接続する土坑（出入口施設に伴う
 ものか?）。カマド脇に貯蔵穴。S I 085に切られる。カマド 凸形でソデ基部の切り込みが小
 さく煙道部が大きい。ソデは長く住居内に突出する。周溝がカマド内に入るタイプ。土器が多量
 に出土するが、構築材として用いられたものもある。ソデ前端に甕が倒立しているが、焚口補強
 用に転用されたものと思われる。遺物 土師器坏6・鉢2・甕17・甑3



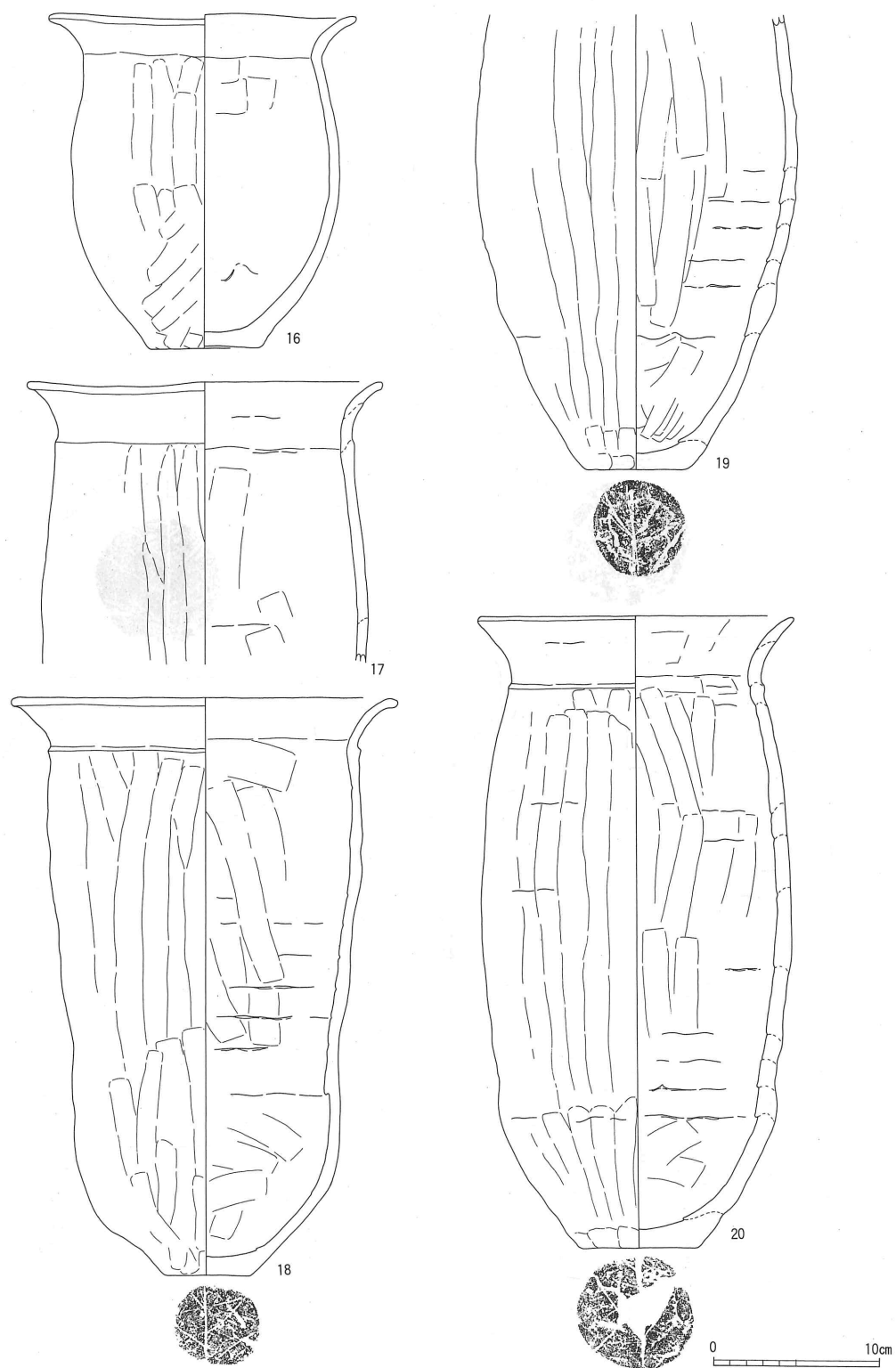
第204図 S I 086カマド



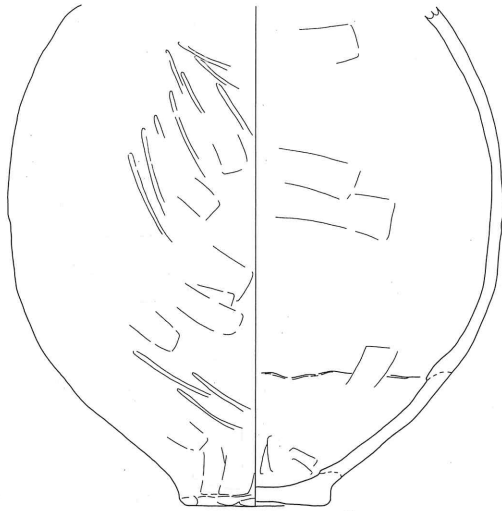
第205図 S I 086出土土器（1）



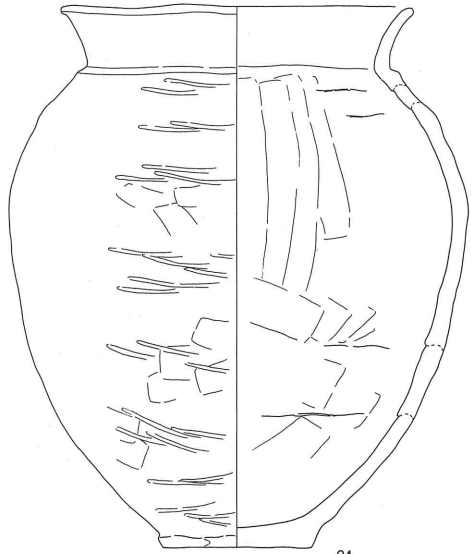
第206图 S I 086出土土器(2)



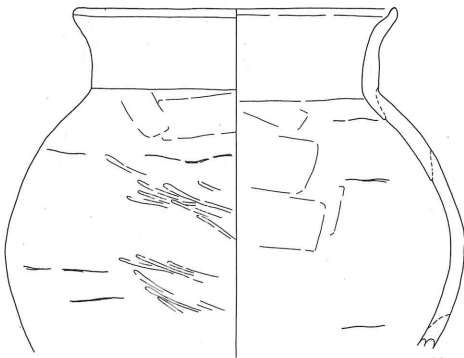
第207图 S I 086出土土器 (3)



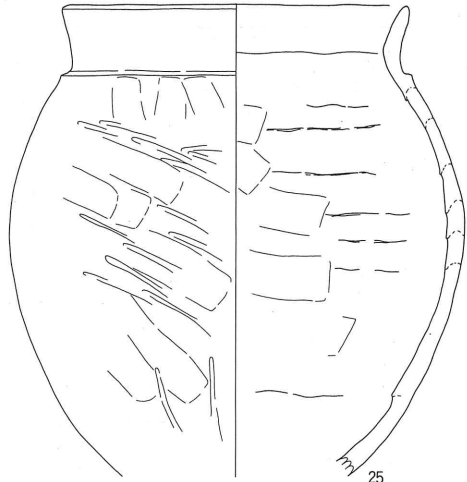
21



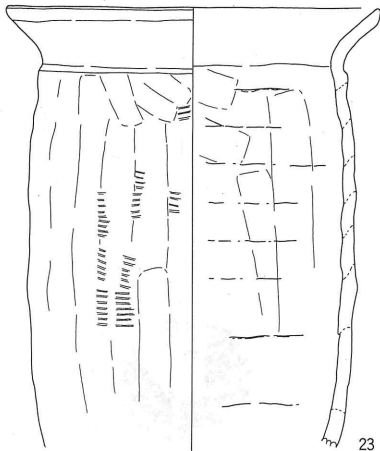
24



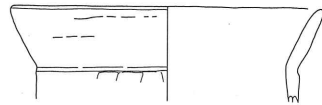
22



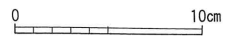
25



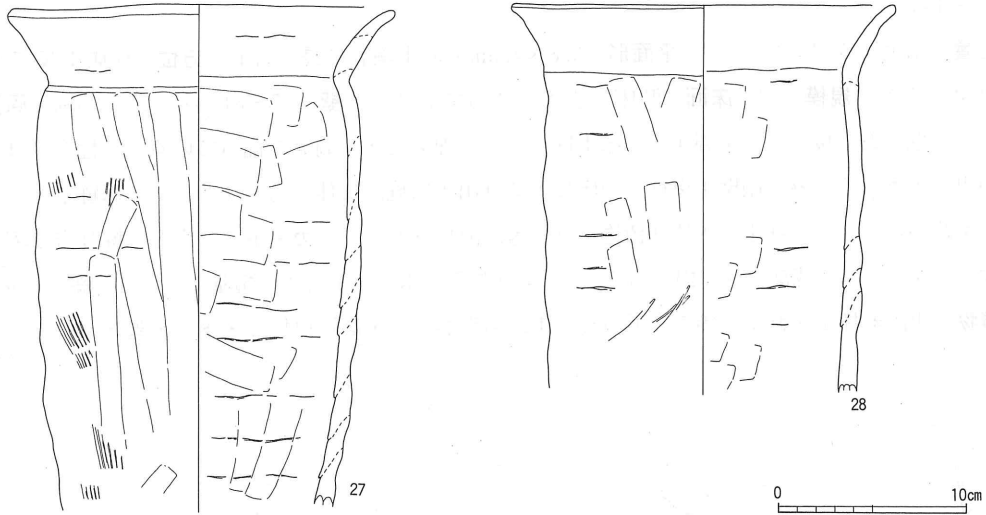
23



26



第208图 S I 086出土土器(4)



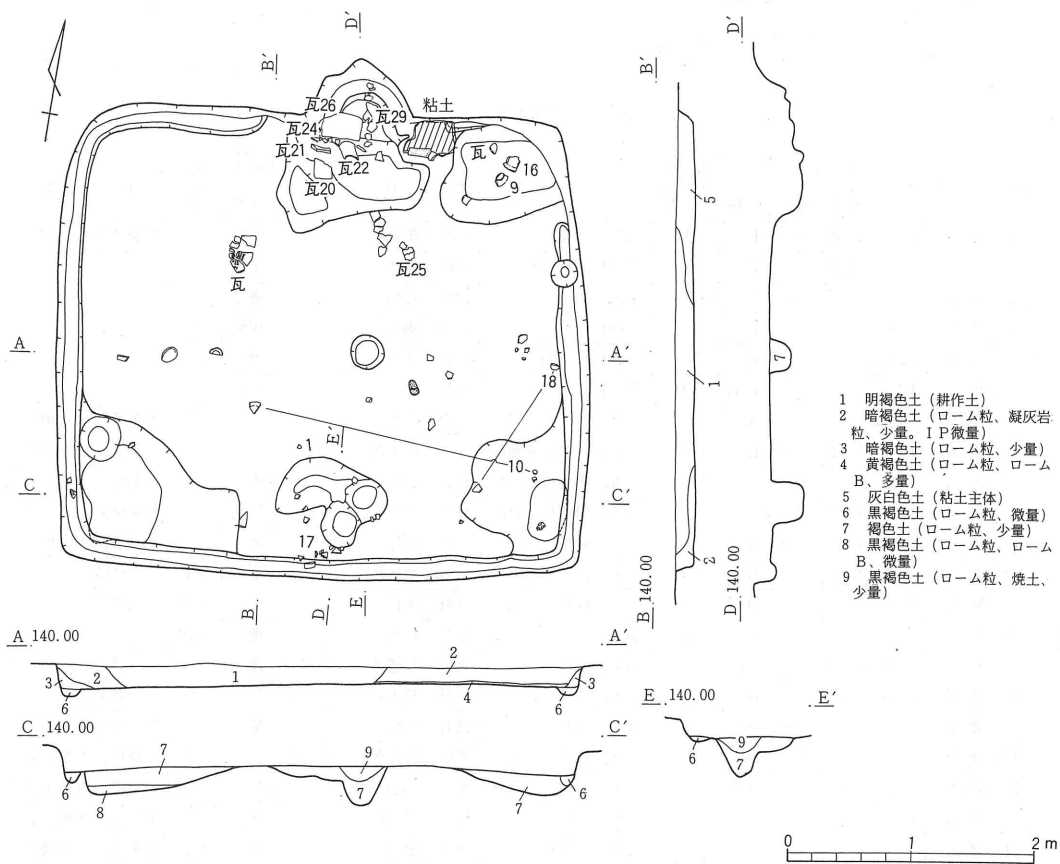
第209図 S I 086出土土器 (5)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.0	5.4	—	F(1)	b	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	土坑	4/5	内面漆付着
2	坏(H)	14.5	5.1	—	E	a	赤色粒, 小砂粒	良好	褐色	床面	完形	
3	坏(H)	15.4	5.0	—	F(1)	b	緻密	良好	褐色	覆土	4/5	
4	坏(H)	15.0	5.5	—	F(1)	d	小砂粒	良好	褐色	床面	4/5	
5	坏(H)	12.2	4.2	—	F(1)	a	小砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	4/5	
6	坏(H)	12.2	4.4	—	F(1)	a	小砂粒, 小石	良好	褐色	床面	4/5	
7	甕(H)	12.8	15.5	7.4	A(3)	a	石英, 砂粒やや多	不良	褐色	カマド	完形	木葉痕, 2次焼成
8	甕(H)	15.9	13.2	5.8	E(2)	a	石英, 砂粒, 赤色粒	良好	橙褐色	カマド	完形	木葉痕, 2次焼成
9	鉢(H)	15.8	13.6	6.0	C	b	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	床面	完形	木葉痕
10	甕(H)	14.4	10.9	7.7	A(3)	i	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	土坑	完形	木葉痕, 内焼焦げ
11	甕(H)	12.9	12.6	7.6	A(3)	d	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	木葉痕, 内焼焦げ
12	甕(H)	15.8	13.6	6.0	B(2)	c	石英, 砂粒やや多	良好	黒褐色	土坑	完形	2次焼成
13	甕(H)	21.4	—	—	D(1)	j	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	カマド	2/3	外面煤付着
14	甕(H)	23.2	—	—	A(1)	b	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/16	
15	甕(H)	20.8	28.9	11.8	A(1)	b	石英, 砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/3	2次焼成
16	甕(H)	18.6	20.0	6.6	D(2)	a	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	カマド	2/3	2次焼成
17	甕(H)	21.6	—	—	D(1)	j	砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	1/6	外面煤付着
18	甕(H)	23.0	34.3	5.0	D(1)	j	石英, 砂粒, 小石	良好	外褐色, 内暗褐色	カマド	4/5	木葉痕, 外煤付着
19	甕(H)	—	—	6.0	D(1)	j	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	カマド	1/2	木葉痕, 外粘土付
20	甕(H)	19.3	37.7	7.0	D(1)	j	石英, 砂粒, 小石	良好	暗褐色	覆土	完形	木葉痕, 外煤付着
21	甕(H)	—	—	7.6	A(1)	b	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	床面	1/2	木葉痕, 2次焼成
22	甕(H)	18.7	—	—	A(1)	b	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	床面	1/2	外面煤付着
23	甕(H)	20.0	—	—	D(1)	j	石英, 砂粒	良好	黒褐色	床面	1/2	一部ハケ残す
24	甕(H)	18.8	28.7	8.0	A(1)	b	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	床面	完形	木葉痕
25	甕(H)	19.0	—	—	A(1)	b	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	床面	2/3	外面煤付着
26	甕(H)	16.8	—	—	D(1)		石英, 砂粒	良好	褐色	床面	1/18	
27	甕(H)	21.0	—	—	D(1)	j	石英, 砂粒	良好	暗褐色	カマド	2/3	外面煤, 粘土付着
28	甕(H)	20.8	—	—	D(1)	a	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	カマド	2/3	外面煤付着

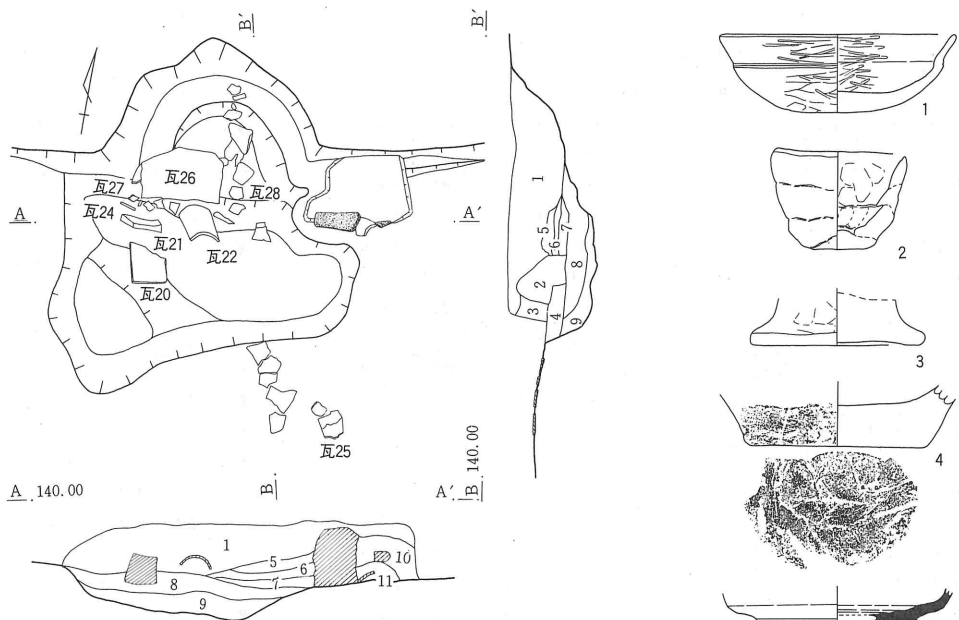
第88表 S I 086土器観察表

S I 087

位置 南地区A-13グリッド 平面形 3.8×4.3mの若干南北に長い方形 方位 住居：N07°W
 カマド：N 規模 中 床面 貼床でよくしまっている。 壁 75~81° 深さ15~20cm 周溝
 カマド掘り方に接続せず全周する。床下掘り込みを埋めた後、周溝を掘っている。 柱穴 ほぼ
 中央に1本あるのみ。南壁中央近くの床に土坑（出入口施設に伴うものか？） 住居跡上を近年
 の水路が通っており埋土に水性堆積物、ゴミ等が散見される。 カマド U字形の掘り方で広い
 煙道部をもち、燃烧部は住居内にある。瓦、凝灰岩等が散見されるが、攪乱によって詳細は不明。
 遺物 土師器坏1・鉢1・甕5・手づくね1、須恵器坏3・高台付坏2・甕3・蓋3



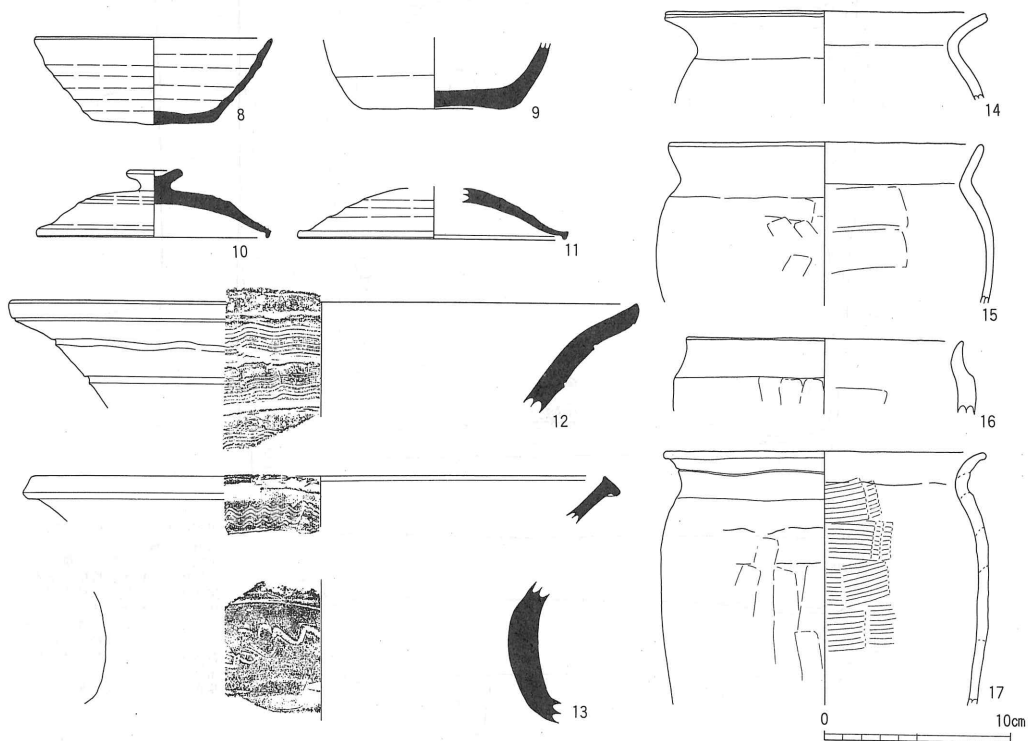
第210図 S I 087



- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 黒色土 (ローム粒混入) | 7 暗褐色土 (粘土、焼土) |
| 2 灰褐色土 (粘土、ローム粒) | 8 明灰褐色土 (ローム粒、焼土) |
| 3 黒褐色土 (ローム粒、焼土) | 9 暗灰褐色土 (粘土、ローム粒) |
| 4 暗褐色土 (ローム粒少量) | 10 灰褐色土 (粘土、焼土少量) |
| 5 灰褐色土 (粘土、焼土) | 11 灰褐色土 (粘土、ローム粒) |
| 6 赤褐色土 (焼土多量) | |

第211図 S I 087カマド

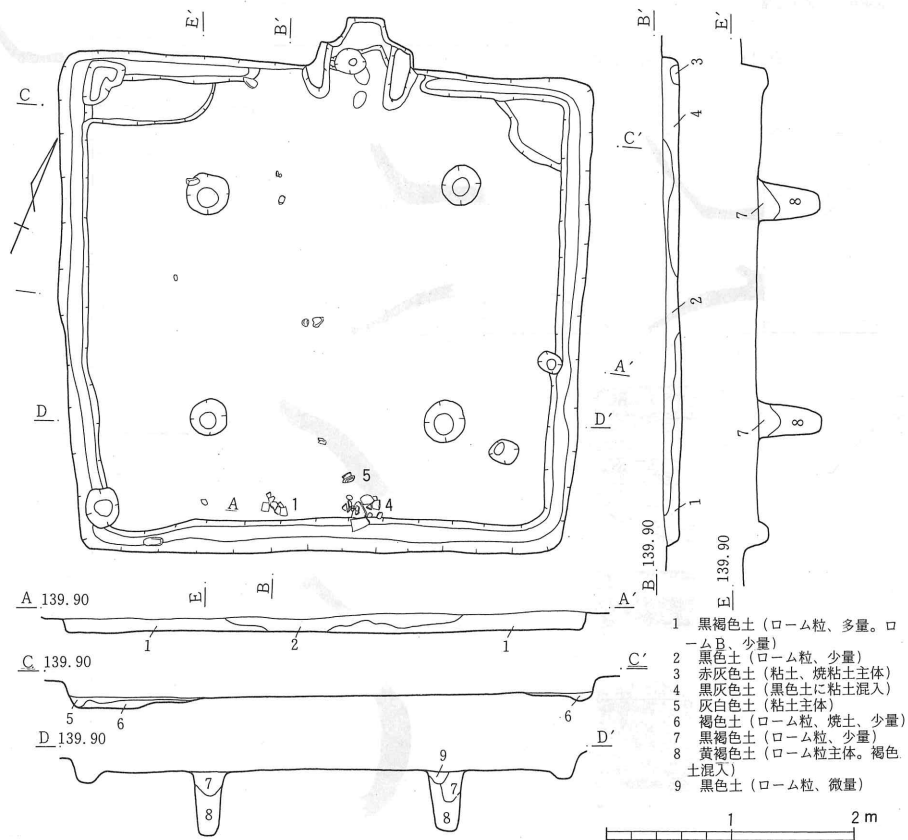
0 1 m



第212図 S I 087出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	12.8	4.2	—	F(1)	a	石英, 赤色粒	良好	外褐色, 内黑色	覆土	4/5	内黒
2	手(H)	7.1	5.6	3.0			小砂粒	良好	褐色	覆土	4/5	
3	甕(H)	—	—	9.6	F		小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/12	
4	甕(H)	—	—	9.2			石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/32	木葉痕
5	高台(S)	—	—	9.8	B(1)		白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/8	
6	高台(S)	—	—	9.8	A(1)	e	白色砂粒やや多	良好	灰白色	覆土	1/8	
7	坏(S)	—	—	7.8		e	白色砂粒	良好	青灰色	カマド	1/8	ヘラ記号有り
8	坏(S)	12.9	4.7	7.0	C	e	赤色粒, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	2/3	
9	坏(S)	—	—	7.8		e	砂粒, 小石	良好	青灰色	覆土	2/3	
10	蓋(S)	12.4	3.6	—	(5)	a	白色砂粒やや多	良好	青灰色	覆土	1/6	
11	蓋(S)	14.4	—	—		a	白色砂粒	良好	灰色	カマド	1/8	
12	甕(S)	33.4	—	—	C		砂粒, 小石	良好	暗灰色	覆土	破片	波状文, 沈線文
13	甕(S)	40.4	—	—	B		緻密	良好	青灰色	カマド	破片	波状文
14	甕(S)	—	—	—			砂粒	良好	暗灰色	カマド	破片	波状文, 沈線文
15	甕(H)	17.4	—	—			石英, 砂粒	良好	淡褐色	カマド	1/32	
16	甕(H)	16.4	—	—	A(3)	a	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	暗褐色	カマド	1/16	2次焼成
17	鉢(H)	14.8	—	—	B(2)	f	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/18	
18	甕(H)	16.6	—	—	C	g	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	カマド	1/8	

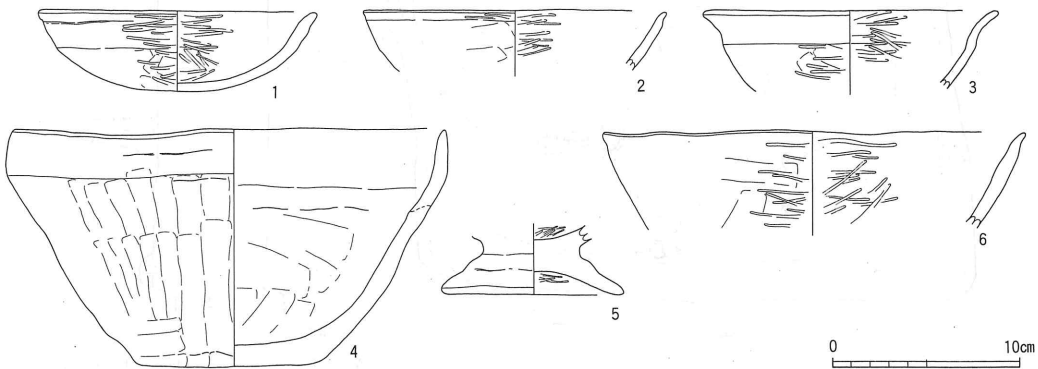
第89表 S I 087土器観察表



第213図 S I 088

S I 088

位置 南地区B-14グリッド 平面形 4.0m四方のほぼ正方形 方位 住居：N29°W カマド：N 規模 中 床面 平坦な貼床。堅い面は認められない。 壁 70~80° 深さ12~16cm 周溝 カマド掘り方に接続しないが全周する。 柱穴 4本スクエアに配する。 備考 各コーナーには浅く不明瞭であるが床下掘り込みがある。人為埋没で貼床を施してあることから住居構築の際、堅穴を掘って床を造る以前の早い段階で掘られていることがわかる。 遺物 土師器坏3・碗2・高坏1



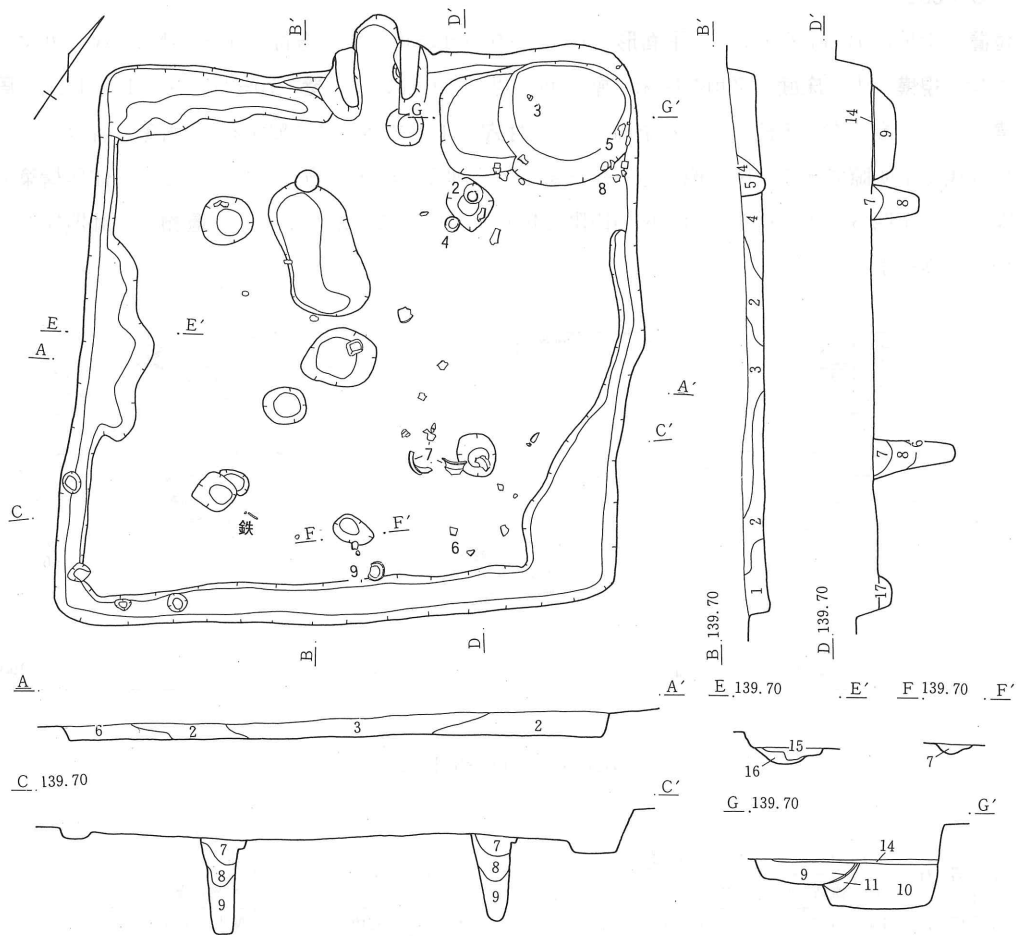
第214図 S I 088出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.8	4.3	—	G	a	砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/3	
2	坏(H)	16.0	—	—	G	a	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	
3	坏(H)	15.8	—	—	H	c	小砂粒	良好	黒褐色	床面	1/8	内黒
4	鉢(H)	24.2	12.5	10.5	D	f	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	4/5	
5	高坏(H)	—	—	9.8		a	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/3	内黒
6	鉢(H)	22.8	—	—	D	f	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/12	漆附着?

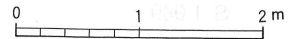
第90表 S I 088土器観察表

S I 089

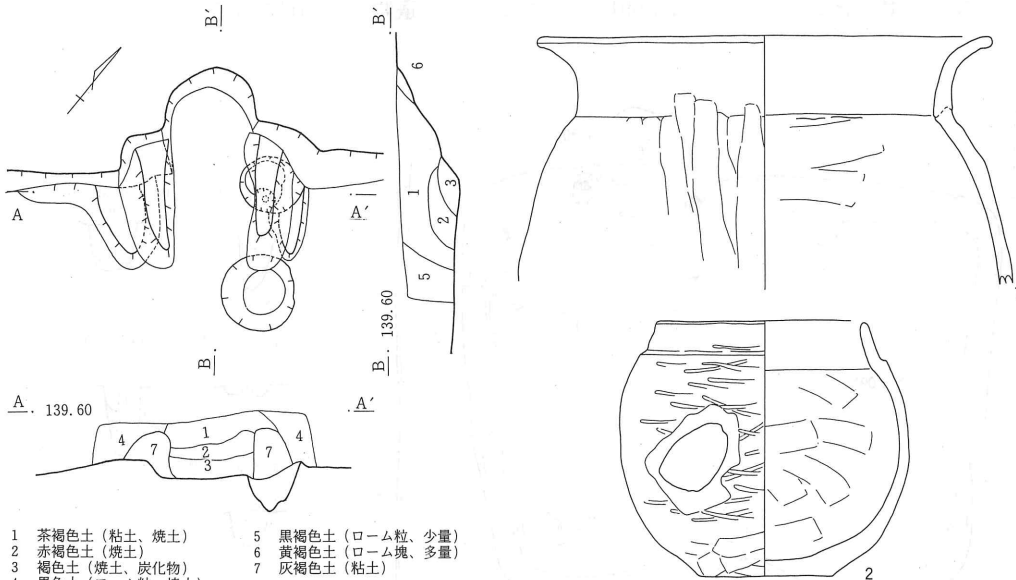
位置 南地区D-15グリッド 平面形 4.4m四方の平行四辺形 方位 住居：N36°W カマド：N 規模 大 床面 ほとんどがロームブロックによって貼床されているが中央やや東寄りの部分に小規模なローム地山が認められる。 壁 60~77° 深さ12~20cm 周溝 北東コーナー付近が少々途切れるが全周する。 柱穴 4本スクエアに配する。深くしっかりしたものである。 備考 カマド脇に切り合いのある土坑。周溝内に多数の小ピット。西側の一部と南東コーナー一部の周溝は幅が拡張され床下掘り込みを形成している。 カマド 小規模で掘り方は凸型。ソデ下の床面に芯と思われるロームの造り出しをもつ。 遺物 土師器坏6・碗1・鉢1・甕1, 刀子



- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1 黒色土 (ローム粒、ロームB、少量) | 10 黄褐色土 (ロームB、多量。IP、微量。黒色土混入) |
| 2 暗褐色土 (ローム粒、ロームB、少量。IP、ロームB、微量) | 11 黄色土 (ローム粒主体。IP、微量) |
| 3 黒色土 (ローム粒、IP、少量) | 12 灰白色土 (粘土主体) |
| 4 灰褐色土 (ローム粒、ロームB、少量。IP、灰、粘土、微量) | 13 黄褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。IP、KP、粘土、微量) |
| 5 黒色土 | 14 黒色土 (ローム粒、少量。粘土、炭化物、少量。ロームB、微量) |
| 6 褐色土 (ローム粒、多量。炭化物、IP、微量) | 15 黒色土 (IP、KP、ローム粒、微量) |
| 7 黄色土 (ローム粒、ロームB主体) | 16 黄褐色土 (KP、IP、少量) |
| 8 黒褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、IP、微量) | 17 黒褐色土 (ロームB、少量。IP、KP、微量) |
| 9 黄褐色土 (ローム粒、ロームB、多量) | |



第215図 S I 089



第216図 S I 089カマド

第217図 S I 089出土土器

- 1 茶褐色土 (粘土、焼土)
- 2 赤褐色土 (焼土)
- 3 褐色土 (焼土、炭化物)
- 4 黒色土 (ローム粒、焼土)
- 5 黒褐色土 (ローム粒、少量)
- 6 黄褐色土 (ローム塊、多量)
- 7 灰褐色土 (粘土)

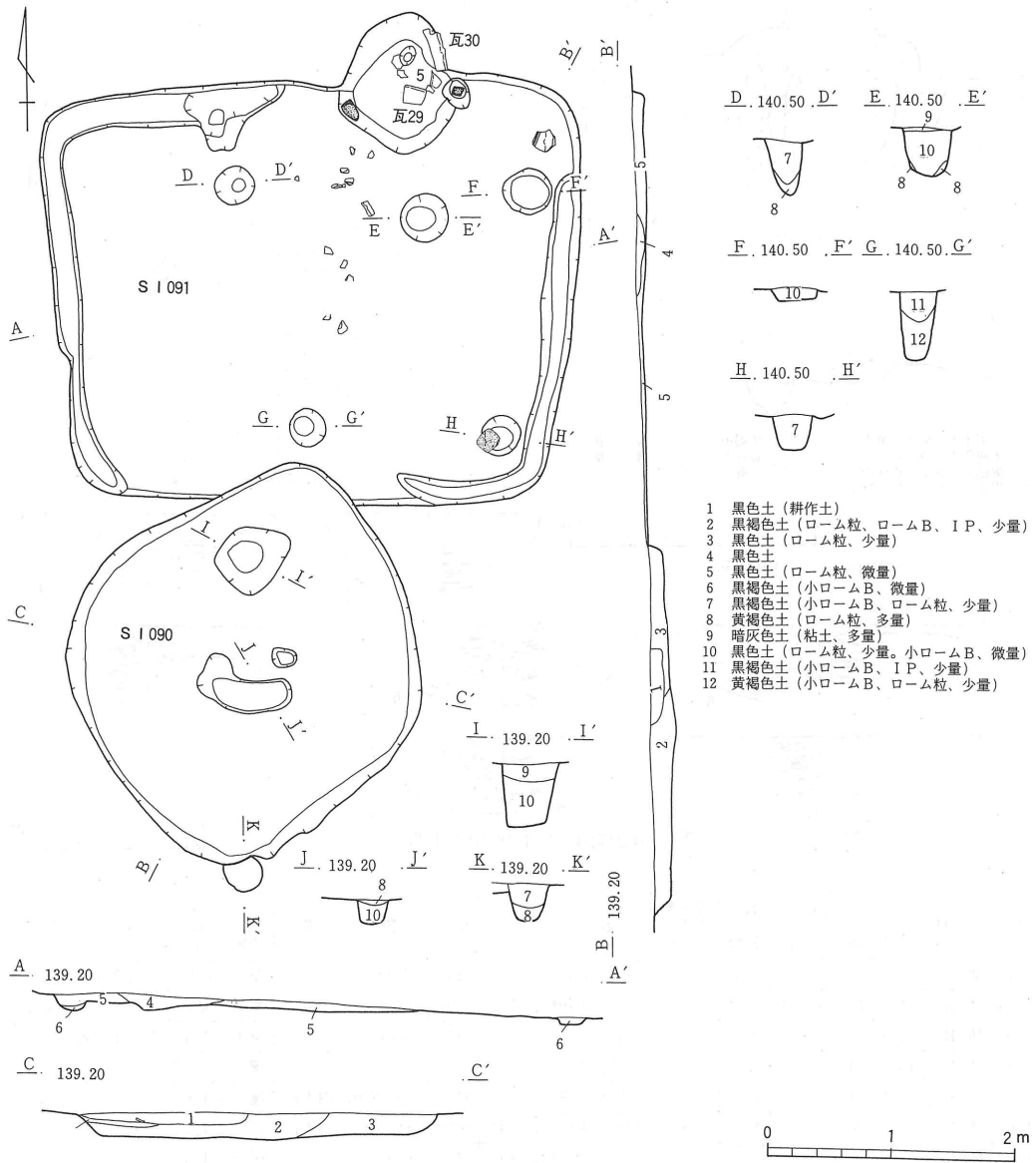
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	24.6	—	—	A(1)	a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	2次焼成
2	鉢(H)	11.4	13.5	7.1	B(1)	e	石英, 黒色粒, 雲母	良好	褐色	覆土	完形	内から焼成後穿孔
3	坏(H)	12.0	4.1	—	G	g	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/4	内面漆付着
4	坏(H)	15.6	4.4	—	G	c	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	完形	
5	坏(H)	15.4	4.2	—	F(1)	a	砂粒やや多	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
6	坏(H)	13.2	4.2	—	F(1)	a	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	カマド	1/2	内黒
7	坏(H)	12.8	4.1	—	G	c	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/2	
8	塊(H)	17.6	6.1	—	B	b	雲母, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	2/3	内黒
9	坏(H)	13.8	4.0	—	E	c	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	4/5	

第91表 S I 089土器観察表

S I 090

位置 南地区 F-15グリッド 平面形 一辺が2.5mの隅丸平行四辺形 方位 住居: N 38°W
 カマド: NE 規模 小 床面 平坦な貼床 壁 45~70° 深さ15~20cm 周溝・柱穴 共に認めず。
 備考 調査直前まで近年の水路が切っており、埋土中に水性堆積物やゴミが混入してお

りかなりの攪乱を受けている。S I 091を切っている。 遺物 不明鉄製品 1

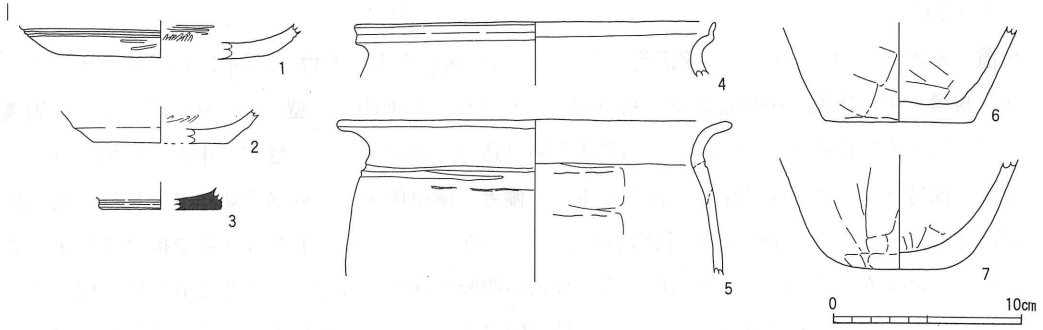


- 1 黒色土 (耕作土)
- 2 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、I P、少量)
- 3 黒色土 (ローム粒、少量)
- 4 黒色土
- 5 黒色土 (ローム粒、微量)
- 6 黒褐色土 (小ロームB、微量)
- 7 黒褐色土 (小ロームB、ローム粒、少量)
- 8 黄褐色土 (ローム粒、多量)
- 9 暗灰色土 (粘土、多量)
- 10 黒色土 (ローム粒、少量。小ロームB、微量)
- 11 黒褐色土 (小ロームB、I P、少量)
- 12 黄褐色土 (小ロームB、ローム粒、少量)

第218図 S I 090・091

S I 091

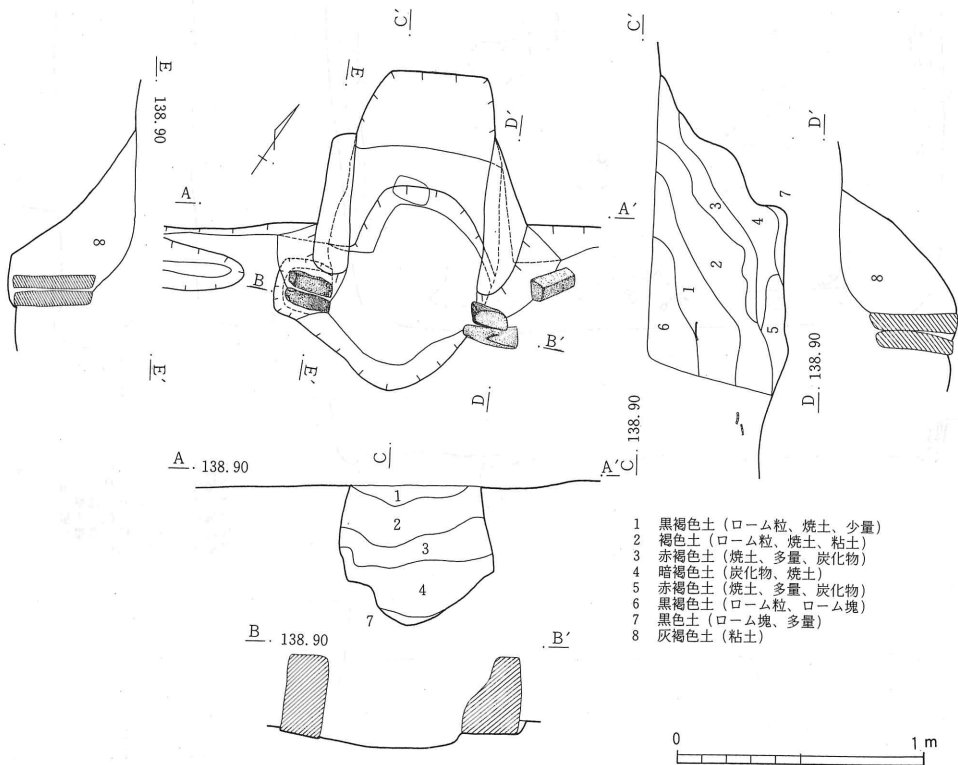
位置 南地区F-15グリッド 平面形 3.4×4.2mの横長方形 方位 住居：N 0°カマド：N
 規模 中 床面 平坦なローム床 壁 浅い。北、東壁高10cm。南、西壁0 cm。壁角度測定不能。
 周溝 カマド周辺、南壁の一部を除いて認められる。 柱穴 認めず。 備考 ピット5本の切り合い関係不明。S I 090に切られる。 遺物 土師器坏1・皿1・甕4，須恵器1



第219図 S I 091出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	皿(H)	-	-	10.8	A		雲母	良好	外赤褐色, 内黒色	覆土	1/6	内面漆付着
2	坏(H)	-	-	6.8	J	n	雲母, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	
3	(S)	-	-	6.6			石英, 黒色粒, 砂粒	良好	灰白色	覆土	1/8	
4	甗(H)	19.2	-	-	G(2)		石英, 白雲母, 砂粒	良好	暗赤褐色	覆土	1/32	
5	甗(H)	21.2	-	-	I	p	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	外面煤付着
6	甗(H)	-	-	8.0		p	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/18	
7	甗(H)	-	-	8.4		a	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	

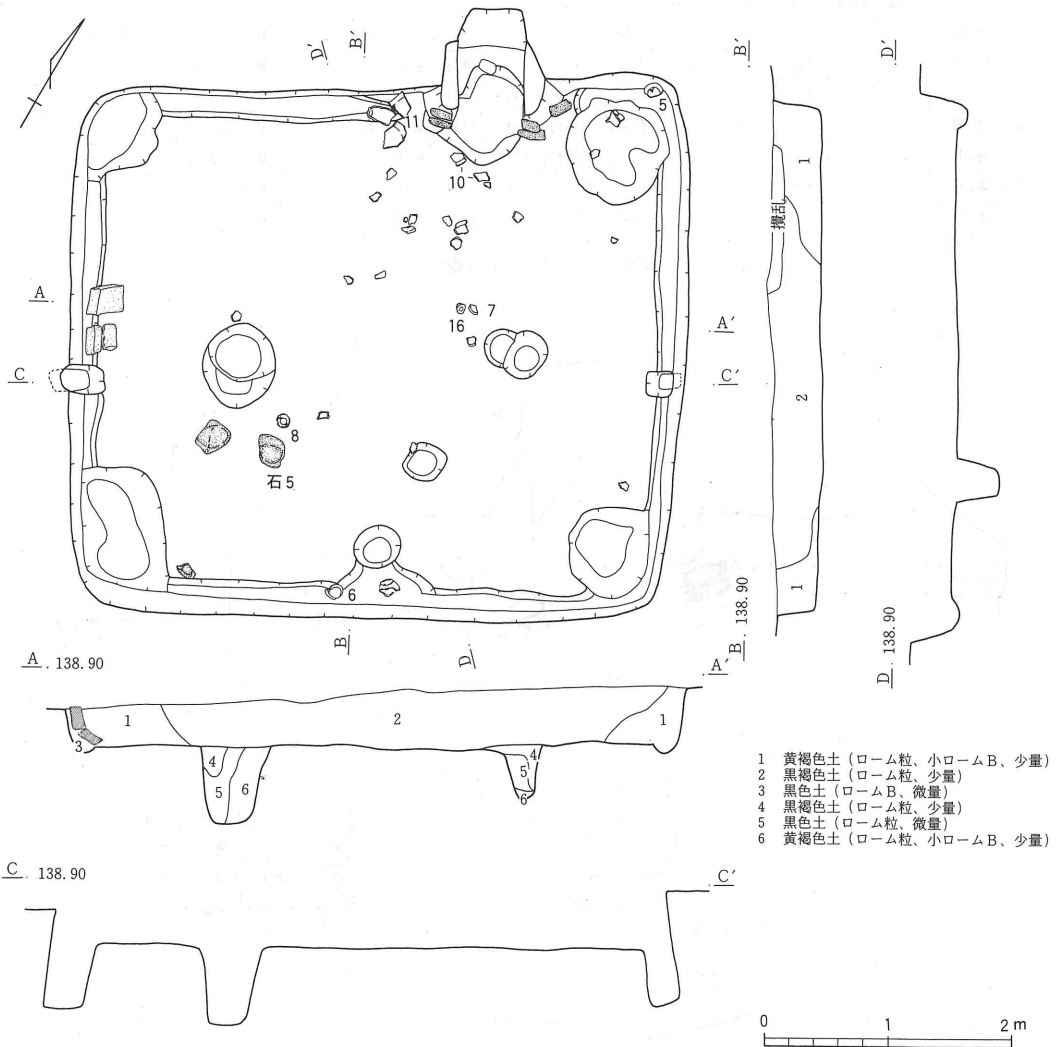
第92表 S I 091土器観察表



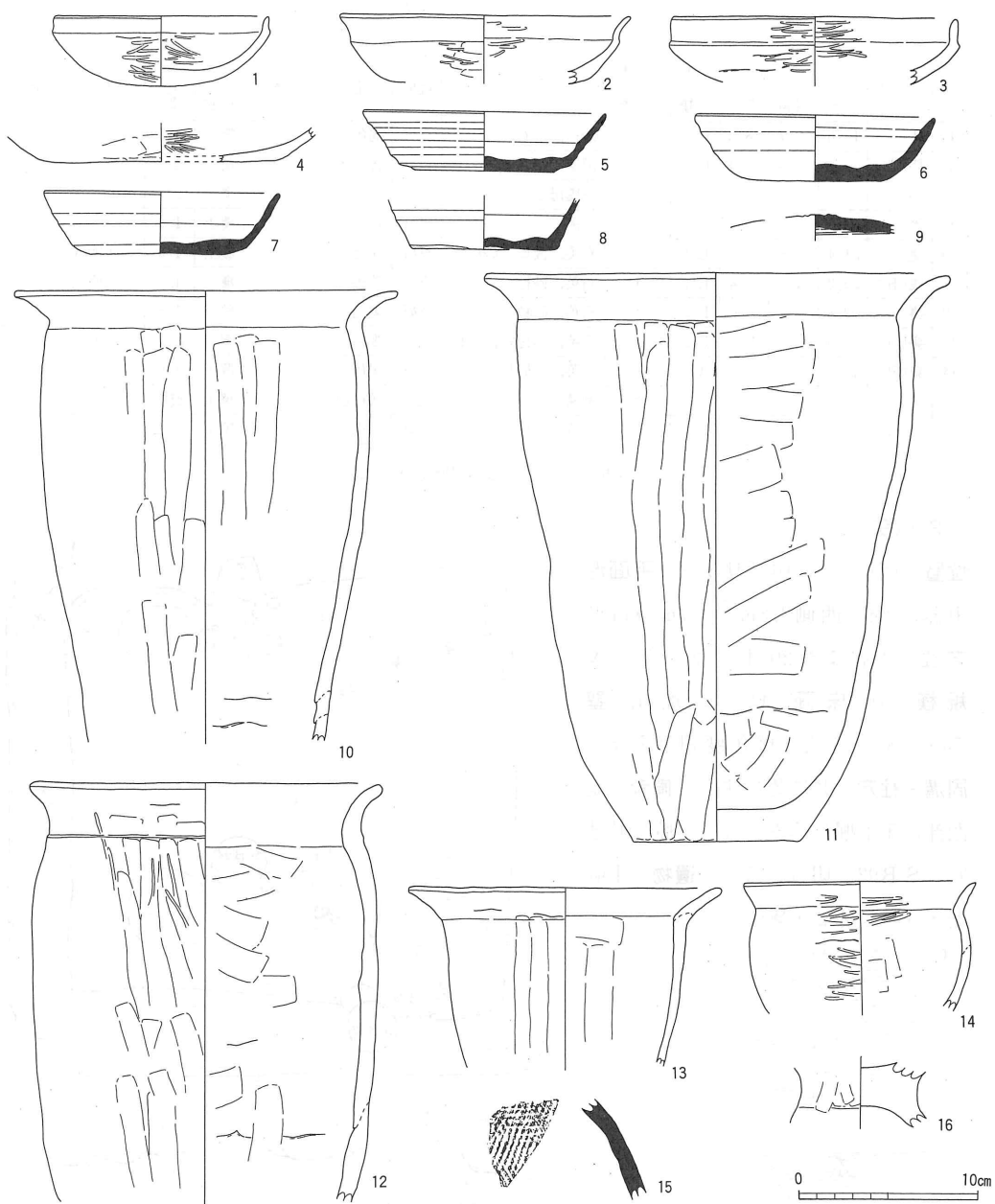
第220図 S I 092カマド

S I 092

位置 南地区F-15グリッド 平面形 4.2×5.0mの横長方形 方位 住居：N29°W カマド：
 E 規模 中 床面 中央部は堅く踏み固められたローム地山。 壁 75~80° 深さ30cm 周溝
 カマド掘り方に接続せず全周する。四隅床下掘り込みに接続する。 柱穴 東西中心軸にそって
 2本の棟持柱。同様に東西壁に壁柱穴2本。 備考 南壁中央床に周溝を切って土坑（出入口施設
 に伴うものか?）。西壁に凝灰岩切石を2本立て掛けてあるが、1本は途中で折れてしまっ
 ている。 カマド 広いコの字型の掘り方で煙道の明瞭な区別がない。ソデ芯に凝灰岩を用いて
 いるが、2本ずつ合わせて使っていることが特徴的である。なお、住居内でみられる凝灰岩切石の
 規格はほぼ一致している。(32×18×7.5cm) 遺物 土師器杯3・皿1・甕6、須恵器杯4・蓋
 2



第221図 S I 092



第222図 S I 092出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	12.0	3.9	—	C	c	小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/6	内面漆付着
2	坏(H)	16.2	—	—	H	c	石英, 小砂粒	不良	暗褐色	覆土	1/8	
3	坏(H)	16.2	—	—	C	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
4	皿(H)	—	—	13.4			緻密	良好	赤褐色	覆土	1/8	
5	坏(S)	13.7	3.2	8.4	B	e	緻密	良好	青灰色	覆土	4/5	

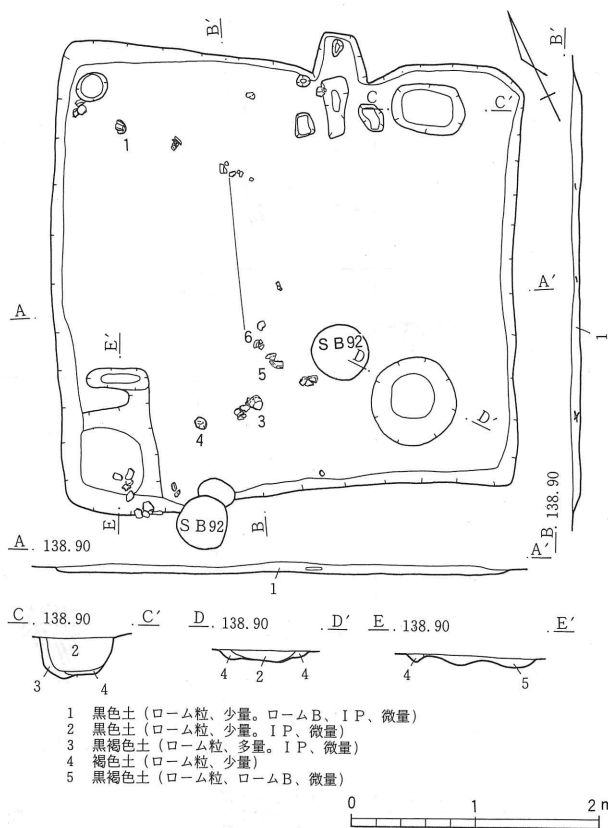
第93表 S I 092土器観察表 (1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
6	坏(S)	13.6	3.7	8.3	C	e	砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	4/5	
7	坏(S)	13.2	3.4	8.4	C	e	緻密	良好	青灰色	覆土	4/5	
8	坏(S)	—	—	8.0		e	白雲母やや多	良好	灰白色	覆土	2/3	
9	蓋(S)	—	—	—			緻密	良好	青灰色	覆土	1/6	
10	甕(H)	21.4	—	—	E(1)	j	石英, 雲母, 砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	2次焼成
11	甕(H)	26.2	31.5	9.4	E(1)	j	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/5	2次焼成
12	甕(H)	19.8	—	—	D(1)	j	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	
13	甕(H)	17.6	—	—	E(2)	j	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	2次焼成
14	甕(H)	13.0	—	—	A(3)	b	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
15	甕(S)	—	—	—		c	緻密	良好	灰白色	覆土	破片	
16	甕(H)	—	—	—	F	a	石英, 砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/12	

第94表 S I 092土器観察表(2)

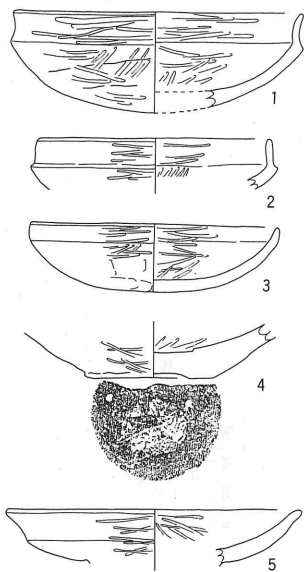
S I 093

位置 南地区G-16グリッド 平面形
 東側3.3m、西側3.8m×3.7mの台形
 方位 住居：N 20° E カマド：N
 規模 中 床面 ローム地山壁
 5cmと極めて浅く壁角度測定不能。
 周溝・柱穴 共に認めず。備考 南
 西部に床下掘り込み。カマド脇に貯蔵
 穴。S B92に切られる。遺物 土師
 器坏3・高坏2・甕1

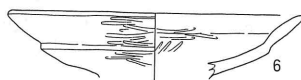


- 1 黒色土(ローム粒、少量、ロームB、IP、微量)
- 2 黒色土(ローム粒、少量、IP、微量)
- 3 黒褐色土(ローム粒、多量、IP、微量)
- 4 褐色土(ローム粒、少量)
- 5 黒褐色土(ローム粒、ロームB、微量)

第223図 S I 093



第224図 S I 093出土土器

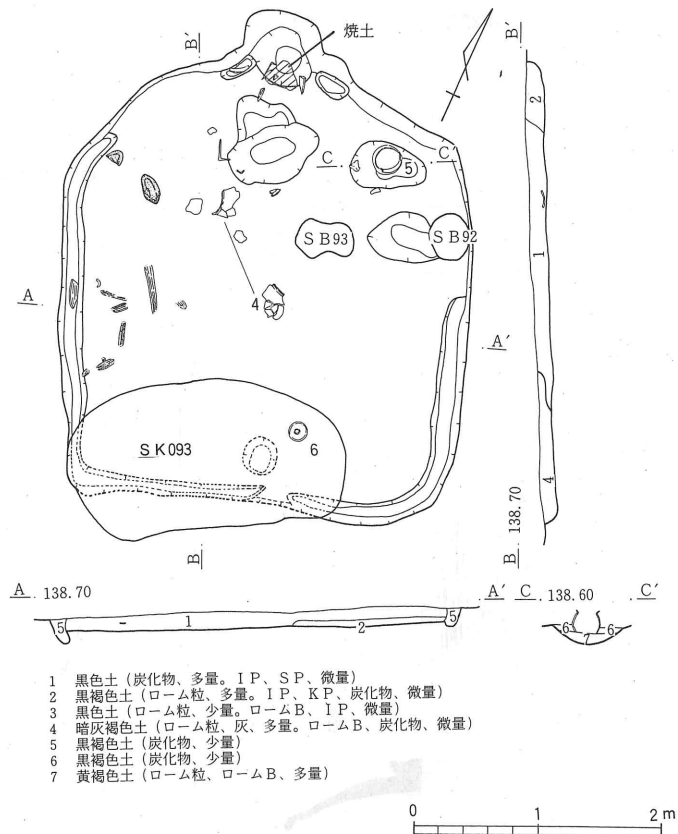


No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	15.0	5.3	—	C	a	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	4/5	内面漆付着
2	坏(H)	12.4	—	—	C	a	緻密	良好	暗褐色	覆土	1/6	煤付着
3	坏(H)	13.4	3.6	—	E	a	石英, 小砂粒	良好	黒褐色	床面	2/3	内黒
4	甕(H)	—	—	6.8	A	b	石英, 砂粒	良好	赤褐色	床面	1/28	木葉痕
5	高坏(H)	15.8	—	—	A		石英, 砂粒, 小石	良好	赤褐色	床面	1/4	
6	高坏(H)	15.8	—	—	A		石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	

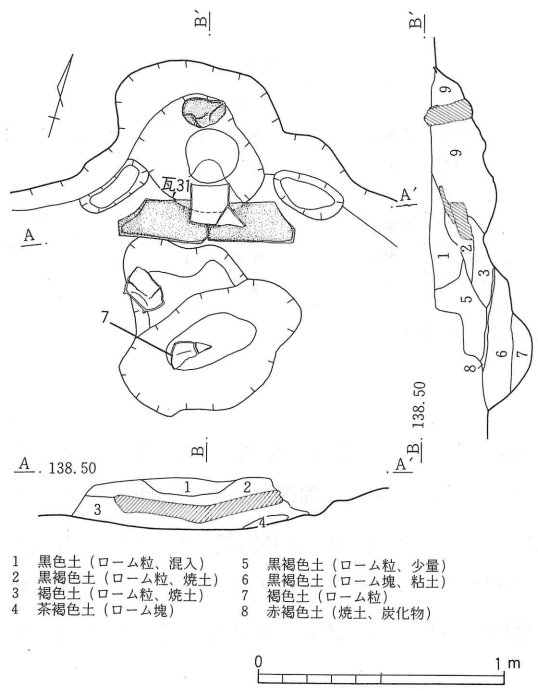
第95表 S I 093土器観察表

S I 094

位置 南地区G-16グリッド 平面形 3.7×3.4mの縦長方形 方位 住居：N22°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山。壁 65~70° 深さ10~16cm 周溝 北壁と北東部を除き認められる。柱穴 認めず。備考 南壁中央床にピット1本（出入口施設に伴うものか？）S K 093に切られる。カマド コの字型の掘り方で燃烧部は住居壁より外側に出るタイプ。焚口補強用に凝灰岩切石を用いている。ソデ部付近に楕円形のピットが認められるが、これは焚口の補強材として瓦が差し込まれていた可能性がある。また煙道の立ち上がり直前に凝灰岩製円筒柱が立っているが、これは支脚と思われる。遺物 土師器坏1・甕3, 須恵器高台付坏1・蓋1・壺1

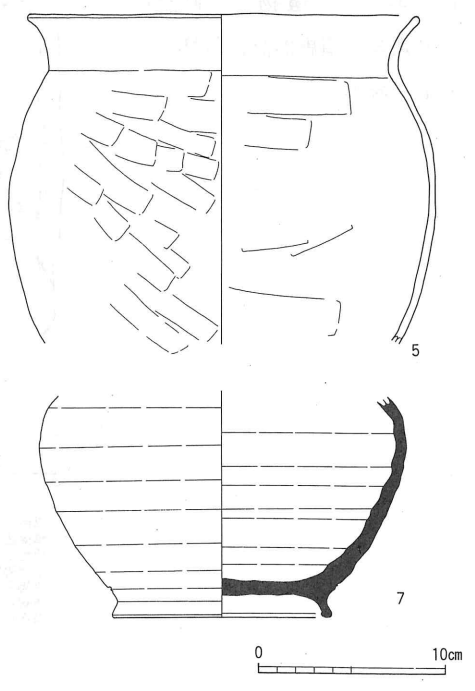
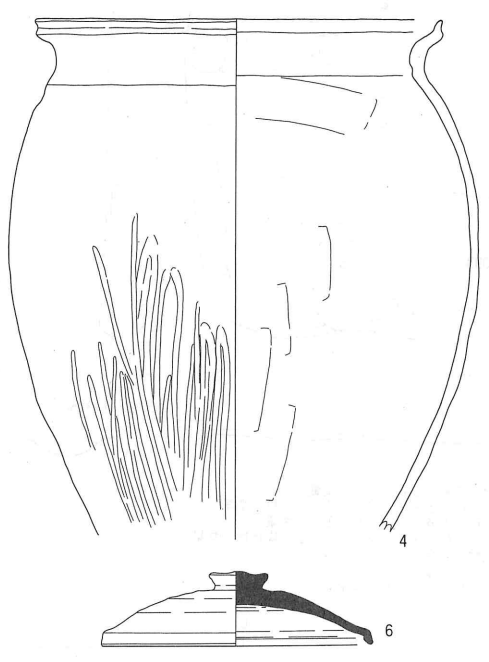
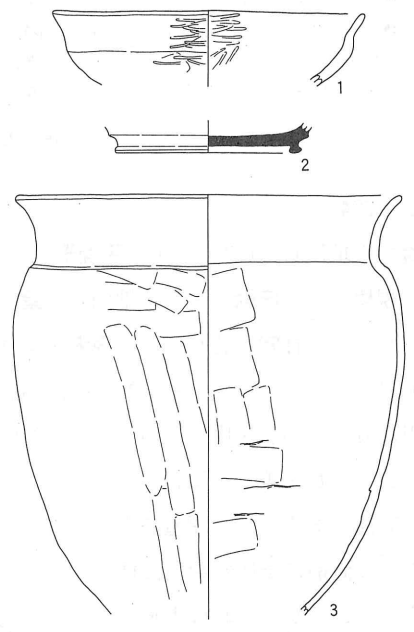


第225図 S I 094



- 1 黒色土 (ローム粒、混入)
- 2 黒褐色土 (ローム粒、焼土)
- 3 褐色土 (ローム粒、焼土)
- 4 茶褐色土 (ローム塊)
- 5 黒褐色土 (ローム粒、少量)
- 6 黒褐色土 (ローム塊、粘土)
- 7 褐色土 (ローム粒)
- 8 赤褐色土 (焼土、炭化物)

第226図 S I 094カマド



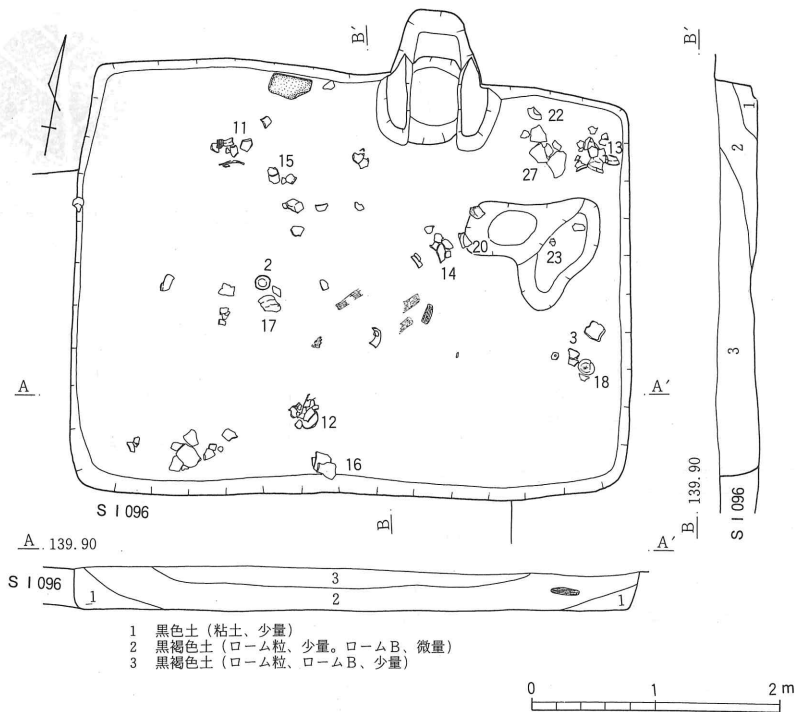
第227図 S I 94出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	16.8	—	—	H	a	雲母, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
2	高台(S)	—	—	9.8	A(1)	c	石英	良好	灰白色	覆土	1/8	
3	甕(H)	20.9	—	—	H(1)	n	雲母, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	
4	甕(H)	21.6	—	—	G(2)	m	白雲母, 小砂粒	良好	褐色	カマド	2/3	外面粘土付着
5	甕(H)	21.2	—	—	H(1)	n	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	暗褐色	カマド	2/3	外面煤付着
6	蓋(S)	14.5	3.9	—	(1)	a	緻密	良好	灰白色	覆土	完形	
7	壺(S)	—	—	11.2	A	a	白色砂粒やや多	良好	青灰色	覆土	1/2	

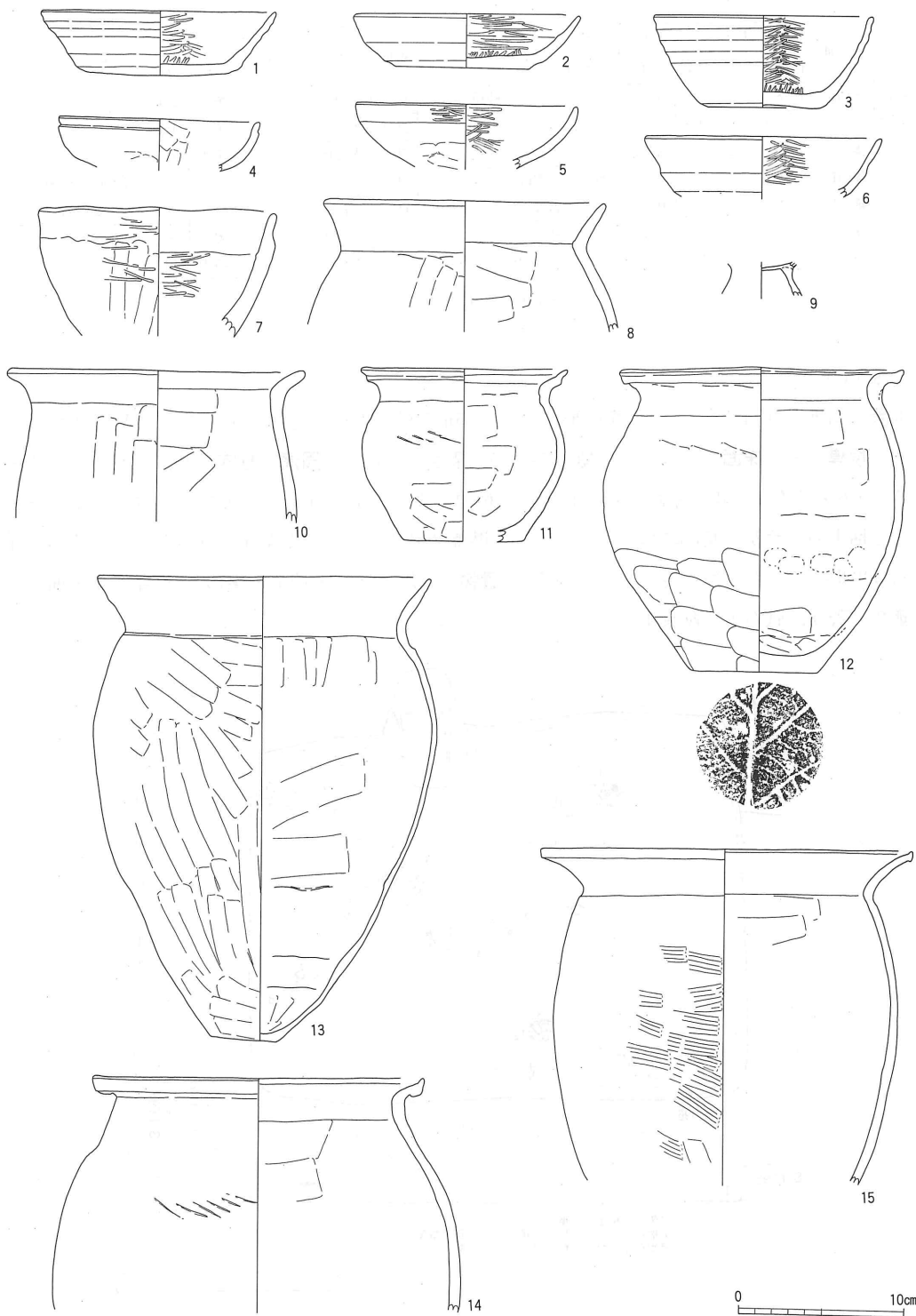
第96表 S I 094土器観察表

S I 095

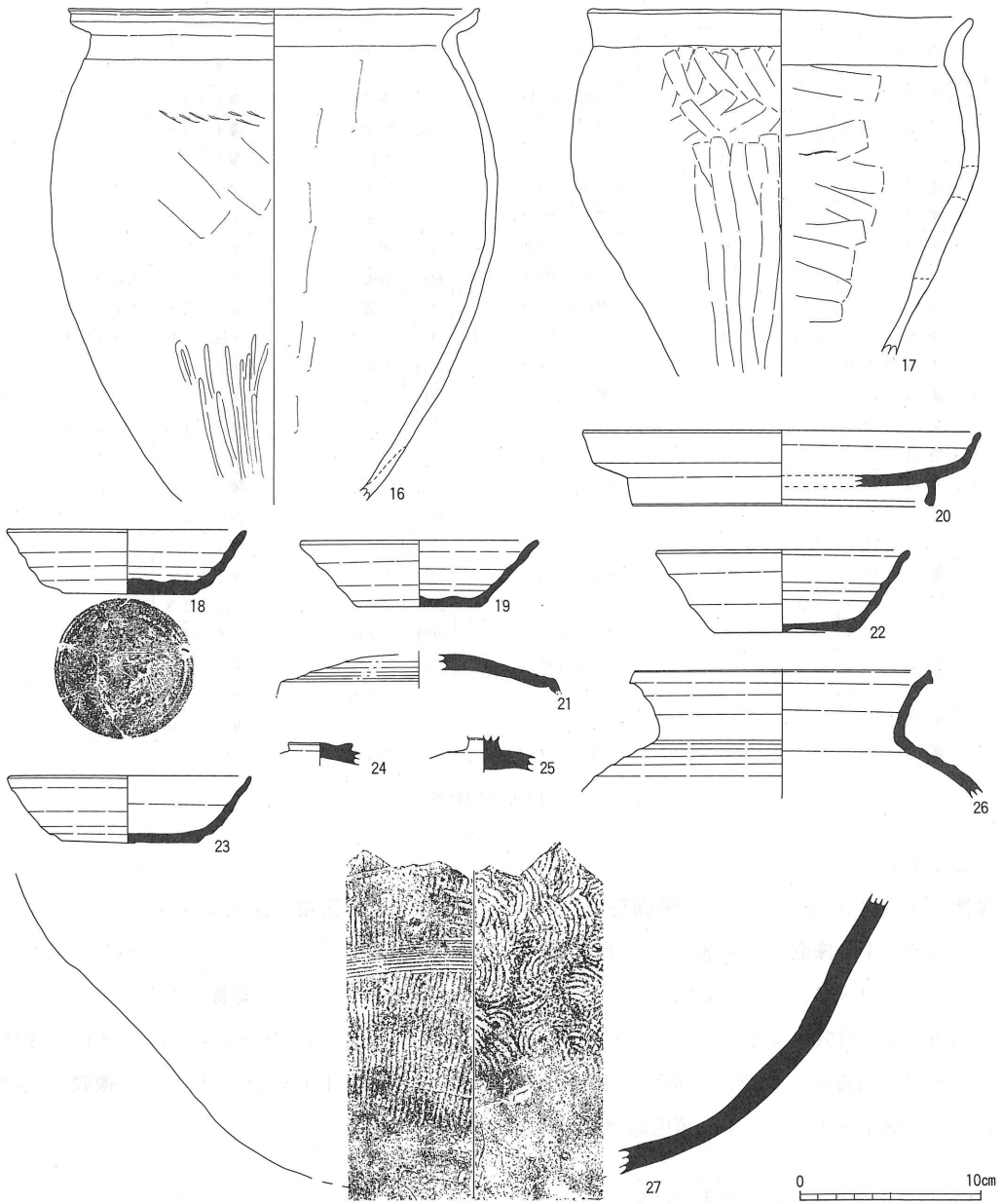
位置 南地区A-15グリッド 平面形 3.5×4.5mの横長方形 方位 住居：N11°W カマド：N 規模 中 床面 一部貼床 壁 75～85° 深さ35～40cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 S I 096を切る。近年の水路に切られ水性堆積物が埋土に混入する。カマド コの字型の掘り方で粘土のソデが、基部にはりついている。燃烧部に窪みがあるが貼床が施されてる。煙道部床面は平坦でそこから急角度で立ち上がる。遺物 土師器坏6・壺1・甕10, 須恵器坏4・皿1・甕2・蓋3, 砥石1, 鉸具1



第228図 S I 095



第229图 S I 095出土土器 (1)



第230图 S I 095出土土器(2)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	燒成	色調	出土狀態	殘存量	備考
		口徑	器高	底徑								
1	坏(H)	14.1	3.8	9.2	J(1)	i	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/4	
2	坏(H)	13.7	3.3	8.9	J(1)	j	石英, 金雲母	良好	外褐色, 内黑色	覆土	完形	内黑
3	坏(H)	13.2	5.5	6.8	J(2)	m	石英, 小砂粒	良好	外褐色, 内黑色	覆土	1/2	内黑
4	坏(H)	12.0	-	-	C	g	緻密	良好	褐色	覆土	1/8	

第97表 S I 095土器觀察表(1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
5	坏(H)	13.4	-	-	G	b	石英, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
6	坏(H)	14.4	-	-	J		緻密	良好	暗褐色	覆土	1/6	
7	碗(H)	14.2	-	-	D	b	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	1/8	
8	甕(H)	16.8	-	-	C	j	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/18	2次焼成
9	甕(H)	-	-	-	F		雲母, 黒色粒	良好	赤褐色	覆土	1/24	
10	甕(H)	17.8	-	-	D	j	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	
11	甕(H)	12.6	10.3	7.0	G(2)	p	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/3	木葉痕
12	甕(H)	17.2	18.2	7.2	G(1)	p	黒色粒, 長石	良好	赤褐色	覆土	完形	木葉痕, 2次焼成
13	甕(H)	20.0	27.6	3.4	H(1)	n	石英, 雲母, 赤色粒	良好	赤褐色	床面	完形	外面煤付着
14	甕(H)	20.0	-	-	G(1)	m	石英, 小砂粒	良好	褐色	床面	1/8	
15	甕(H)	22.8	-	-	J	q	黒色粒, 砂粒多	良好	淡褐色	覆土	1/6	
16	甕(H)	22.8	-	-	G(2)	m	石英	良好	暗褐色	覆土	1/4	外面煤付着
17	甕(H)	21.6	-	-	C	j	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	2/3	2次焼成
18	坏(S)	13.4	3.6	7.5	C	e	砂粒, 小石	良好	暗灰色	覆土	4/5	ヘラ描「夫」
19	坏(S)	13.2	3.6	7.0	C	e	砂粒, 小石	良好	暗灰色	覆土	1/2	
20	皿(S)	21.0	4.1	17.0	A	c	砂粒	良好	灰色	覆土	1/5	
21	蓋(S)	15.6	-	-		a	砂粒, 小石	良好	青灰色	覆土	1/4	
22	坏(S)	14.0	4.5	7.4	C	e	砂粒, 小石	良好	紫灰色	床面	2/3	
23	坏(S)	13.6	3.7	7.0	C	c	白色砂粒やや多	良好	淡褐色	床面	2/3	
24	蓋(S)	-	-	-	(3)		石英, 砂粒	良好	灰白色	覆土	1/8	
25	蓋(S)	-	-	-			緻密	良好	暗灰色	覆土	1/7	
26	甕(S)	16.6	-	-	B	a	緻密	良好	青灰色	覆土	1/18	
27	甕(S)	-	-	-		d	砂粒, 小石	良好	青灰色	床面	1/8	

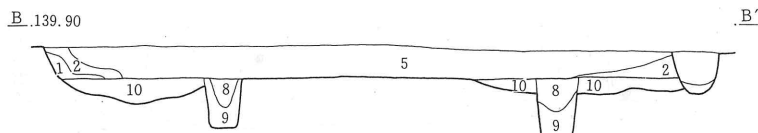
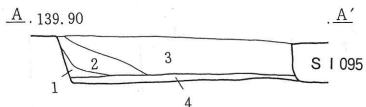
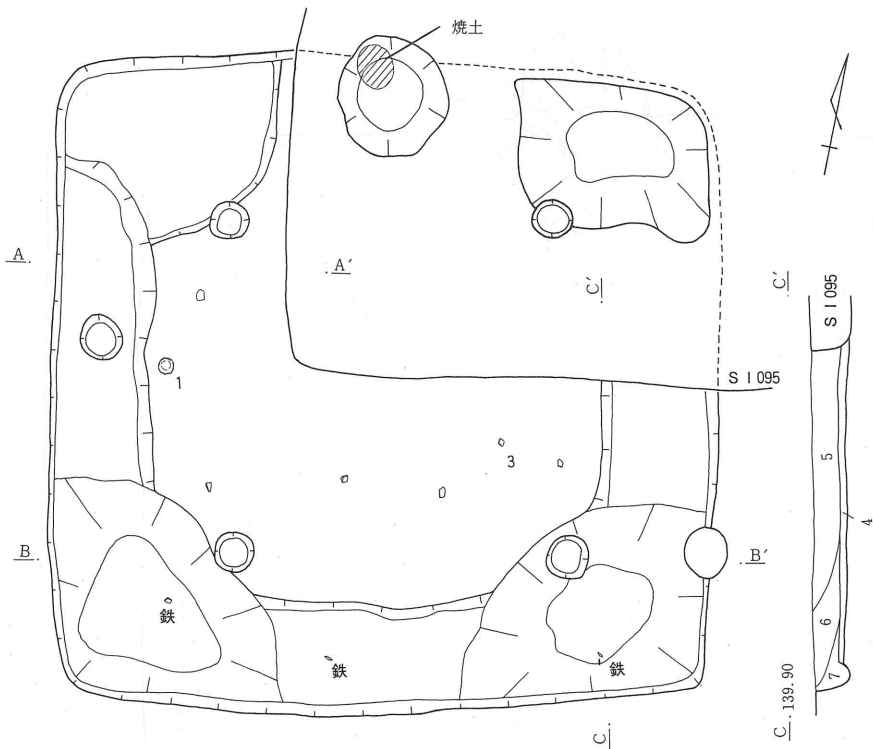
第98表 S I 095土器観察表 (2)

S I 096

位置 南地区A-16グリッド 平面形 一辺が5.4mの正方形 方位 住居：N08°W カマド：N 規模 中 床面 中央部ローム地山、壁際を太い帯状に床下掘り込みがあり、それを黒色土とロームブロックによって貼床される。壁 62~88° 深さ30~40cm 周溝 調査中の出水により調査不能 柱穴 4本スクエアに配す。備考 北東コーナー部に床下掘り込み。水田の灌漑水の影響で調査中に水没し、細部の確認が不可能になった。S I 095に切られる。遺物 土師器坏3・甕1・手づくね1, 須恵器甕1, 鉄鏃1

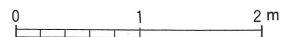
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	9.4	2.6	-	F(1)	b	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
2	坏(H)	12.2	3.2	-	F(1)	b	石英, 雲母	良好	淡褐色	覆土	1/6	
3	坏(H)	13.0	4.3	-	B	c	石英, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	完形	内黒
4	手(H)	4.2	1.7	3.8			石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	完形	
5	甕(H)	17.4	-	-	E	e	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/28	
6	壺(S)	15.4	-	-	E	e	白色砂粒, 小石	良好	青灰色	覆土	1/24	

第99表 S I 096土器観察表

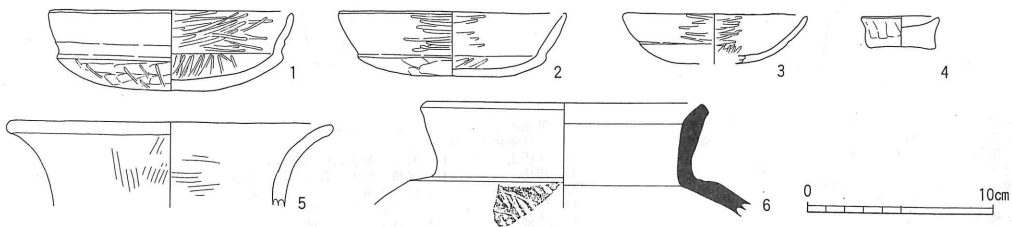


- 1 黄褐色土 (ローム粒、小ロームB、少量)
- 2 黒色土 (ローム粒、微量)
- 3 黒褐色土 (IP、SP、微量)
- 4 黒色土 (烧土、炭化物、微量)
- 5 黒褐色土 (IP、SP、微量)

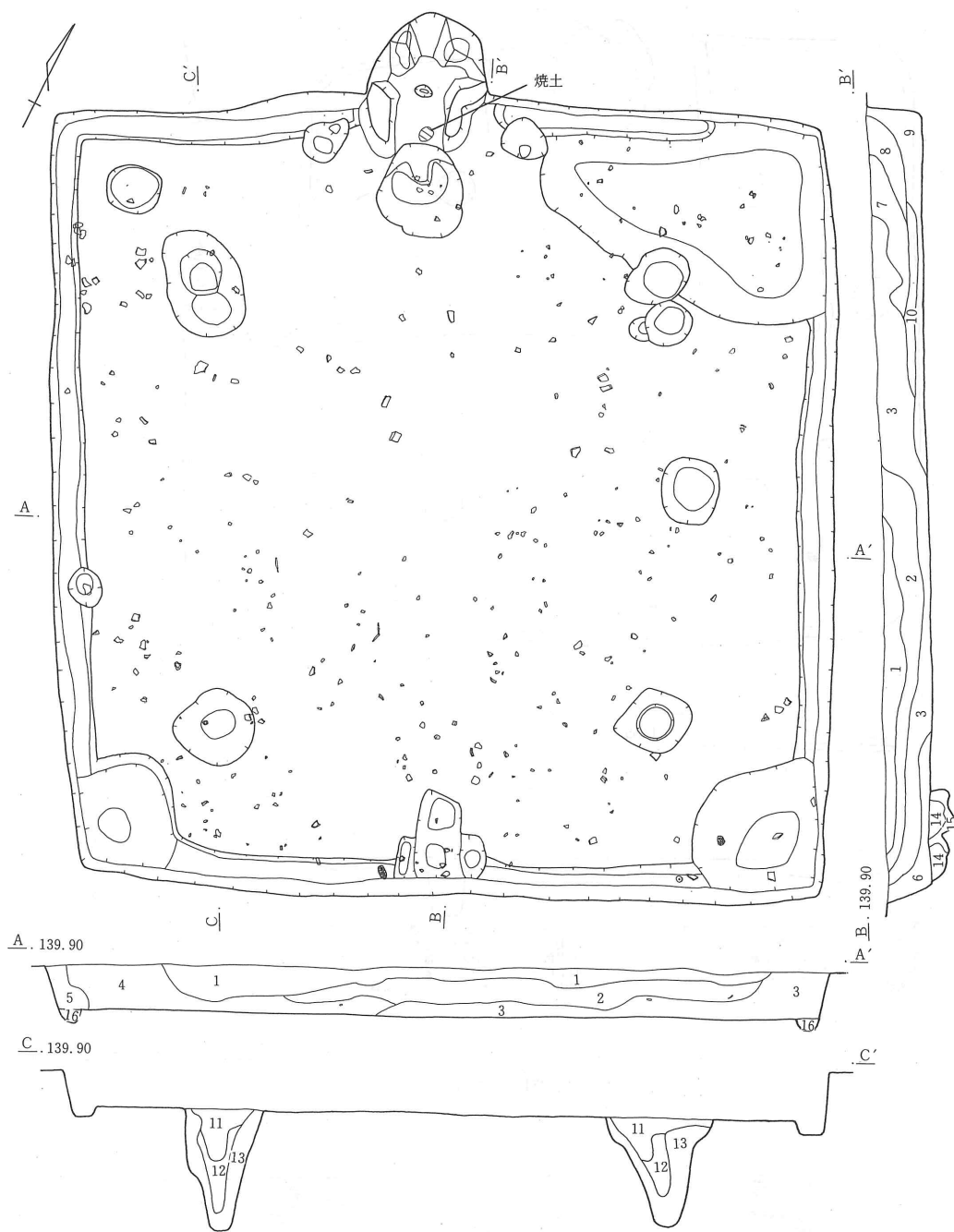
- 6 暗黄褐色土 (ロームB、多量、IP、微量)
- 7 暗褐色土 (粘土、烧土、多量)
- 8 黒褐色土 (ローム粒、少量)
- 9 明褐色土 (ローム粒、多量)
- 10 褐色土 (ローム粒、ロームB、多量)



第231图 S I 095



第232图 S I 096出土土器



- 1 暗褐色土 (ローム粒、多量、ロームB、少量)
- 2 黒色土 (ローム粒、ロームB、少量、炭化物、微量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒、少量、I P、微量)
- 4 褐色土 (ローム粒、I P、炭化物、少量)
- 5 黒色土 (ローム粒、I P、微量)
- 6 黒色土 (ローム粒、微量)
- 7 灰褐色土 (粘土、多量)
- 8 黒色土 (ロームB、微量)

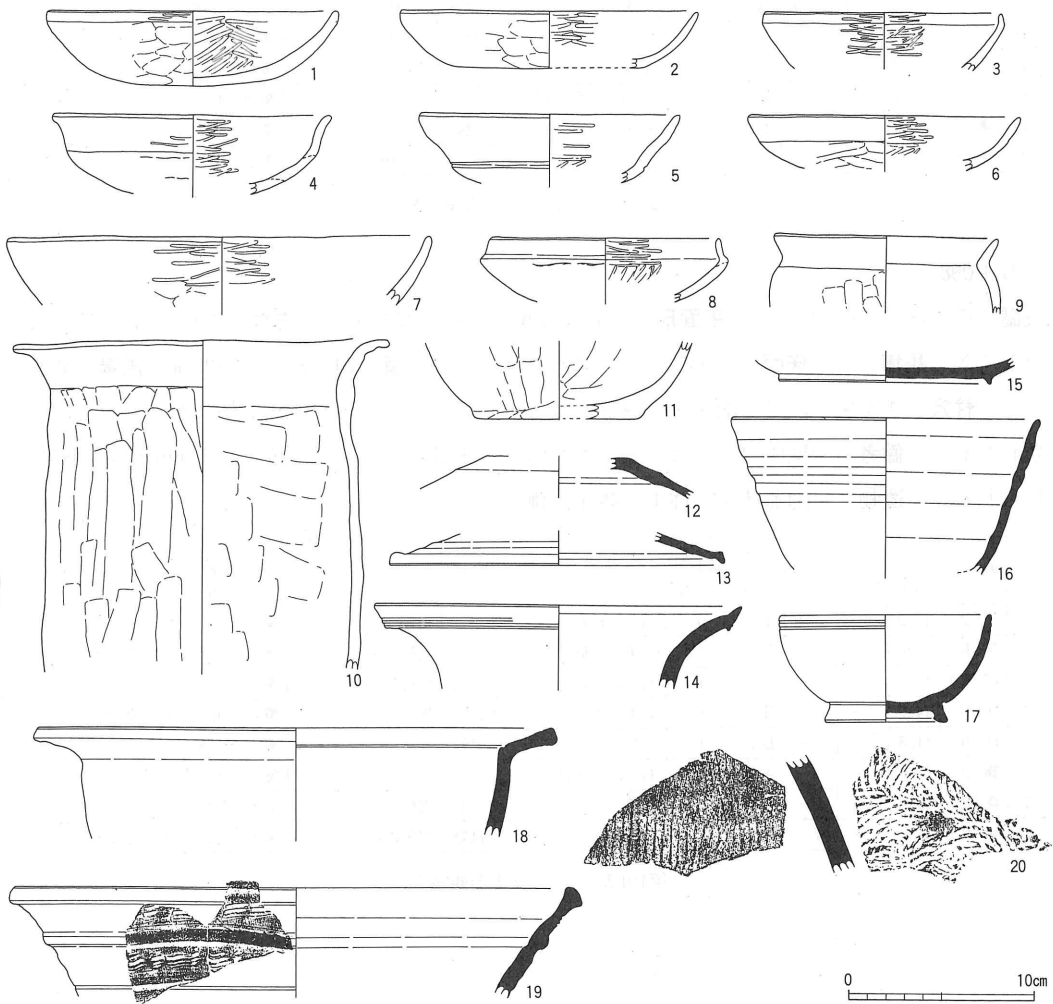
- 9 明褐色土 (ローム粒、粘土、多量)
- 10 明灰褐色土 (粘土主体)
- 11 黒色土 (ローム粒、粘土、凝灰岩粒、微量)
- 12 褐色土 (ローム粒、多量、粘土、凝灰岩粒、少量)
- 13 暗黄褐色土 (ローム粒、多量、ロームB、少量)
- 14 暗褐色土 (ローム粒、多量、凝灰岩粒、少量)
- 15 黒褐色土 (ローム粒、凝灰岩粒、少量)
- 16 黒褐色土 (ローム粒、少量)

第233図 S I 097



S I 097

位置 南地区B-16グリッド 平面形 7.0×6.7mのほぼ正方形 前田遺跡の中で最大規模 方位 住居：N25°W カマド：N 規模 大 床面 ローム地山で中央部に堅い面を持つ。中央部に焼床あり。 壁 67~79° 深さ40cm 埋土との剥離良好。 周溝 カマドに接続せず全周する。四隅の床下掘込みに接続する。 柱穴 4本スクエアに配する。数回の建て替えが行われている。 備考 四隅の掘込みは北西部にのみ認められない。南壁中央床に土坑（出入口施設に伴うものか?）。カマド両脇にピットがそれぞれ1本ずつ。 カマド 凸形の掘り方だが上端は大きなU字形を呈する。左ソデ内に石が芯として用いられており、煙道部両側に焼痕がある。また燃焼部中央にピットが1本あるが、支脚用のものと思われる。 遺物 土師器坏6・皿1・鉢1・甕3, 須恵器高台付坏1・埴1・鉢2・甕3・蓋2・壺1, 紡錘車1, 火打金1・鎌1・鉄鍬3



第234図 S I 097出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	15.6	4.0	—	G	b	石英, 赤色粒	良好	橙褐色	覆土	1/3	
2	皿(H)	16.0	3.1	10.4	B	c	石英, 赤色粒	良好	赤褐色	覆土	1/8	
3	坏(H)	13.0	—	—	E	a	小砂粒	良好	赤褐色	カマド	1/8	
4	坏(H)	15.0	—	—	H	b	小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	カマド	1/8	内黒
5	坏(H)	14.0	—	—	F(2)	d	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/8	
6	坏(H)	14.6	—	—	G	d	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/6	
7	鉢(H)	22.6	—	—	D	a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	
8	坏(H)	12.3	—	—	D	d	緻密	良好	褐色	覆土	1/6	
9	甕(H)	12.2	—	—	D(3)	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/8	
10	甕(H)	20.0	—	—	D(1)	a	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	1/2	2次焼成
11	甕(H)	—	—	7.8		a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/24	
12	蓋(S)	—	—	—			緻密	良好	灰色	床下	1/4	
13	蓋(S)	18.0	—	—			白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/6	
14	壺(S)	19.8	—	—	A		緻密	良好	灰色	覆土	1/28	
15	高台(S)	—	—	11.6	A(2)	c	緻密	良好	灰白色	カマド	1/6	
16	鉢(S)	16.8	8.5	9.8	D	f	砂粒, 小石	良好	灰白色	覆土	2/3	
17	盒(S)	11.4	5.7	6.6		e	石英, 小砂粒	良好	青灰色	覆土	1/3	口縁部二条沈線
18	鉢(S)	28.2	—	—	B	d	石英, 白色砂粒	良好	灰色	覆土	1/18	
19	甕(S)	30.2	—	—	B		緻密	良好	青灰色	覆土	1/24	
20	甕(S)	—	—	—		d	砂粒, 小石	良好	青灰色	覆土	破片	

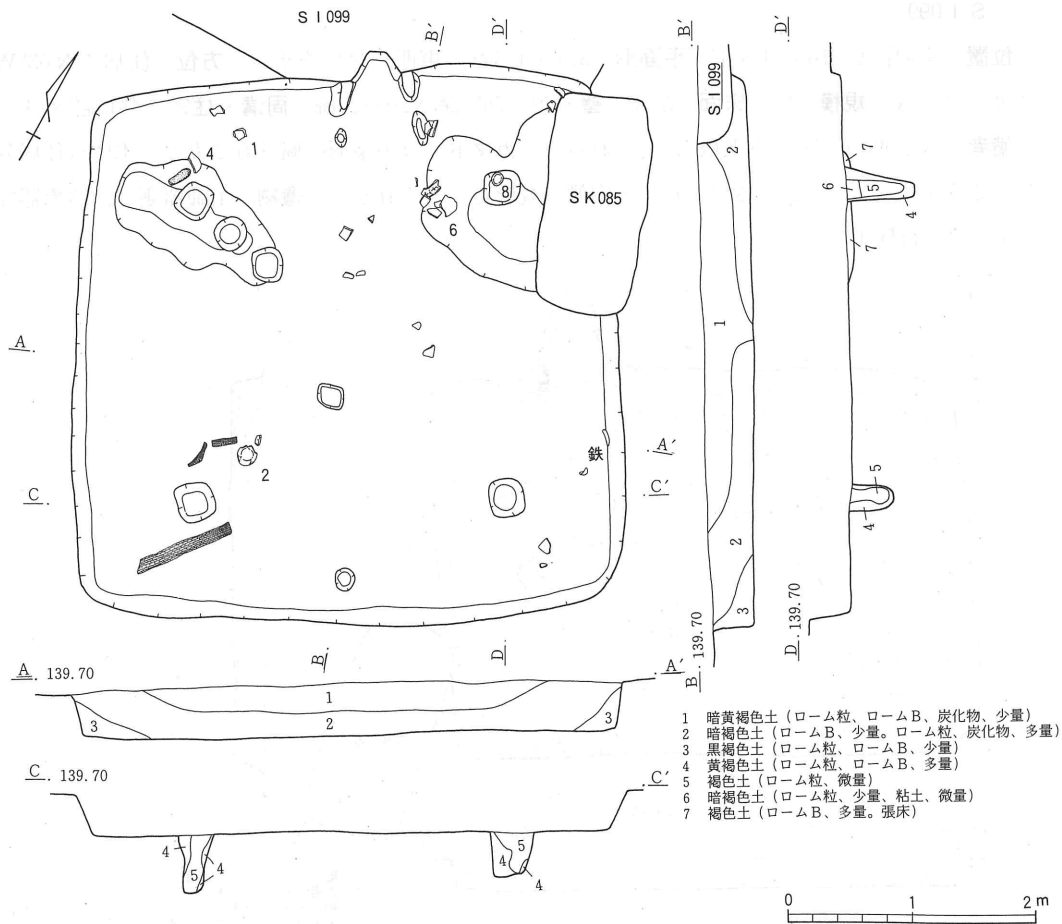
第100表 S I 097土器観察表

S I 098

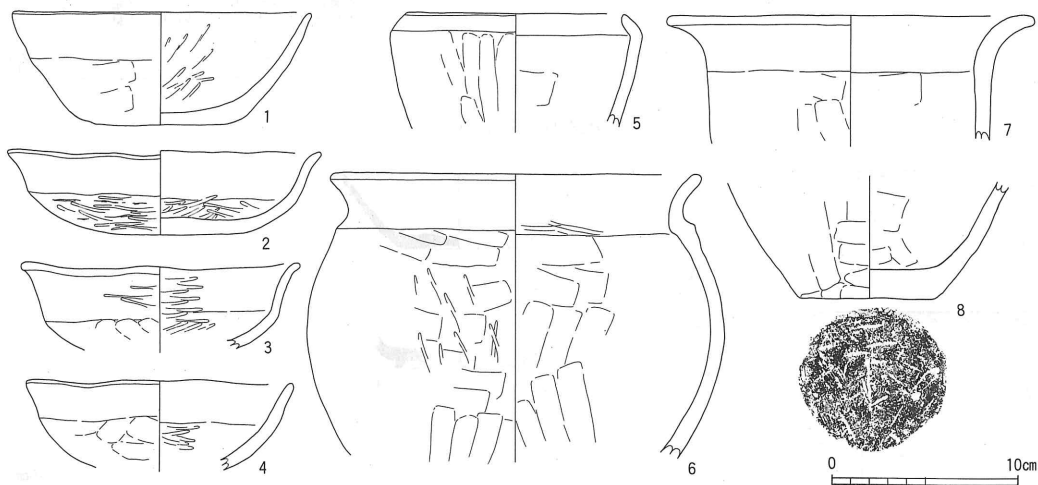
位置 南地区C-16グリッド 平面形 3.4×4.3mの東西に長い方形 方位 住居：N27°W カマド：N 規模 中 床面 中央部に堅いローム面あり。壁 74～82° 深さ35cm 周溝 認めず。柱穴 4本スクエアに配する。掘り方は方形。北西柱穴は3回の建て替えがあったように思われる。備考 南壁中央床にピット1本(出入口施設に伴うものか?) S I 099とS K 085に切られる。遺物 土師器坏4・鉢1・甕4, 鎌1

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	16.2	6.0	7.0	I	d	石英, 砂粒多	良好	褐色	覆土	1/3	
2	坏(H)	16.6	4.9	—	H	e	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	完形	外面煤付着
3	坏(H)	14.9	—	—	H	f	石英, 砂粒やや多	不良	黒褐色	覆土	1/6	
4	坏(H)	14.9	—	—	H	b	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/4	外面煤付着
5	鉢(H)	11.8	—	—	B(2)	f	石英, 砂粒やや多	良好	外褐色, 内暗褐色	覆土	1/8	
6	甕(H)	20.0	—	—	A(3)	b	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
7	甕(H)	19.8	—	—	E	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
8	甕(H)	—	—	7.0			石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/24	木葉底後削り

第101表 S I 098土器観察表



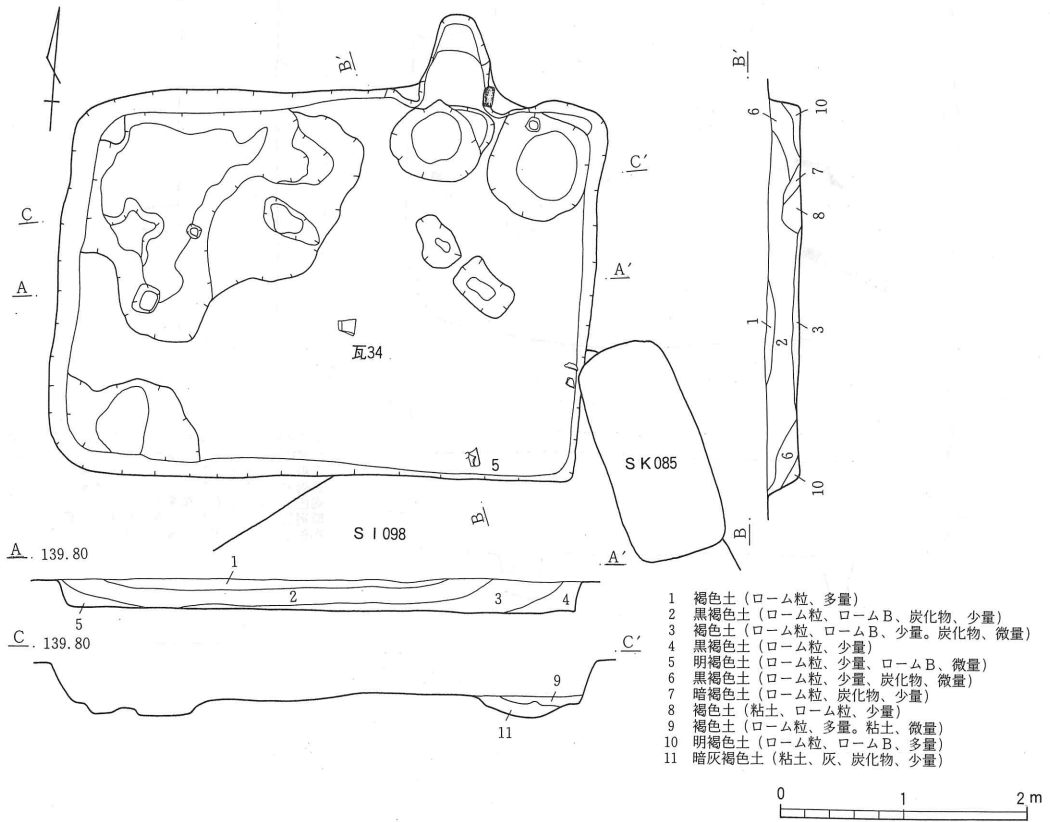
第235図 S I 098



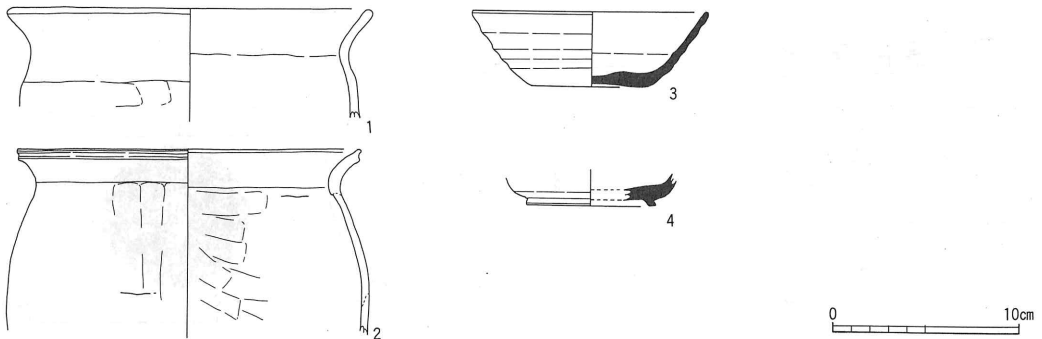
第236図 S I 098出土土器

S I 099

位置 南地区C-16グリッド 平面形 3.1×4.3mの東西に長い方形。 方位 住居：N03°W
 カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 60~76° 深さ20~25cm 周溝・柱穴 共に認めず。
 備考 S I 098を切る。SK085に切られる。 カマド コの字形の掘り方でカマド本体は住居外
 にでるタイプ。ソデは小さいが右ソデ内側に凝灰岩がみられる。 遺物 土師器甕2，須恵器坏
 1・高台付坏1



第237図 S I 099



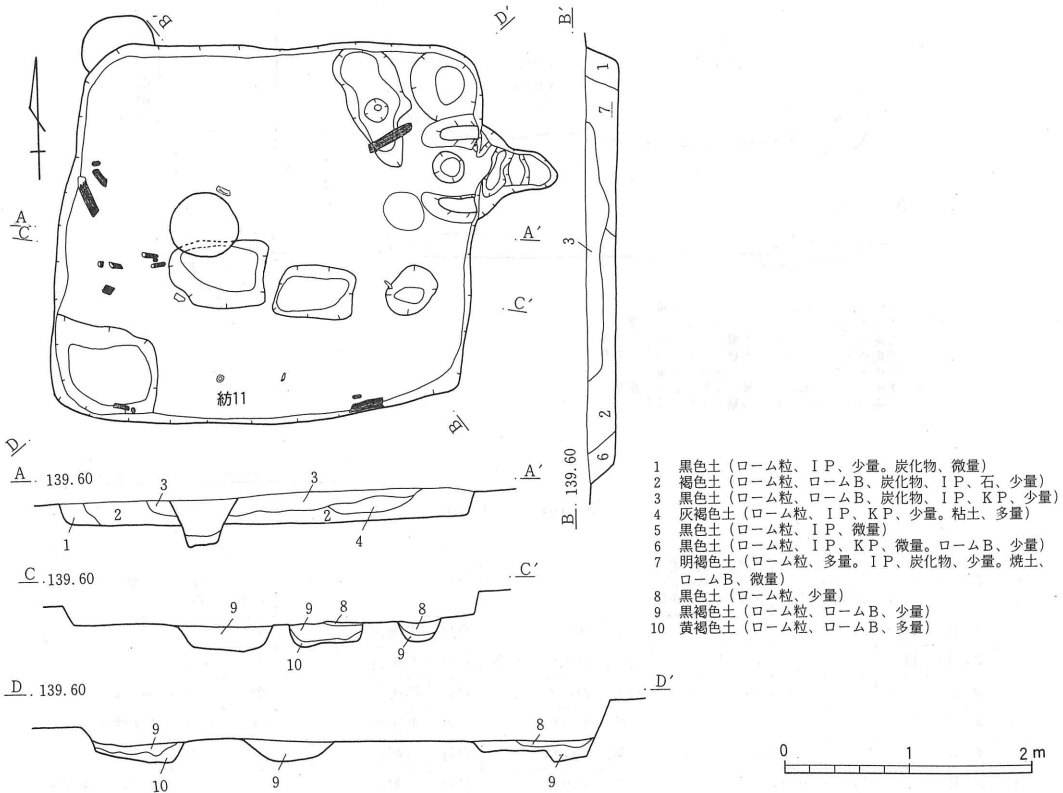
第238図 S I 099出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態 分類	成・整 形手法 分類	胎土	焼成	色調	出土 状態	残存 量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	19.8	—	—	D	a	砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	2次焼成
2	甕(H)	18.5	—	—	G(2)	i	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/16	外面煤付着
3	坏(S)	12.8	4.0	6.1	D	f	砂粒, 小石	良好	灰白色	覆土	4/5	外面一部煤付着
4	高台(S)	—	—	7.0	A(1)		白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/8	

第102表 S I 099土器観察表

S I 100

位置 北地区C-16グリッド 平面形 3.0×北壁3.0m、南壁3.5mの台形。 方位 住居：N 06°E カマド：E 規模 中 床面 貼床。一部に堅い面をもつ。 壁 55~75° 深さ20~30cm 周溝・柱穴 共に認めず。 備考 SK069を切り、ピットに切られる。 遺物 紡錘車1

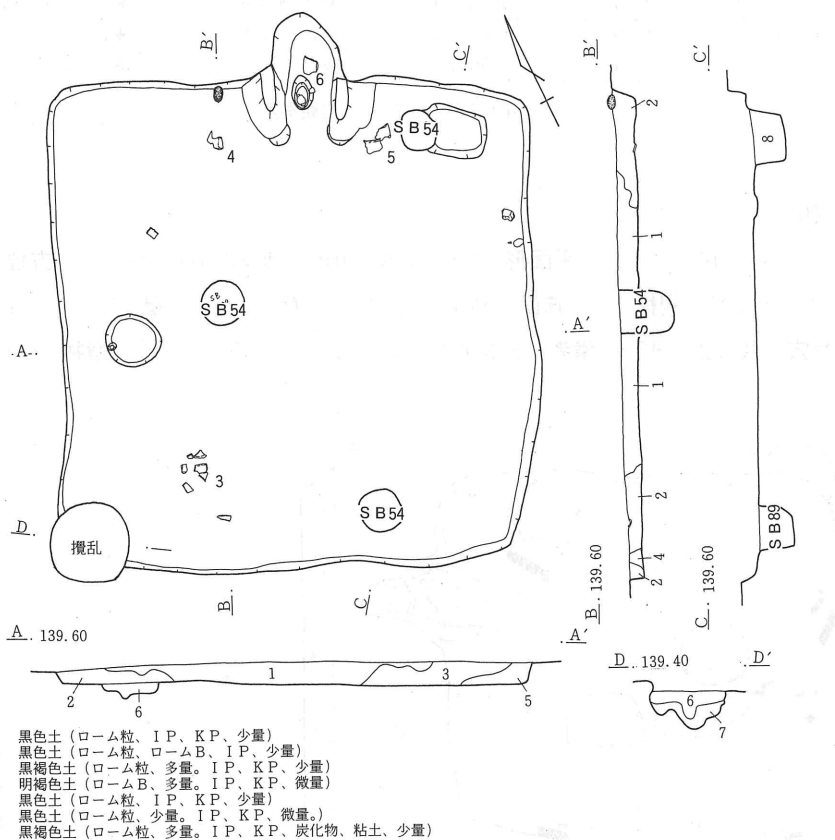


第239図 S I 100

S I 101

位置 南地区D-16グリッド 平面形 4.0×3.8mのほぼ正方形。 方位 住居：N20°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山床で堅い面あり。 壁 60~81° 深さ10~18cm 周溝・柱穴 共に認めず。 備考 カマド脇に貯蔵穴。南西コーナーに攪乱 (風倒木)。SB89に切られる。

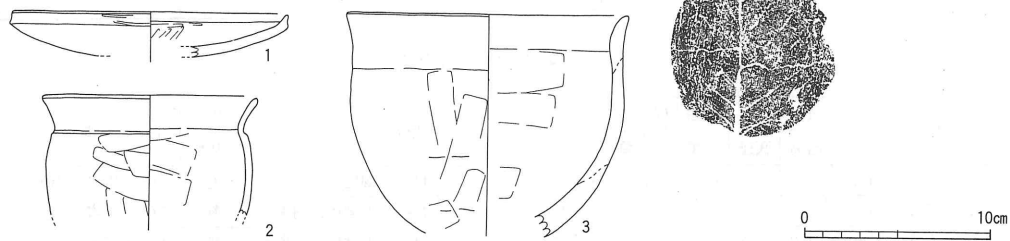
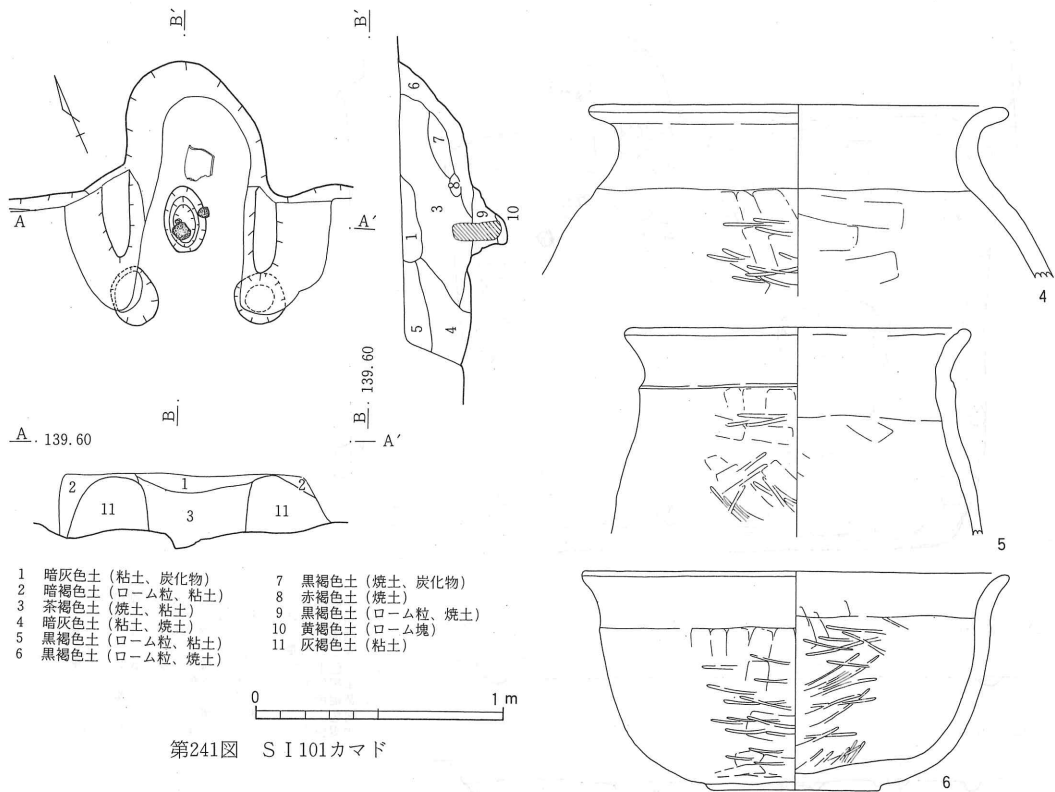
カマド U字形の掘り方でソデは住居壁より出る。燃烧部中央のピットに差し込まれた支脚が立った状態で認められた。ソデ前端にピット2本。 遺物 土師器坏1・鉢2・甕3



第240図 S I 101

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.8	2.5	—	E	b	石英, 砂粒やや多	良好	黒褐色	カマド	1/6	
2	甕(H)	11.6	—	—	D(3)	a	石英, 黒色粒やや多	良好	赤褐色	カマド	1/4	
3	甕(H)	15.0	—	—	D(3)	f	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/2	外面煤付着
4	甕(H)	22.6	—	—	A(1)	b	石英, 小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/18	2次焼成
5	甕(H)	18.6	—	—	D(1)	b	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/16	2次焼成
6	鉢(H)	23.0	11.7	9.0	C	b	石英, 黒色粒	良好	暗褐色	カマド	1/4	煤付着, 木葉痕

第103表 S I 101土器観察表



SI 102

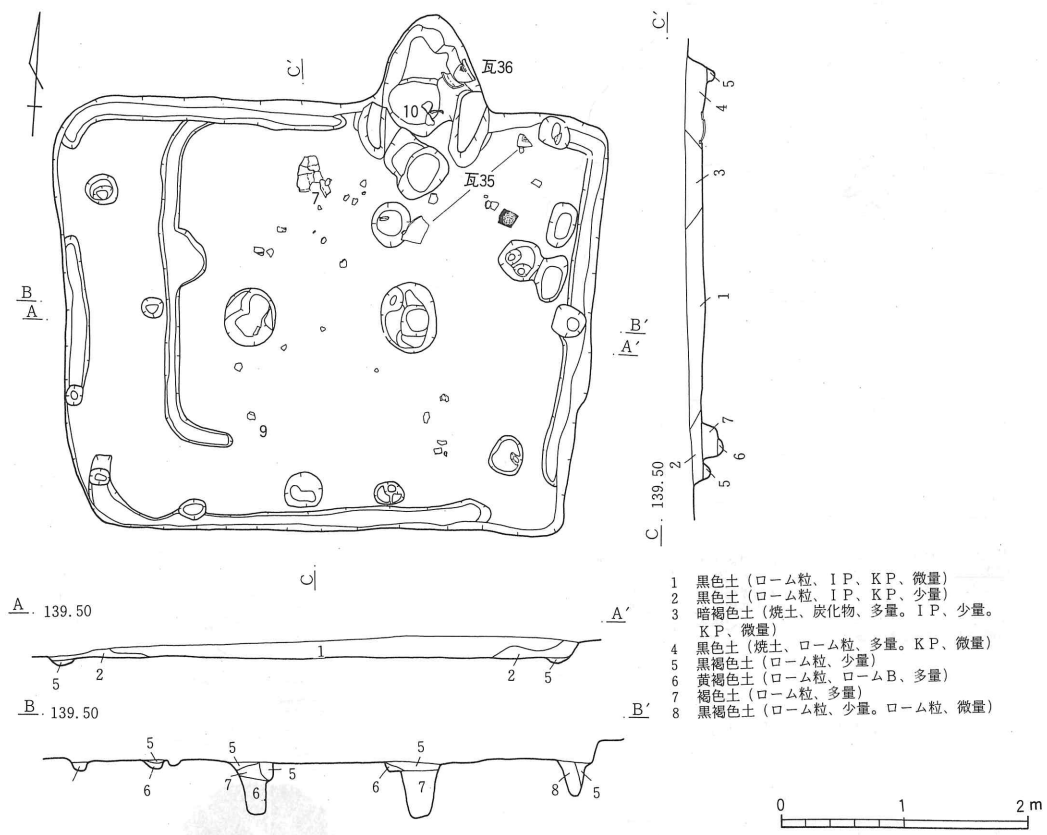
位置 南地区D-16グリッド 方位 住居：N11°E カマド：N

1回の建て替えがおこなわれており、拡張されている。

第1期 平面形 2.8×3.5m 規模 中 床面 貼床 周溝 有 柱穴 無

第2期 平面形 3.5×4.3m 規模 中 床面 貼床 周溝 有 柱穴 無

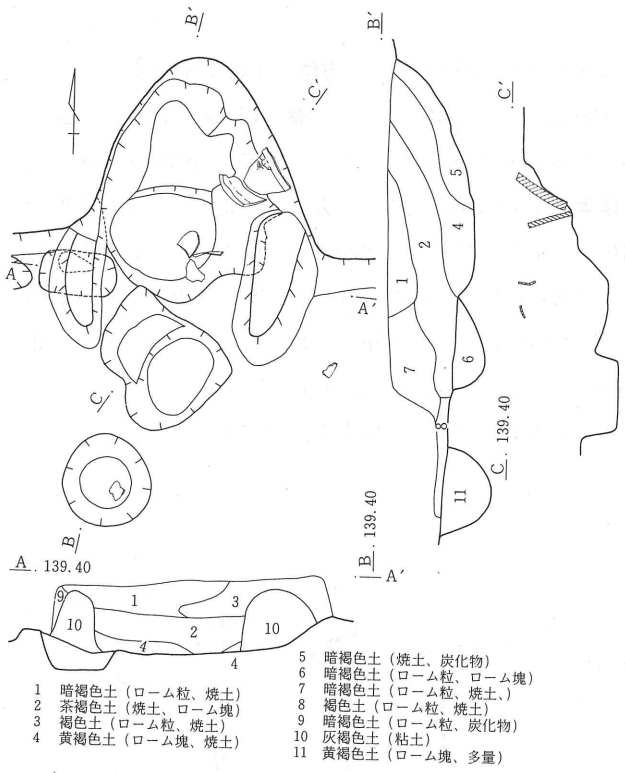
備考 性格不明のピット多数。SB089と切り合い関係。カマド U字形の掘り方で燃焼部は住居壁の外へ出るタイプ。カマド前のピットは貼床が施されている。左ソデ基部床下にピットがあるがソデ芯に凝灰岩等は用いられていない。燃焼部右側壁に瓦片2枚。遺物 土師器坏3・碗1・甕3・手づくね1, 須恵器蓋1・壺1, 瓦2, 紡錘車1



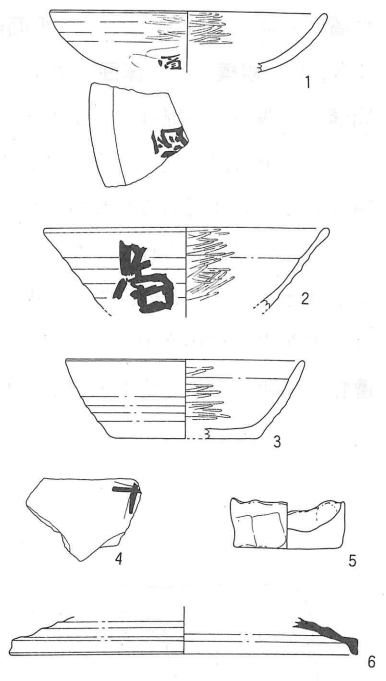
第243図 S I 102

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	埴(H)	17.2	—	—	G	h	緻密	良好	褐色	覆土	1/8	墨書「酒カ」
2	坏(H)	15.4	—	—	J		小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/5	墨書「男」, 内黒
3	坏(H)	12.8	4.2	7.8	J(2)		小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/8	内黒
4	坏(H)	—	—	—	J		緻密	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/12	墨書「十」, 内黒
5	手(H)	6.2	2.7	5.8	A		石英, 黒色粒	良好	淡褐色	覆土	完形	2次焼成
6	蓋(S)	18.8	—	—			白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/12	
7	甕(H)	21.6	—	—	I	P	石英, 黒色粒やや多	良好	褐色	床面	1/2	
8	甕(S)	—	—	—			緻密	良好	灰白色	覆土	1/24	
9	甕(H)	20.8	—	—	I	P	雲母, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/4	2次焼成
10	甕(H)	22.0	—	—	I	P	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	カマド	1/4	

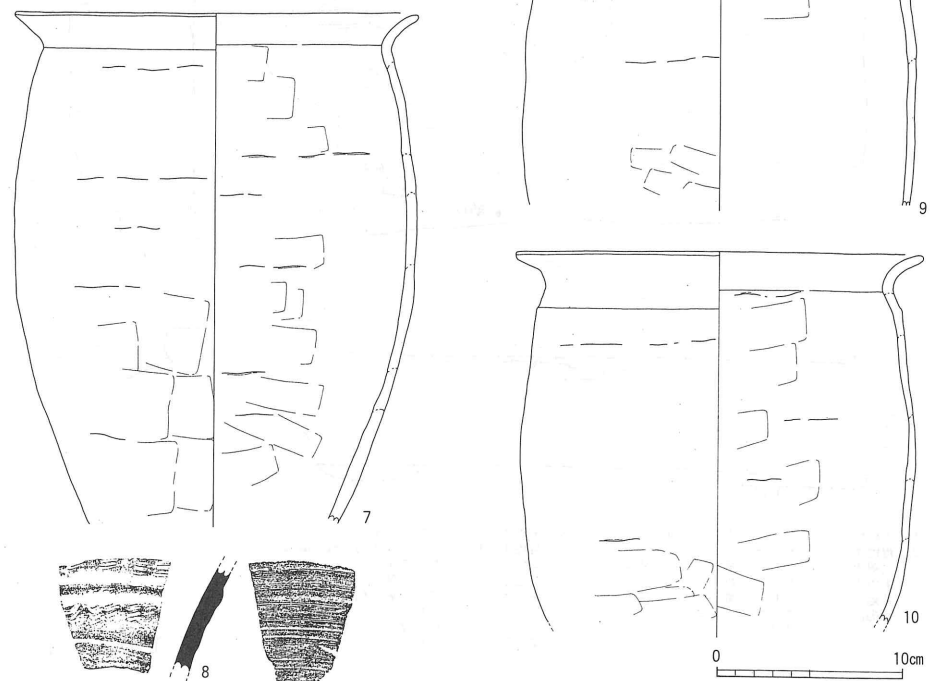
第104表 S I 102土器観察表



- 1 暗褐色土 (ローム粒、焼土)
- 2 茶褐色土 (焼土、ローム塊)
- 3 褐色土 (ローム粒、焼土)
- 4 黄褐色土 (ローム塊、焼土)
- 5 暗褐色土 (焼土、炭化物)
- 6 暗褐色土 (ローム粒、ローム塊)
- 7 暗褐色土 (ローム粒、焼土)
- 8 褐色土 (ローム粒、焼土)
- 9 暗褐色土 (ローム粒、炭化物)
- 10 灰褐色土 (粘土)
- 11 黄褐色土 (ローム塊、多量)



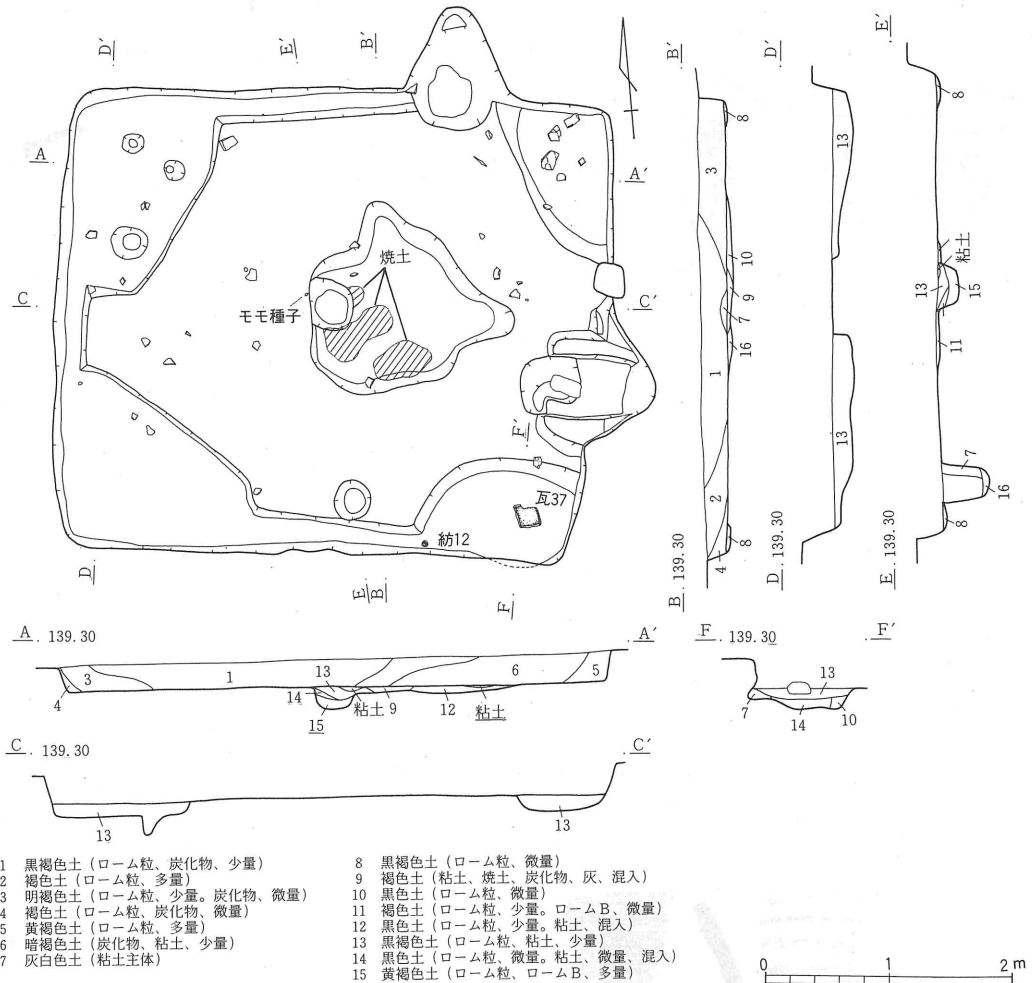
第244図 S I 102カマド



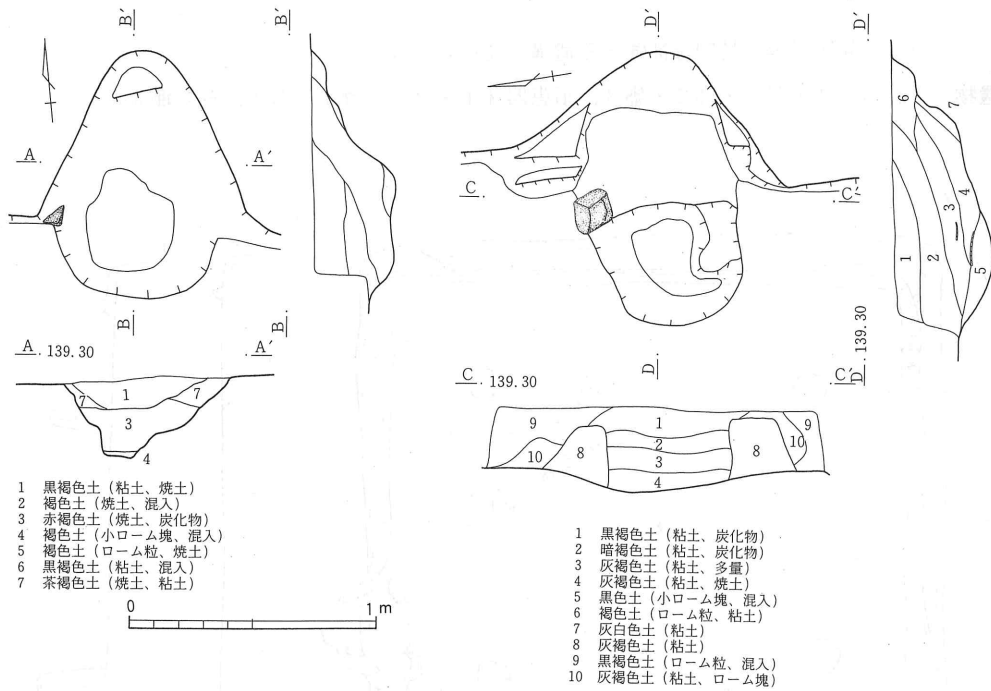
第245図 S I 102出土土器

S I 103

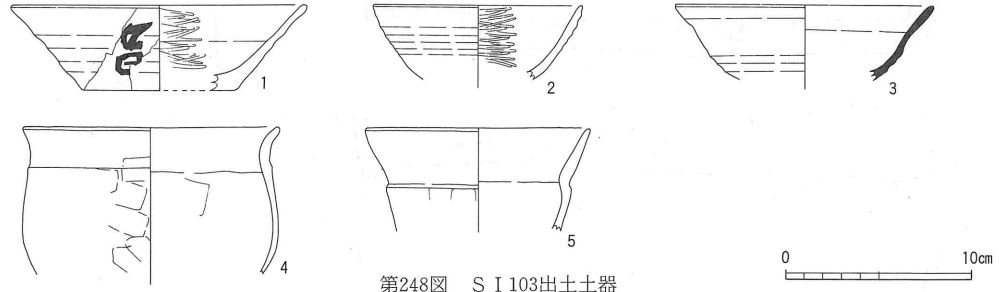
位置 南地区D-17グリッド 平面形 3.7×4.4mの横長方形。 方位 住居：N08°E カマド
 : N, E 規模 中 床面 東側に貼床, 西壁にローム地山となる。 壁 75~83° 深さ15~20cm
 周溝 四隅の床下掘り込みが大きく距離は短い, それに接続する。 柱穴 南壁中央の床面に
 ビット (出入口施設に伴うものか?) 備考 中央床面に焼床。 カマド 北カマド: U字形の
 掘り方でソデは認められなかった。使用後、廃棄されたものと思われる。東カマド: U字形の掘り
 方でソデが認められる。左ソデ内部より凝灰岩が検出された。埋土の状態は北カマドが黒褐色
 土がほとんどであるのに対し、東カマドのそれは灰、焼土が多量に認められる。このことから北
 カマドが当初使用されていたが、後に廃棄され東カマドが新たに使用されたものと思われる。
 遺物 土師器坏2・埴1・甕1, 須恵器坏1・甕1, 瓦1, 紡錘車1, 刀子1



第246図 S I 103



第247図 S I 103カマド



第248図 S I 103出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	15.8	4.5	8.2	J(2)	m	石英, 砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/8	墨書「男」, 内黒
2	坏(H)	11.2	-	-	J		石英, 小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
3	坏(S)	14.0	-	-			白色砂粒, 小石	良好	暗灰色	床面	1/6	
4	甕(H)	13.6	-	-	H(2)	n	砂粒, 赤色粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	
5	埴(H)	10.5	-	-	E	g	石英, 小砂粒, 小石	良好	淡褐色	覆土	1/12	

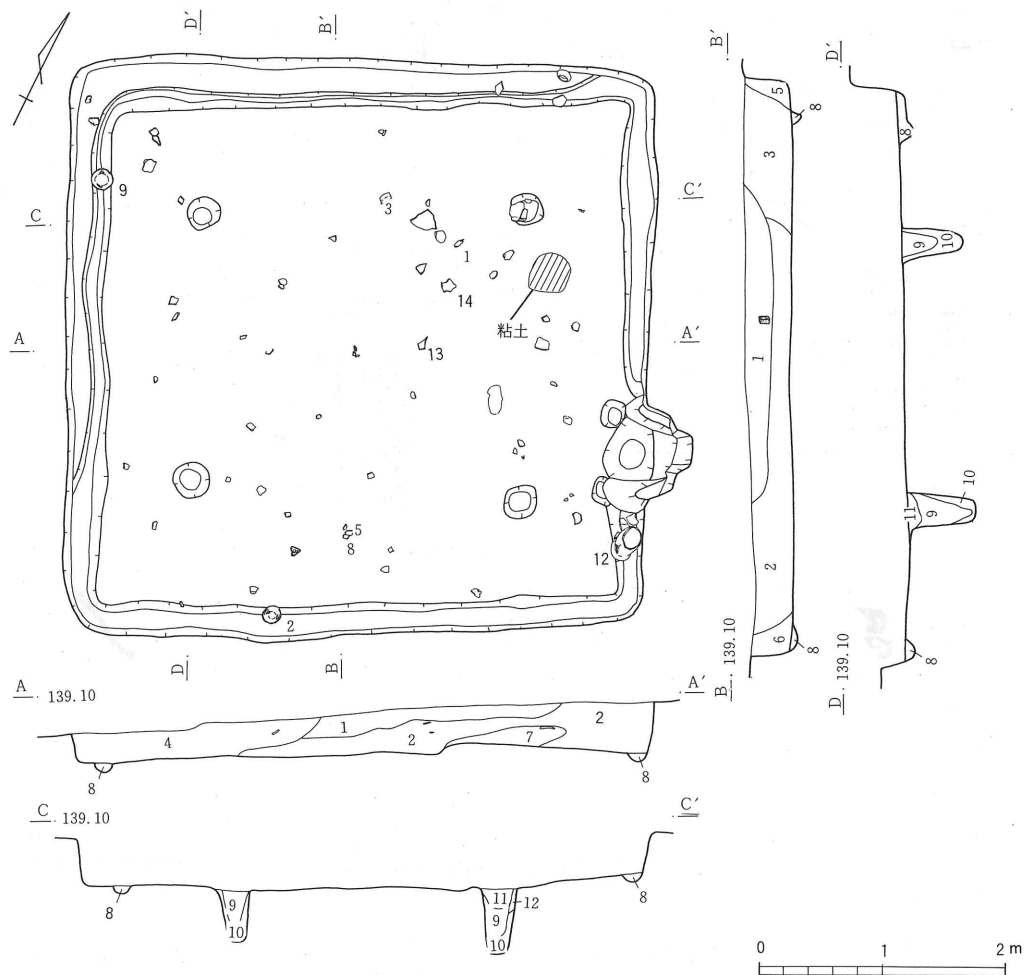
第105表 S I 103土器観察表

S I 104

位置 南地区D-17グリッド 平面形 4.6×4.7mのほぼ正方形。 方位 住居：N26°W カマド：E 規模 大 床面 ローム地山 壁 81~85° 深さ25~40cm 周溝 カマド掘り方に接続せず全周する。 柱穴 4本スクエアに配する。 備考 周溝内にピットが互いに並ぶ箇所が認められる。 カマド 凸形の掘り方でソデ基部の切り込みは比較的大きい。ソデ前にピットが

2本あるが、凝灰岩等の焚口を補強する遺構は認められない。

遺物 土師器坏3・皿1・鉢2・甕3，須恵器坏1・鉢1・甕1・蓋1，鉄製鋤先1



- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1 黒褐色土 (ローム粒、多量・小ロームB、IP、焼土、少量) | 7 暗灰褐色土 (粘土、多量。ローム粒、IP、KP、微量) |
| 2 黒褐色土 (ローム粒、小ロームB、多量。IP、KP、微量) | 8 黒褐色土 (ローム粒、微量) |
| 3 黒褐色土 (ローム粒、多量。小ロームB、少量。IP、KP、微量) | 9 黒褐色土 (ローム粒、少量) |
| 4 黒色土 (ローム粒、多量。炭化物、少量。IP、KP、微量) | 10 黄褐色土 (ローム粒、ロームB、多量) |
| 5 褐色土 (ローム粒、小ロームB、少量) | 11 褐色土 (ロームB、多量。ローム粒、少量) |
| 6 黒褐色土 (ローム粒、少量。炭化物、IP、微量) | 12 黄色土 (ロームB主体) |

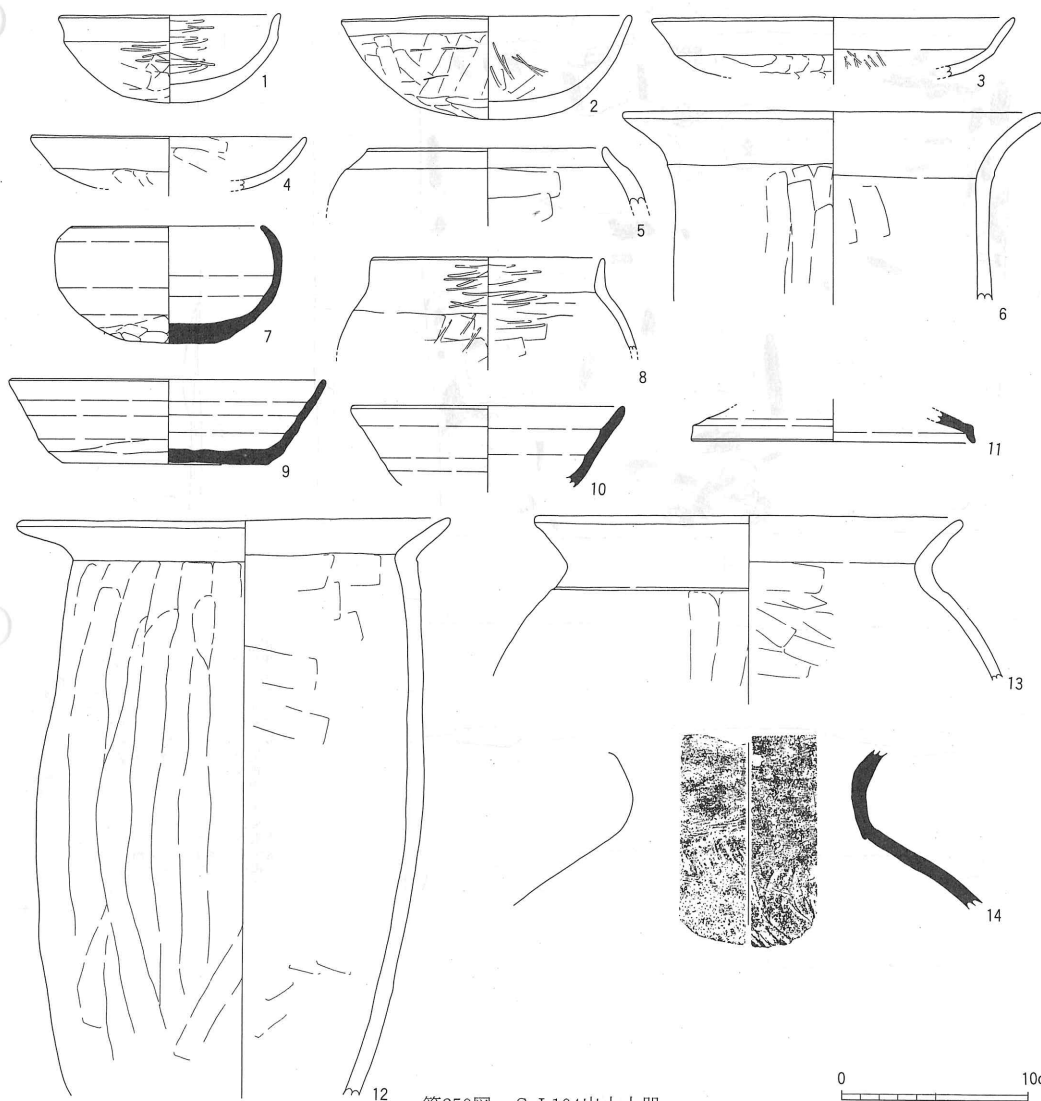
第249図 S I 104実測図

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	12.0	4.6	—	C	c	石英，砂粒多	良好	褐色	カマド	1/2	
2	坏(H)	15.5	5.5	—	G	d	石英，砂粒やや多	良好	淡褐色	覆土	完形	縦位ヘラ削り
3	皿(H)	19.6	3.2	—	A(2)	c	赤色粒，小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	

第106表 S I 104土器観察表 (1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
4	坏(H)	14.8	2.9	-	G	h	石英, 黑色粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	煤付着
5	鉢(H)	12.8	-	-	B(1)	g	小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/18	
6	甕(H)	22.8	-	-	E(1)	j	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/24	外面煤付着
7	鉢(S)	10.2	6.2	-	C	b	白色砂粒, 小石	良好	青灰色	覆土	完形	
8	鉢(H)	12.5	-	-	B(1)	a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/18	
9	坏(S)	16.8	4.6	10.7	B	c	石英, 砂粒, 小石	良好	灰白色	床面	完形	外面煤付着
10	坏(S)	15.0	-	-	B		石英, 砂粒, 小石	良好	灰白色	覆土	1/3	
11	蓋(S)	15.4	-	-			石英, 砂粒	良好	灰白色	覆土	1/12	
12	甕(H)	23.0	-	-	D(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	暗赤褐色	覆土	2/3	2次焼成
13	甕(H)	23.2	-	-	A(1)	a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
14	甕(S)	-	-	-		e	砂粒	良好	暗灰色	覆土	1/18	

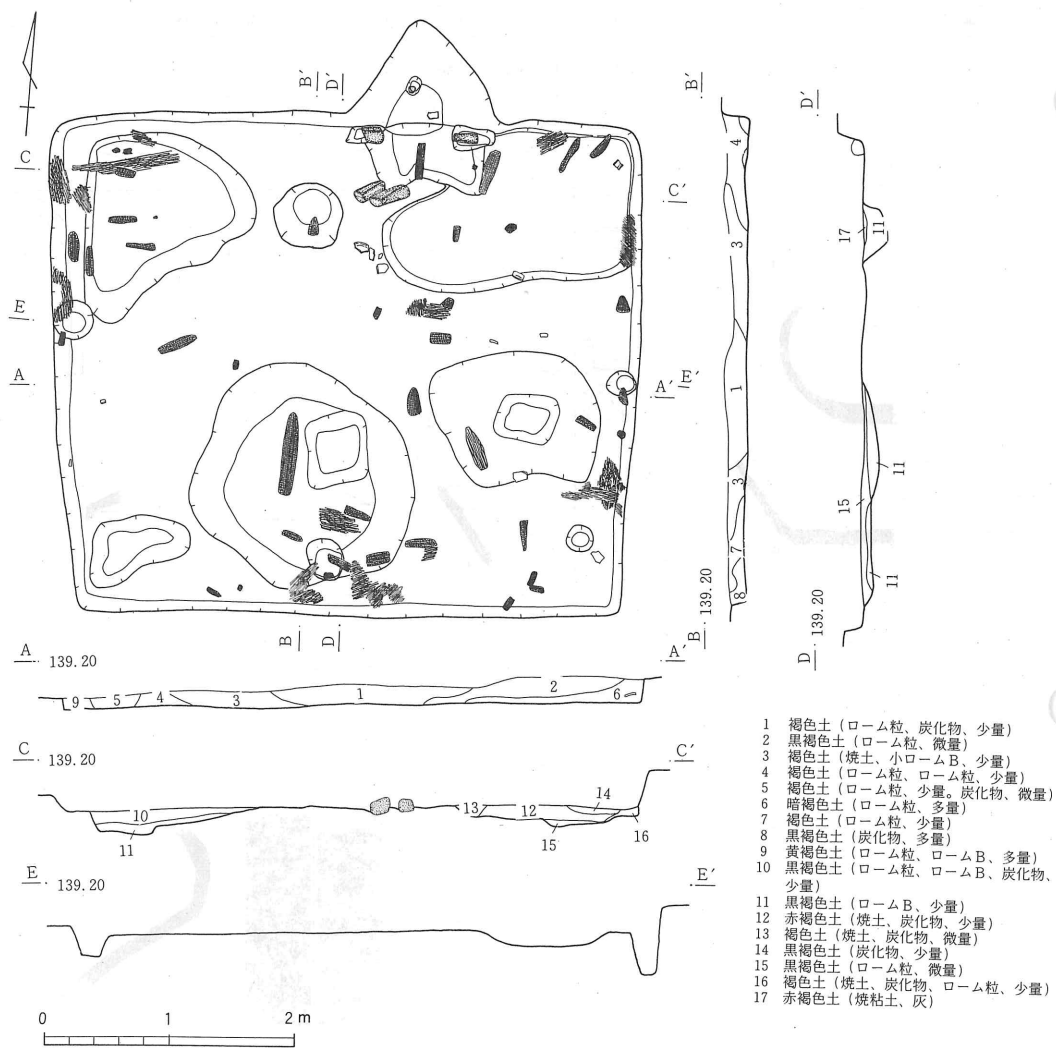
第107表 S I 104土器観察表 (2)



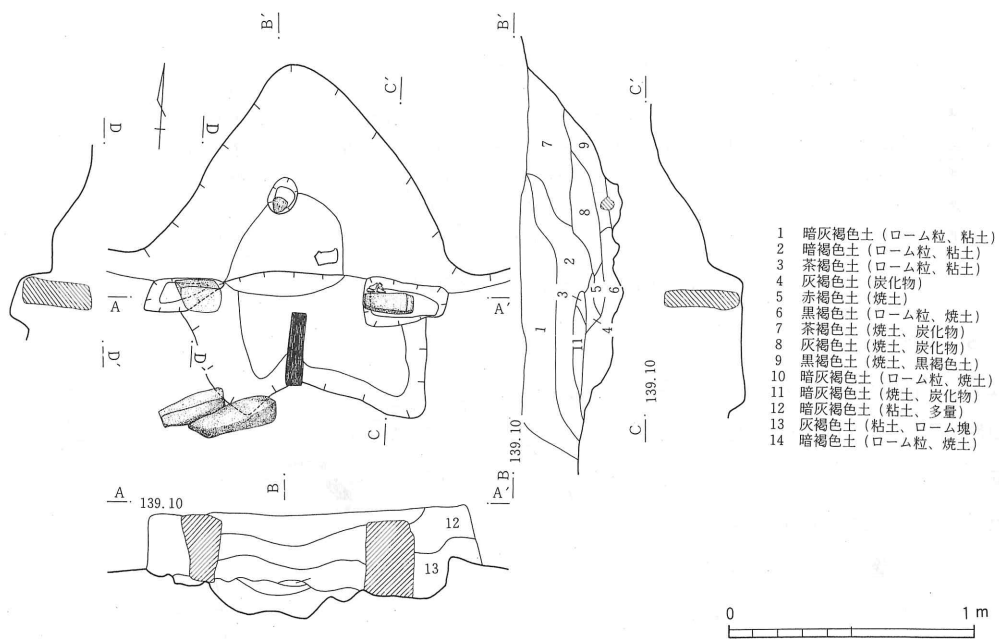
第250図 S I 104出土土器

S I 105

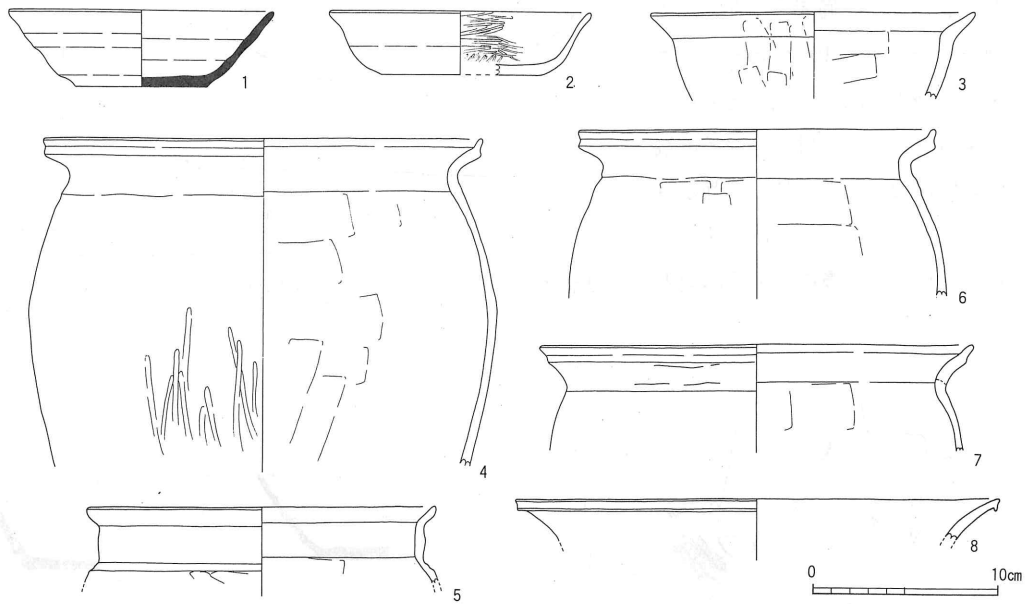
位置 南地区E-16グリッド 平面形 4.0×4.5mの横長方形。 方位 住居：N 0° カマド：N 規模 中 床面 周囲が床下掘り込みのため貼床 壁 80~85° 深さ10~20cm。 周溝・柱穴 共に認めず。南壁中央床にピット1本。(出入口施設に伴うものか?) カマド U字形の掘り方で本体は大きく住居外に突出する。両ソデ部にピットとそれに差し込まれた凝灰岩切石があるが、粘土によるソデは認められない。燃焼部中央にピットがあり、支脚用のものと思われる。また前部に支脚と思われる凝灰岩の円柱が2本認められる。 備考 住居内に多量の炭化材を認める。床中央に焼床。 遺物 土師器坏1・鉢1・甕5, 須恵器坏1



第251図 S I 105



第252図 S I 105カマド



第253図 S I 105出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成形・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(S)	15.2	4.1	7.0	D	f	砂粒	良好	淡褐色	カマド	1/3	
2	坏(H)	13.2	3.4	7.6	J(2)	n	小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/2	内黒
3	鉢(H)	17.6	-	-	A	g	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	

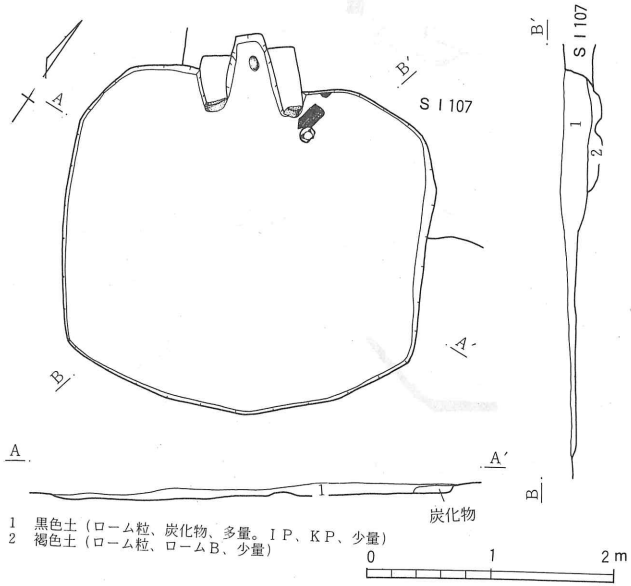
第108表 S I 105土器観察表 (1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
4	甕(H)	23.6	-	-	G(2)	m	石英, 長石やや多	良好	褐色	覆土	1/8	
5	甕(H)	18.6	-	-	H(2)	n	暗赤色粒多	良好	暗赤褐色	覆土	1/28	
6	甕(H)	19.2	-	-	G(2)	i	長石, 砂粒多	良好	暗褐色	覆土	1/18	2次焼成
7	甕(H)	23.6	-	-	G(2)	i	白雲母, 長石やや多	良好	褐色	覆土	1/24	
8	甕(H)	26.2	-	-	J		黒色粒, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/32	

第109表 S I 105土器観察表 (2)

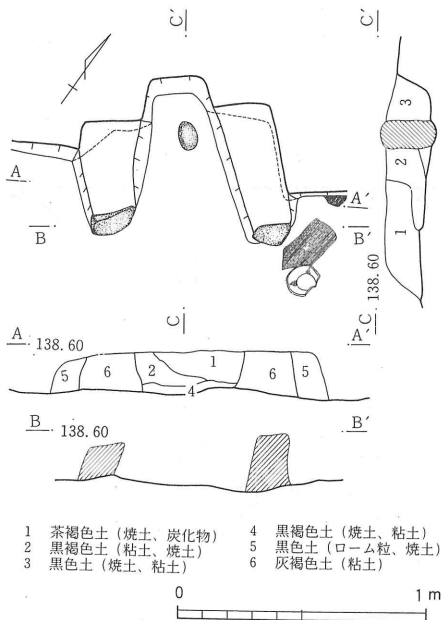
S I 106

位置 南地区E-16グリッド 平面形 2.5×2.7mの横長方形 方位 住居：N 0° カマド：N 規模 小 床面 貼床で掘り方は不規則。壁 83° 地形が南にいくにつれ傾斜しているため南壁は5cmと極めて浅い。周溝・柱穴 共に認めず。備考 東側に床下掘り込み。S I 107を切る。カマド 整美な凸形の掘り方で粘土による短いソデが付く。ソデ前端に凝灰岩切石による焚口補強がみられる。また支脚が立位の状態



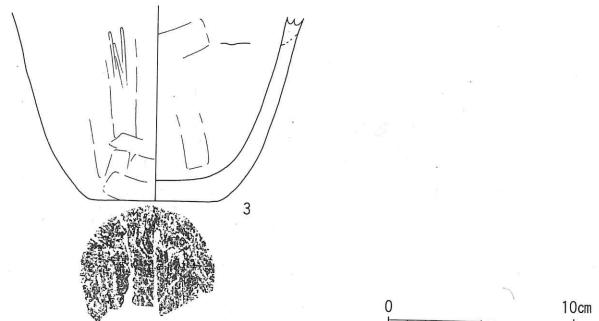
認められた。遺物 土師器甕1, 須恵器坏2

第254図 S I 106



- 1 茶褐色土 (焼土, 炭化物)
- 2 黒褐色土 (粘土, 焼土)
- 3 黒色土 (焼土, 粘土)
- 4 黒褐色土 (焼土, 粘土)
- 5 黒色土 (ローム粒, 焼土)
- 6 灰褐色土 (粘土)

第255図 S I 106カマド



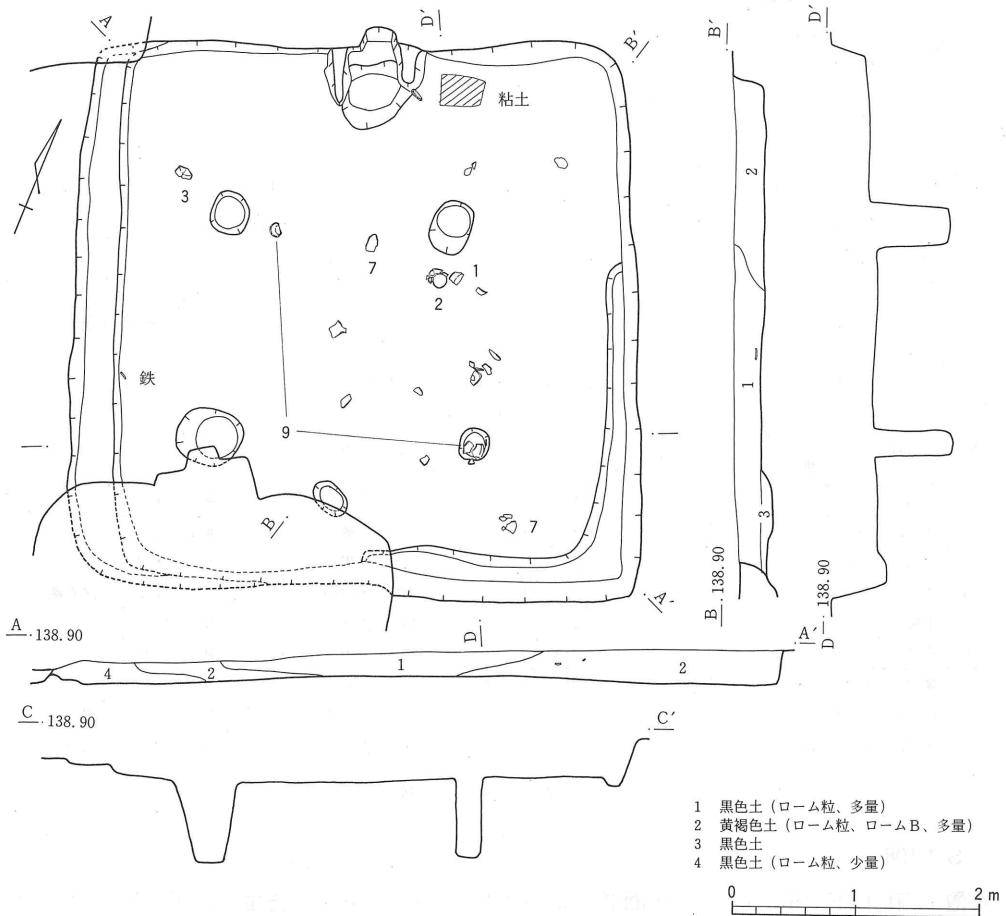
第256図 S I 106出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(S)	14.2	4.6	7.6	C	e	緻密	良好	青灰色	カマド	2/3	ヘラ記号「キ」
2	坏(S)	13.0	5.0	7.6	C	f	白色砂粒, 小石	良好	青灰色	カマド	1/2	
3	甕(H)	—	—	7.0	E	j	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	カマド	1/12	木炭痕後ヘラ削り

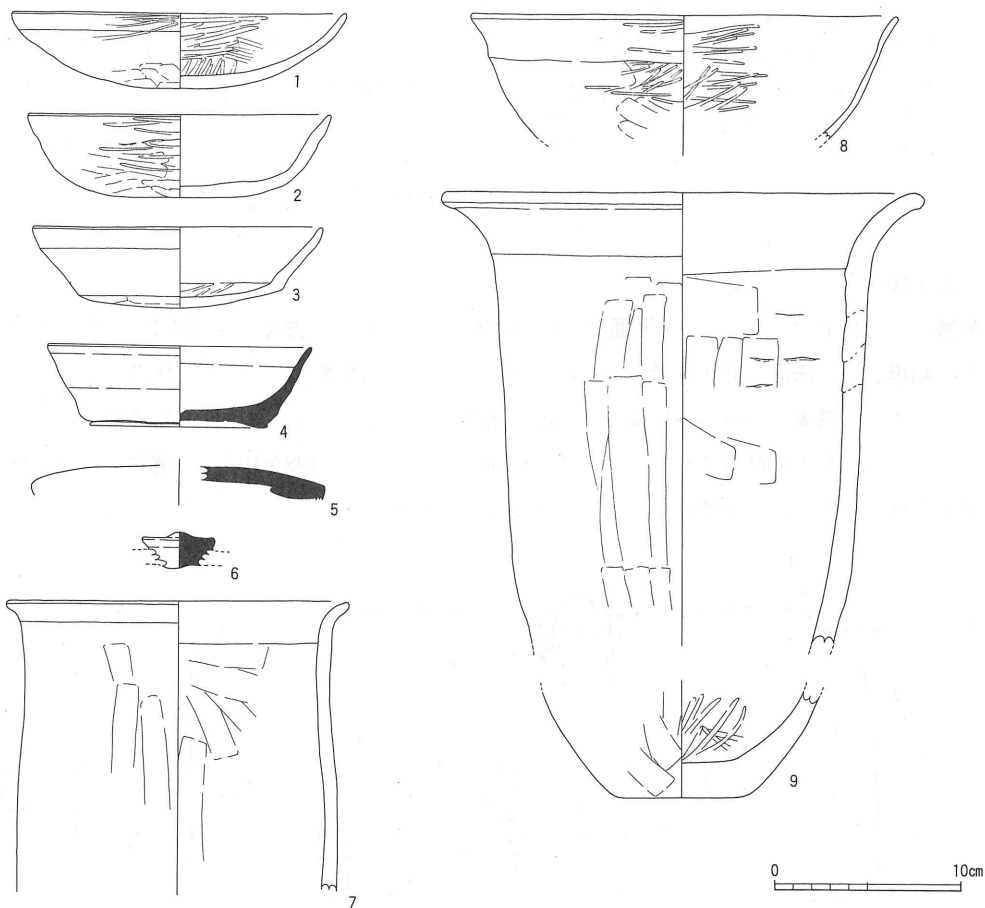
第110表 S I 106土器観察表

S I 107

位置 南地区E-16グリッド 平面形 4.5m四方の正方形。 方位 住居：N20°W カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 75~80° 深さ10~30cm 周溝 認めず。 柱穴 4本スクエアに配する。 備考 西→南→東壁に掘り方の床面から一段高くなったテラス状遺構が巡る。セクションには拡張の形跡は認められない。S I 106に切られ、S I 108を切る。 遺物 土師器坏2・皿1・鉢1・甕2, 須恵器坏1・蓋1・平瓶1, 刀子1



第257図 S I 107



第258図 S I 107出土土器

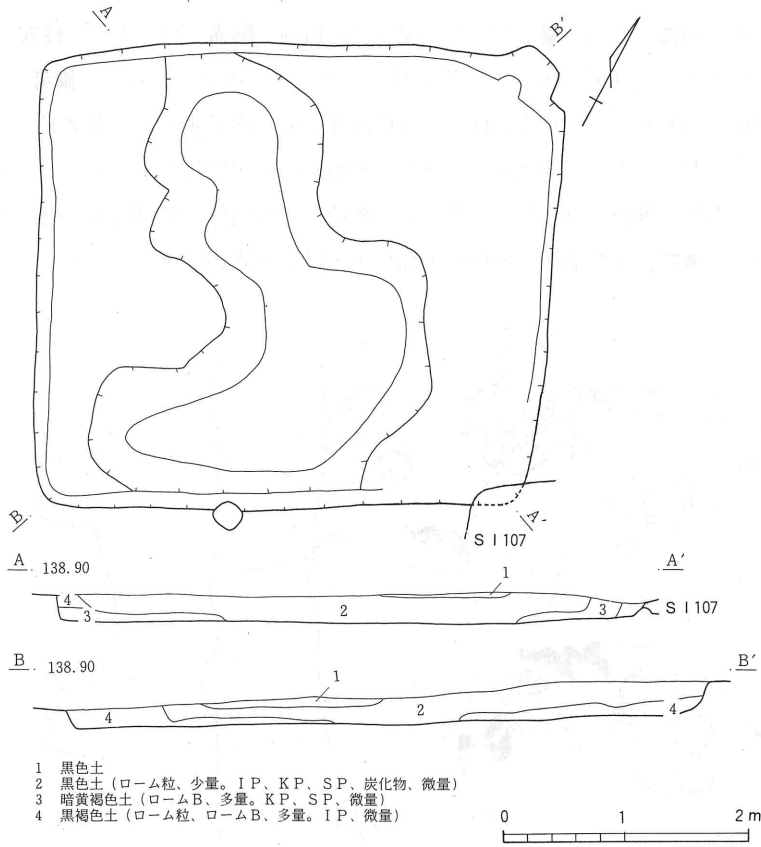
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	皿(H)	17.8	4.0	—	A(1)	c	赤粒, 砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/3	
2	坏(H)	16.2	4.4	—	H	g	長石, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	2/3	
3	坏(H)	15.6	4.0	—	F(2)	f	緻密	良好	淡褐色	床面	1/2	
4	坏(S)	14.1	4.3	9.0	B	a	石英, 砂粒やや多	不良	灰白色	床面	1/2	外面剝離
5	平瓶(S)	—	—	—	A		小砂粒	良好	青灰色	覆土	1/18	
6	蓋(S)	—	—	—	(1)		白色砂粒やや多	良好	灰色	覆土	1/8	
7	甕(H)	18.4	—	—	E(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/8	2次焼成
8	鉢(H)	23.0	—	—	A	a	石英, 砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
9	甕(H)	26.0	24.8	6.8	H(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/5	内面煤付着

第111表 S I 107土器観察表

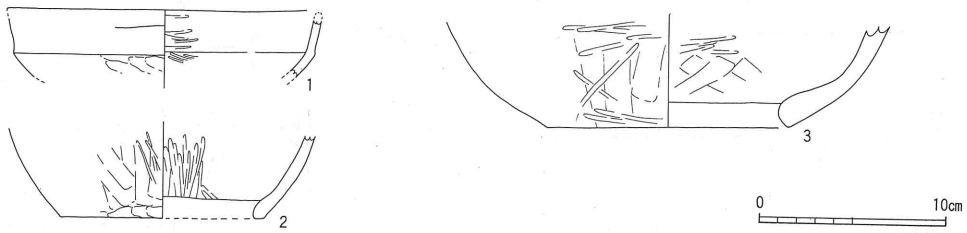
S I 108

位置 南地区F-16グリッド 平面形 3.7×4.2mの平行四辺形 方位 住居：N25°Wカマド：NE 規模 中 床面 中央部に大規模な床下掘り込みがあるため殆どが貼床を施している。壁 60~82° 深さ15~25cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 全体的に造りが粗雑な印象を受

ける。S I 107に切られる。遺物 土師器坏1・甗2



第259図 S I 108



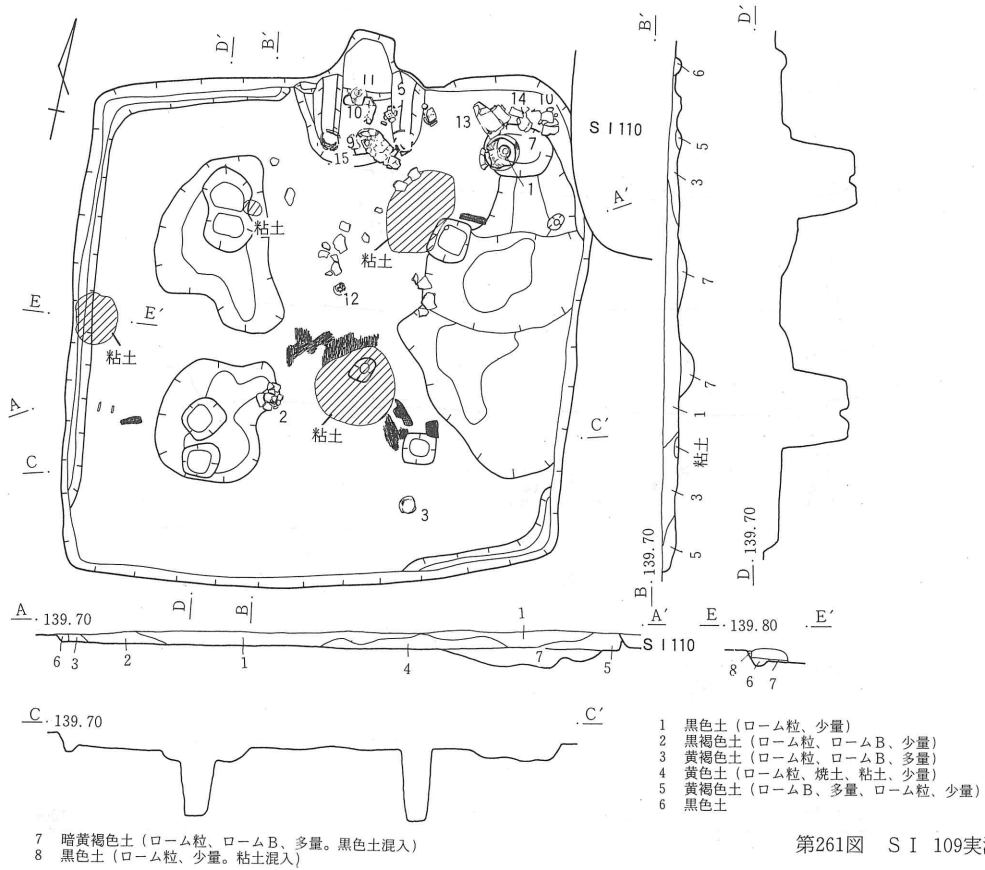
第260図 S I 108出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	16.8	—	—	C	d	砂粒	良好	褐色	覆土	1/3	
2	甗(H)	—	—	11.0	A	b	砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
3	甗(H)	—	—	13.0	A(1)	b	砂粒, 小石	良好	外黒色, 内暗褐色	覆土	1/24	

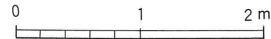
第112表 S I 108土器観察表

S I 109

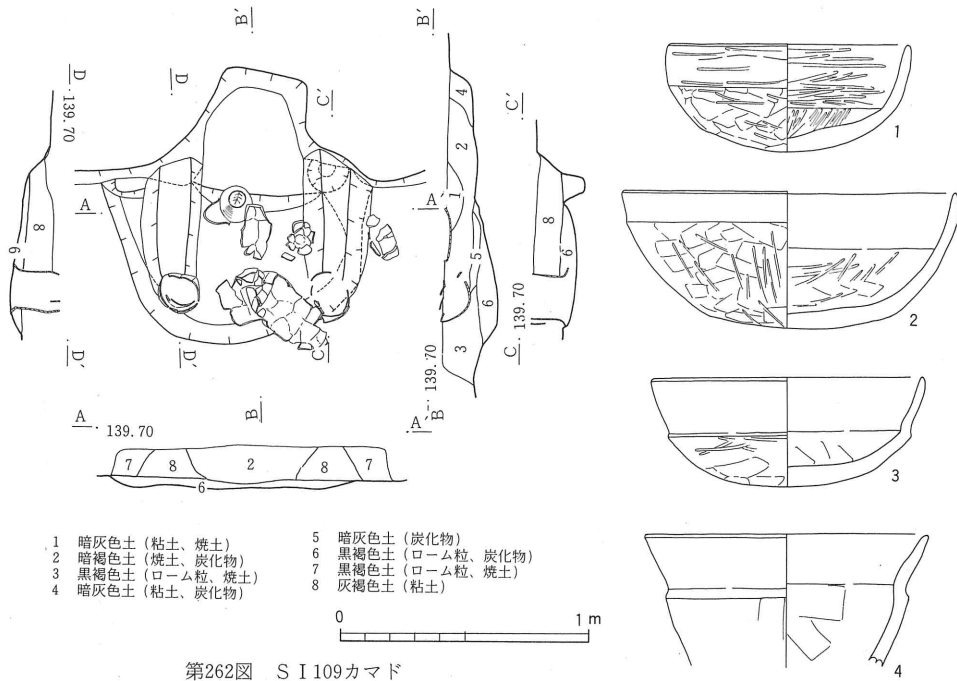
位置 南地区B-17グリッド 平面形 一边が4.0m平行四辺形 方位 住居：N10°W カマド
 :N 規模 中 床面 貼床 壁 64~73° 深さ8~14cm 周溝 認めず。柱穴 中央4本壁
 に沿って平行四辺形に配する。西2本は建て替えがあったと推定される。備考 S I 110に切
 られる。S B 87とS B 88に切られるが柱穴が住居内埋土中で終了する。カマド コの字形の掘
 り方であるがソデ基部に小さな切り込みがある。燃烧部は住居内に入るタイプで、ソデ前端には
 甕を倒立に用いた焚口補強がみられる。その前の横位の甕は同様に焚口補強に用いられた可能性
 が極めて高い。遺物 土師器坏2・埴1・高坏1・鉢2・甕10・甑1



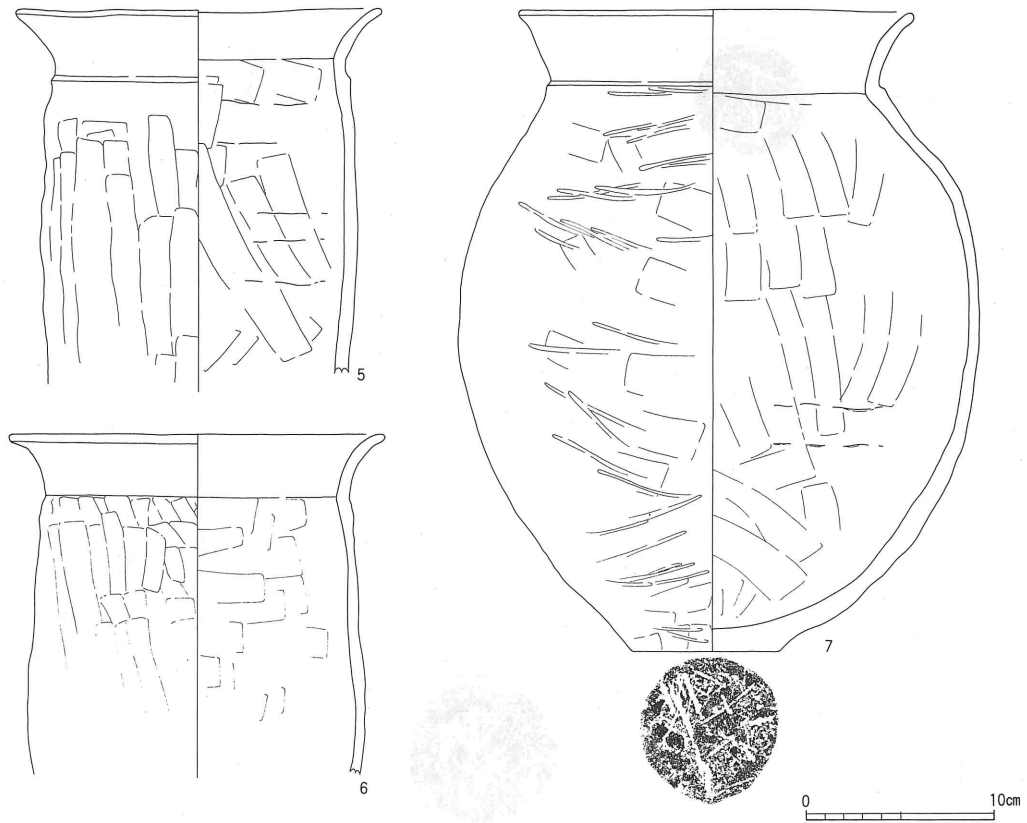
第261図 S I 109実測図



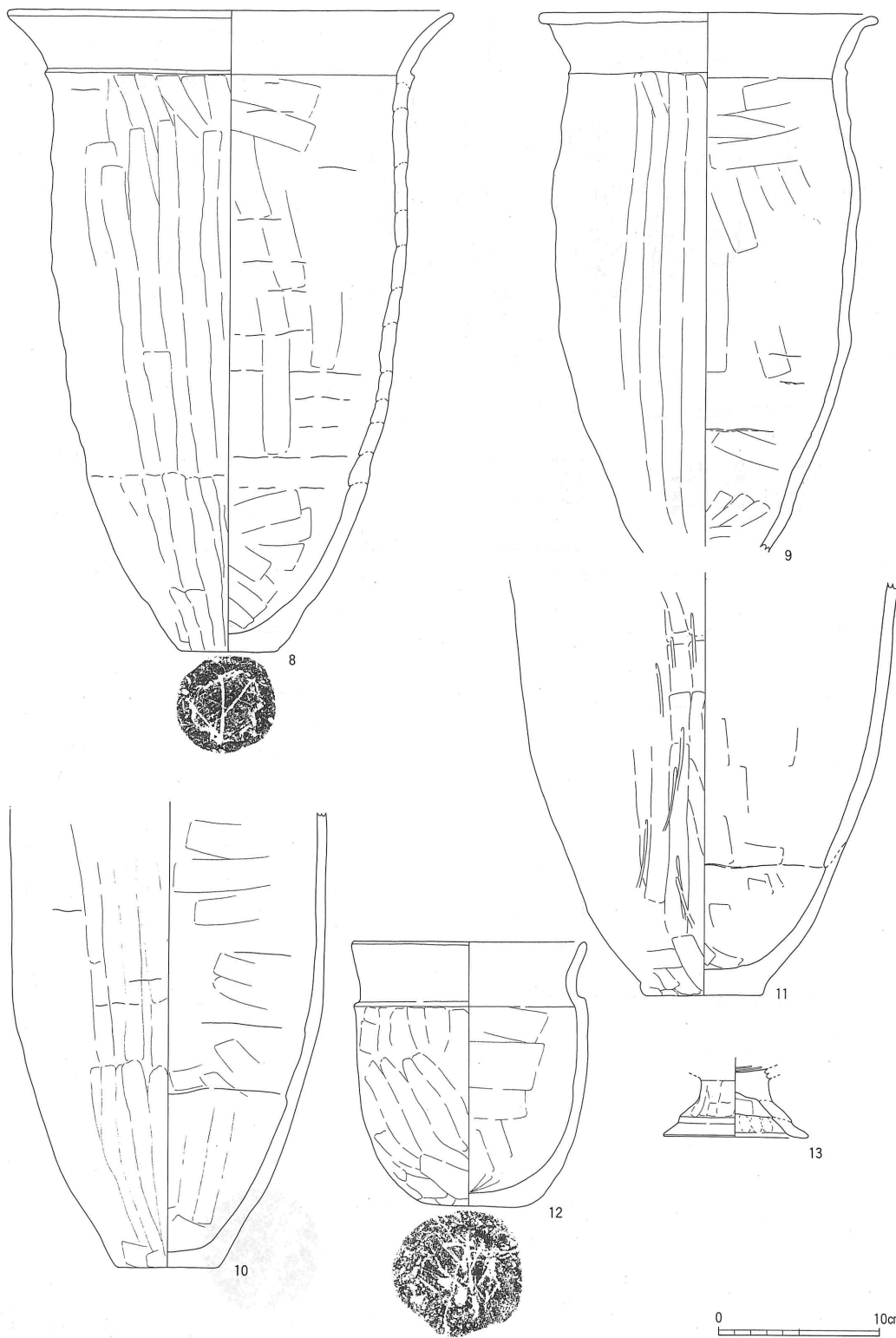
第261図 S I 109



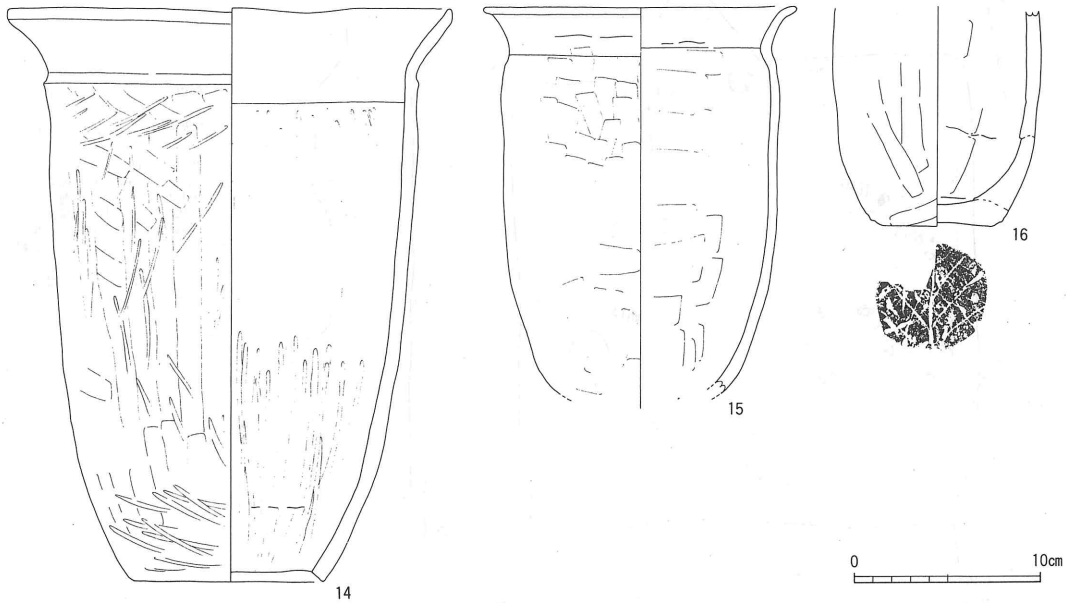
第262図 S I 109カマド



第263図 S I 109出土土器 (1)



第264图 S I 109出土土器(2)



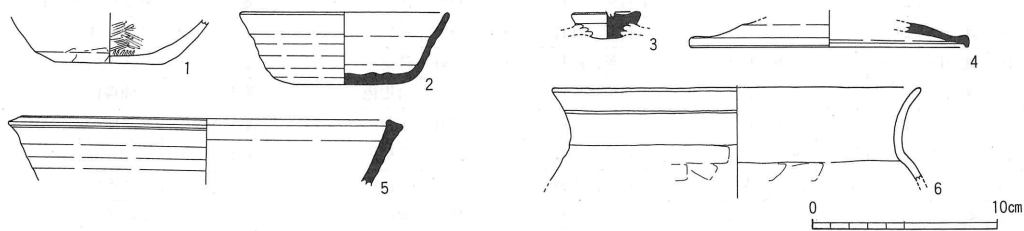
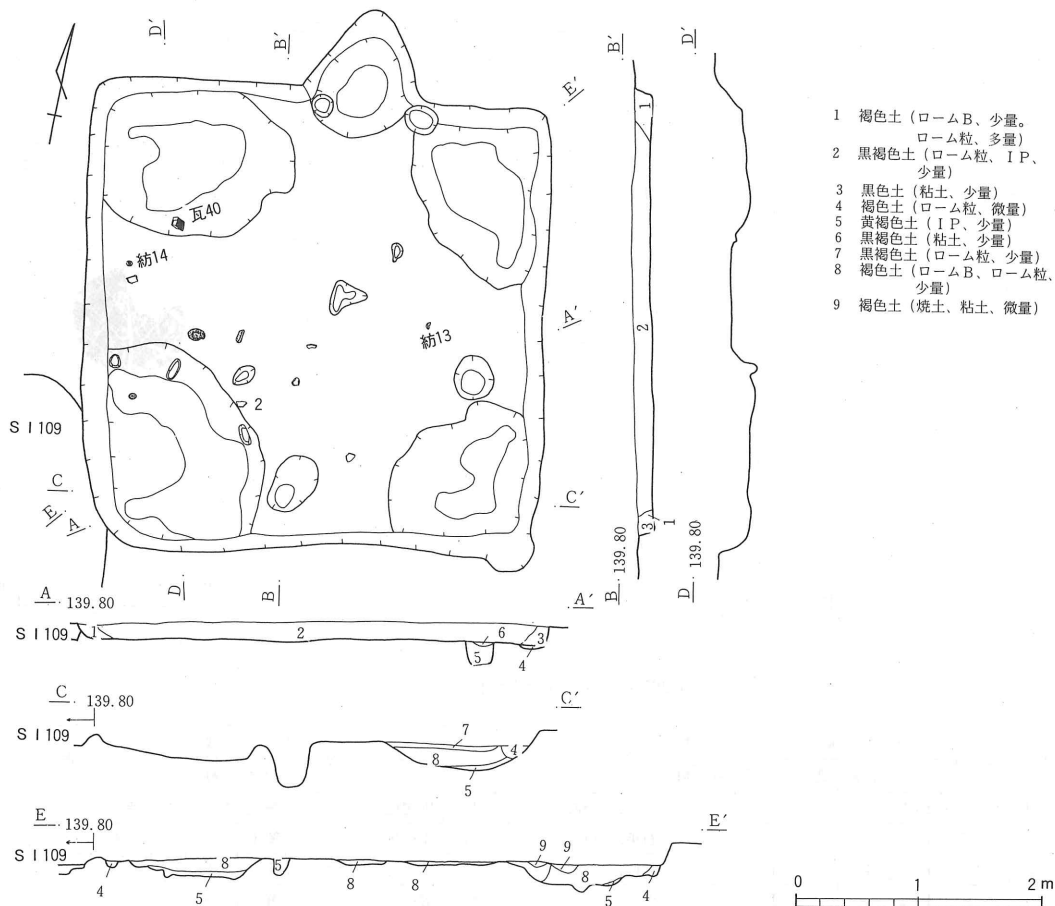
第265図 S I 109出土土器 (3)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.2	5.7	—	G	a	石英, 砂粒, 小石	良好	黒褐色	覆土	完形	2次焼成
2	鉢(H)	18.0	7.3	—	D	b	石英, 砂粒, 小石	良好	赤褐色	覆土	4/5	外煤付着
3	坏(H)	14.7	4.8	—	F(1)	g	砂粒, 小石	良好	外黒色, 内褐色	覆土	4/5	
4	壺(H)	15.2	—	—	E	i	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
5	甕(H)	19.7	—	—	D(1)	a	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	1/2	2次焼成
6	甕(H)	20.0	—	—	D(1)	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/2	
7	甕(H)	21.0	34.0	7.9	A(1)	b	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	2次焼成
8	甕(H)	27.4	39.2	6.0	E(1)	j	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	外面焼粘土付着
9	甕(H)	21.0	—	—	D(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/2	2次焼成
10	甕(H)	—	—	6.0	E(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/2	2次焼成
11	甕(H)	—	—	7.0	E(1)	b	石英, 砂粒, 小石	良好	暗褐色	覆土	1/3	外面煤付着
12	甕(H)	14.6	16.3	6.0	D(3)	f	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	木葉痕
13	高坏(H)	—	—	9.0	—	a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	内黒
14	甕(H)	23.8	30.4	10.2	A(1)	b	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	完形	2次焼成
15	甕(H)	17.2	—	—	D(2)	a	石英, 砂粒, 小石	良好	褐色	覆土	1/2	2次焼成
16	甕(H)	—	—	6.0	E(2)	j	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	2次焼成, 木葉痕

第113表 S I 109土器観察表

S I 110

位置 南地区A-16グリッド 平面形 一辺が3.7mの正方形 方位 住居：N08°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山。四隅は貼床。壁 68~82° 深さ12~20cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 四隅に明瞭な床下掘り込み。性格不明のピット有り。S I 109を切る。遺物 土師器坏1・甕2, 須恵器坏1・鉢1・蓋2, 瓦3, 紡錘車2

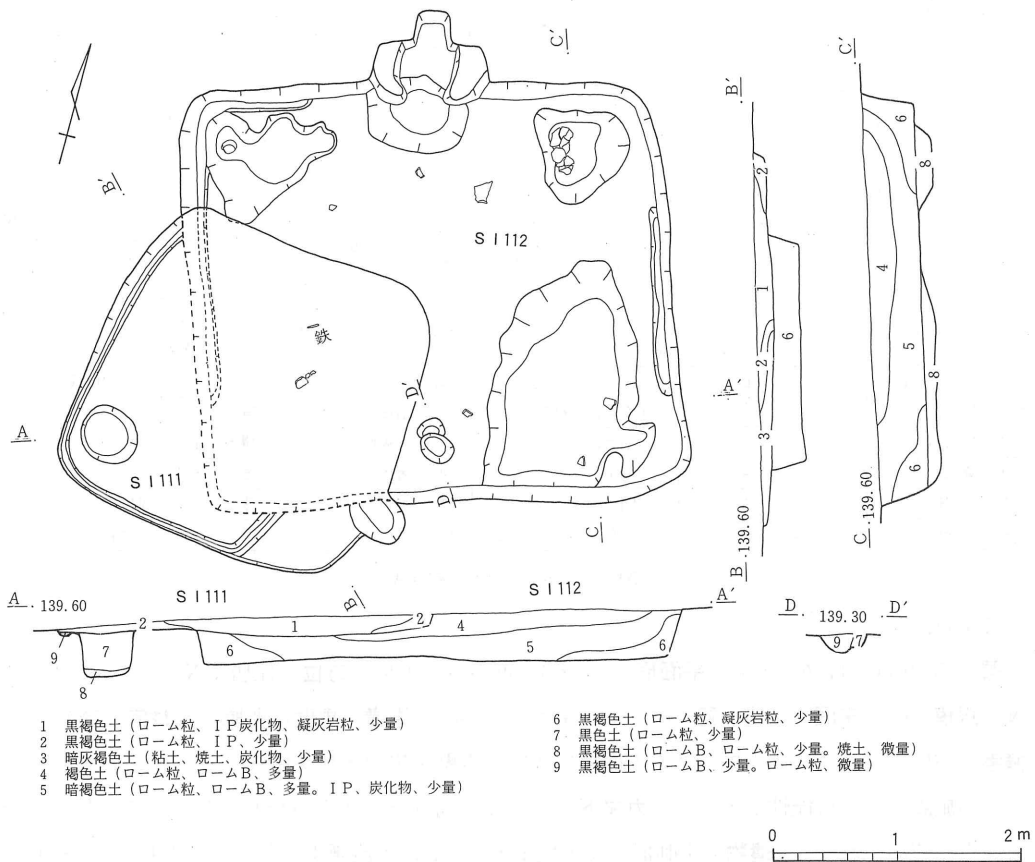


No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	—	—	6.0	J	i	小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	内黒
2	坏(S)	11.2	3.9	7.0	B	e	緻密	良好	青灰色	覆土	1/4	
3	蓋(S)	—	—	—	(1)		緻密	良好	青灰色	覆土	1/8	
4	蓋(S)	15.0	—	—			小砂粒	良好	青灰色	覆土	1/6	
5	鉢(S)	21.0	—	—	A	d	白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/12	
6	甕(H)	19.8	—	—	H(1)	n	緻密	良好	赤褐色	覆土	1/24	外面粘土附着

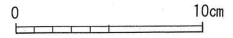
第114表 S I 110土器観察表

S I 111

位置 南地区C-17グリッド 平面形 一辺が2.5mの隅丸不定方形 方位 住居：N02°Wカマド：SE 規模 小 床面 S I 112を切る箇所は貼床 壁 67° 深さ10cm内外 周溝 周回するがS I 112を切ってる部分については確認できず。 柱穴 認めず。 遺物 土師質土器1



第268図 S I 111・112



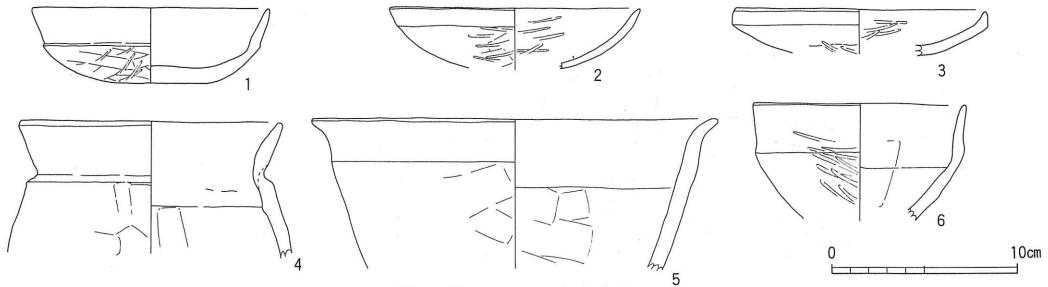
第269図 S I 111出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	土師質	9.4	2.2	5.2	A	j	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/2	

第115表 S I 111土器観察表

S I 112

位置 南地区C-17グリッド 平面形 3.4×3.9mの横長方形 方位 住居：N21°W カマド：N 規模 中 床面 周囲は貼床 壁 77~88° 周溝 全周するが不明瞭。床下掘り込みに接続する。柱穴 認めず。南壁中央床にピット2本。(出入口施設に伴うものか?) 備考 南西コーナーを除いて床下掘り込みが認められる。S I 111に切られる。カマド 凸形で本体は住居壁の外側に出るタイプ。ソデも住居内にあまり突出しない。遺物 土師器坏4・埴1・鉢1・甕1, 鉄鏃2



第270図 S I 112出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	12.0	4.0	-	B	g	石英, 小砂粒やや多	良好	外暗褐色, 内褐色	覆土	4/5	内面漆付着
2	坏(H)	13.4	3.3	-	G	c	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/8	
3	坏(H)	13.6	2.6	-	E	c	石英, 小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/8	内黒
4	甕(H)	14.0	-	-	A(3)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	
5	鉢(H)	21.8	-	-	A	f	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	煤付着
6	埴(H)	11.5	-	-	E	e	石英, 小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/6	煤付着

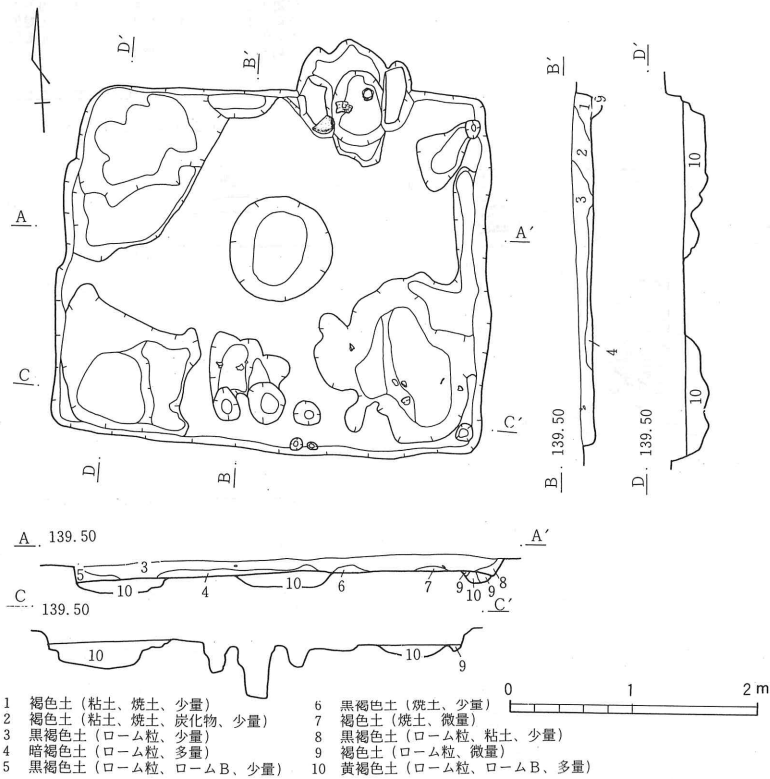
第116表 S I 112土器観察表

S I 113

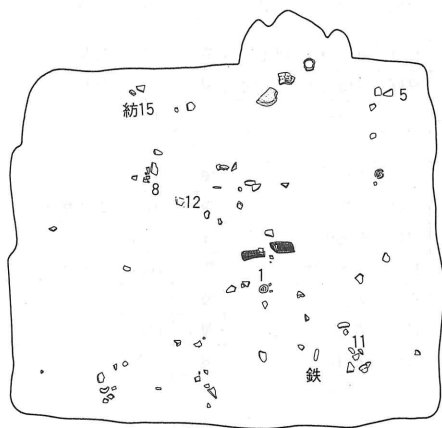
位置 南地区C-17グリッド 平面形 2.9×3.5mの縦長方形 方位 住居：N05°E カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 65~80° 深さ15~20cm 周溝 東壁に明瞭。柱穴 認めず。備考 住居内に占める床下掘り込みの面積は多い。南壁中央の床に集中するピットのいずれかは出入口施設に伴う可能性がある。カマド 不整形な掘り方であるが凸形のタイプで、左ソデに凝灰岩が認められる。遺物 土師器坏4・埴1・甕5, 須恵器甕1・蓋1, 紡錘車1, 鉄鏃1・不明鉄製品1

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	12.0	4.9	5.6	J(3)	n	石英, 砂粒やや多	良好	外灰色, 内黒色	覆土	1/3	内黒
2	坏(H)	13.1	4.1	7.5	J(2)	n	石英, 砂粒やや多	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/2	内黒
3	坏(H)	—	—	5.9	J	n	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	カマド	1/4	
4	坏(H)	—	—	6.3	J	n	石英, 小砂粒	良好	褐色	カマド	1/4	
5	鉢(H)	—	—	11.6	F	h	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
6	甕(H)	18.8	—	—	I	P	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/3	2次焼成
7	甕(H)	18.7	—	—	G(2)	i	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/24	
8	甕(H)	19.6	—	—	G(2)	i	石英, 小砂粒	良好	暗赤褐色	覆土	1/24	
9	甕(H)	18.1	—	—	J		石英, 黒色粒	良好	褐色	覆土	1/32	
10	甕(H)	16.2	—	—	E	a	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/24	
11	蓋(S)	—	—	—	(2)		緻密	良好	灰白色	覆土	1/8	
12	甕(S)	28.1	—	—	A		白色砂粒	良好	暗灰色	覆土	1/32	

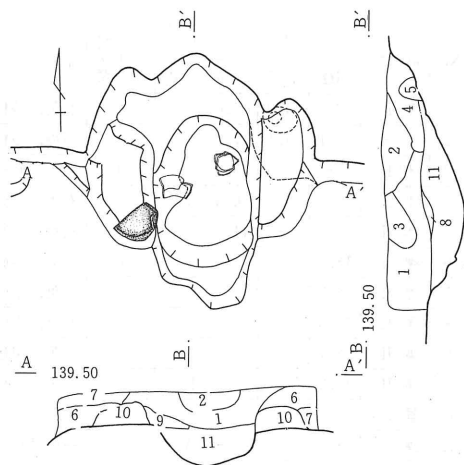
第117表 S I 113土器観察表



第271図 S I 113



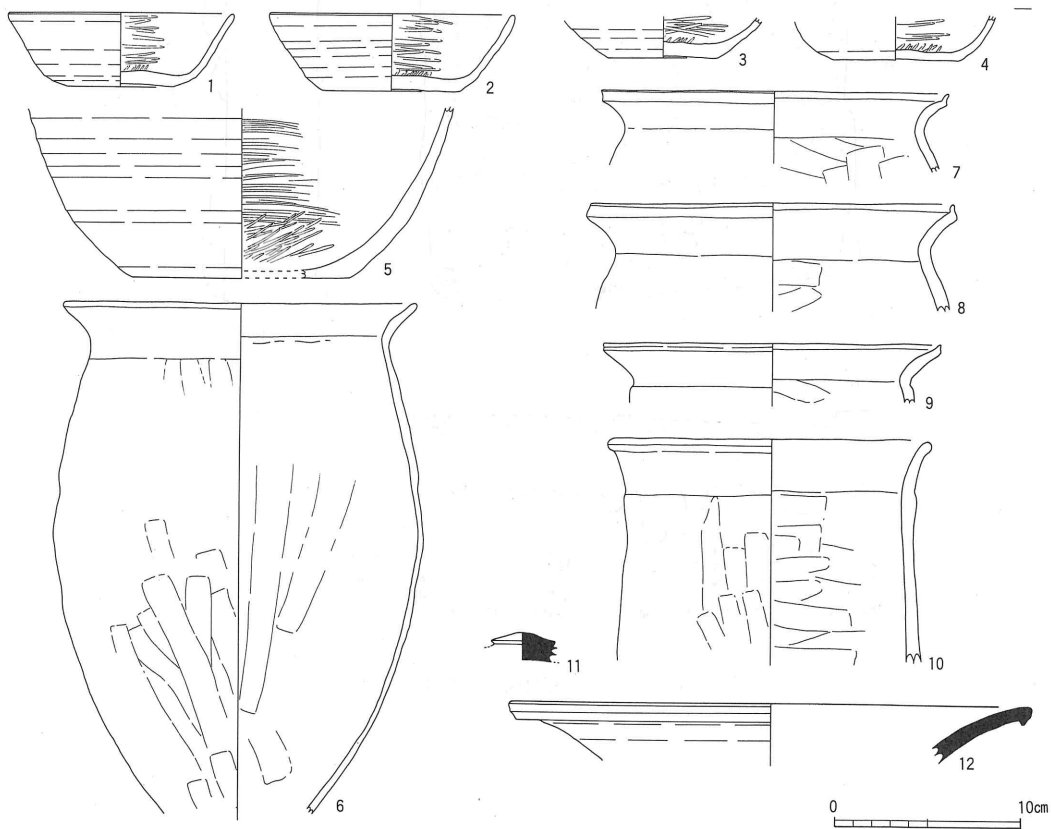
第272図 S I 113遺物平面図



- | | |
|------------------|------------------|
| 1 褐色土 (粘土、ローム粒) | 7 灰褐色土 (ローム粒、粘土) |
| 2 褐色土 (ローム粒、焼土) | 8 灰褐色土 (粘土、焼土) |
| 3 暗褐色土 (粘土、ローム粒) | 9 褐色土 (粘土、焼土) |
| 4 茶褐色土 (ローム粒、焼土) | 10 灰褐色土 (粘土) |
| 5 黄褐色土 (ローム塊) | 11 赤褐色土 (焼土多量) |
| 6 暗褐色土 (ローム粒、焼土) | |



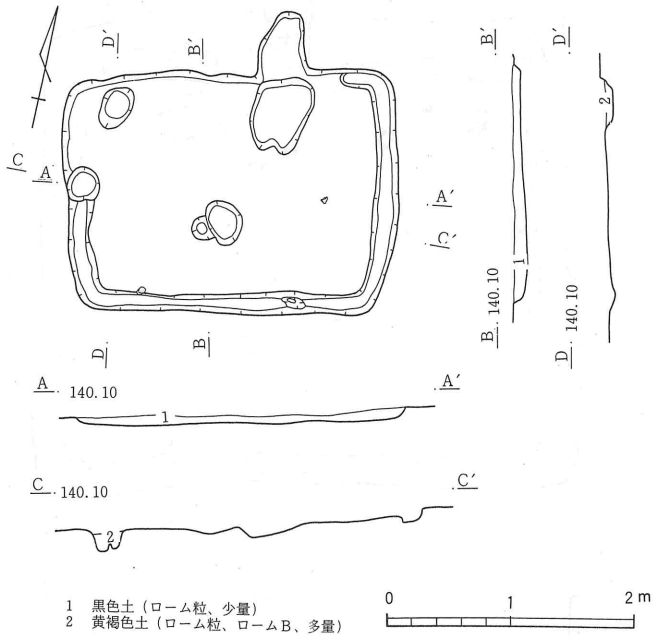
第273図 S I 113カマド



第274図 S I 113出土土器

S I 114

位置 南地区G-11グリッド 平面形 1.9×2.7mの縦長方形 方位 住居：N15°W カマド：N 規模 小 床面 ローム地山 壁 5～10cmと極めて浅い。壁角度測定不能。周溝 北西コーナーと北壁の一部を除き認められる。柱穴 認めず。備考 規模が小さく掘り込みも浅いため、土坑と思われたが、カマドがしっかりしていること、周溝が認められることから住居と確認された。



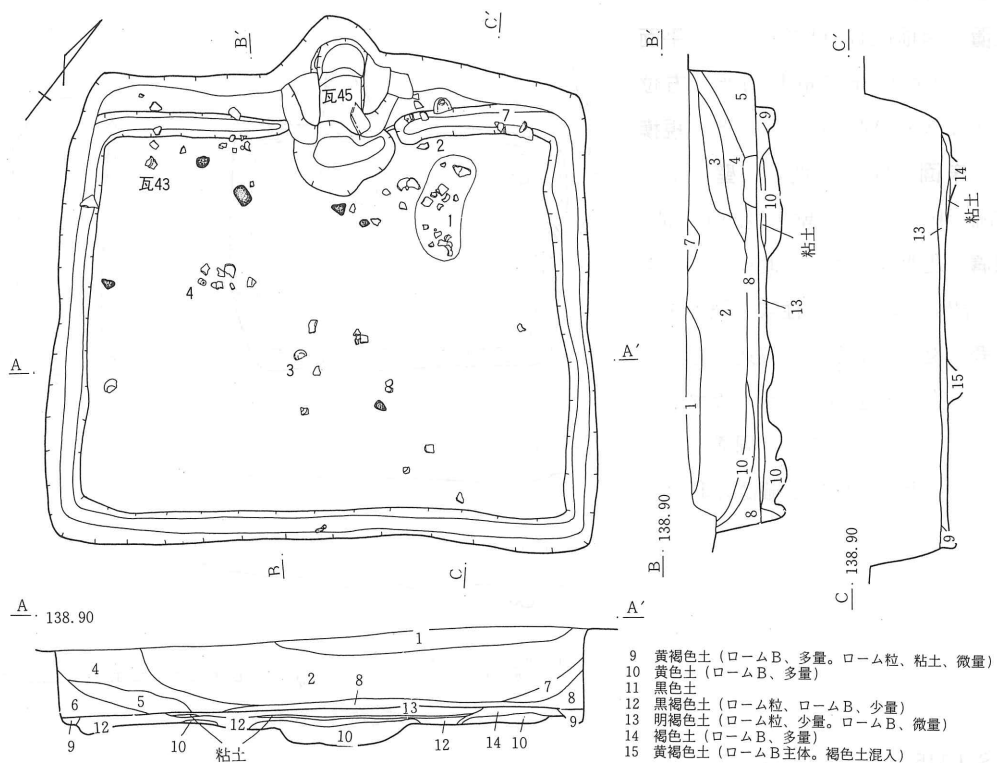
第275図 S I 114

S I 115

位置 南地区D-17グリッド 調査区最南端 平面形 3.6×4.3mの横長方形 方位 住居：N35°W カマド：N 規模 中 床面 全面貼床。粘土と土を交互に何層にも重ね踏み固められている。壁 76～90° 深さ60cm。しっかりとしている。周溝 全周する。床を張ってから周溝を切っている。柱穴 認めず。備考 貼床のセクション調査の直後、水田の灌漑水によって水没し詳細不明。カマド コの字形の掘り方で煙道部が階段状を呈する。燃烧部は住居内に入るタイプで、右ソデ基部に粘土がある。遺物 土師器坏2・甕2，須恵器坏3・蓋1，瓦4

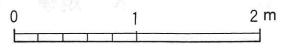
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	13.9	—	—	C	j	石英，小砂粒やや多	良好	暗褐色	床面	1/2	外面煤付着
2	坏(S)	13.5	3.6	8.4	B	c	石英，白色砂粒	良好	灰色	覆土	1/2	
3	坏(S)	—	—	8.6		a	白雲母やや多	良好	灰白色	床面	1/5	
4	蓋(S)	—	—	—	(1)		緻密	良好	灰色	覆土	1/7	
5	坏(S)	—	—	6.5		e	緻密	良好	青灰色	覆土	1/5	
6	坏(H)	12.1	—	—	F(1)	a	石英，小砂粒	良好	外暗褐色，内黒色	覆土	1/8	内黒
7	坏(H)	17.6	—	—	I	d	石英，小砂粒	良好	黒褐色	覆土	1/5	
8	甕(H)	22.5	—	—	H(1)	n	石英，小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/24	

第118表 S I 115土器観察表

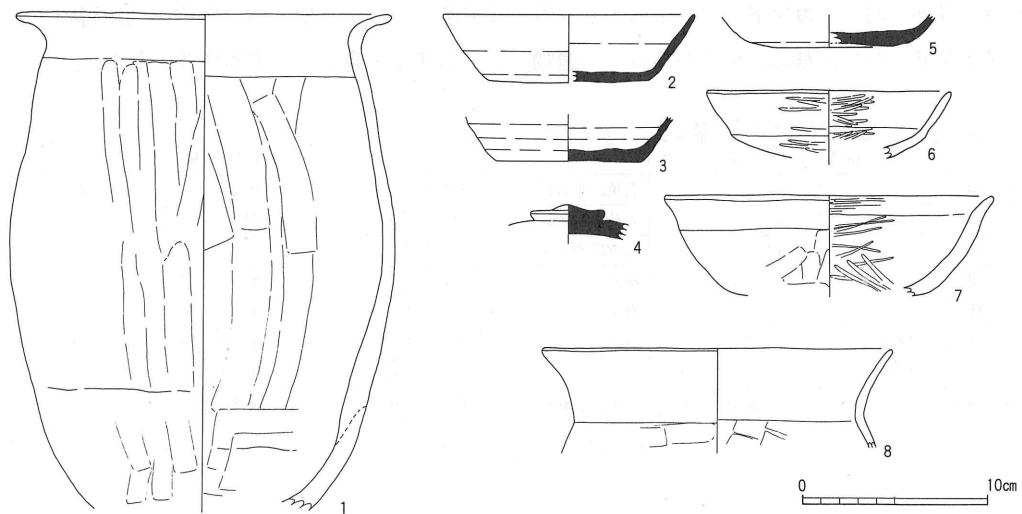


- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 黄褐色土 (ローム粒、多量) | 5 灰褐色土 (粘土、炭化物、ローム粒、多量) |
| 2 黑褐色土 (ローム粒、炭化物、微量) | 6 明褐色土 (ローム粒、粘土、少量) |
| 3 黑褐色土 (ローム粒、炭化物、少量) | 7 黑色土 (ローム粒、ロームB、微量) |
| 4 褐色土 (ローム粒、多量。炭化物、少量) | 8 褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、微量) |

- | |
|-----------------------------|
| 9 黄褐色土 (ロームB、多量。ローム粒、粘土、微量) |
| 10 黄色土 (ロームB、多量) |
| 11 黑色土 |
| 12 黑褐色土 (ローム粒、ロームB、少量) |
| 13 明褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、微量) |
| 14 褐色土 (ロームB、多量) |
| 15 黄褐色土 (ロームB主体。褐色土混入) |



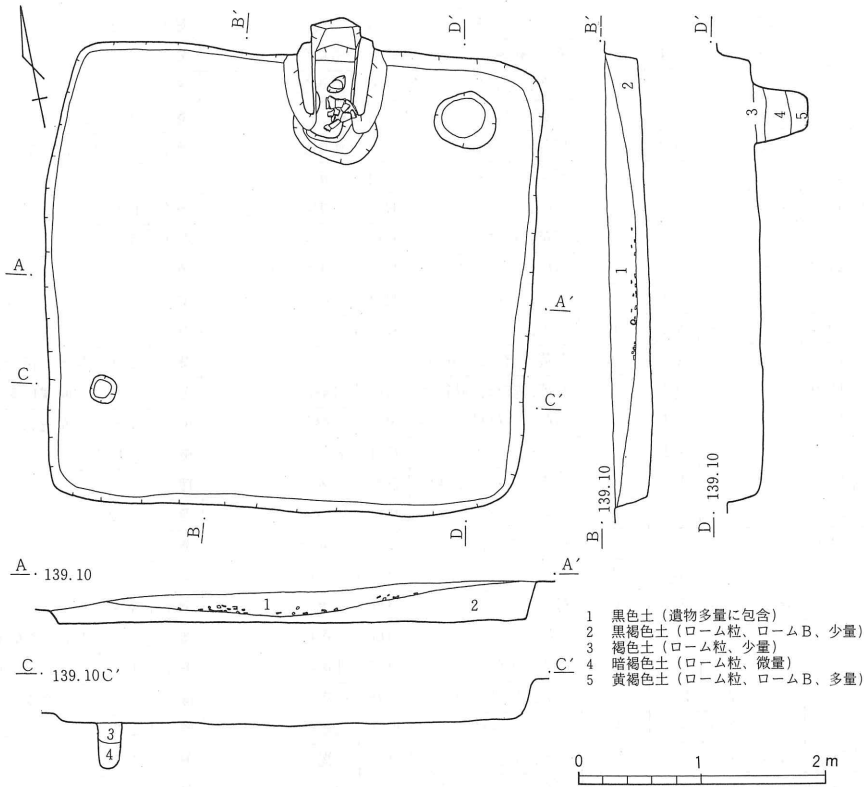
第276图 SI 115



第277图 SI 115出土土器

S I 116

位置 南地区D-17グリッド 平面形 3.5×3.8mの若干東西に長い方形 方位 住居：N16°W
 カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 76° 深さ 8~30cm 地形の傾斜による。周溝・柱穴
 共に認めず。備考 カマド脇に貯蔵穴。水田の灌漑水によって水没し詳細不明。カマド 凸
 形の掘り方で煙道部の幅は広く、ソデ基部の掘り込みは小さい。ソデは長く住居内に突出し、燃
 焼部は住居壁より内側に入るタイプ。煙道部の立ち上がりと、壁の立ち上がりが一致する。燃焼
 部中央に支脚用のピットと思われるものが認められる。床面に焼床が認められる。遺物 土師
 器坏12・埴3・高坏1・鉢3・甕23・甑1・手づくね2,須恵器坏3・高台付坏2・甕2・壺1,
 砥石1,瓦4



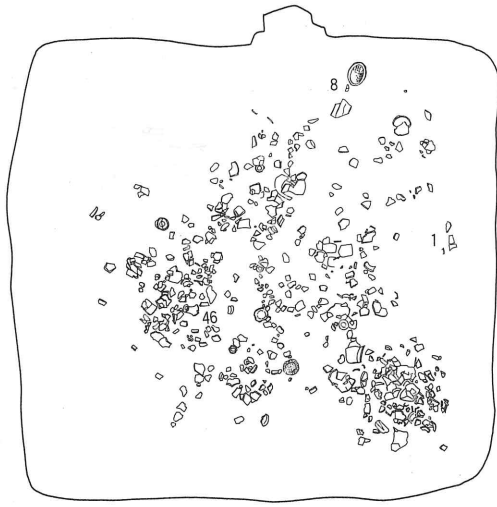
第278図 S I 116

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.1	4.4	-	C	a	石英(緻密)	良好	暗褐色	覆土	1/2	
2	坏(H)	14.1	4.3	-	G	d	砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/5	
3	坏(H)	13.2	-	-	B	a	緻密	良好	黒色	覆土	1/4	内黒
4	坏(H)	13.5	4.4	-	C	a	石英(緻密)	良好	淡褐色	覆土	4/5	
5	坏(H)	12.8	3.1	-	E	a	黒色粒, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/8	

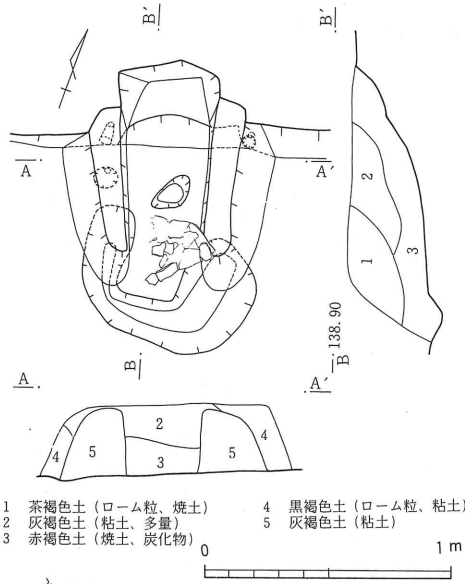
第119表 S I 116土器観察表 (1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
6	坏(H)	13.7	4.4	—	C	b	緻密	良好	淡褐色	覆土	2/3	
7	坏(H)	14.5	—	—	D	a	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/4	
8	坏(H)	12.7	—	—	G	b	黑色粒, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/2	
9	坏(H)	14.6	3.8	—	E	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
10	碗(H)	14.2	—	—	A	b	小砂粒	良好	暗赤褐色	覆土	1/8	煤附着
11	坏(H)	16.3	3.9	—	E	a	石英, 黑色粒	良好	淡褐色	覆土	1/2	
12	坏(H)	14.7	4.7	—	D	a	黑色粒, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/4	
13	坏(H)	14.0	4.3	—	D	a	黑色粒, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	4/5	
14	碗(H)	9.9	5.0	—	A	b	雲母	良好	暗褐色	覆土	4/5	
15	碗(H)	8.7	4.8	5.0	D	g	緻密	良好	黒褐色	覆土	1/4	
16	手(H)	8.0	3.4	5.4			石英	良好	淡褐色	覆土	完形	
17	手(H)	7.1	1.9	6.0			石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/2	
18	鉢(H)	12.3	13.2	6.6	B(1)	a	石英(緻密)	良好	暗褐色	覆土	1/2	
19	鉢(H)	13.6	—	—	B(2)	e	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	2/3	
20	鉢(H)	14.8	10.8	7.2	B(2)	e	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/2	
21	甕(H)	14.9	13.2	7.0	D(3)	i	黑色粒, 砂粒やや多	不良	赤褐色	覆土	4/5	2次焼成
22	甕(H)	15.8	—	—	D(3)	i	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/2	
23	甕(H)	16.8	—	—		a	小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/12	
24	高坏(H)	—	—	—		b	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/5	
25	甕(H)	21.2	—	—	A(1)	b	白色砂粒, 小石	良好	淡褐色	覆土	1/6	
26	甕(H)	21.0	—	—	A(1)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
27	甕(H)	19.7	—	—	A(1)	b	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/6	
28	甕(H)	14.8	—	—	A(2)	a	石英, 雲母, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	2/3	胴下半接合部磨き
29	甕(H)	19.9	—	—	D(1)	j	石英, 雲母, 砂粒多	良好	暗褐色	覆土	1/6	外面煤附着
30	甕(H)	19.2	—	—	E(1)	j	石英, 小砂粒やや多	良好	淡褐色	覆土	1/8	外面荒れている
31	甕(H)	17.4	—	—	A(1)	b	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	
32	甕(H)	19.9	—	—	A(1)	a	石英, 雲母, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/6	
33	甕(H)	21.0	—	—	B	b	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/12	
34	甕(H)	24.6	—	—	C	b	石英, 雲母, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/6	
35	甕(H)	23.9	—	—	A(1)	d	石英, 小砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/16	
36	甕(H)	18.7	32.8	9.3	B	c	石英, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	完形	
37	甕(H)	19.7	—	—	C	b	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	2/3	外面一部剥離
38	甕(H)	—	—	6.2	C	a	石英, 黑色粒やや多	良好	外褐色	覆土	1/2	木葉痕, 外煤附着
39	甕(H)	—	—	7.0	D	j	石英, 砂粒やや多	良好	淡褐色	覆土	1/5	2次焼成
40	甕(H)	17.1	29.8	7.0	A(1)	b	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	2/3	
41	甕(H)	18.6	24.3	7.8	A(1)	c	石英, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	4/5	
42	甕(H)	—	—	8.0	A(1)	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/4	
43	甕(H)	—	—	8.3	A(1)	b	石英, 小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/2	
44	甕(H)	15.9	28.4	7.0	A(1)	b	小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/2	外面一部剥離
45	甕(S)	24.5	—	—	D		石英, 白色砂粒	良好	暗灰色	覆土	1/28	
46	壺(S)	10.0	—	—	A	a	黑色粒(緻密)	良好	灰色	覆土	1/3	一部自然釉附着
47	甕(S)	—	—	—			白色砂粒多	良好	暗灰色	覆土	破片	波状文, 沈線文
48	甕(H)	—	—	5.9	A(1)	b	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/2	木葉痕
49	坏(S)	12.9	3.9	6.6	C		石英, 白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/8	
50	坏(S)	13.9	—	—			白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/8	
51	坏(S)	—	—	10.3		e	緻密	良好	青灰色	覆土	1/8	
52	高台(S)	—	—	9.2	A(1)	c	石英, 砂粒やや多	良好	灰白色	覆土	1/12	台部削り出し
53	高台(S)	—	—	12.3	A(1)		石英, 白色砂粒	良好	灰色	覆土	1/12	

第120表 S I 116土器観察表 (2)

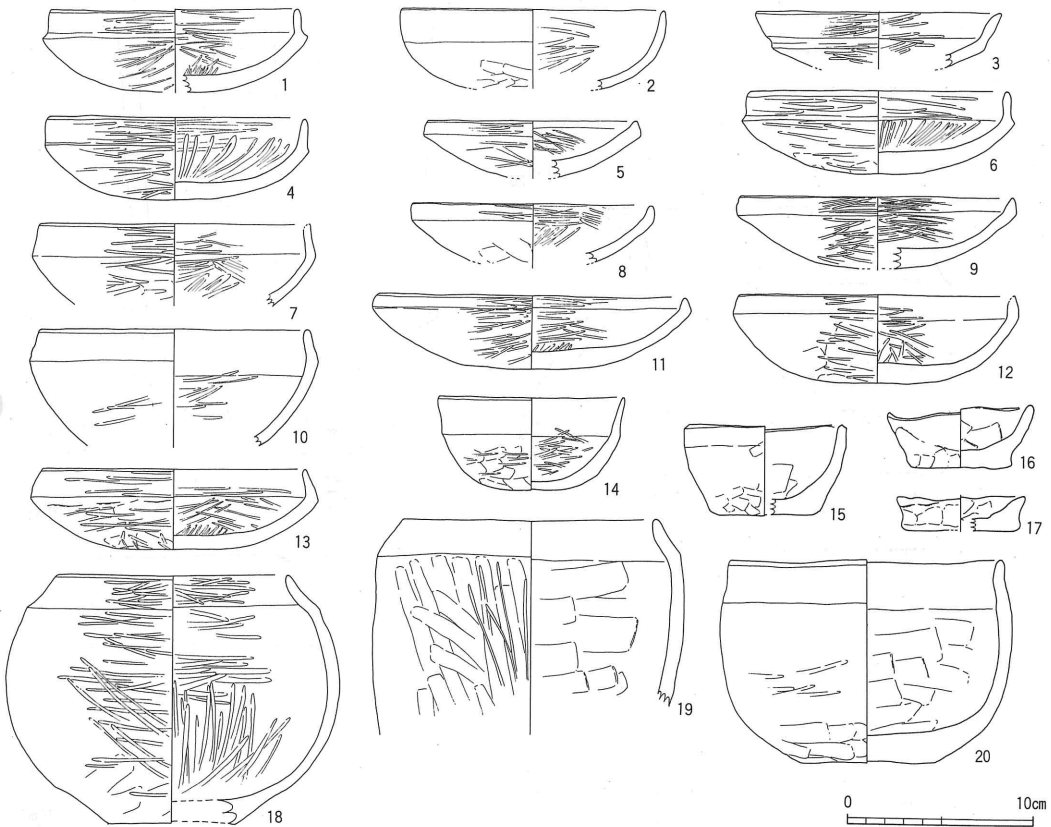


第279図 S I 116遺物平面図

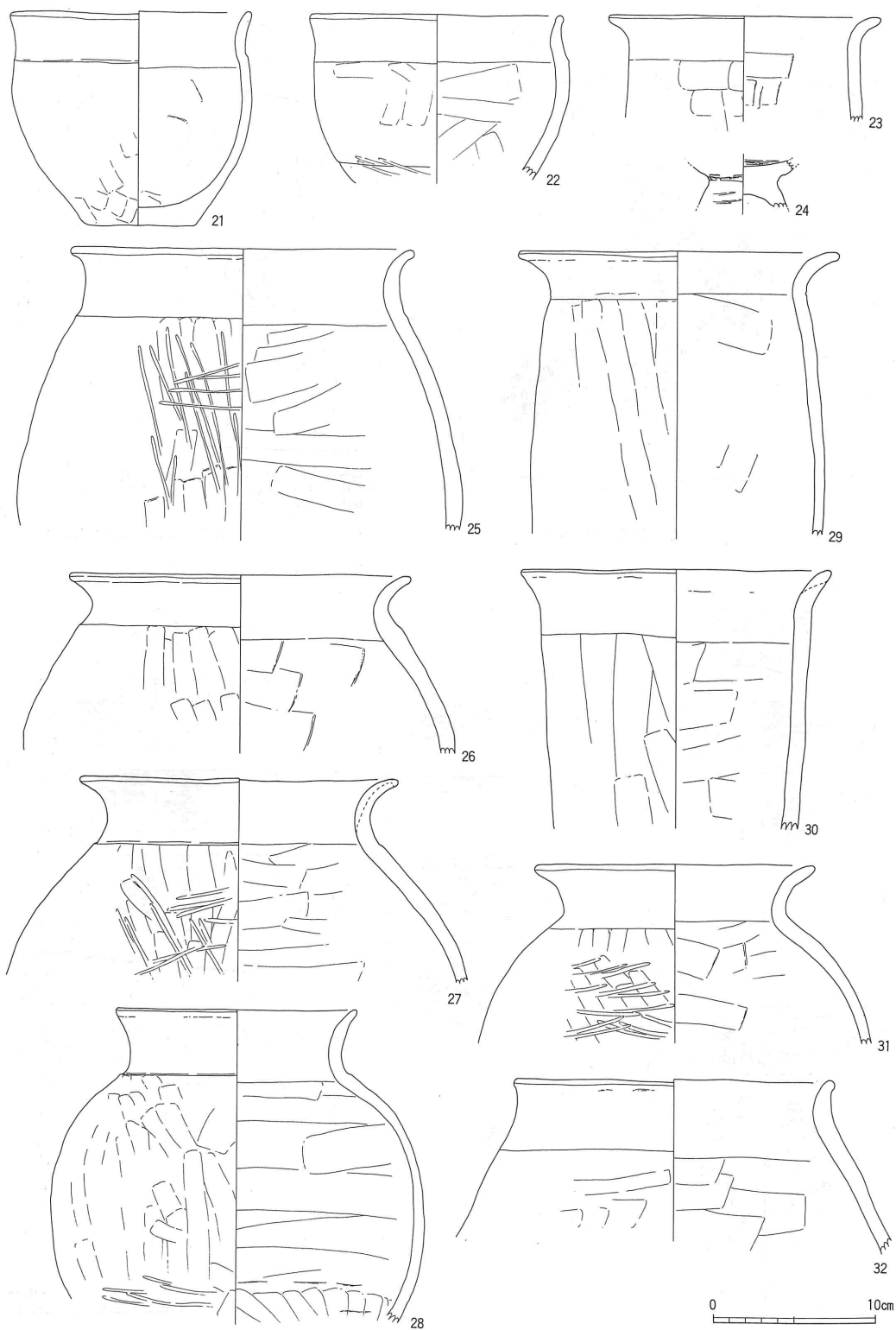


- | | |
|------------------|------------------|
| 1 茶褐色土 (ローム粒、焼土) | 4 黒褐色土 (ローム粒、粘土) |
| 2 灰褐色土 (粘土、多量) | 5 灰褐色土 (粘土) |
| 3 赤褐色土 (焼土、炭化物) | |

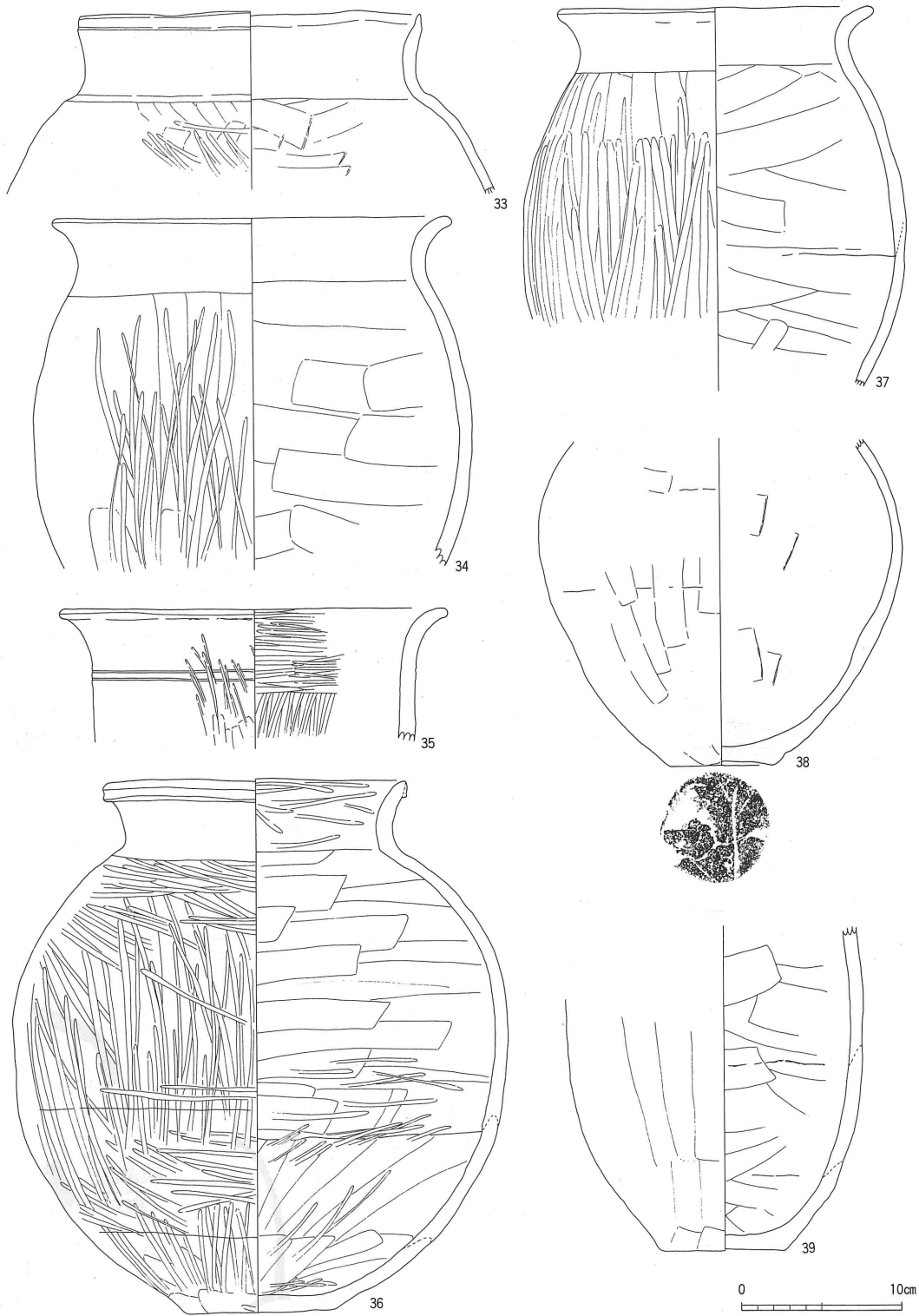
第280図 S I 116カマド



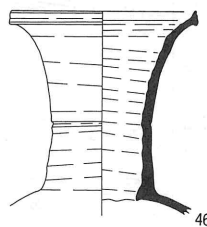
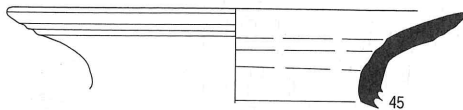
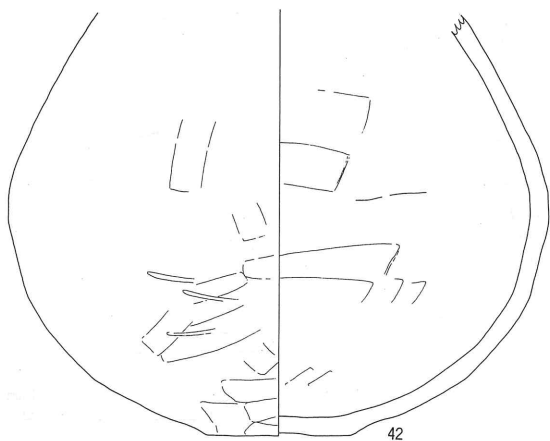
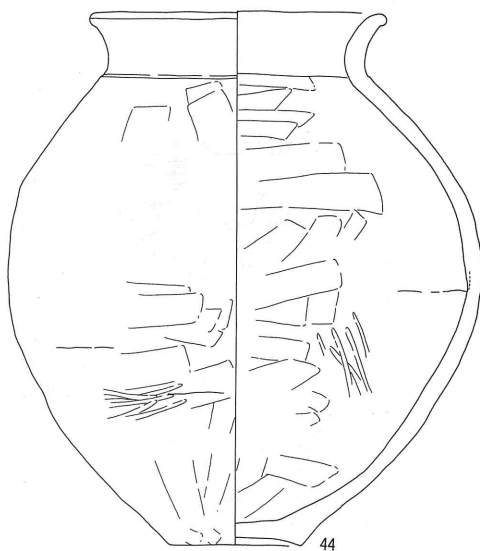
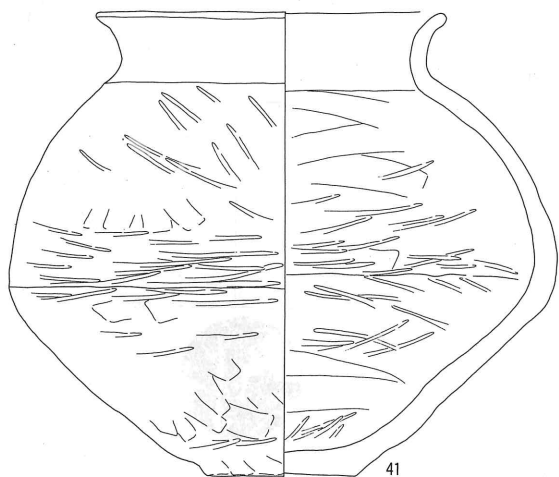
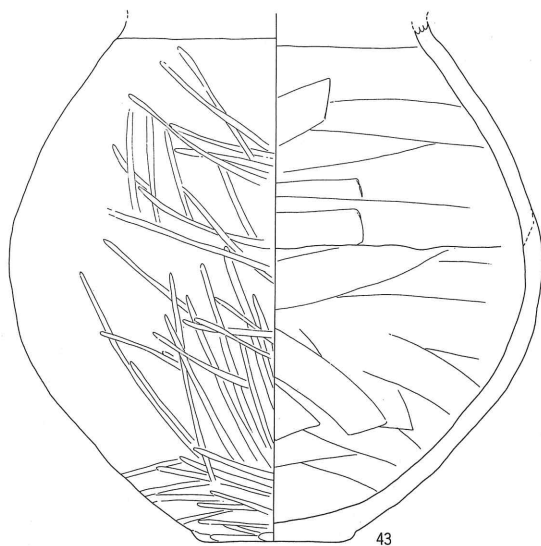
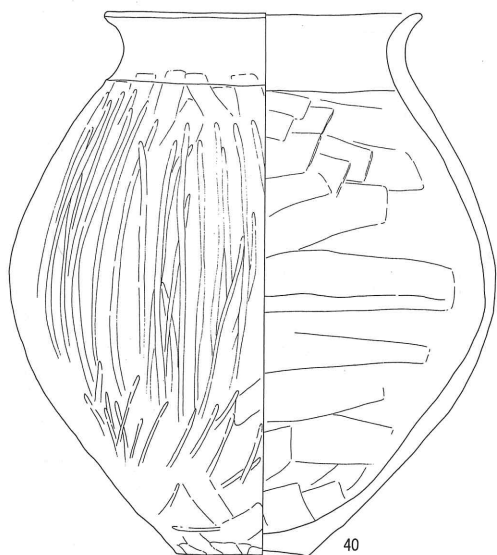
第281図 S I 116出土土器 (1)



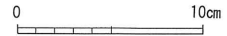
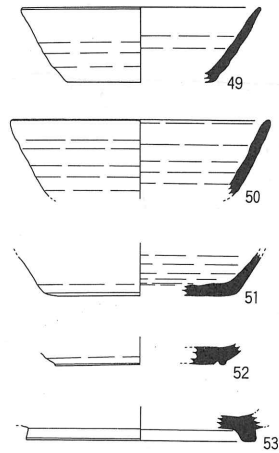
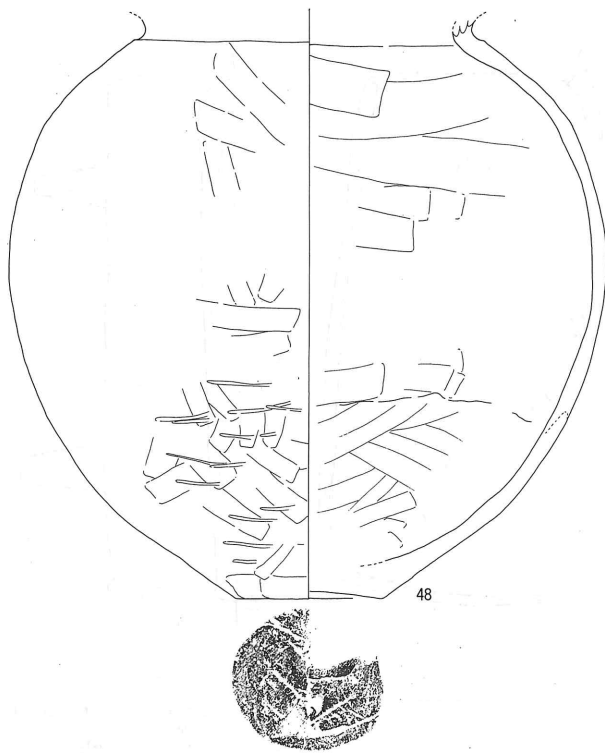
第282图 S I 116出土土器(2)



第283图 S I 116出土土器 (3)



第284图 S I 116出土土器(4)



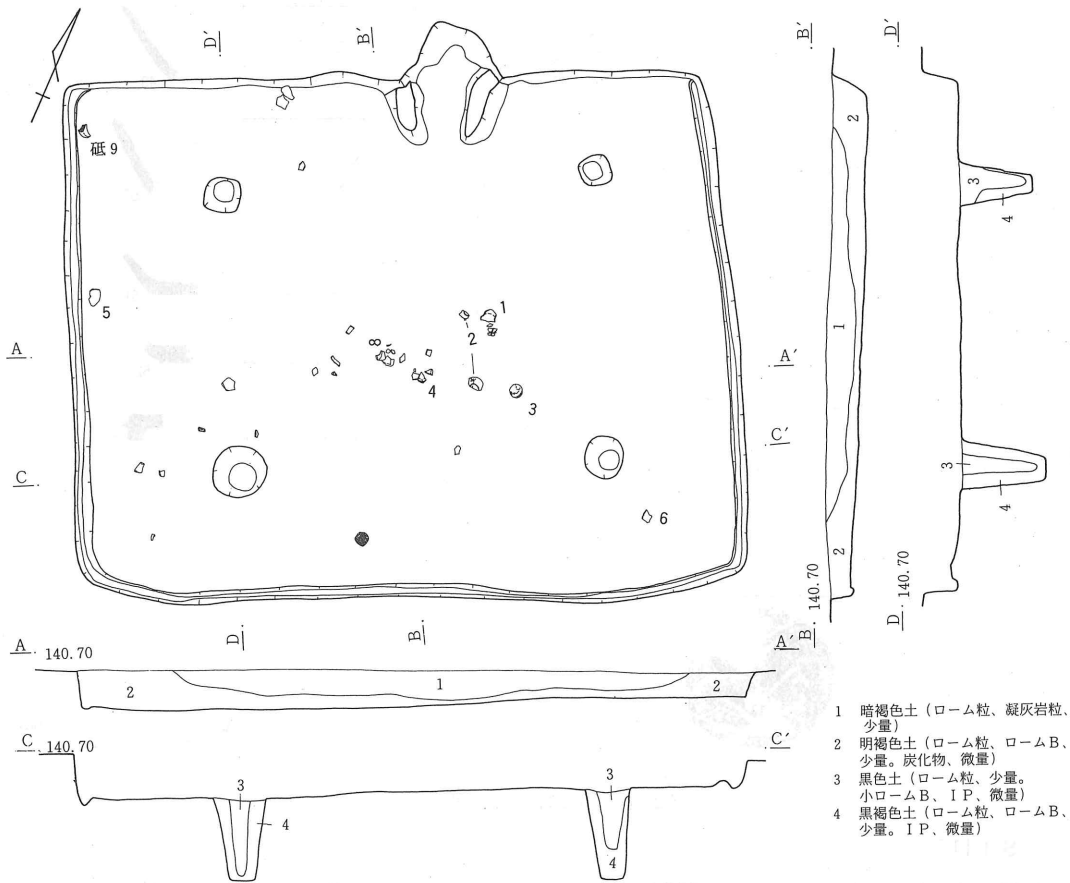
第285図 S I 116出土土器 (5)

S I 117

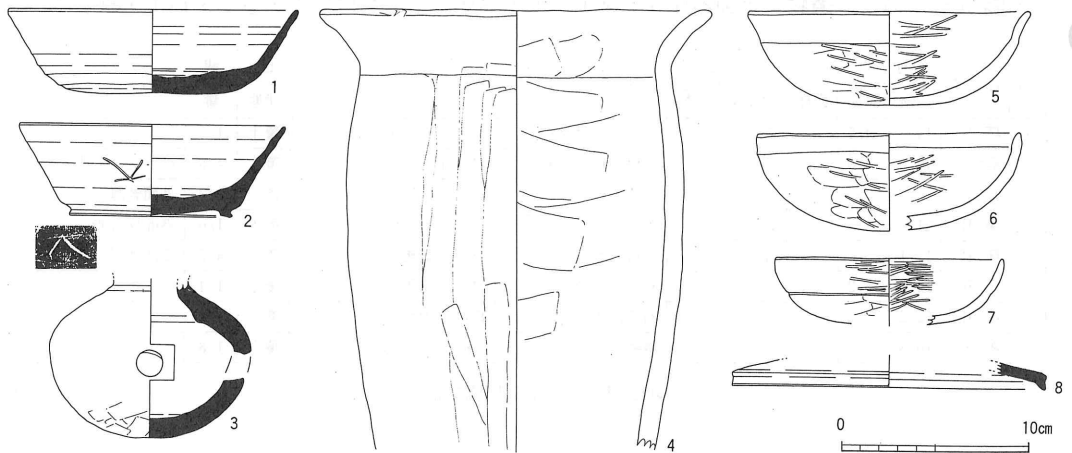
位置 北地区D-6グリッド 平面形 4.2×5.3mの横長方形 方位 住居：N23°W カマド：N 規模 大 床面 平坦なローム地山 壁 67～83° 深さ30cm 周溝 北壁を除いて確認できる。コーナー部は不明瞭。 柱穴 4本スクエアに配する。 備考 規模のわりには造りが粗雑な印象をうける。 遺物 土師器坏3・甕1，須恵器坏1・高台付坏1・蓋1・甗1・砥石1

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(S)	14.4	4.5	9.3	B	c	石英，白色砂粒	良好	灰白色	覆土	1/2	
2	高台(S)	14.6	4.9	8.8	A(1)	c	白色砂粒，小石	良好	青灰色	覆土	4/5	ヘラ文字「大」
3	甗(S)	—	—	—	A		白色砂粒，小石	良好	紫灰色	覆土	2/3	外面剝離
4	甕(H)	21.0	—	—	D(1)	j	石英，砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	外面煤付着
5	坏(H)	15.1	5.0	—	H	c	雲母やや多	良好	暗褐色	覆土	4/5	2次焼成
6	坏(H)	14.0	5.2	—	G	e	石英，砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/4	
7	坏(H)	12.2	3.6	—	G	b	石英，黒色粒	良好	褐色	覆土	1/8	
8	蓋(S)	16.8	—	—			緻密	良好	青灰色	覆土	1/8	

第121表 S I 117土器観察表



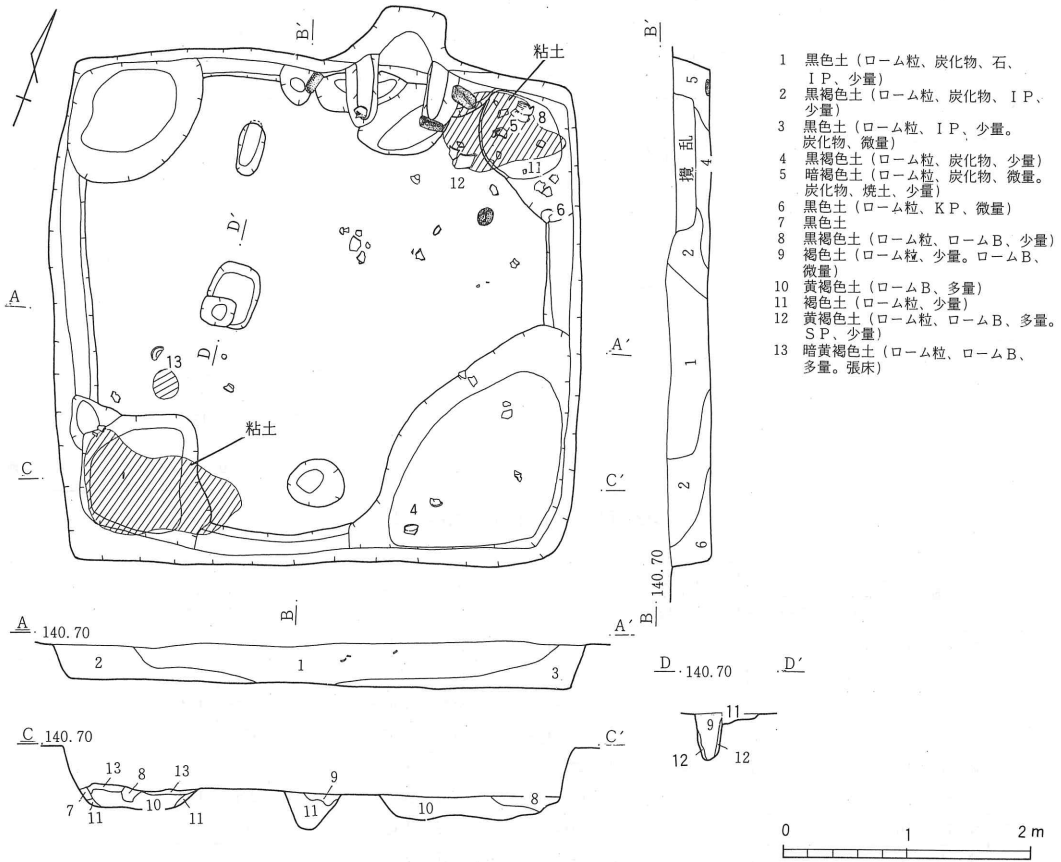
第286図 S I 117



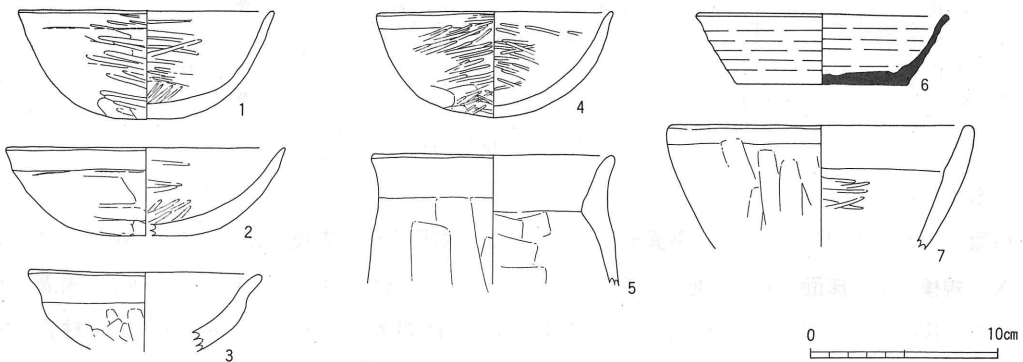
第287図 S I 117出土土器

S I 118

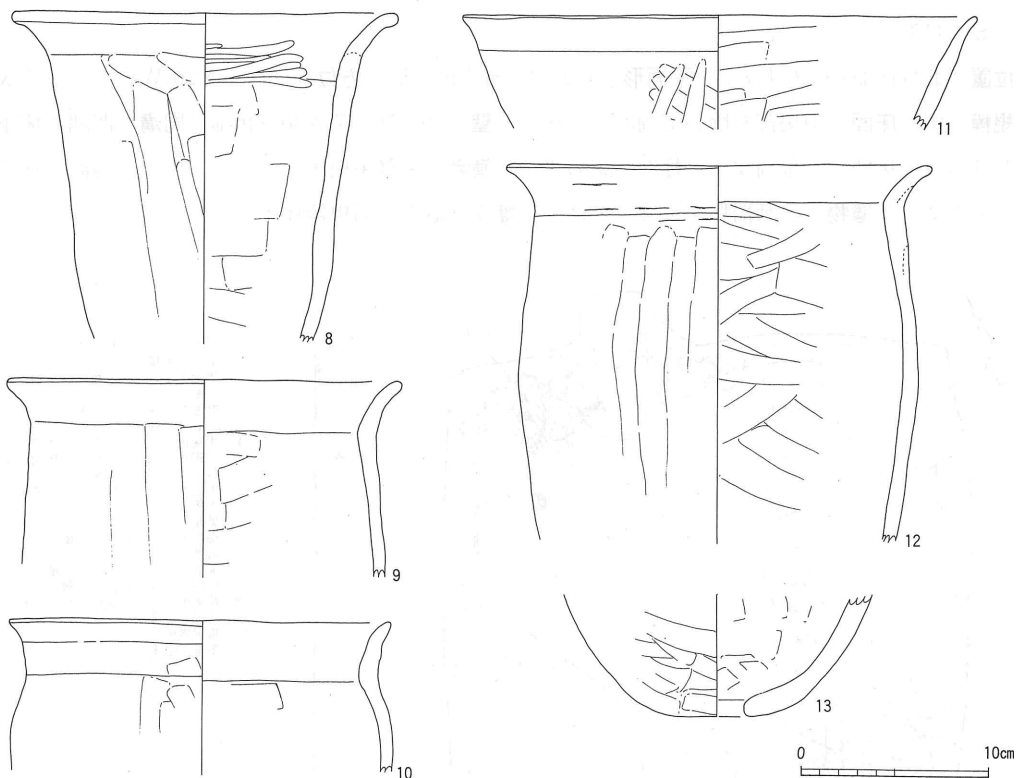
位置 北地区D-6グリッド 平面形 4.2×4.3mの正方形 方位 住居：N20°W カマド：N
 規模 中 床面 中央部を除いて周囲は貼床。 壁 69～79° 深さ30～40cm 周溝 四隅の床下
 掘り込みに接続し、全周する。柱穴 認めず。 備考 南壁中央床にピット（出入口施設に伴う
 ものか？） 遺物 土師器坏4・埴1・鉢1・甕5・甗1，須恵器坏1



第288図 S I 118



第289図 S I 118出土土器（1）



第290図 S I 118出土土器 (2)

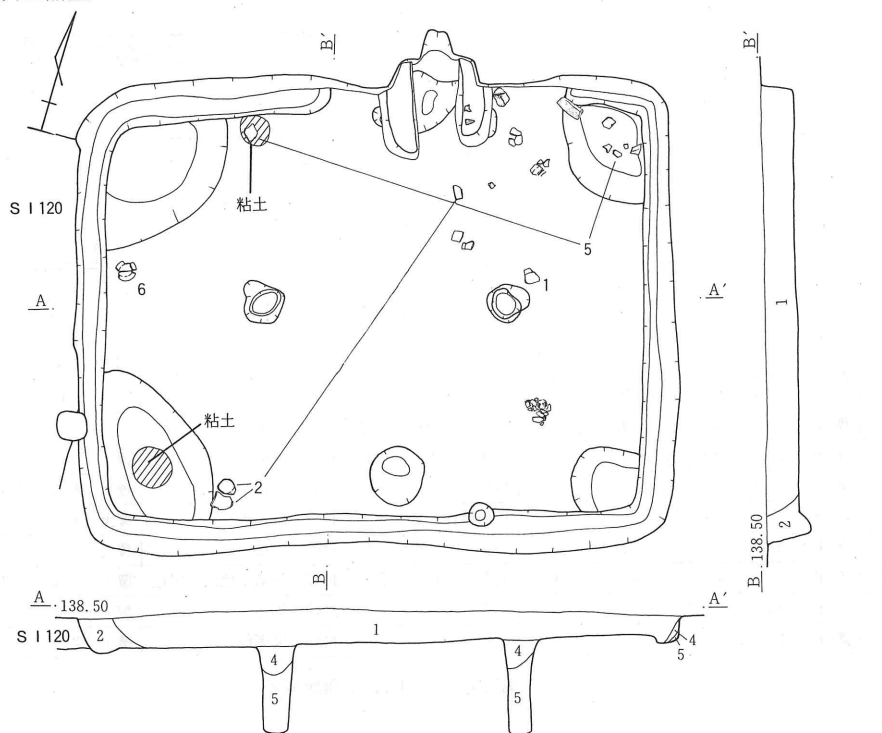
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.6	5.8	—	G	e	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/2	
2	坏(H)	14.8	4.7	—	H	f	石英, 砂粒	良好	褐色	土坑	1/3	
3	坏(H)	12.4	—	—	H	h	石英, 雲母, 小砂粒	良好	淡褐色	土坑	1/4	
4	坏(H)	12.7	5.7	—	G	e	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	完形	
5	甕(H)	13.0	—	—	D(3)	a	石英, 雲母, 砂粒多	良好	褐色	土坑	1/6	
6	坏(S)	13.6	3.8	9.3	B	a	白色砂粒, 小石多	良好	青灰色	床面	1/2	
7	埴(H)	16.4	—	—	D	c	石英, 砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	
8	甕(H)	20.5	—	—	E(2)	j	石英, 長石, 砂粒多	良好	褐色	土坑	1/18	
9	甕(H)	21.0	—	—		j	黑色粒, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/28	
10	甕(H)	20.3	—	—	C	a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/28	
11	鉢(H)	27.5	—	—	D	f	石英, 砂粒やや多	良好	淡褐色	土坑	1/16	
12	甕(H)	22.2	—	—	D(1)	j	石英, 長石, 砂粒多	良好	淡褐色	床面	1/4	
13	甗(H)	—	—	6.7	B(1)	e	石英, 雲母, 砂粒多	良好	暗褐色	覆土	1/24	

第122表 S I 118土器観察表

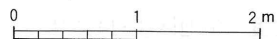
S I 119

位置 南地区 I-13グリッド 平面形 3.8×4.4mの横長方形 方位 住居: N16°W カマド: N 規模 中 床面 ローム地山で堅くしまっている。壁 73~80° 深さ20~30cm 周溝 カマドに接続せず全周する。カマドソデまで達しない。四隅床下掘り込みに接続する。柱穴 東西軸線上に2本。棟持柱。備考 南壁中央床面にピット(出入口施設に伴うものか?)

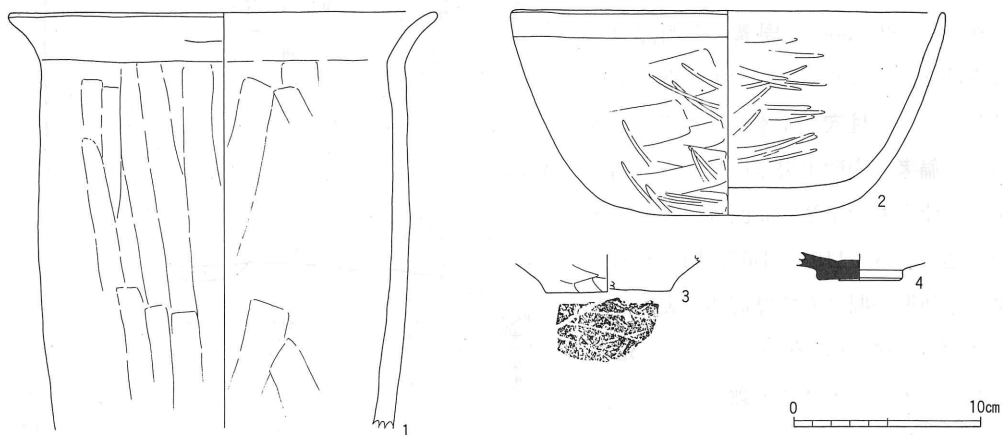
S I 120を切る。カマド 凸形の掘り方で両ソデ下にピットと凝灰岩の破片が散在することから、ソデ下のピットに差し込まれた凝灰岩の芯があった可能性が高い。遺物 土師器坏2・鉢1・甕4，須恵器蓋1



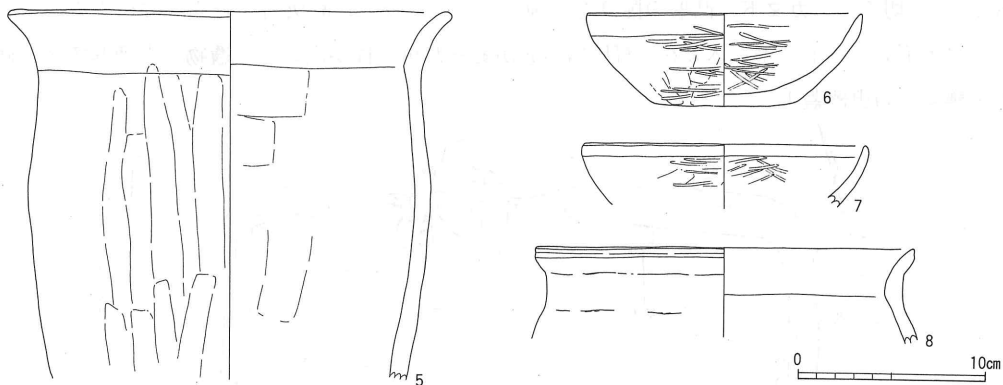
- 1 明褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、少量。IP、炭化物、微量)
- 2 黒褐色土 (ローム粒、少量。IP、炭化物、微量)
- 3 褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、IP、炭化物、微量)
- 4 褐色土 (ローム粒、ロームB、少量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒、IP、少量)



第291図 S I 119



第292図 S I 119出土土器 (1)



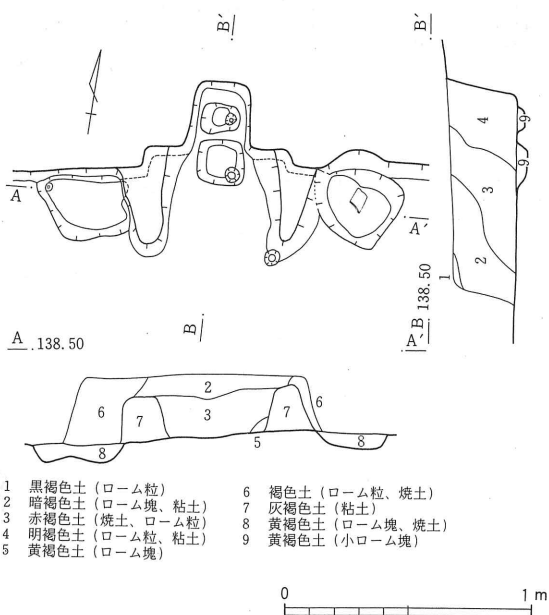
第293図 S I 119出土土器 (2)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成形手法	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	22.8	—	—	D(1)	j	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	赤褐色	カマド	1/6	2次焼成
2	鉢(H)	23.0	10.9	6.0	D	b	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/2	
3	甕(H)	—	—	6.6			砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/32	木葉痕
4	蓋(S)	—	—	—	(3)		白色砂粒	良好	灰白色	覆土	1/10	
5	甕(H)	23.7	—	—	D(1)	j	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/6	2次焼成
6	坏(H)	14.8	4.9	7.3	I	e	石英, 砂粒やや多	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/2	内黒
7	坏(H)	15.0	—	—	G	e	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	
8	甕(H)	20.3	—	—			砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/32	

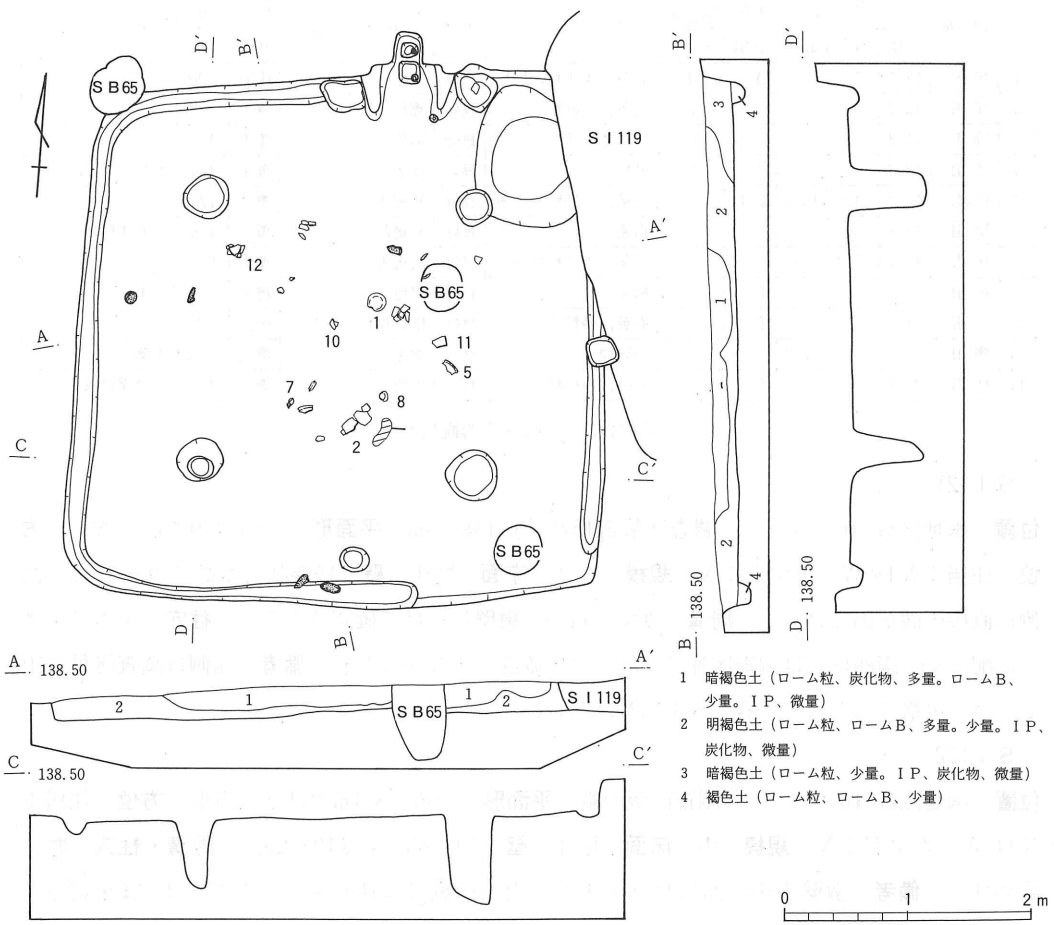
第123表 S I 119土器観察表

S I 120

位置 南地区J-14グリッド 平面形 4.2 × 4.3mのほぼ正方形 方位 住居: N 0°
 カマド: N 規模 中 床面 ローム地山で堅く踏み固められたような面をもつ。
 壁 80°深さ12~30cm 周溝 南西部コーナーを除き認められる。カマドの掘り方に接続しない。 柱穴 4本スクエアに配される。 備考 南壁中央床にピット(出入口施設に伴うものか?) 北西コーナーに床下掘り込み。S I 119、SB65に切られる。カマド 凸形の掘り方で煙道部が突出するがソデ基部の掘り込みが小さい。 遺物 土師器坏5・埴3・鉢2・甕4

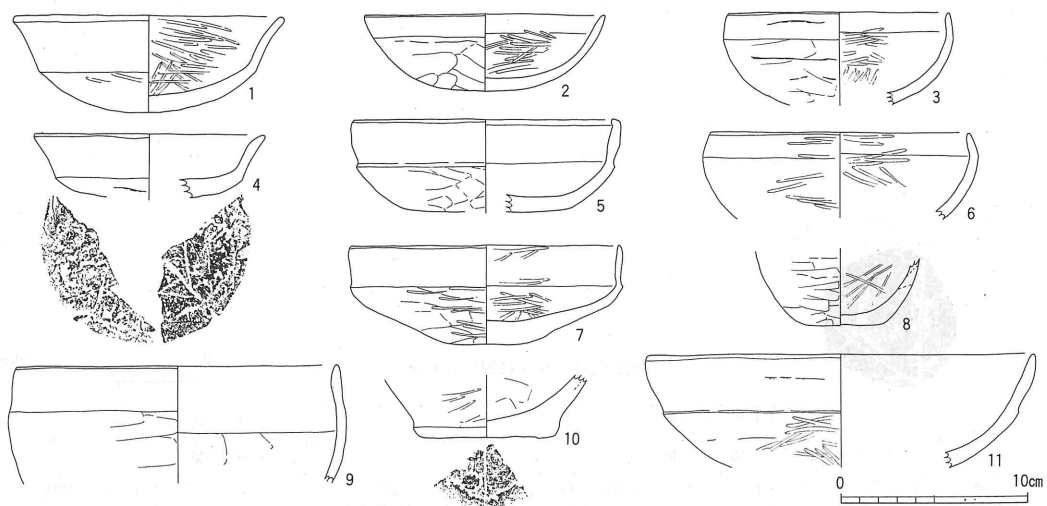


第294図 S I 120カマド



- 1 暗褐色土（ローム粒、炭化物、多量。ロームB、少量。IP、微量）
- 2 明褐色土（ローム粒、ロームB、多量。少量。IP、炭化物、微量）
- 3 暗褐色土（ローム粒、少量。IP、炭化物、微量）
- 4 褐色土（ローム粒、ロームB、少量）

第295図 S I 120



第296図 S I 120出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.5	5.1	—	A	d	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	床面	完形	
2	坏(H)	12.2	4.1	—	G	f	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	
3	塊(H)	11.8	—	—	C	c	砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/6	
4	坏(H)	12.3	—	—	A	h	砂粒	良好	褐色	覆土	1/4	木葉痕
5	坏(H)	14.2	4.9	10.1	F(1)	h	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/3	
6	塊(H)	13.8	—	—	C	b	緻密	良好	暗褐色	覆土	1/6	内面漆付着
7	坏(H)	14.4	5.3	—	C	c	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	2/3	
8	塊(H)	—	—	4.0	D	b	緻密	良好	黒色	覆土	1/2	内黒
9	鉢(H)	17.0	—	—	B	f	石英, 砂粒多	良好	暗赤褐色	床面	1/12	
10	甕(H)	—	—	7.3			小砂粒	良好	褐色	覆土	1/32	木葉痕
11	鉢(H)	20.8	—	—	F	e	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/4	内面煤付着

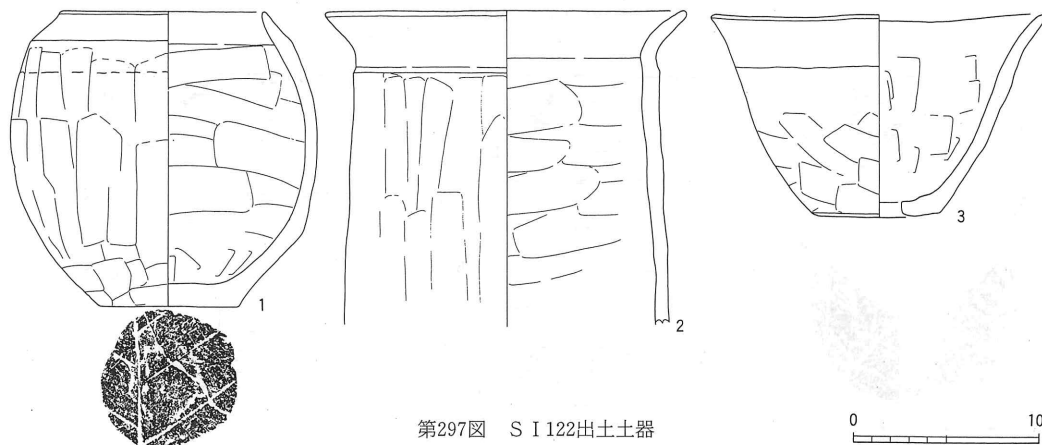
第124表 S I 120土器観察表

S I 121

位置 南地区G-16グリッド 調査区最低標高地点138.00m 平面形 4.0×4.0? mの方形 方位 住居: N18°W カマド: N 規模 中? 床面 貼床 壁 残存状況が悪く0~10cm。西側は直接床面が出ている。周溝 カマド右から東壁にかけて確認できる。柱穴 4本スクエアに配する。南西柱穴は調査区外であったため確認できなかった。備考 西側は調査区外に出ており、水路に切られている。S I 122に切られる。

S I 122

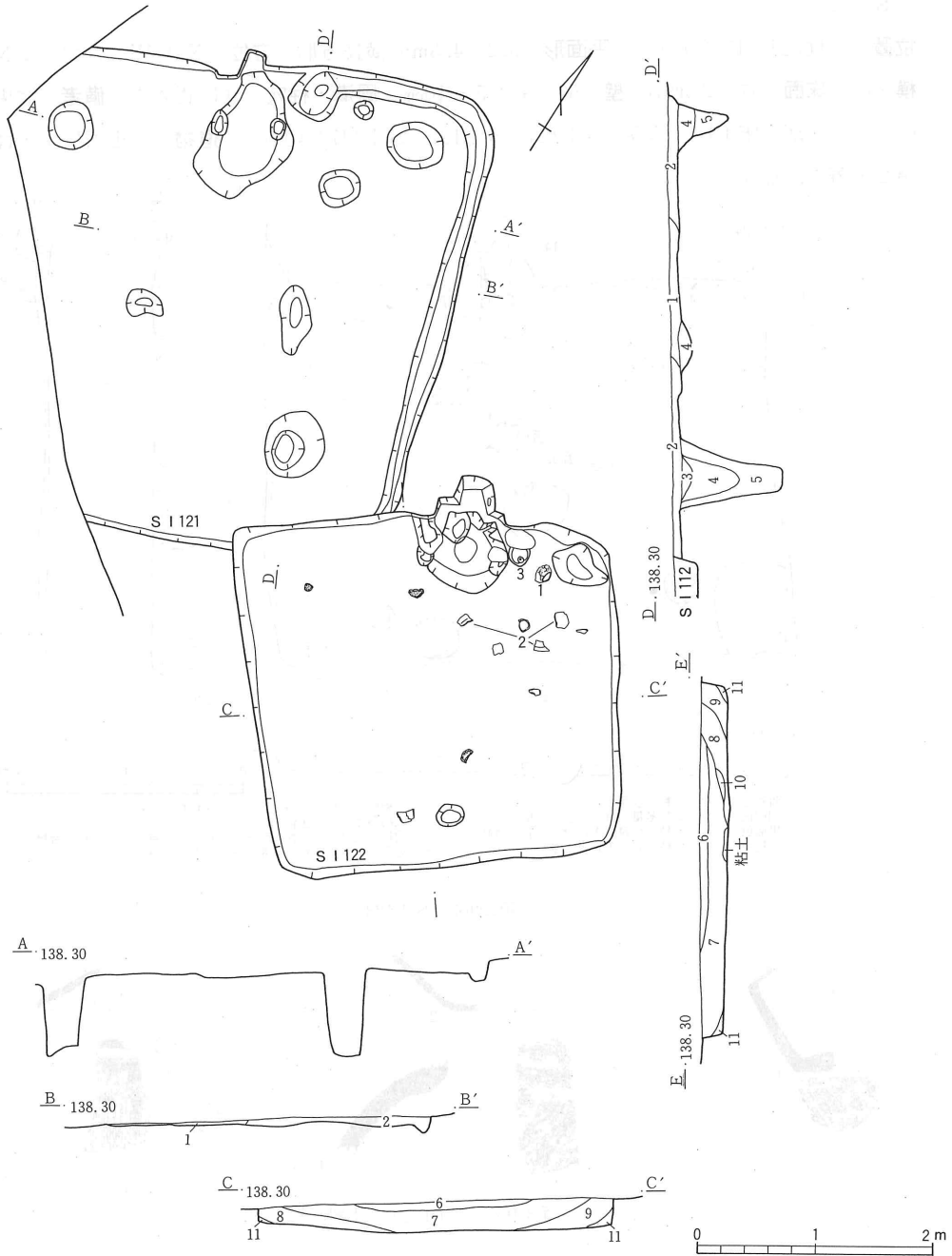
位置 南地区G-16グリッド 調査区南西端 平面形 一辺が3.1mのほぼ正方形 方位 住居: N41°W カマド: N 規模 中 床面 貼床 壁 79~83° 深さ19~25cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 南壁中央床面にピット1本(出入口施設に伴うものか?) S I 121を切る。遺物 土師器鉢1・甕1・甑1, 瓦1



第297図 S I 122出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	鉢(H)	10.5	15.7	7.5	B(2)	f	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	床面	4/5	木葉痕, 内焼焦げ
2	甕(H)	19.6	—	—	D(1)	j	石英, 小砂粒	良好	褐色	床面	1/4	外面煤付着
3	甑(H)	17.9	10.8	7.0	B(2)	e	石英, 小砂粒	良好	黒褐色	カマド	完形	両面とも焼焦げ

第125表 S I 122土器観察表

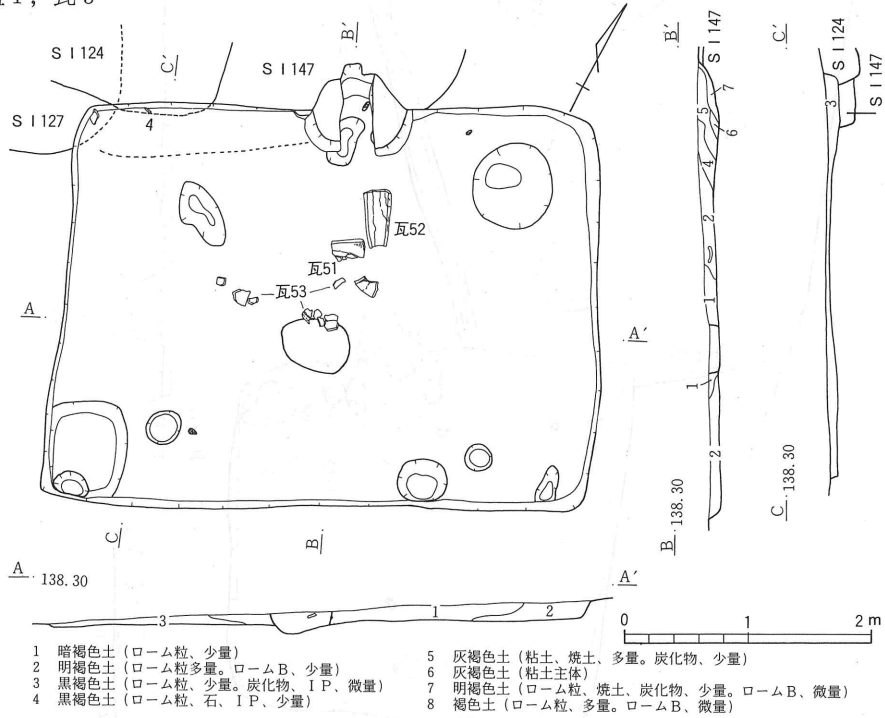


- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 黒褐色土 (ロームB、少量) | 7 褐色土 (ローム粒、少量。炭化物混入) |
| 2 褐色土 (ローム粒、多量) | 8 褐色土 (ローム粒、多量。粘土、微量) |
| 3 褐色土 (ローム粒、小ロームB、多量) | 9 褐色土 (ローム粒、多量。粘土、少量) |
| 4 黒褐色土 (ローム粒、小ロームB、黒色土混入) | 10 灰褐色土 (ローム粒、粘土、多量) |
| 5 黄褐色土 (ローム粒、多量。小ロームB、微量) | 11 褐色土 (ローム粒少量。黒色土混入) |
| 6 黄褐色土 (ローム粒、多量。小ロームB、微量。黒色土混入) | |

第298図 S I 121・122

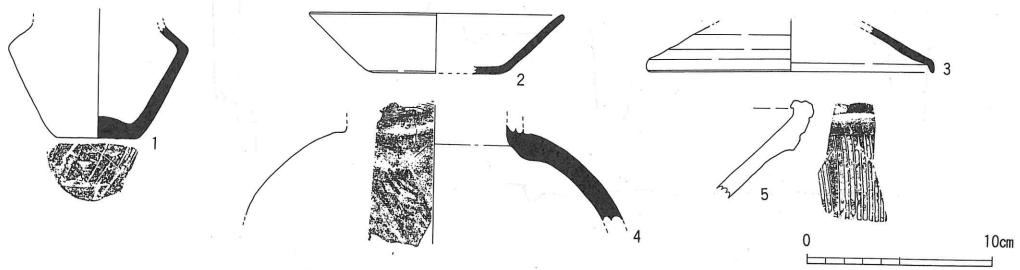
S I 123

位置 南地区F-17グリッド 平面形 3.2×4.3mの横長方形 方位 N29°W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山 壁 59° 深さ 5~10cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 北東、南西コーナー部に床下掘り込み。S I 124、S I 127、S I 147を切る。遺物 須恵器坏1・鉢1・甕2・蓋1，瓦3



- 1 暗褐色土 (ローム粒、少量)
- 2 明褐色土 (ローム粒多量、ロームB、少量)
- 3 黒褐色土 (ローム粒、少量、炭化物、IP、微量)
- 4 黒褐色土 (ローム粒、石、IP、少量)
- 5 灰褐色土 (粘土、焼土、多量、炭化物、少量)
- 6 灰褐色土 (粘土主体)
- 7 明褐色土 (ローム粒、焼土、炭化物、少量、ロームB、微量)
- 8 褐色土 (ローム粒、多量、ロームB、微量)

第299図 S I 123



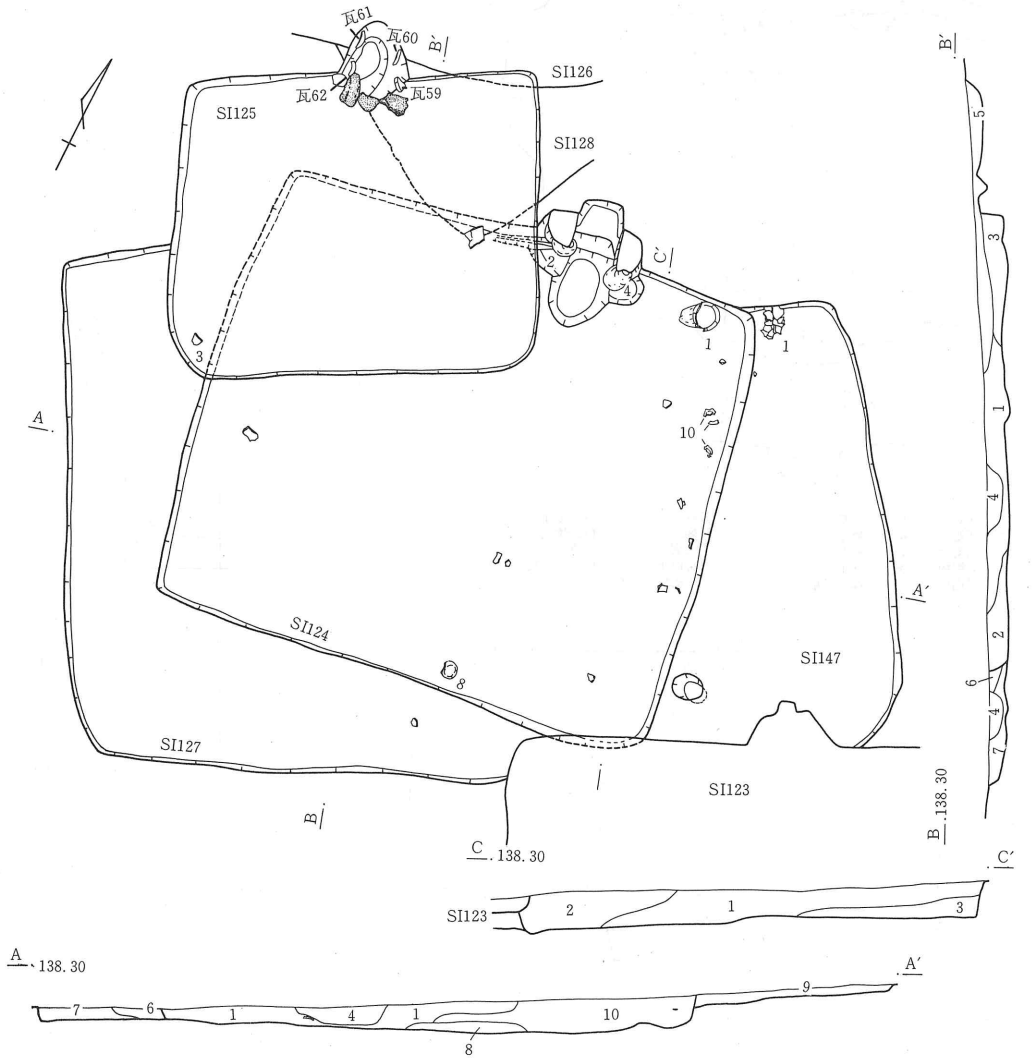
第300図 S I 123出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(S)	-	-	4.4	D	a	白色砂粒，黑色粒	良好	灰白色	覆土	1/8	
2	坏(S)	13.6	3.2	6.8	D		白色砂粒，赤色粒	良好	灰白色	覆土	1/8	
3	蓋(S)	15.0	-	-			白色砂粒，赤色粒	良好	青灰色	覆土	1/6	
4	甕(S)	-	-	-		a	緻密	良好	青灰色	覆土	1/18	外面荒れている
5	鉢(S)	-	-	-			緻密	良好	暗灰色	覆土	1/24	

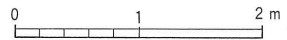
第126表 S I 123土器観察表

S I 124

位置 南地区F-17グリッド 平面形 3.5×4.3mの横長方形 方位 住居：N13°W カマド：
 N 規模 中 床面 貼床 壁 70~73° 深さ10~22cm 周溝 カマド付近に認められるがその
 他は水没によって不明。 柱穴 水没によって不明。 備考 水田の灌漑による水位上昇により
 水没し詳細不明。 カマド 凸形の掘り方で燃焼部は住居壁外側に出るタイプでソデは短い。ソ

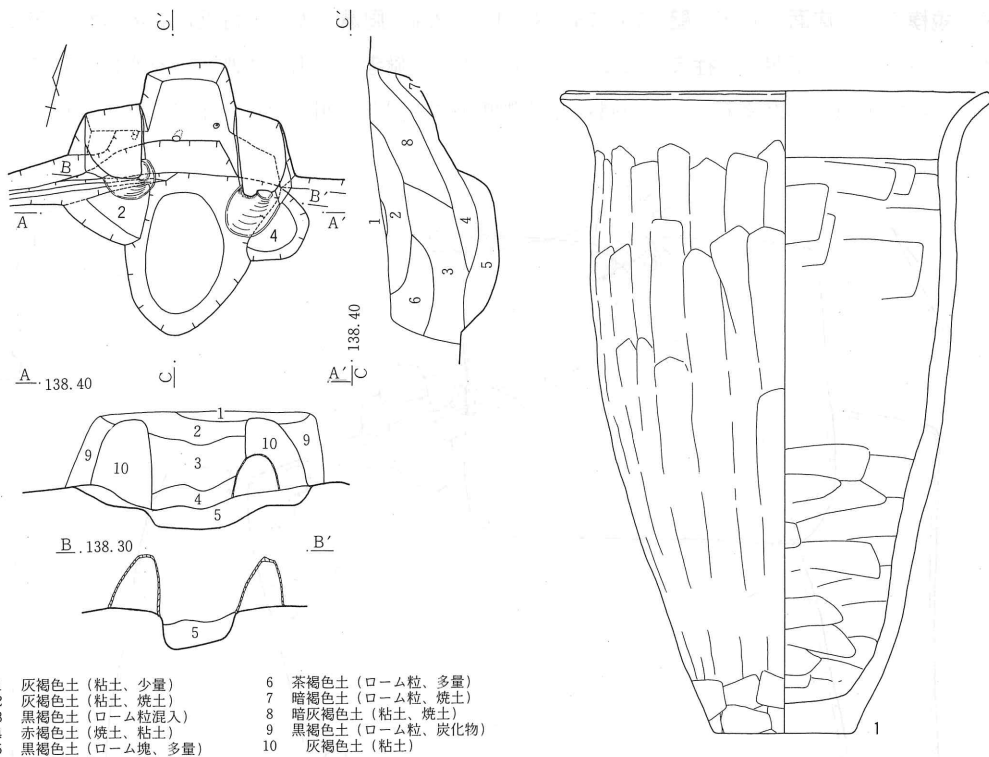


- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色土（ローム粒、少量。炭化物、IP、微量） | 6 黒色土（ローム粒、少量） |
| 2 黒褐色土（ローム粒、少量。炭化物、微量） | 7 明褐色土（ローム粒、少量。小ロームB、多量） |
| 3 暗褐色土（ローム粒、少量。IP、微量） | 8 黒褐色土（黒色土主体。小ロームB、微量） |
| 4 黒色土（攪乱層） | 9 黒色土（IP、石。微量） |
| 5 暗褐色土（ローム粒、ロームB、少量） | 10 明褐色土（ローム粒、IP、少量） |

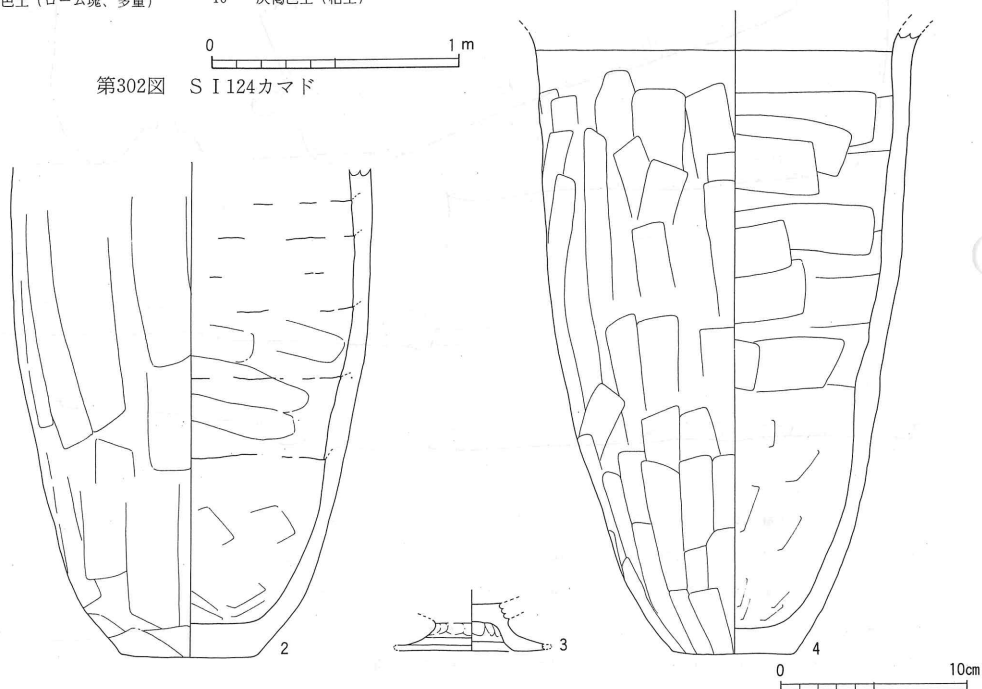


第301図 S I 124・125・127・147

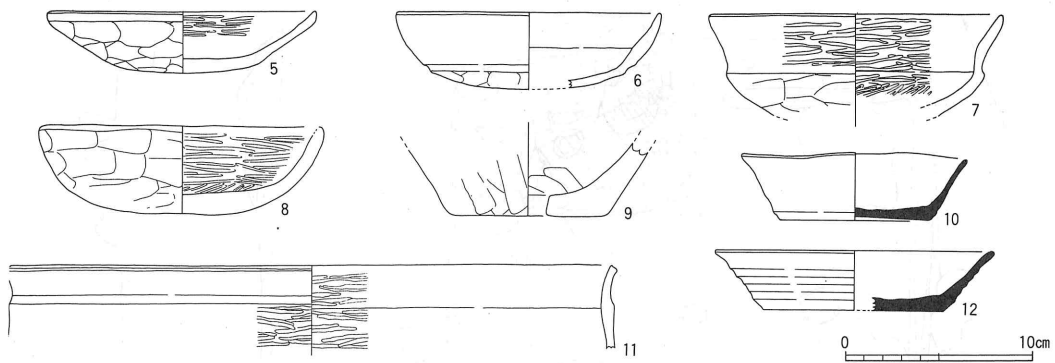
テ前端に甕を倒立にした焚口補強が認められる。S I 123、S I 125に切られ、S I 127、S I 147を切る。遺物 土師器坏4・高坏1・甕4・甑1，須恵器坏2



第302図 S I 124カマド



第303図 S I 124出土土器（1）



第304図 S I 124出土土器 (2)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	23.4	34.1	7.0	E(1)	j	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	床面	完形	外面焼粘土付着
2	甕(H)	—	—	7.4	E(1)	j	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/2	2次焼成
3	高坏(H)	—	—	8.4		a	小砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/12	
4	甕(H)	—	—	6.5	E(1)	j	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	褐色	床面	4/5	2次焼成
5	坏(H)	14.4	3.3	—	E	e	石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/2	
6	坏(H)	14.2	4.0	—	F(2)	h	石英, 雲母	良好	乳白色	覆土	1/4	
7	坏(H)	15.8	—	—	B	b	石英, 小砂粒	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
8	坏(H)	—	—	—	G	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	4/5	外面煤付着
9	甕(H)	—	—	8.0	B	e	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/16	
10	坏(S)	12.1	3.5	8.1	B	e	小砂粒	良好	青灰色	覆土	4/5	
11	甕(H)	32.0	—	—		b	緻密	良好	黒褐色	覆土	1/32	
12	坏(S)	15.0	3.2	9.6	B	e	緻密	良好	灰白色	覆土	1/2	

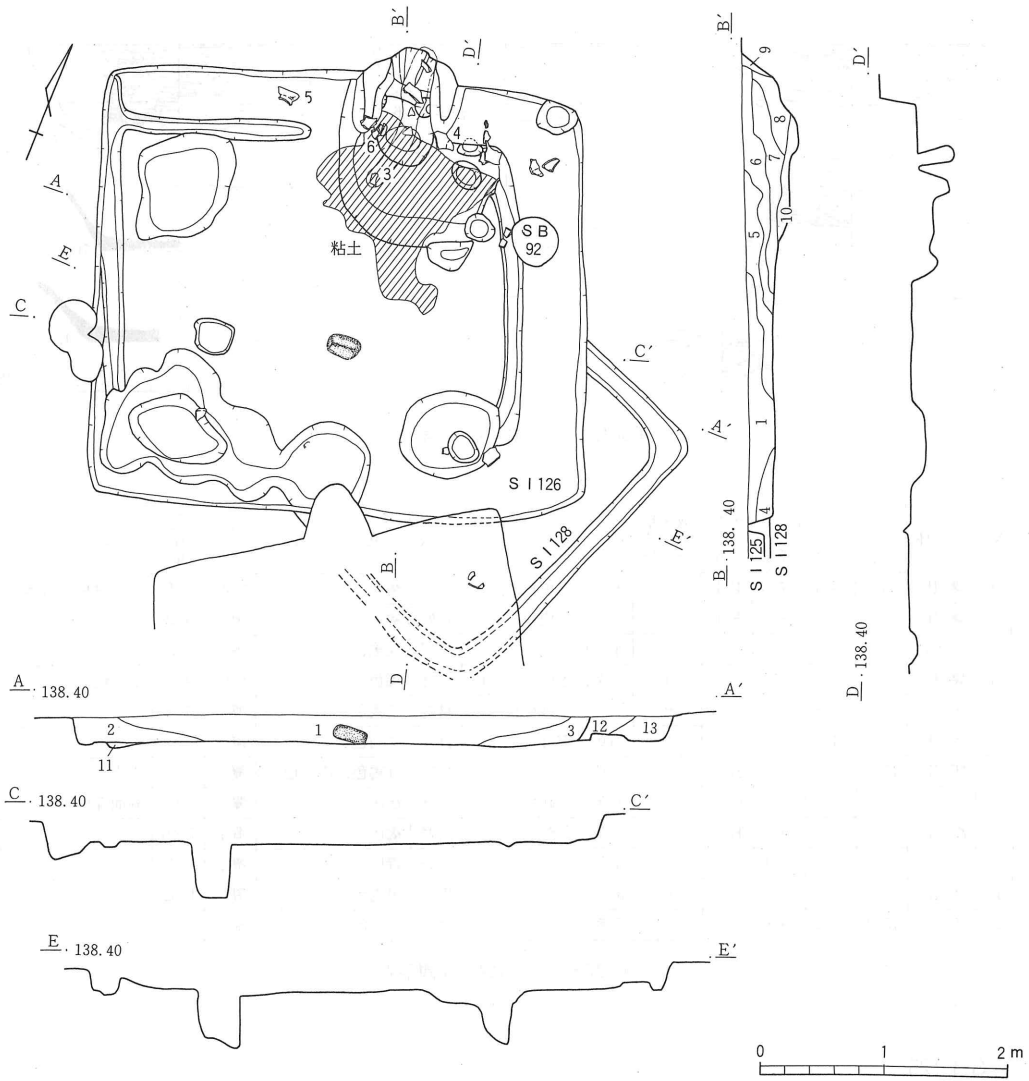
第127表 S I 124土器観察表

S I 125

位置 南地区G-17グリッド 平面形 2.4×3.0mの横長方形 方位 住居：N32°W カマド：N 床面 ローム地山 周溝 認めず。柱穴 不明 備考 水田の灌漑による水位上昇により水没し詳細不明。S I 124、S I 126、S I 128を切る。遺物 瓦4

S I 126

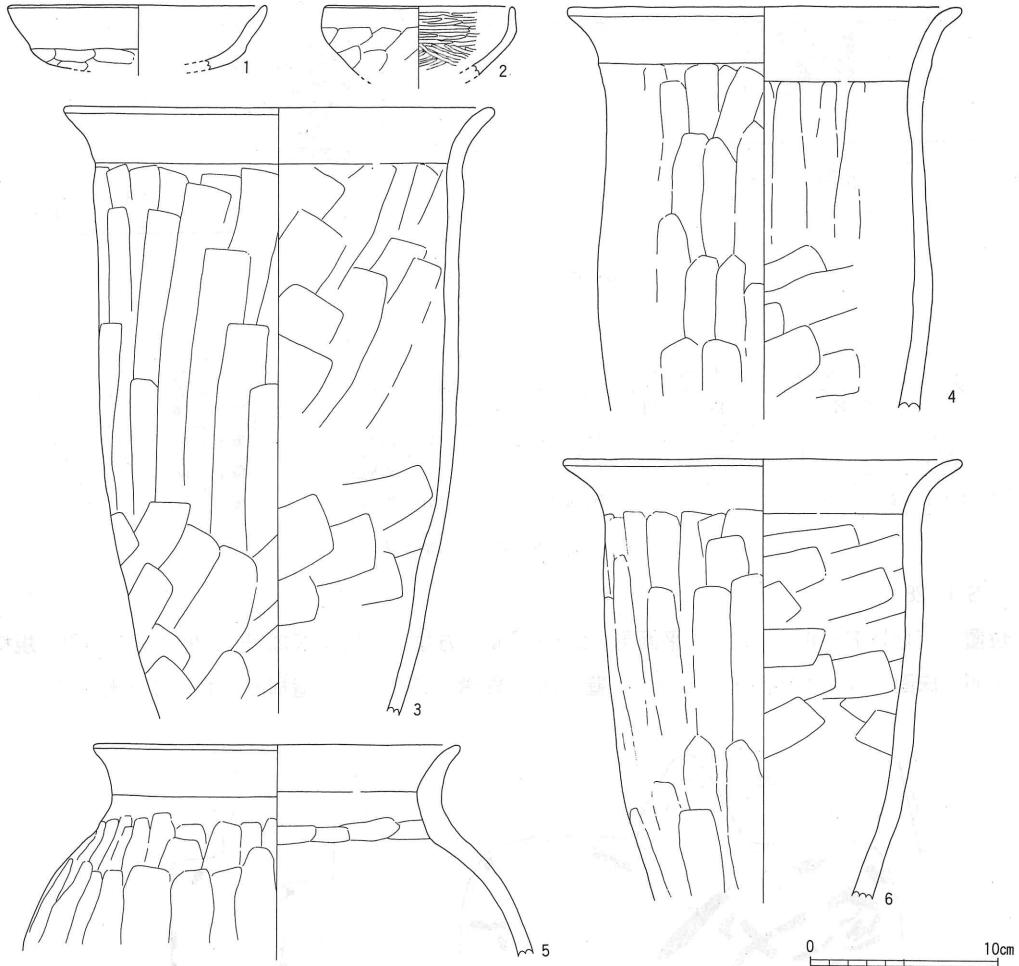
位置 南地区G-16グリッド 平面形 3.6×3.9mのほぼ正方形 方位 住居：N20°Eカマド：N 規模 中 床面 ローム地山 四隅の床下掘り込み上は貼床 壁 80° 深さ20cm 周溝 不明瞭ながら全周する。なお拡張のあった住居のように壁の内側50~60cmを巡る。柱穴 認めず。備考 セクションには拡張の痕跡は認められないが、平面は拡張の可能性を示唆する。S B 92、S I 125に切られる。S I 128を切る。遺物 土師器坏1・埴1・甕4



- 1 暗褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、IP、SP、微量)
- 2 明褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、微量)
- 3 明褐色土 (IP、SP、微量)
- 4 黒褐色土 (ローム粒、少量)
- 5 暗灰褐色土 (粘土、多量)
- 6 灰褐色土 (粘土主体。黒色土混入)
- 7 黒褐色土 (ローム粒、ロームB、少量。IP、石、焼土、少量)

- 8 赤褐色土 (焼土、灰、多量。粘土、少量)
- 9 灰白色土 (粘土)
- 10 黒褐色土 (ロームB、多量。黒色土、少量、張床)
- 11 褐色土 (ローム粒、多量)
- 12 黒褐色土 (ロームB、ローム粒、少量)
- 13 褐色土 (ローム粒、ロームB、多量。IP、微量)

第305図 S I 126・128



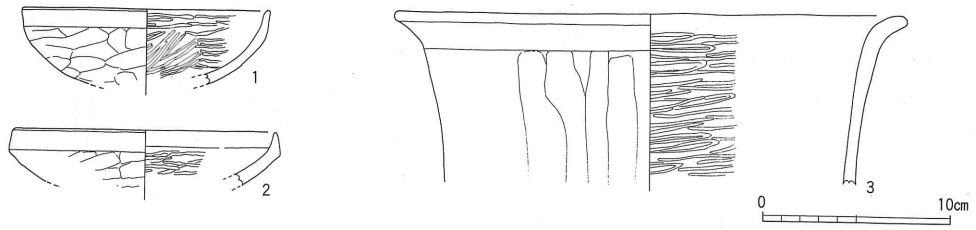
第306図 S I 126出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.8	3.2	-	F(2)	h	緻密	良好	乳白色	覆土	1/6	
2	碗(H)	10.5	-	-	E	c	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	
3	甕(H)	23.0	-	-	E(1)	j	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	2/3	外面煤付着
4	甕(H)	19.0	-	-	E(1)	a	石英, 雲母, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	2次焼成
5	甕(H)	19.6	-	-	E(2)	a	石英, 雲母, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/6	2次焼成
6	甕(H)	21.4	-	-	A(1)	a	雲母, 赤色粒, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/8	

第128表 S I 126土器観察表

S I 127

位置 南地区G-17グリッド 平面形 4.0×? m 方位 住居: N 23°W カマド: N 規模中? 床面 ローム地山 壁 79° 深さ10~18cm 周溝 不明 柱穴 不明 備考 水田灌漑による水位上昇により水没。S I 123, S I 124, S I 125に切られる。遺物 土師器坏2・甑1



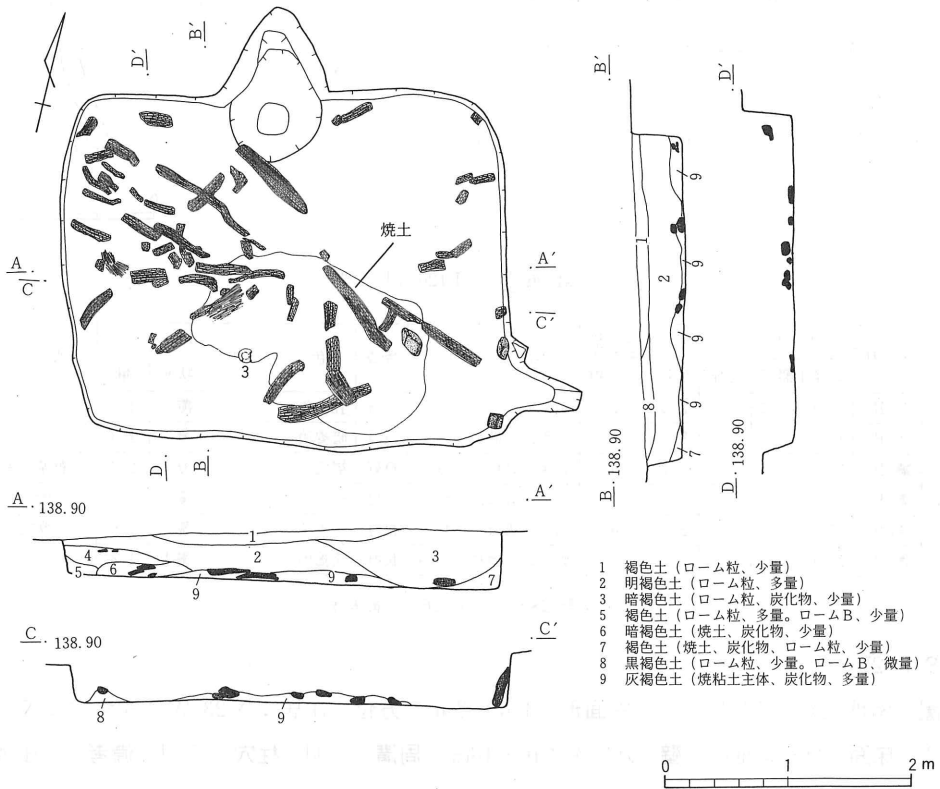
第307図 S I 127出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	13.2	—	—	G	d	石英, 小砂利	良好	褐色	覆土	1/5	
2	坏(H)	14.2	—	—	E	d	緻密	良好	黒褐色	覆土	1/8	
3	甗(H)	27.6	—	—	A	c	石英, 砂粒やや	良好	赤褐色	覆土	1/8	

第129表 S I 127土器観察表

S I 128

位置 南地区F-16グリッド 平面形 2.8×?m 方位 住居：N22°E カマド：不明 規模不明 床面 ローム地山床で平坦。壁 78° 周溝 確認できる遺構面においては廻っている。



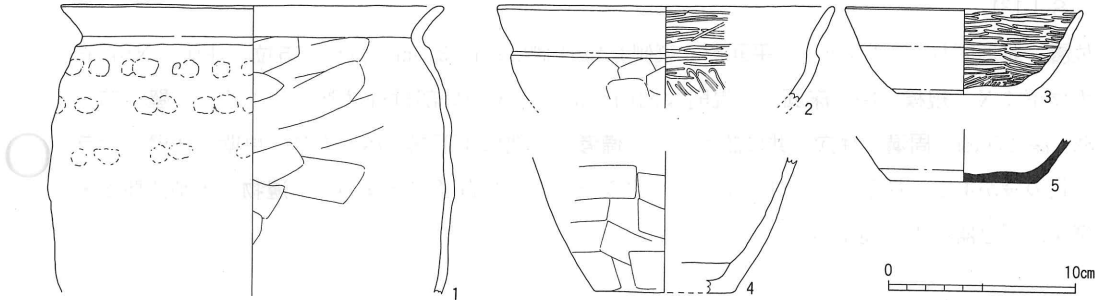
- 1 褐色土 (ローム粒、少量)
- 2 明褐色土 (ローム粒、多量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒、炭化物、少量)
- 4 褐色土 (ローム粒、少量)
- 5 褐色土 (ローム粒、多量。ロームB、少量)
- 6 暗褐色土 (焼土、炭化物、少量)
- 7 褐色土 (焼土、炭化物、ローム粒、少量)
- 8 黒褐色土 (ローム粒、少量。ロームB、微量)
- 9 灰褐色土 (焼粘土主体、炭化物、多量)

第308図 S I 129実測図

柱穴 不明 備考 S I 125、S I 126に切られる。水田の灌漑水のため詳細は不明である。

S I 129

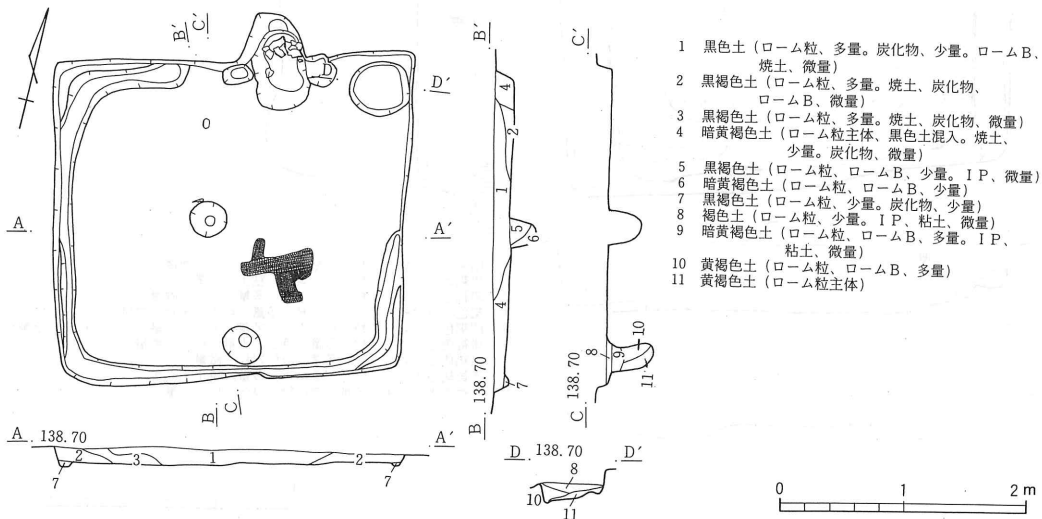
位置 南地区K-13グリッド 平面形 2.9×3.5mの若干南北に長い方形。 方位 住居：N17°
W カマド：N, E 規模 中 床面 ローム地山床で平坦。 壁 75~87° 深さ47cm 周溝・
柱穴 共に認めず。 備考 床面上に炭化材が多数認められる。木材は求心的に倒伏している。
焼失住居。 遺物 土師器坏2・甕2, 須恵器坏1



第309図 S I 129出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態 分類	成・整 形手法 分類	胎土	焼成	色調	出土 状態	残 存 量	備 考
		口径	器高	底径								
1	甕(H)	20.4	—	—	I	P	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	外面焼粘土付着
2	坏(H)	18.8	—	—	F(1)	d	石英, 砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
3	坏(H)	12.8	4.6	7.2	J(2)	n	石英, 黒色粒, 砂粒	不良	外淡褐色, 内黒色	床面	2/3	内黒
4	甕(H)	—	—	7.6	I	P	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/18	外面煤付着
5	坏(S)	—	—	8.0		b	緻密	良好	灰白色	覆土	1/4	内面赤色顔料付着

第130表 S I 129土器観察表



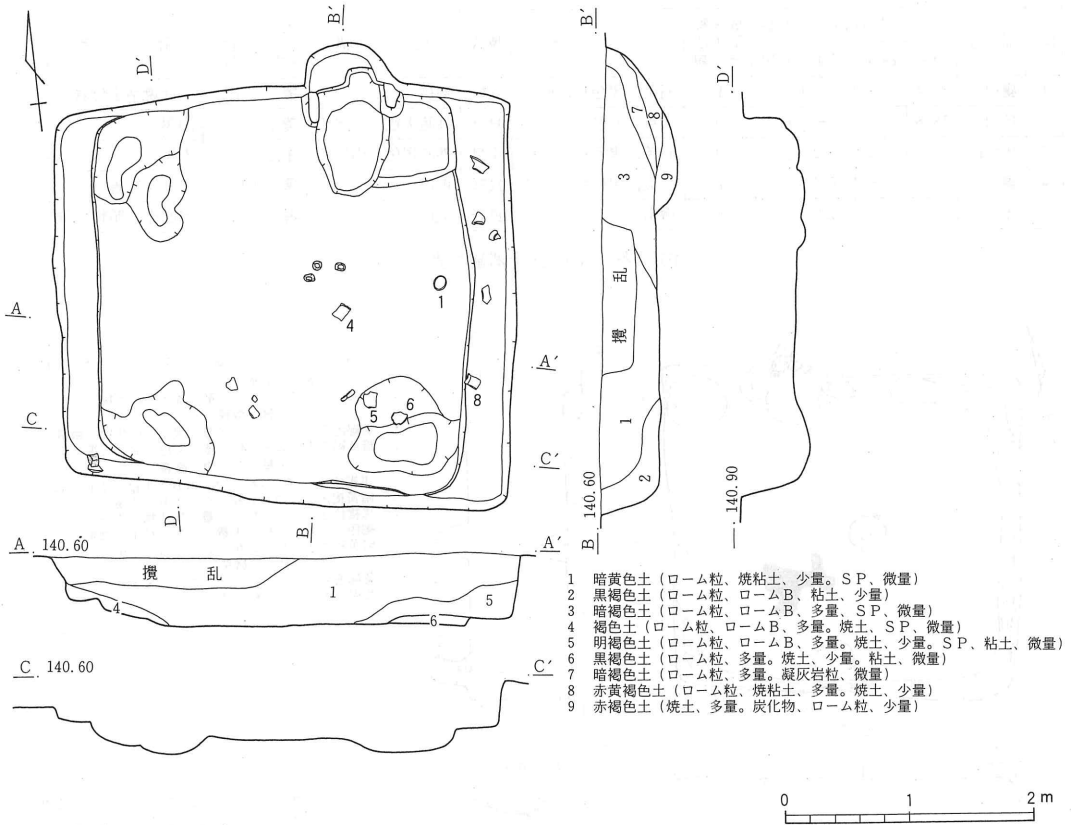
第310図 S I 130

S I 130

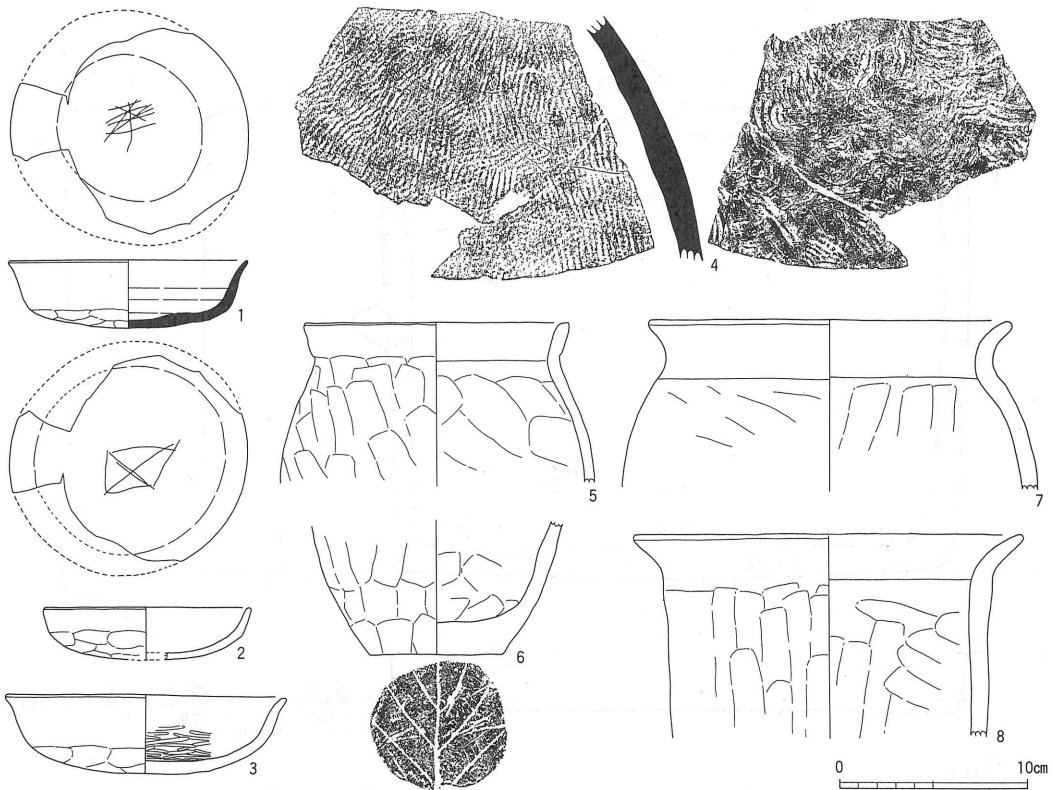
位置 南地区K-12グリッド 平面形 2.5×北側2.9m, 南側2.7mの台形 方位 住居: N13°W
 カマド: N 規模 中 床面 ローム地山床で平坦。壁 70~72°深さ6~13cm 周溝 カマ
 ドの掘り方に接続せず、北東コーナーから東側にかけて欠くがそれ以外で認められる。柱穴
 認めず。備考 北東コーナー以外の各コーナー付近に壁と周溝間にテラス状の平坦面がある。
 北東コーナーのみに床下掘り込みあり。南壁中央付近の床面にピット1本(出入口施設に伴うも
 のか?) 遺物 鉄鏃1

S I 131

位置 北地区D-7グリッド 平面形 東側3.4m西側2.9m×3.5mの台形 方位 住居: N07°E
 カマド: N 規模 中 床面 不規則な凹凸があるが床中央部付近は堅くしまる。壁 75~
 82°深さ50cm 周溝・柱穴 共に認めず。備考 四隅に床下掘り込みあり。東壁、西壁にテラ
 ス状の段がある。拡張の可能性もあるがセクションからは確認できない。遺物 土師器坏2・
 甕4, 須恵器坏1・甕1



第311図 S I 131実測図



第312図 S I 131出土土器

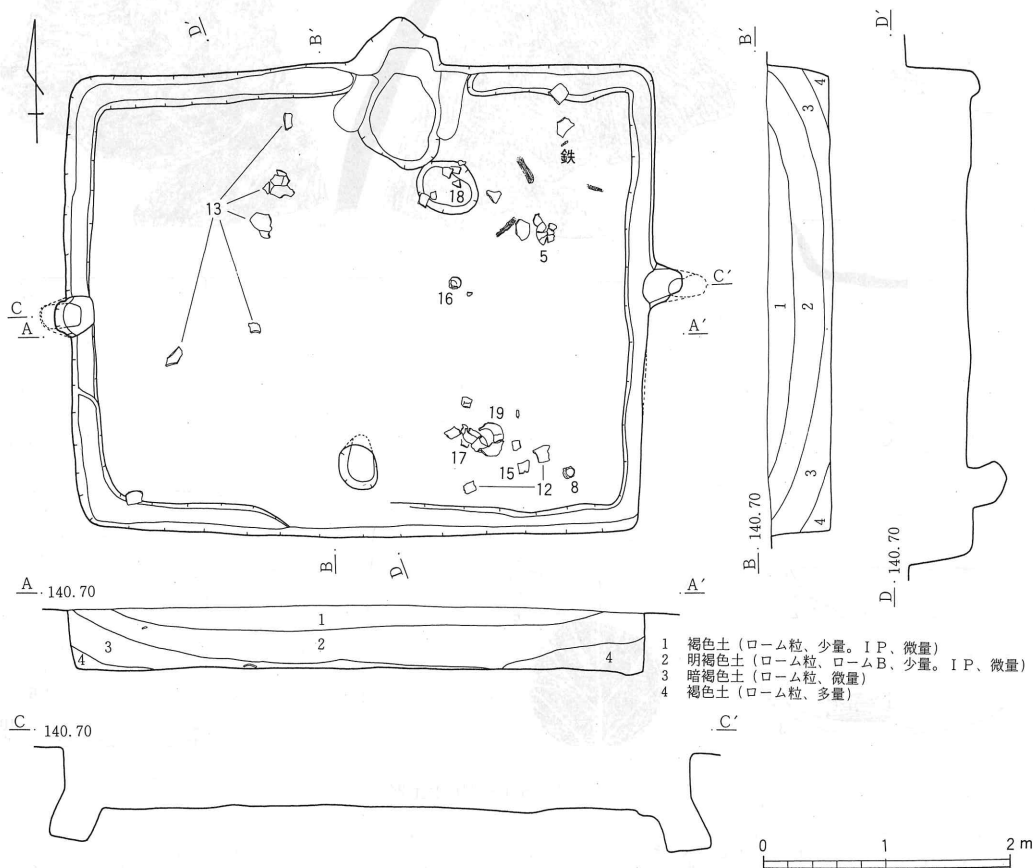
No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	杯(S)	12.8	3.6	10.0	A	a	雲母, 砂粒	良好	灰褐色	覆土	2/3	内外面絵画?
2	杯(H)	12.2	2.8	-	G	h	雲母, 砂粒	良好	淡褐色	覆土	1/4	
3	杯(H)	15.0	4.2	-	H	f	石英, 黒色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/2	
4	甕(S)	-	-	-		b	緻密	良好	乳白色	覆土	1/18	
5	甕(H)	14.3	-	-	C	a	赤色粒, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/8	
6	甕(H)	-	-	-	C	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/12	木葉痕, 外煤付着
7	甕(H)	19.4	-	-	A	i	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/12	外面煤付着
8	甕(H)	20.8	-	-	E	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/18	外面煤付着

第131表 S I 131土器観察表

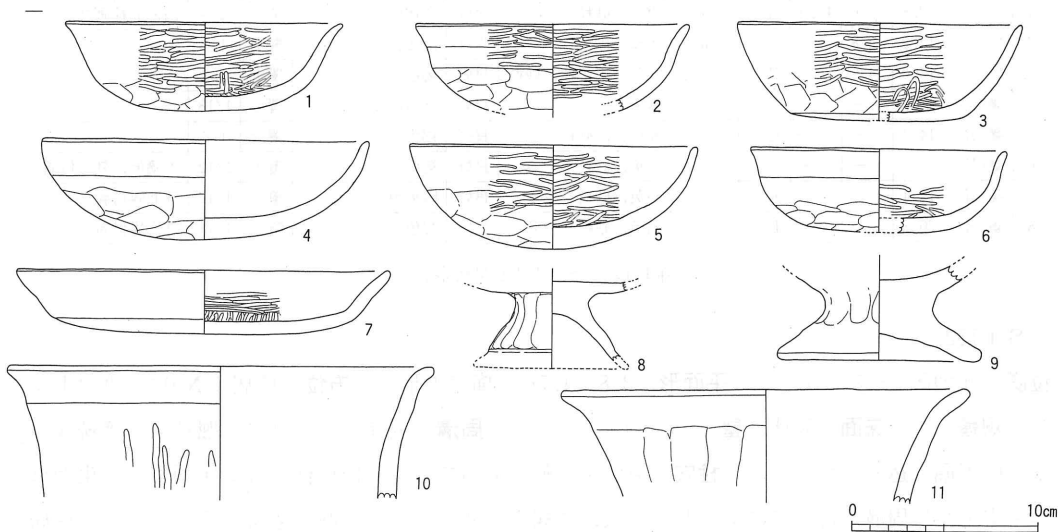
S I 132

位置 北地区E-7グリッド 平面形 3.8×4.7mの横長方形。 方位 住居：N 0° カマド：N 規模 中 床面 貼床 壁 83~89° 深さ50cm 周溝 全周する。カマド掘り方に接続するが、床下掘り込みは認めず。 柱穴 東西中心軸に沿って2本の棟持柱。なお床面ではなく東西壁の中央下端に周溝を切って認められる。穴は住居の外側に向かって掘り込まれるため、柱は住居内へ内傾する。 備考 南壁中央床にピット1本(出入口施設に伴うものか?)

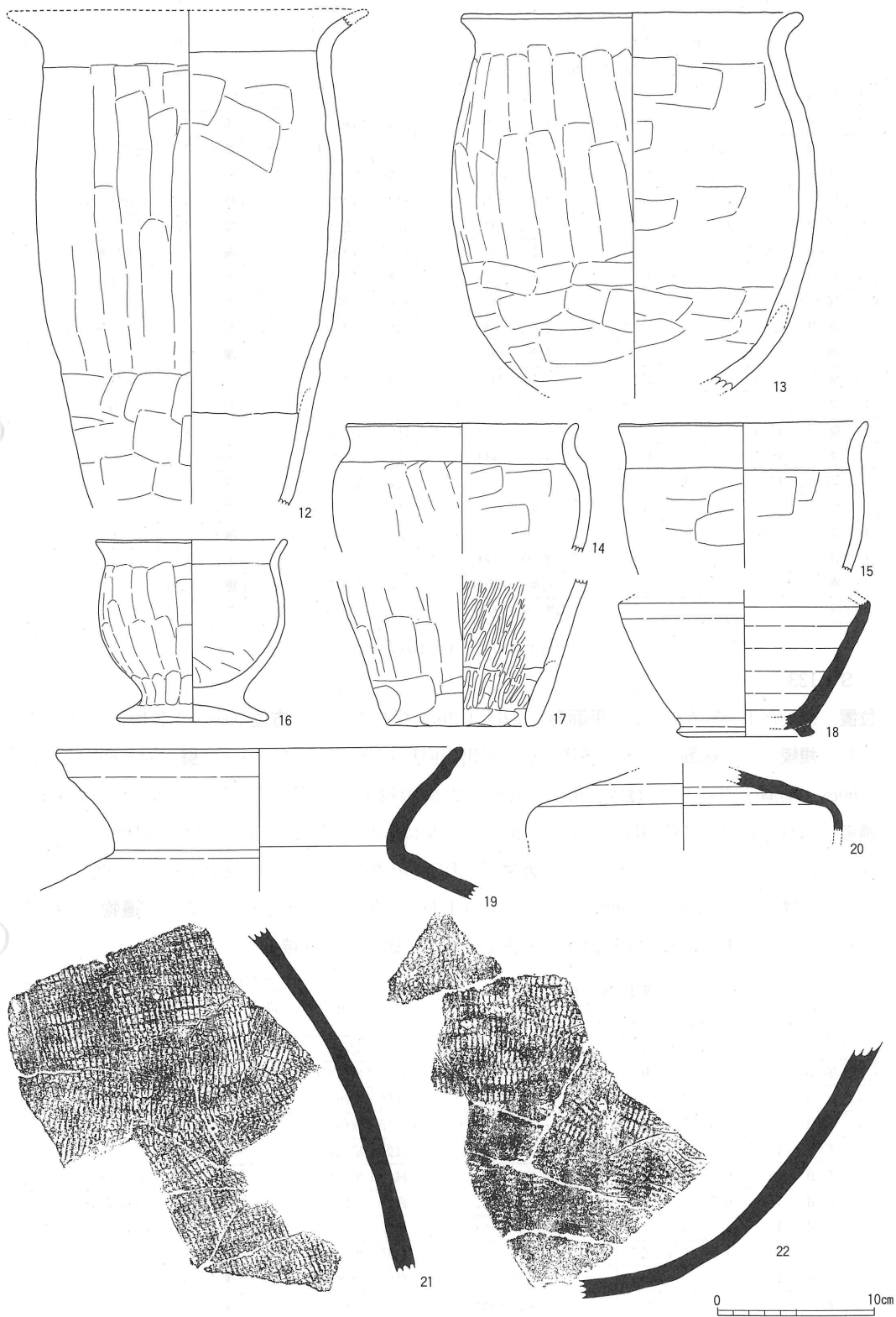
遺物 土師器坏6・高坏1・皿1・甕8・甑1，須恵器甕2・壺2，刀子3



第313図 S I 132実測図



第314図 S I 132出土土器 (1)



第315图 S I 132出土土器(2)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.7	4.7	—	H	b	小砂粒	良好	外暗褐色, 内黒色	覆土	1/3	内黒
2	坏(H)	14.6	5.0	—	F(1)	b	砂粒, 小石	良好	暗褐色	覆土	1/3	
3	坏(H)	15.2	5.2	9.6	I	b	黒色粒	良好	外淡褐色, 内黒色	覆土	1/2	内黒
4	坏(H)	17.2	5.4	—	G	h	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	
5	坏(H)	15.5	5.5	—	G	b	砂粒, 小石	良好	暗褐色	覆土	1/2	外面煤付着
6	坏(H)	13.7	4.5	—	H	f	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/3	
7	皿(H)	19.8	3.1	—	A(2)	c	赤色粒	良好	橙褐色	覆土	1/2	外面剝離
8	甕(H)	—	—	10.6	F		小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	部粘土付着
9	高坏(H)	—	—	8.3		a	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	
10	甕(H)	26.6	—	—	E(1)		石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/28	外面粘土付着
11	甕(H)	22.6	—	—	E(1)	a	石英, 砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/24	
12	甕(H)	23.0	—	—	E(1)	l	石英, 砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/6	外面焼粘土付着
13	甕(H)	21.8	—	—	C	l	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	4/5	2次焼成
14	甕(H)	15.0	—	—	D(3)	a	石英, 赤色粒, 砂粒	良好	赤褐色	覆土	1/8	
15	甕(H)	16.3	—	—	D(3)	a	黒色粒, 砂粒やや多	良好	赤褐色	床面	1/8	
16	甕(H)	12.2	11.5	9.7	F	a	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/2	
17	甗(H)	—	—	9.3	A(1)	c	石英, 砂粒やや多	良好	暗褐色	床面	1/6	外面2次焼成
18	壺(S)	—	—	9.0	A	a	白色砂粒やや多	良好	紫灰色	覆土	1/3	
19	甕(S)	26.0	—	—			黒色粒, 砂粒, 小石	良好	灰白色	床面	1/18	
20	壺(S)	—	—	—	A		石英, 白色砂粒	良好	灰白色	覆土	1/24	
21	甕(S)	—	—	—		c	黒色粒, 砂粒, 小石	良好	灰白色	覆土	1/3	

第132表 S I 132土器観察表

S I 133

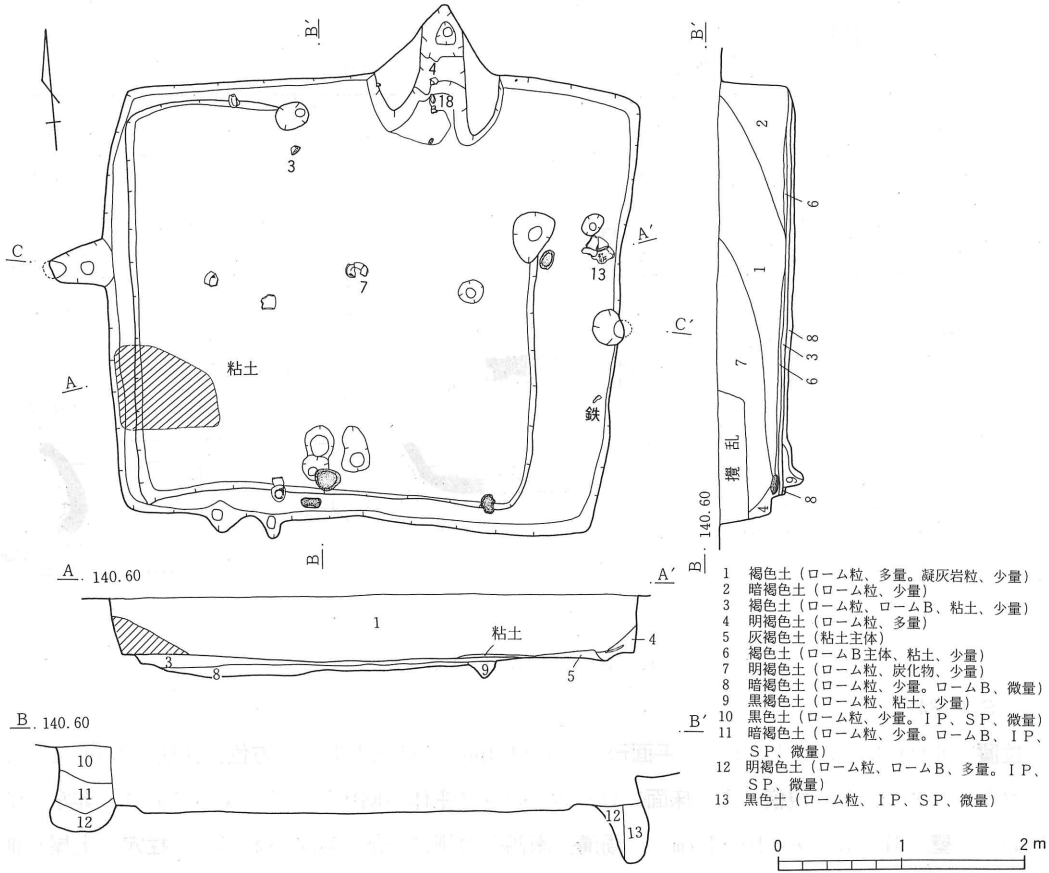
位置 北地区E-7グリッド 平面形 3.6×4.2mの横長方形。 方位 住居：N10°E カマド：N 規模 中 床面 貼床。層状に粘土を用い何度も薄く貼っている。 壁 84~89° 深さ48~60cm 周溝 認めず。 柱穴 東西中心軸に2本の棟持柱。東西壁の下端に住居内に内傾する。備考 壁直下にテラス状の段があり、上面のレベルは床面と同等である。南壁中央床面にピット3本（出入口施設に伴うものか？） カマド U字形の掘り方であるが煙道が細長く住居外に突出する。煙道の立ち上がりが曲線的に急に立ち上がる。粘土が多用されている。 遺物 土師器坏6・埴3・鉢1・甕6, 須恵器坏1・甕1・蓋1, 砥石1, 鉄鏝1

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(H)	14.0	4.8	—	H	f	雲母, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
2	坏(H)	13.0	—	—	H	e	石英, 雲母	良好	外黒褐色, 内黒色	覆土	1/6	内黒
3	(H)	8.7	3.3	3.0	D	b	石英, 雲母	良好	褐色	覆土		完形
4	埴(H)	13.4	5.3	5.8	D	f	石英, 黒色粒やや多	良好	褐色	カマド	1/2	
5	坏(H)	15.0	5.2	8.6	I	f	石英	良好	暗褐色	覆土	1/4	
6	坏(H)	13.5	4.1	8.5	I	f	石英, 小砂	良好	黒褐色	覆土	1/3	2次焼成
7	埴(H)	14.8	6.7	—	B	c	石英, 雲母, 砂粒	良好	褐色	覆土	2/3	外面煤付着
8	坏(H)	14.2	4.7	6.0	I	d	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/6	
9	坏(H)	12.0	4.5	7.4	I	h	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/3	
10	鉢(H)	16.6	—	—	D	a	小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/5	
11	甕(H)	15.8	—	—	C	a	石英, 赤色粒やや多	良好	褐色	覆土	1/24	

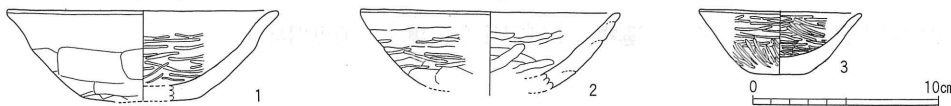
第133表 S I 133土器観察表 (1)

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成形手法類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
12	甗(H)	-	-	7.4	F		石英, 小砂粒やや多	良好	暗褐色	覆土	1/24	脚部内面粘土付着
13	甗(H)	27.8	-	-	E(1)	a	石英, 小砂粒やや多	良好	黒褐色	覆土	1/18	2次焼成
14	甗(H)	20.6	-	-		a	石英, 砂粒	良好	褐色	覆土	1/28	
15	甗(H)	-	-	10.6		a	石英, 小砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/28	2次焼成
16	蓋(S)	-	-	-	(1)		緻密	良好	灰白色	覆土	1/10	
17	坏(S)	-	-	8.0		c	白色砂粒やや多	良好	灰白色	覆土	1/8	
18	甗(H)	21.2	-	-	E(1)	j	石英, 小砂粒	良好	褐色	カマド	1/8	
19	甗(S)	16.0	-	-	A		小砂粒	良好	灰白色	覆土	1/32	

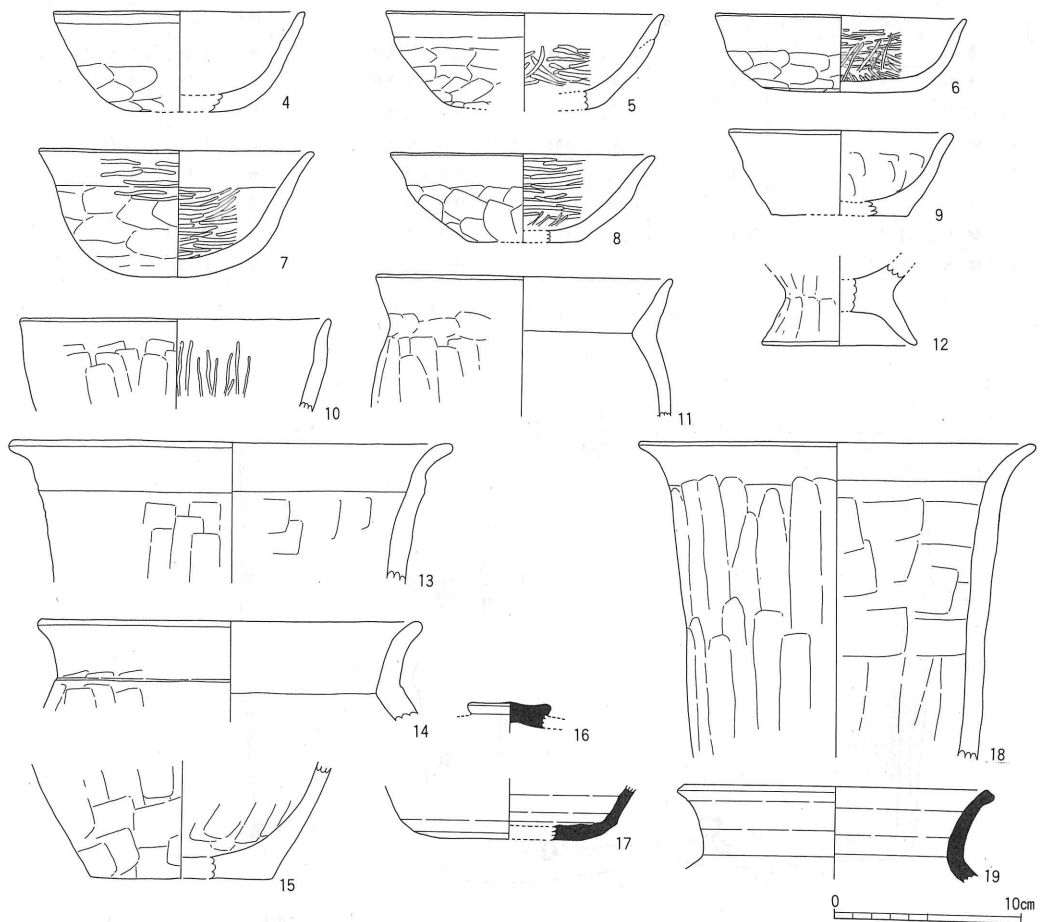
第134表 S I 133土器観察表 (2)



第316図 S I 133実測図



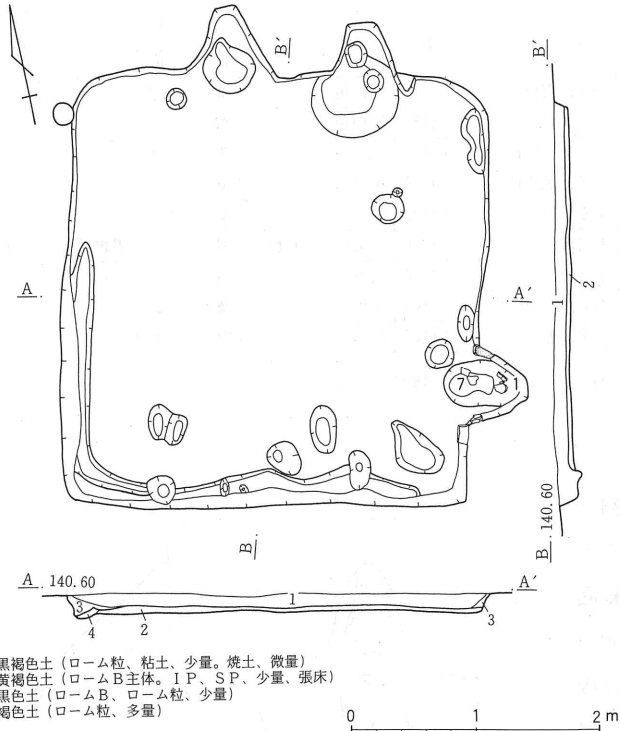
第317図 S I 133出土土器 (1)



第318図 S I 133出土土器(2)

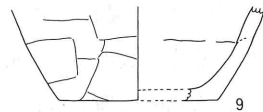
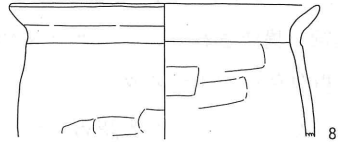
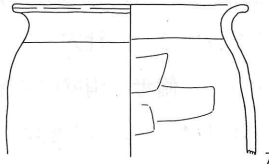
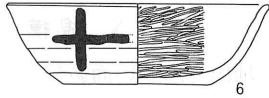
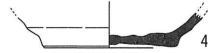
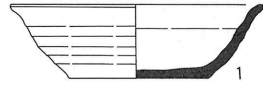
S I 134

位置 北地区F-7グリッド 平面形 3.5×3.4mのほぼ正方形。方位 住居：N14°E カマド：N×2, E 規模 中 床面 ロームブロック主体の貼床。よくしまっており、非常に堅い。壁 61~67° 深さ10~17cm。周溝 南側と西側に一部に認められる。柱穴 上屋を推測できるような柱穴は認められない。備考 南側にピットが集中する。カマドが時期を違えて3基存在する。カマド 3基あるうちの北辺2基は使用后、人為的に埋められた形跡が認められ、最終的に東カマドが使用されていたものと思われる。東カマドは、U字形の掘り方で焚口両側に凝灰岩切石が認められる。遺物 土師器坏2・甕3, 須恵器坏4

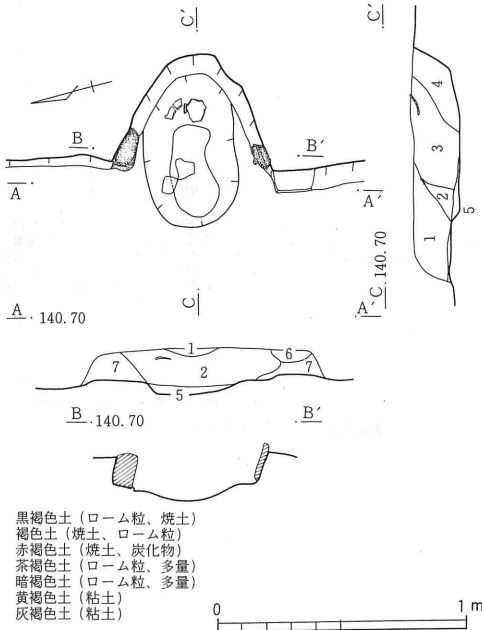


- 1 黒褐色土 (ローム粒、粘土、少量、焼土、微量)
- 2 黄褐色土 (ロームB主体。I P、S P、少量、張床)
- 3 黒色土 (ロームB、ローム粒、少量)
- 4 褐色土 (ローム粒、多量)

第319図 S I 134



第321図 S I 134出土土器



- 1 黒褐色土 (ローム粒、焼土)
- 2 褐色土 (焼土、ローム粒)
- 3 赤褐色土 (焼土、炭化物)
- 4 茶褐色土 (ローム粒、多量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒、多量)
- 6 黄褐色土 (粘土)
- 7 灰褐色土 (粘土)

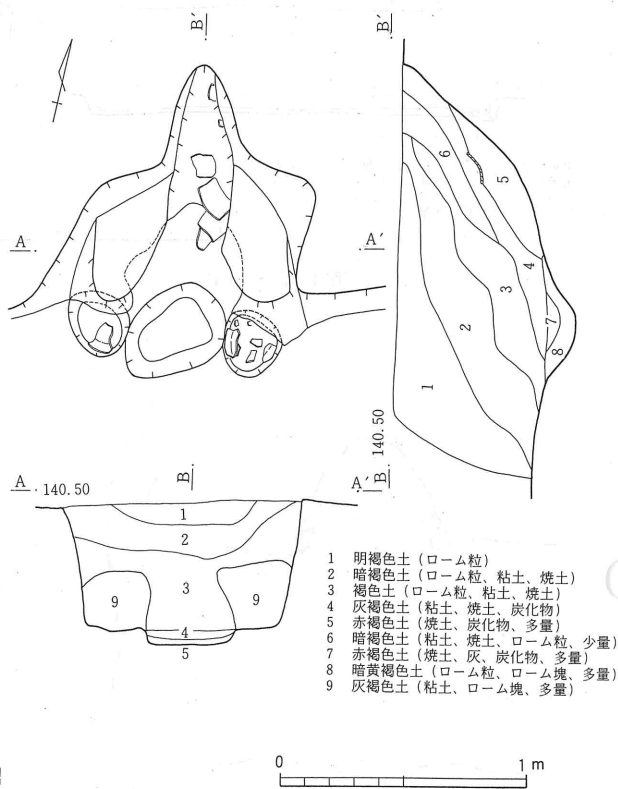
第320図 S I 134カマド

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	坏(S)	14.0	3.8	7.6	C	e	石英, 雲母	良好	乳白色	覆土	1/2	
2	坏(S)	15.2	—	—			石英	良好	灰白色	覆土	1/5	
3	坏(S)	—	—	5.4		e	石英, 小砂粒	良好	灰白色	覆土	1/4	
4	坏(S)	—	—	7.2		e	石英, 黒色粒	良好	灰白色	覆土	1/6	
5	坏(H)	—	—	7.4	J	j	緻密	良好	褐色	覆土	1/4	
6	坏(H)	14.4	4.0	8.0	J(2)	j	金雲母やや多	良好	外褐色, 内黒色	覆土	1/3	墨書「十」, 内黒
7	甕(H)	11.8	—	—	I	i	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
8	甕(H)	16.4	—	—	I	i	石英, 黒色粒やや多	良好	褐色	覆土	1/24	
9	甕(H)	—	—	8.6	I	p	石英, 黒色粒やや多	良好	褐色	覆土	1/24	

第135表 S I 134土器観察表

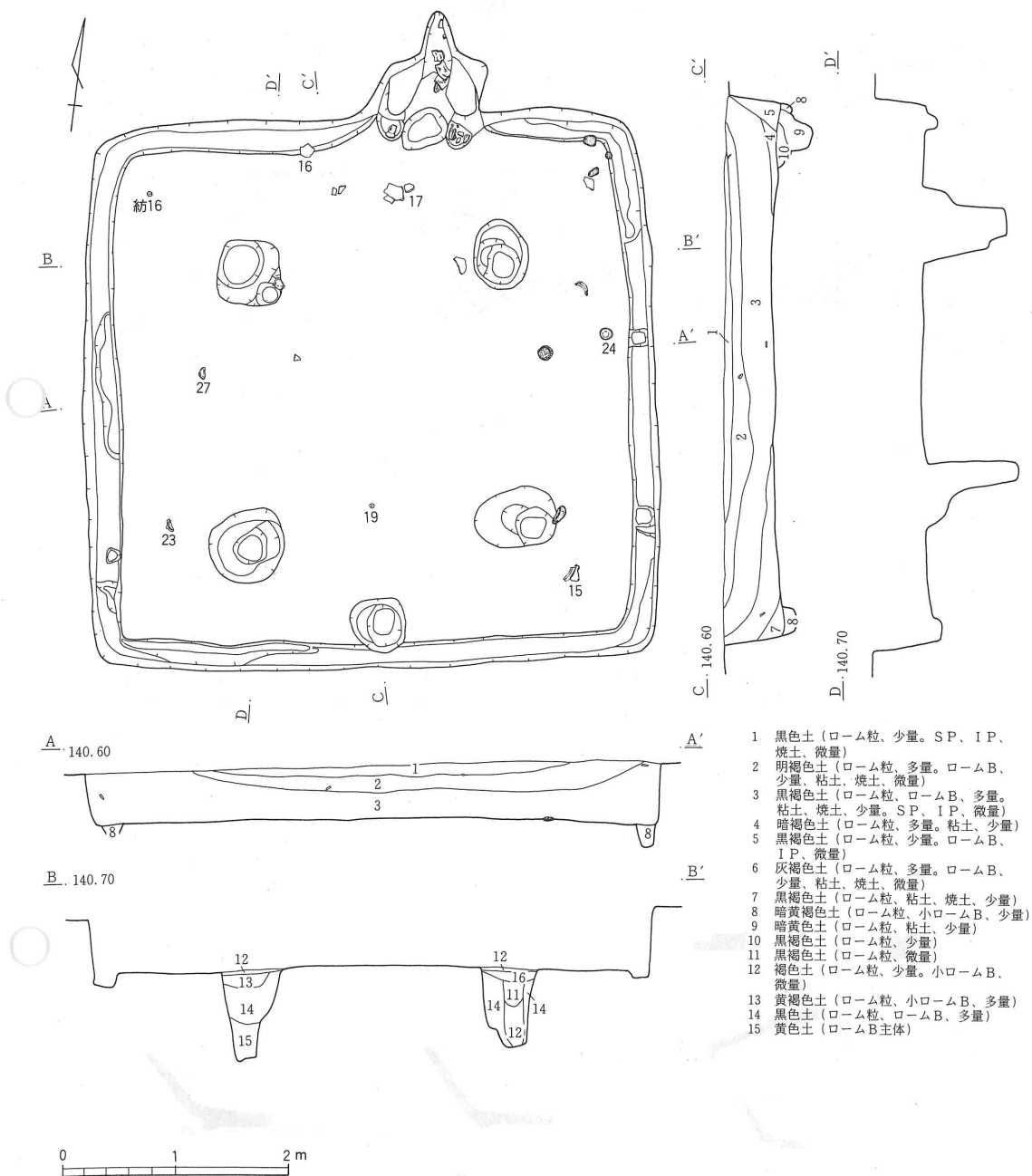
S I 135

位置 北地区G-7グリッド 平面形4.9×5.0mのほぼ正方形 方位 住居：N 09° W カマド：N 規模 大 床面 ローム地山床。堅い面あり。壁 80～85° 周溝 大規模なものがカマドに接続せず全周する。柱穴 4本スクエアに配する。備考 南壁中央床に大規模なピット1本（出入口施設に伴うものか？）カマド 凸形の掘り方であるが、曲線で構成されている。カマド本体は住居壁外側に突出するタイプで、ソデは短く前端にピットが2本認められる。ただしピット内は粘土混じりの土で充填され、中に土器片が数点あり、最終段階の使用時には人為的に埋められた可能性が高い。ソデ等カマドを構成していた粘土には植物繊維が混入しており、高温によって焼成されたことが推測できるこの塊は多孔質で質量は軽い。遺物 土師器坏8・皿5・甕5, 須恵器坏3・高台付坏3・蓋3, 紡錘車1

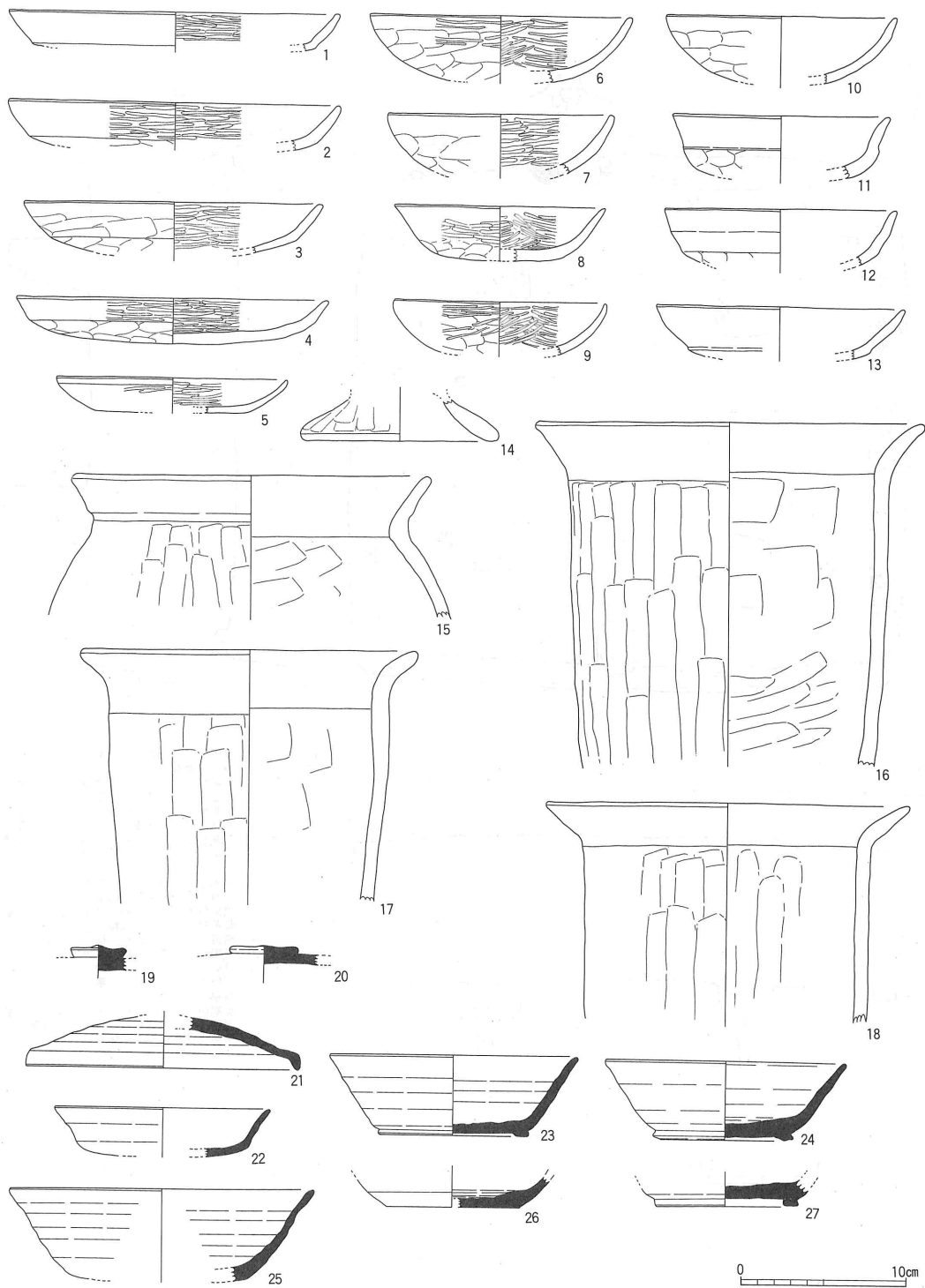


- 1 明褐色土 (ローム粒)
- 2 暗褐色土 (ローム粒, 粘土, 焼土)
- 3 褐色土 (ローム粒, 粘土, 焼土)
- 4 灰褐色土 (粘土, 焼土, 炭化物)
- 5 赤褐色土 (焼土, 炭化物, 多量)
- 6 暗褐色土 (粘土, 焼土, ローム粒, 少量)
- 7 赤褐色土 (焼土, 灰, 炭化物, 多量)
- 8 暗黄褐色土 (ローム粒, ローム塊, 多量)
- 9 灰褐色土 (粘土, ローム塊, 多量)

第322図 S I 135カマド



第323図 S I 135



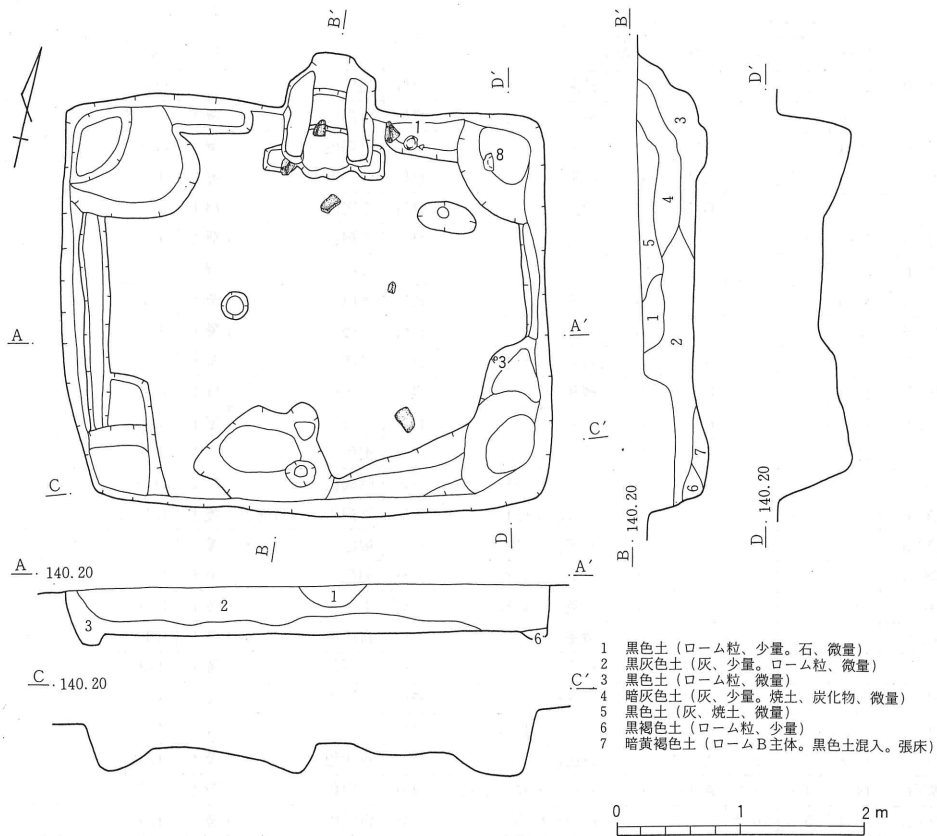
第324图 S I 135出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成・整形手法分類	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	皿(H)	22.6	2.4	—	A(2)	c	緻密	良好	褐色	覆土	1/18	
2	皿(H)	20.0	—	—	A(2)	a	緻密	良好	橙褐色	覆土	1/16	
3	皿(H)	19.4	3.3	—	A(2)	c	緻密	良好	橙褐色	覆土	1/16	
4	皿(H)	18.8	2.7	—	A(2)	a	緻密	良好	暗赤褐色	覆土	1/5	
5	皿(H)	14.2	2.0	8.0	B	c	緻密	良好	赤褐色	覆土	1/5	
6	坏(H)	16.1	4.0	—	G	b	赤色粒	良好	赤褐色	覆土	1/8	
7	坏(H)	15.0	—	—	G	d	小砂粒	良好	褐色	覆土	1/10	
8	坏(H)	13.5	2.8	—	H	b	緻密	良好	褐色	覆土	1/2	
9	坏(H)	13.4	—	—	G	b	緻密	良好	赤褐色	覆土	1/5	
10	坏(H)	14.4	—	—	G	h	石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/8	
11	坏(H)	13.2	3.9	—	B	h	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/10	
12	坏(H)	14.8	—	—	F(2)	h	緻密	良好	淡褐色	覆土	1/8	
13	坏(H)	15.8	—	—	F(2)	h	雲母	良好	褐色	覆土	1/16	
14	甕(H)	—	—	12.0	F		石英, 小砂粒	良好	暗褐色	覆土	1/18	
15	甕(H)	21.6	—	—	A	a	石英, 小砂粒やや多	良好	外褐色, 内暗褐色	覆土	1/16	
16	甕(H)	23.6	—	—	E(1)	j	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/4	2次焼成
17	甕(H)	20.4	—	—	E(1)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/16	
18	甕(H)	22.2	—	—	E(1)	a	石英, 小砂粒	良好	褐色	覆土	1/16	
19	蓋(S)	—	—	—	(1)		緻密	良好	青灰色	覆土	1/10	
20	蓋(S)	—	—	—	(3)		緻密	良好	灰白色	覆土	1/8	
21	蓋(S)	16.4	—	—		a	小砂粒	良好	青灰色	覆土	1/4	
22	坏(S)	13.5	3.0	—	A		石英, 白色砂粒	良好	灰白色	覆土	1/8	
23	高台(S)	14.8	5.3	9.7	A(1)	e	白色砂粒	良好	青灰色	覆土	1/2	
24	高台(S)	14.7	4.6	8.2	A(1)	e	石英小砂粒, 小石	良好	灰白色	覆土	4/5	
25	坏(S)	20.4	5.5	10.0			白色砂粒多	良好	青灰色	覆土	1/5	
26	坏(S)	—	—	7.8		c	白色砂粒やや多	良好	褐色	覆土	1/6	
27	高台(S)	—	—	8.4	A(1)	e	石英, 小砂粒	良好	灰白色	覆土	1/4	

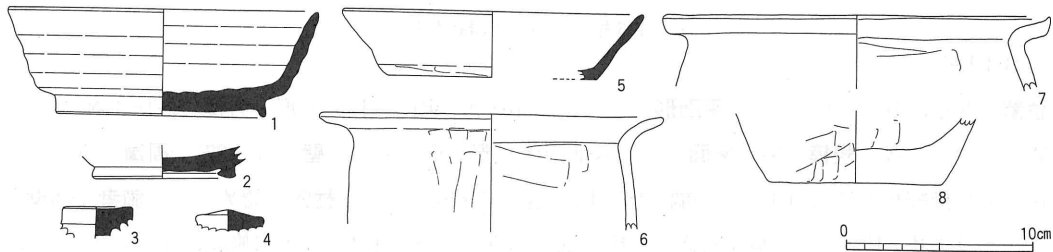
第136表 S I 135土器観察表

S I 136

位置 北地区H-8グリッド 平面形 3.3×3.9mのやや東西に長い方形 方位 住居：N 16°
W カマド：N 規模 中 床面 ローム地山床で堅い面あり。壁 77~87° 周溝 カマド
掘り方に接続せずに全周する。四隅の床下掘り込みに接続する。柱穴 認めず。備考 西壁
下にテラス状の段あり。南側中央床にも床下掘り込みとピット1本(出入口施設に伴うものか?)
カマド U字形と凸形の間中形でソデ基部の掘り込みと煙道の突出の差が小さいタイプである。
両ソデ前端にピットが2本あり、付近に凝灰岩片が多数散乱していることから、焚口補強用石の
ピットと思われる。支脚状の玉石が燃焼部に認められるが、地山から浮いた状態でそれに伴うよ
うなピットも認められない。遺物 土器器甕3, 須恵器坏1・高台付坏2・甕2



第325図 S I 136実測図



第326図 S I 136出土土器

No.	器種	寸法 (cm)			形態分類	成形手法	胎土	焼成	色調	出土状態	残存量	備考
		口径	器高	底径								
1	高台(S)	16.4	5.7	11.4	A(2)	c	砂利、小石	良好	灰白色	床面	完形	
2	高台(S)	—	—	7.0	A(1)	e	砂粒	良好	灰白色	覆土	1/6	
3	蓋(S)	—	—	—	(3)		緻密	良好	青灰色	覆土	1/10	
4	蓋(S)	—	—	—	(1)		緻密	良好	灰白色	覆土	1/10	
5	坏(S)	16.2	3.5	11.0	B	c	白色砂粒	良好	灰色	覆土	1/8	
6	甕(H)	18.4	—	—	E	i	石英、砂粒	良好	褐色	覆土	1/24	
7	甕(H)	20.8	—	—	G(1)	i	長石、砂粒やや多	良好	淡褐色	覆土	1/26	
8	甕(H)	—	—	9.4			石英、砂粒	良好	褐色	床面	1/24	木葉痕

第137表 S I 136土器観察表